

桑名市
「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」
「子ども・若者の生活実態・意識調査」
結果報告書
（自由意見・ヒアリング編）

令和6(2024)年7月

本編は、「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」及び「子ども・若者の生活実態・意識調査」の自由記載欄に、ご記入いただいた文章と、本市における子ども・子育て支援関係者へのヒアリング等の結果をまとめたものです。

これら自由記載やヒアリングによるご意見は、市民の皆さんの子育ての現状や市へのご要望など、統計資料に勝るとも劣らない貴重な資料であると認識しています。

子ども・子育て支援事業計画等の策定にあたっては、市民参加を重視し、策定過程においてできるだけ多くの“生の声”を聴取するように努めています。したがって、これらの内容も、市の関係各課の職員はもとより、桑名市子ども・子育て会議の委員など関係者の間で共有し、子ども・子育て支援事業計画等の内容や今後の施策に反映していきます。

なお、意見の中で、個人が特定される恐れがあるもの、また個人を誹謗中傷するものについては、表現等の一部修正したり、収載していないものがあります。また、同意見はまとめておりますが、詳しく理由をご記入いただいているものはその部分を収載しております。

— もくじ —

第1部 自由意見

1 就学前児童の保護者	1
(1) 子ども・子育て支援全般	1
(2) 幼稚園・保育園・認定こども園	4
(3) 不適切保育	17
(4) 母子保健事業	19
(5) 相談	20
(6) 一時的な預かりや病気のときの対応	21
(7) 教室・講座・イベント	25
(8) 経済的な支援等	26
(9) 医療体制	30
(10) 公園・遊び・居場所	32
(11) 子育てリフレッシュ事業	35
(12) 少子化対策	36
(13) 小学校等	36
(14) 習い事・教育	39
(15) ファミリー・サポートセンター	39
(16) 子育て支援センター	40
(17) 休日・長期休暇の子育て支援	43
(18) 安心・安全・子育て環境	45
(19) 防犯・防災	46
(20) 学童保育	46
(21) 父親の子育てへの参画	50
(22) 支援が必要な子ども・世帯	51
(23) ひとり親への支援	53
(24) 多子世帯	53
(25) 子どもの育ちを支える人材確保	54
(26) 交流	55
(27) まちづくり	55
(28) 仕事と子育ての両立	56
(29) 情報提供	57

(30) 行政	58
(31) アンケート	60
(32) その他	61
2 小学生児童の保護者	63
(1) 子ども・子育て支援全般	63
(2) 幼稚園・保育園	66
(3) 母子保健事業	66
(4) 相談	67
(5) 一時的な預かりや病気のときの対応	67
(6) 経済的な支援	68
(7) 医療体制	71
(8) 公園・遊び・居場所	72
(9) 小学校等	74
(10) 教育の内容	77
(11) 安心・安全・子育て環境	78
(12) 学童保育	78
(13) P T A活動等	84
(14) 支援が必要な子ども・子育て世帯	84
(15) 子どもの育ちを支える人材確保・育成	86
(16) 移動・交通	88
(17) 仕事と子育ての両立	88
(18) 情報提供	88
(19) 行政	90
(20) アンケート	90
3 子ども・若者の生活実態・意識調査	91
(1) 取組の方向性	91
(2) 出産・子育て	91
(3) 学校・教育	92
(4) 経済的な支援	93
(5) 情報提供・相談	94
(6) 移動・交通	95
(7) まちづくり	96
(8) 桑名市の魅力・P R	99
(9) 地域のイベント	101

(10) 地域の生活・交流	101
(11) スポーツ	102
(12) 就労・産業	103
(13) 防災・減災	103
(14) 行政	104
(15) その他	104

第2部 ヒアリング

◇ヒアリング調査結果の概要	105
1 中学生・高校生（津田学園中学校・高等学校）	106
(1) ワークショップの概要	106
(2) ワークショップの主な内容	107
(3) ワークショップで出た主な意見	108
(4) ワークショップを終えた感想	112
2 高校生（桑名北高校「わくわくコミュニケーション」を選択している2年生）	113
(1) 将来結婚したいか	113
(2) 子どもがほしいか	114
(3) 将来、子どもを育てながら働きたいか	115
(4) 桑名市に住み続けたいか	116
(5) 家庭ではどのような子育てがよいと思うか	118
(6) 子育てするときにあるとよいサポートや支援	119
(7) 桑名市のよいところ	121
3 ケアリーバー（児童養護施設や里親などの社会的養護の保護を離れた方）	122
(1) 児童養護施設入所中に、周りの大人にしてもらいたかったこと、嬉しかったこと...	122
(2) 入所前～退所後の支援であるとよい支援	122
(3) 入所前、入所中、退所後で、一番不安だったこと	122
(4) 子どもの権利についての意見	123
4 妊婦（母子健康手帳を交付した妊婦）	124
(1) お子さんは第何子か	124
(2) 現在の就労状況	124
(3) 情報の取得方法	125
(4) 充実してほしい子育て施策	126
(5) 出産後に希望する母子保健のサポート	127

5 子どもの父親（子ども・子育て応援センター「キラキラ」・「ぽかぽか」利用者）	128
(1) 子育て全般について、桑名市のよいところは何か	128
(2) 子育てをされていて困ったこと、必要な支援は何か	128
(3) 桑名市の好きなところ	130
6 ひとり親家庭の保護者	131
(1) 子育てをサポートしてくれる人の有無	131
(2) 子育てで困ったときに相談する人はいるか	131
(3) ひとり親になった当時の心配事や悩みごと	132
(4) 現在の心配事や悩みごと	133
(5) 桑名市に必要な支援やサービス	134
(6) 子育て全般に関して桑名市のよいところ	135
(7) 桑名市の好きなところ	135
(8) 大切だと思う子どもの権利はあるか	135
(9) 過去に侵害された子どもの権利はあるか	136
7 子育て中の外国人	137
(1) 子育てを助けてくれる人はいるか	137
(2) 子育てで困ったときに相談する人はいるか	137
(3) 桑名市で子どもを育てていて、よいところは何か	137
(4) 桑名市で子どもを育てていて困ったことは何か	138
(5) 桑名市の好きなところは何か	138
(6) 大切だと思う子どもの権利はあるか	139
(7) 今まで侵害された子どもの権利はあるか	139
(8) 子どもの権利を守るために、どうしたらよくなると思うか	140
8 多胎児の保護者	141
(1) 子どもの年齢	141
(2) 回答者	141
(3) 子育てをサポートしてくれる人の有無	142
(4) 子育てで困ったときに相談する人はいるか	142
(5) 多胎児支援・子育て全般に関して、桑名市のよいところ	143
(6) 子育てをされていて困ったこと	143
(7) 桑名市の好きなところ	145
9 医療的ケア児の保護者	146
(1) 日常的に必要な医療的ケア	146
(2) 医療的ケアを担う割合	147

(3) 主に医療的ケアを担っている人の就労状況	147
(4) 主な介助者は、医療的ケアが必要になったことで仕事に変化はあったか	148
(5) 現在の困りごと	149
(6) 子どもと離れて過ごしたいと思うことがあるか	150
(7) あると助かるサービス	151
10 障害児の保護者	152
(1) 発達の不安や障害に気づいたきっかけ	152
(2) 発達の不安や障害に気づいたお子さんの年齢	153
(3) 子育ての中で一番相談が必要な時期	153
(4) 保護者への相談支援として、あるとよいこと	154
(5) 桑名市の子育て支援のよいところ	154
(6) 桑名市で子育てをされていて困ったことや、必要だと感じる支援	158
(7) 桑名市の好きなところ	165
(8) 過去に侵害されたと思う子どもの権利はあるか	166
11 幼稚園教諭（公立幼稚園・私立幼稚園）	169
(1) 子どもの育ち・家庭環境などについて感じること	169
(2) 5年以上幼稚園に勤務している職員が感じる子どもの変化	173
(3) 現場での保育における課題や困っていることは何か	176
(4) 子どもや子育て中の親に対して必要な支援は何か	178
(5) 桑名市の子育て支援について感じること・よいところ	182
(6) 桑名市の好きなところ	184
12 保育士・保育教諭（保育所・保育園・認定こども園）	186
(1) 子どもの育ち・家庭環境などについて感じること	186
(2) 保育現場での実務経験が5年以上あるか	194
(3) 5年以上保育現場での実務経験がある職員が感じる子どもの変化	194
(4) 現場での保育における課題や困っていること	198
(5) 子どもや子育て中の親に対して必要な支援	204
(6) 桑名市の子育て支援について感じること・よいと思うこと	207
(7) 桑名市の好きなところ	211
13 学童保育所支援員等	214
(1) 子どもの育ち・家庭環境などについて感じること	214
(2) 学童の勤務歴は5年以上か	221
(3) 5年以上学童に勤務している職員が感じる子どもの変化	221
(4) 子どもや子育て中の親に対して必要な支援は何か	223

(5) 桑名市の子育て支援のよいところ	229
(6) 桑名市のよいところ	232
14 ファミリー・サポートセンター援助会員	235
(1) 援助会員または援助会員・依頼会員の両方どちらか	235
(2) 援助会員としての年数	235
(3) 援助会員をして感じることは何か	236
(4) 援助会員をしていて困ったことはあるか	236
(5) 子育て全般について、桑名市のよいところは何か	237
(6) 子育てをしていて困ったこと、必要な支援は何か	237
(7) 桑名市の好きなところ	238
15 こども食堂（運営スタッフ）	240
(1) どのような理由で子どもはこども食堂に来ると考えるか	240
(2) 子どもがこども食堂に来るようになったきっかけは何だと思うか	241
(3) こども食堂に来る子どもやその保護者を見て感じること	241
(4) 子どもやその保護者に必要な支援	242
(5) 行きたくてもこども食堂に行けない理由があるとすれば何だと思うか	243
(6) 子どもがこども食堂を知っていても行かない理由があるとすれば何だと思うか.....	244
(7) こども食堂を始めた当時の運営上の心配ごとや悩みごと	245
(8) こども食堂を開設するうえで、現在の心配ごとや悩みごと	245
(9) こども食堂を開設してよかったと思うこと	246

第1部 自由意見

1 就学前児童の保護者

(1) 子ども・子育て支援全般

○いろいろと施策を実行しようという思いは感じるし、子育ては比較的しやすいまちに感じます。引き続き子育てに力を入れていただき、住みよいまちであってほしいです。

(同様2件)

○日ごろより子育て支援に感謝しています。

○以前に比べ、とてもよくなり感謝しています。

○子どものことをしっかり考えていただけることにとても感謝しています。これからも子どもたちが、安心して健やかにのびのび育っていけるようサポートよろしくお願いします。

○市長が子どものことを考えた対策を数々実行してくださっていることをありがたく思いながら生活しています。これからも、思い切った改革をよろしくお願いします。

○充分満足しています。

○おかげさまで安心して子育てができています。

○しっかりしていて安心できるまちだと思っています。

○子どもが小さいため、まだ桑名市の子どもたちが、どんな感じが分かっていません。支援等、多くとても助かっています。

○他自治体に比べれば子育て支援は手厚い方だと思う。

○桑名市で楽しく子育てをしています。今後も子どもたちが安心して育つことができるまちであってほしいと願います。

○自分が社会復帰するまでの間は、子と2人の生活に不安を感じ、たくさんの市の子育て支援メニューを活用させていただきました。現在は、適度に手が抜けるようになってきて気楽に考えられるようになってきたこともあり、あまり活用しているという実感はありませんが、困ったときに、困った人が活用できるように引き続き制度の検討等をお願いしたいです。

○子どもにとって安全に生活ができるまち。子ども優先のまちになってほしい。

○近年手厚くなってきていると感じます。ますます子育てをしやすいまちになっていくことを切に願います。

○18歳まで受給者証を給付したり進んだ支援制度を推進していただいているのでこの先も子育てをしやすい環境づくりを進めていただきますようお願いします。

○近隣の市に比べて遅れていると思う。（同様３件）

○具体的に子育て支援のために何をしているのかが分からない。

○子育て支援を受けている実感がまったくない。（同様５件）

【同意見の内容】

・公的な支援は、申請や自らが知る、やりたいという行動をしないと得ることはできないので、そもそもその行動をする余裕がないと思います。

○祖母等に助けてもらえない人たちに、もっと手厚い対応をしてほしい。

○平日や休日、子どもを預かってくれる施設を充実させてほしい。

○子育て中、家事を手伝ってくれるサポートが利用できたら嬉しい。

○全体的に子育て世帯に優しいと感じたことはない。必要最低限は揃っているという印象。

○いろいろ政策はとられているのですがあまり反映されていないと感じてしまう。

○３人子育てをしやすい等をあげてあるように思いますが、３人子育てしやすいという具体的なものが全く感じられない。

○子育て対策が全体的に不十分。こうしたアンケートを活かしてもっと具体的な支援策を考えてほしい。

○様々な市町に仕事柄住んできましたが、桑名市は子育て支援にあまり力を入れていないように感じています。保育施設も少なく、働く父母にとっては住みにくさを感じています。

○桑名市は人とお金が足りていないイメージです。10年20年先を見据えて子どもに、もっとお金を回せるよう、ともに働きかけていきたいです。桑名市は名古屋のベッドタウンとして機能したければ、住みやすさを上げる、つまり子育てしやすいまちとして生き残りをかけないと将来がないと思います。

○未来を担う子どもたちへの支援、子どもを中心とする行政や社会への改革すべてにおいて桑名市はかなり不足していると不満や心配をしています。保育の見直しもちろん、小学校も新しいことを取り入れて挑戦してほしいと思っています。

○最低限の子育て支援はあるものの桑名市独自の支援と言うのはなく決して子育てのしやすいまちとは言えないです。桑名市の中で子育て支援を充実させることの優先順位が高くなり、子育てのしやすいまちになることを願います。

○明石市を見習って同市の施策をどんどん取り入れてほしいです。

○明石市・流山市・東京都のように子育て支援に本気の自治体に住みたかったです。三重県内の市は、足並みを揃えているようですが、桑名市は他市など気にせず、どんどん進んでほしいと思います。

- 子育てに関する予算を増やしてほしい。明石市のような子どもファーストのまちになってほしい。
- 非課税世帯、ひとり親世帯ばかりの支援ではなく平等に支援してください。
- 市民の「意見」を聞くのではなく、子どものために本当に何をすべきか世界の研究者たちが出している論文や研究をもとに効果的な施策を検討し実行すべきです。
- だいぶよくなっていると思いますが、子育てしにくい世の中で、いろいろ気にしながらの子育てになり、物価高もあり子育ても大変です。
- LINEを利用した手続き等今の世代に寄り添った支援がありがたいと思っています。しかし贅沢を言えば、用意していただいている制度や施設を利用したくとも、事前のヒアリングや手続き自体が壁となって利用に踏み切れていないケースもあります。親が動かねばならないのは至極当然ではあるのですが、自分から助けを求めることができない親がいることもご留意いただき、もしそれらへアプローチする手立てがありましたらご検討いただければと思います。
- もう少し分かりやすく、利用しやすくしてほしい。幼稚園に入る前に誰にも預けられず困ることが沢山ありました。制度はあるのですがもっと簡単に利用できるようにしてほしいです。
- 東京都ではオムツを捨てる場合は指定のゴミ袋である必要はないと聞いてぜひ桑名市でもやってほしいと思いました。ビニール袋にオムツと貼り紙をすれば回収されるとのこと。
- 早急なサポートが必要な時に保育園にはなかなか入れず、市役所に相談しても個人でベビーシッターなどを利用するように説明され、全然あてになりませんでした。必要な時に必要な支援がすぐ受けられるよう、さまざまなシチュエーションを想定して支援の用意をしてほしいです。
- すべての子どもたちが平等に学業に関してもスポーツに関してもやりたいと思うことをのびのびとできる環境づくりを今後も工夫して行ってほしいです。
- 第3子をカウントする際に、長子の年齢によって区切るのをやめてほしいです。
- 温暖化、少子化等、いろいろな問題を抱える日本において、将来的に子ども世代に負担を強いることになるのではないかと心配です。どうか少しでも子どもたちに希望が持てるような未来になってほしいと思います。
- 子どもを預ける場に決まりが多い。もっと楽にしてほしい。ずっと子どもと一緒に大変であることも理解してほしい。
- 母親が子どもを預けることが普通になってほしいので、もっと意識して改革に力を入れ

てほしいです。

- 16時くらいに勤務を終え、迎えに行き、晩ご飯をつくってあげられることを望んでいます。朝もバタバタしたくありません。
- 名古屋市のように双子の出産をした家庭には1人シッターさんがつく等、子育て支援をもっと充実していただけたらと思います。
- 1・2歳児を自宅保育している家庭への支援策を増やしてほしい。父親が家にいる時間が少ない家庭の大変さを分かってほしい。祖父母に手伝ってもらえるとは限らない。介護の必要がある場合もある。
- 近くに自分の母親が住んでいるために困ったときは助けてもらっています。そういった助けがない人のためにできることを増やしていただきたいと思います。
- 第3子以降、保育料が無料になったが、支援策が増えてきてもいいと思う。子ども手当拡充や子の看護休暇の年齢を上げる等、国も考えていることを先にしてくれてもいいと思う。
- 乳幼児の時期に、直接子どもを預けて、親が体を休めることができるシステムの充実が必要だと感じる。今の制度では3か月未満の一番大変な時期に利用できる施設がない。あってもかなり事前に予約が必要等、制約が多く、正直かなり利用しづらかった。家族の補助が期待できない家庭での育児の大変さが今の少子化をつくっていると思う。イメージとしては昔の日本の家族・近所で助け合うようなコミュニティの形成を願いたい。
- こどもの権利条例を市でつくるとのことでしたが、是非当事者の子どもたちを巻き込み彼らの意見を反映させたものになることを強く求めます。
- 桑名市では子育てをしたくない。優遇されることもないし、自治会費が高すぎることで、月数回集まりで子どもを預けて出席しなければいけないのが苦痛。若いからという理由で仕事を押し付けてくるし、自費で支払わなければならないことも多いため、子育てしにくい。

(2) 幼稚園・保育園・認定こども園

- 公立幼稚園に3歳（年少）から通えるようにしてほしい。（39件）

【同意見の内容】

- ・年少クラスが設置されていない。
- ・私立幼稚園との兼ね合い等、いろいろなことがあり、2年保育になってしまっているのだと思いますが、現在、子育てをしている世代や子どもたちのため、3年保育にしてもらいたいです。公立幼稚園は残すべきだと思います。保育施設ならどこでも同じ

ではないと思います。保育内容や先生方の子どもたちへの関り等、公立幼稚園は素晴らしいと思います。

- ・桑名は子育て環境が悪いです。公立の幼稚園も2年保育。私立の幼稚園と結びつきが強すぎます。仕方なく私立に預け、結果保育料がただでもお金がかかります。市から幼稚園に勝手に子どもの情報の提供をするのは如何なものでしょうか。
- ・年少から預けたいときに、候補が限られてしまう。
- ・他の市より2年制の幼稚園が多すぎる。こども園と併設の幼稚園がもっと増え、3歳から預かってくれるところ、かつ、朝早くに預かってくれる幼稚園ができてほしい。
- ・公立幼稚園に魅力を感じているが、長期休みの預けが不可なことや延長保育、2年保育という点を不便に感じています。改善していただきたいです。
- ・隣接市町村では3年保育が多く感じている。私立に入れる選択肢しかありませんでした。
- ・待機児童ゼロとうたっているが、実際の待機児童と乖離していると思う。公立幼稚園が2年保育であり、やむを得ず1年長く母子で過ごさなければならない実情がある。子どもが3歳くらいになると、仲間と遊ぶ環境がより大切になってくると感じているので、子どもの発達、母子の人権を尊重する上で疑問を感じる。
- ・公立幼稚園が3歳以下の年齢の子をみるように整備してもらわないと、保育園に空きがない。3人目無償にされても入れないのでは意味がない。
- ・公立幼稚園が、支援が必要な子どもの加配支援枠のような扱いになっている。3歳クラスが公立にないので、私立の選択肢のみになっている。
- ・せっかく場所があるのに使われていないので、とても残念。上の2人は公立の幼稚園に通い、のびのびした保育に小学校と同じ栄養の整った安心・安全な給食で、障がいや個性を皆が受け入れて楽しく過ごしてきた。早くに幼稚園に入れようとどうしても私立に流れていってしまう。隣の東員町では公立のこども園のみで、皆が必ず年少から通うことができる。年長になると学区内のこども園に必ず入れてもらえる。
- ・親が仕事をしたくても、保育園に空きがなく、預けられないため、働くことができません。一時保育を一旦利用していいと市役所の人はいいますが、希望通り預けられないし、高いです。諦めて3歳まで家にいても、公立幼稚園は年中からしかやってくれません。なぜ、年少からにしてくれないのですか。
- ・公立幼稚園はなぜ年中からなのか、その理由を詳しく知りたいです。母親たちのニーズを聞いてほしいです。
- ・なぜ公立幼稚園に年中、空きがあるのか。1番上の子が公立幼稚園に通っている。の

びのびと個性を大事にしてくれ、とてもよい環境であるが、2年教育。点数が足りなく、空きもないので、下の子は希望しても保育園に入れない。公立幼稚園は園舎も先生も余裕が出ているように思う。共働きでも公立の幼稚園を利用できるようにしてほしい。皆が平等に園を選び安心して働ける、子どもを預けられる体制を早急につくってほしい。2歳の子がすぐにでも、公立幼稚園または、公立の認定こども園を利用できるよう、モデル校で試してもいいので、早急をお願いしたい。

- ・いつの時代のまま続けているのか。今の流れ、ニーズに合っていない。
- ・公立の幼稚園が年中からの入園で驚いています。公立の幼稚園はなくなるのではないかと、とても心配しています。

○希望する保育施設に入れない（同様19件）

【同意見の内容】

- ・保育園に入りにくい。（同様3件）
- ・預けたい園が定員オーバーと言われることが悲しいので、考えてほしい。
- ・待機児童問題。入れなければ補助がほしい。
- ・園に入ることができない子どもへの対策はしていますか。
- ・桑名市の保育園入園のしやすさについて。現在桑名市では若者の移住定住を促進している。しかし、将来その若者が子どもを産んで育てやすいまちになっているかと言うと甚だ疑問である。桑名市では待機児童0を謳っているが、まず、待機児童の定義が、空きのある全ての保育園へ応募して、どこへも入れないことである。現実問題自宅から通園できる保育園に落ち、仕事が続けられない場合も出てくる。隠れ待機児童の数は把握されているのか。特に駅周辺は、認定こども園の不適切保育の件もあり、以前にも増して保育園に入りづらくなっている。今後も共働き家庭は増えていくと考えるが、保育園の受け皿がなさすぎる。また、子ども誰でも通園制度がスタートするが、それによってもまた保育園に入りづらくなるのであれば、保育所をもっと開設するか、保育士を確保して受け入れられる人数を増やしてほしい。
- ・保育所が現状のニーズ（駅近くにない。1歳児4月入所が激戦。災害対策が曖昧等）にまったく対応しておらず、母親の職場復帰の足を引っ張っていると感じる。2歳を過ぎても入所できなかった際、育休給付金が打ち切られて以降の生活費の補填を求めたい。実質待機児童ゼロという認識を改め、早急にニーズ対応に取り組むことを求める。
- ・保育所の空きが少ない。園も狭いところが多い。こんなにも希望の園に入れないとは思っていなかった。私立幼稚園は夏休みがあるので、その間の仕事を悩んでいる。

- ・上の子をいつでも保育施設に入れられると助かる。あとは入れたい保育園が人気で、なかなか入れないので遠い保育園になってしまうと大変。
- ・自宅から遠い園だと送迎の時間がかかりかかり不便です。桑名駅周辺の保育園の定員を増やすか保育園を新設してほしいです。待機児童とは別に保留児童が何人いるのかを公表してほしいです。
- ・預けたい人が預けられる状況をつくってほしい。
- ・金銭的な支援よりも、何歳でも希望の保育園に入所できるようにするなど保育サービスの充実が必要だと思う。
- ・きょうだいがいないと加点がつかず入園できない。
- ・保育園の入園がポイント制であるのは公平であるとは思いますが、車の免許を持っていない人が遠いところに通うという現状は、子育てがしやすいとは言えないのでは。
- ・徒歩圏内の保育所はすべて落選し、桑名市での子育てに絶望しました。
- ・遠くの保育園を希望すればよいかもしれませんが、近くで入りたいです。桑名駅近くの公立幼稚園を保育園にしてほしいです。公立幼稚園は4歳から入園と、在園児が少ないので、利用者が少ないと思います。
- ・長島在住で、両親ともに名古屋市勤務なので長島以外の保育所に預けることが難しい。長島町内の保育の枠を増やすべきだと思います。

○認定こども園の受け入れ停止により知り合いが家の近くの保育園にすべて落ちて困っている。元々エリア別の保育園の定員がアンバランスなのに更に酷くなっている。

○幼稚園、保育園、認定こども園を増やしてほしい、不足している。（同様12件）

【同意見の内容】

- ・桑名駅周辺に子育て支援施設や幼稚園、保育園等を増やしてほしい、不足している（同様5件）
- ・駅前に最近マンションがたくさんできて子育て世帯が増えているように思うので、周辺の保育園を増設した方がよいのではないかと。現状では最寄りの保育園に通わせられずに苦労している人が多く気の毒に感じる。
- ・桑名駅周辺の保育施設の不足を感じます。希望する保育園以外だとお迎えに間に合わない時間しか空いていなかったり、子どもにとっても早起きを強いるなど必要以上に負担をかけてしまうため、希望する保育園に入所したいです。現状、フルタイムで働こうと思ったら、桑名駅周辺の保育園に預けるしか選択肢がないのですが、このままでは難しそうです。近くの保育園に入れられないのなら、遠い保育園でも通園できるような未満児用の通園サービスを制度化するなど、工夫が必要だと思います。もしこのよう

な状況が特別なものではなく、多くの家庭が希望する保育所に入れていないのだとしたら、市の保育施設の在り方を見直してほしいと思います。

- ・利用したいですが、いつも空きない。
- ・保育園の数が少ない。子どもの特性により、保育園が合う合わないがあるのに、ただ数を調整すればいいと思っているのではないか。定員に余裕がないから、合わない保育園に行かざるを得なくなり、不適切保育のような問題が起こる。保育園の開園時間をただ長くして、どこでもいいから子どもを単に預けられればいいと言う問題ではない。子どもが安心して過ごせるような環境をつくらなければいけない。民営化などの話は市にとっては経費削減、採用もお任せできるので都合がよいだろうが、本当に子どもの安心・安全のためなのか。議論が足りないのではないか。民間は良くも悪くも各々特色がありすぎるし子どもへ求めるものが大きすぎる。民間の保育園、幼稚園のような、いわゆる、型にはまれないような子どもの受け皿をどう考えているのか。
- ・保育園と幼稚園のそれぞれのよさを併せ持ったこども園が非常に少ない。また、公立のこども園が全くないことがとても残念に思う。

○公立幼稚園の存続を希望する。（同様11件）

【同意見の内容】

- ・素晴らしい保育がされていると思うので、縮小せずこの先も続いていってほしいです。
- ・民営化の話など、保護者の意見を聞き入れてもらう窓口がない。メールしても基本は事なかれ主義の返事が来るのみで無意味だと感じた。
- ・子どもの発達状況に合わせた関わりを持ってもらえる公立幼稚園が子どもたちには必要です。
- ・考える力、決める力がなくなっている現代の子どもたち。自分がいつ、どこで、誰と、何をして遊ぶかを選べる公立幼稚園。自由であるようで、何をするかを自分で考えて決めなければならない。遊びを通して、考えて決める力が身につくのは公立幼稚園だけだと思います。そして、子どもたちの目がいつもキラキラしていて、何におびえるわけでもなく子どもらしくのびのび過ごしています。先生たちも母のように、いつもあたたかく見守ってくださり、よいところや成長したところを伝えてくださる先生ばかりです。
- ・保育の無償化等が進み、公立幼稚園の入園希望者が減っていますが、のびのびと遊べる環境、遊びの中でしっかり学べる姿、障害や国籍にかかわらず、自然に違いを認め合える環境がある公立幼稚園が大好きだし、子どもたちにとって必要な場所だと思っています。

- ・公立保育所の数や保育士さんの数が減ってほしくないと思います。
- ・今、公立幼稚園に通う子どもが少なく危機的状況にあります。保育園への補助だけでなく公立幼稚園にも目を向けてほしいです。せっかく小学校と同じ敷地内にあり、小学校のお兄さん、お姉さんとかかわれる環境がある幼稚園が、閉園になってしまうのはもったいないです。きょうだいがいない子どもたちが、他の子とかかわれる環境を守ってほしいです。
- ・私立の幼稚園に行っていますが、発達に偏りがあり、上手く馴染めない場合に転園を考えています。私立の幼稚園では難しい子どももいます。公立幼稚園を存続していただけるとありがたいです。

○保育所の施設の老朽化対策（同様8件）

【同意見の内容】

- ・厚生館保育所はお遊戯室の耐震等の問題で、使えない状態で放置されている。A I チャット等の新しい事業より、老朽化した保育所を建て直したり、おむつを保育所で処分する等、行政機関として基本的なことをまずやってほしい。
- ・保育園の施設を含め、市役所をはじめとする市の施設が色々と古すぎると思います。防犯面、安全面などが不安です。

○保護者に配慮した保育時間を希望する（同様6件）

【同意見の内容】

- ・認定こども園の土曜日預かりの時間が5分でも早いと預かりしてくれないため困っている。柔軟に対応してもらいたい。朝の預かり時間を早めてほしい。協力休園という日があり預かり希望をしても受けてもらえない。
- ・労働時間ぎりぎりではなく、少し余裕や融通をもって、保育園の保育時間を確保できたらありがたく思います。
- ・桑名の園は19時まで預かってくれるところが少ない。
- ・20時まで利用できる保育園を増やしてほしい。
- ・短時間就労の場合でも、就業場所が遠方の場合、通勤等にも考慮した利用時間の設定や配慮をお願いしたいです。働き続けるためには、行政の力も不可欠です。
- ・公立幼稚園に通わせていますが、保育時間をせめて15時までにしてほしい。
- ・公立幼稚園の預かり時間が16時だと短いことです。17時から18時くらいが本当に助かります。先生の会議や行事の準備等で、預かり保育がない日、長期の休みに預かってもらえない日も困ります。

○公立幼稚園の拡充を望む。（同様9件）

【同意見の内容】

- ・預かり保育をもっと充実させていただきたいです。
- ・保育園等と同じ時間（長期の休みも）預かってもらえる体制づくりをしてほしい。
- ・公立幼稚園が実質機能していない。
- ・公立幼稚園をもっと市が積極的にバックアップしてほしい。今の時代に合った保育を実現してほしい。
- ・公立幼稚園のよさをもっとアピールしてほしい。
- ・公立の幼稚園が休園しています。充分魅力的なのに、家庭内で選択肢にあがりませんでした。年少からスタートしたり、預かり条件を柔軟にしたりしてほしいです。園を間引いてもいいですが、園のバスを市内に走らせる等はしてほしいです。

○途中入園ができない（同様6件）

【同意見の内容】

- ・空きが少ない。
- ・保育園は基本4月入園で、希望月に入園できればいいと思う。令和6年7月に出産予定で1歳になるまでは自宅保育をしてあげたいと思っていたが、保育園の制約によって生後8か月で入園させなければならず、不安が大きい。
- ・保育園の方針により希望保育期間があるため、家で1人でみる負担が大きい。
- ・転職などのタイミングにより育休が取得できないと保育園を辞めるしかない。年度途中の入園も確約できるような方策を検討してほしい。特に0歳児。待機児童ゼロと言っても、多度まで連れて行けるわけがない。机上の空論。
- ・育休退園がなくなり、途中入園がしづらすぎます。4月を待たずして入園したかったのですが、子どもを預けるところがなく、仕事もできません。
- ・保育園の1歳児クラスは保育士1人に対して4名の子どもを受け持っていたが、現在桑名は保育士1人に対して5名の子どもを持つように改悪されている。1歳児の預かり人数が見かけ上は増えたが、本質は何も変わっていない。1歳の預かり枠が増えても2歳に進級した際に育休退園の制度が撤廃されたことで、2歳児クラスの入園が困難になっている。1歳児を受け入れ過ぎて、2歳児を受け入れるキャパがない。このことに加えて育休退園がなくなり空き枠がなく、2歳から預けるのが難しい現状がある。1歳児の問題が2歳児にスライドしただけ。

○保育料が高い（同様4件）

【同意見の内容】

- ・第1子の通った幼稚園は預かりが1時間くらいと決まっており、毎日定期的をお願い

すると高額になり、預けることが難しく働くことはできませんでした。夏休みにはごく短期に預かり保育がありましたが、それも高額で驚きました。

- ・幼稚園の学費が高い。何に使っているのか分からず、詳細の提示もないし、行事も少ない。月謝に関して不満が強い。
- ・幼稚園の学費を調査してください。月謝が高すぎます。無償化の意味が分かりません。これで本当に市民の声を聞いてくれているのか、疑問に思います。市民の意見を広報に載せてください。

○転園が退園前提であることをやめてほしい（同様４件）

【同意見の内容】

- ・待機になるかもと思ったら、辛くとも我慢するしかない。
- ・仕事をしている身からすると、預けることができなくなるリスクがあり、現実的ではないため、結局遠くでも通わせ続けるしか選択肢がなくなるので、仕事との両立がより難しくなると感じます。また、人気のエリアに対しては、希望しても入園が難しいということだったので、できるだけ多くの子どもが通えるように整備されたり、駅などで預けることができ、それぞれの保育園まで送り届けてもらえるサービス等があれば仕事との両立もしやすくなると感じます。
- ・保育園転園の壁が高すぎる。次が決定しなくても退園ルール。会社の理解があったため、時短にして幼稚園を転園した。

○点数の付け方を見直してほしい。（同様４件）

【同意見の内容】

- ・きょうだいがいる場合、加点が大きいのが納得できません。
- ・車移動が可能か、前年度の認可外保育所の利用、近くの保育所までの通園時間等も加点してほしいです。
- ・保育園申請の利用調整について、窓口ではホームページに載っている利用調整基準がすべてであり、自分の点数も、それにより計算できると言われたが、最終的に落選した。何点以上の方が入れたのかを公表していただかないと納得がいかない。
- ・小学校校区内に隣接する保育園には加点をつけてほしい。

○きょうだいが同じ園に入園できない（同様３件）

【同意見の内容】

- ・配慮していただけるとよいと思います。
- ・保育士さんを増やすなどして保育園への入りやすさを改善してほしい。
- ・認定こども園に入りたいと思っていますが、周りの知人から「子どもを全員一緒に入

りたい」と希望して申し込んでも皆落ちていると聞いています。不安で一杯です。

○保育施設に入園できるか不安（同様3件）

【同意見の内容】

- ・無職、パートだと公立保育園、こども園の入園は厳しいように思います。特に、駅近くの保育園は人気と聞いています。公立幼稚園への入園も検討しているのですが、2年保育であることと、公立幼稚園の数が減っていて家から距離があることがネックに感じています。私立幼稚園の選択もあり3歳から無償化であることは承知しているのですが、公立幼稚園に魅力を感じます。しかし、年中の学年になる前まで自宅保育で、毎日母親1人で子どもを見続けられるのか想像が付きません。公立幼稚園の数が減り、園児の数も減っていると聞きますが、今後どのようにになっていくか気になります。また、公立幼稚園希望者は自宅保育期間が長くなるので、自宅保育者へのサポートなどが充実すると嬉しいです。
- ・フルタイムで働きながら子育てをすることは時間的にも体力的にも母親の余裕を削り潤滑な子育てが不可能になります。どうかパートでも預けやすい、預けられることができる環境を整えてもらいたいです。

○就労しなければ保育園に入園できない制度は改革が必要だと感じる。（同様3件）

- ・就労の有無にかかわらず、保育を受けられるようになることを望む。

○産前産後で保育園や幼稚園を利用できるとよい。（同様2件）

○保育園の定員数の拡充。（同様2件）

○給食の内容・行事の内容が経費の問題で削減・簡素化されていること。

○保育園の拡充と質の向上。

○精義幼稚園を復活させてほしいと思います。

○第1子を保育園に通わせています。第2子のことも考えていますが、パートということもあり、今妊娠すると育休がないため、上の子を保育園に預けられないことがとても残念です。いなべ市では同じパターンでも3歳から預かってもらえるため、桑名市もそうしてほしいです。

○4月から保育士として就労しようと市内の保育園を選びましたが、自分の子が保育園に全部落ちて働けなくなりました。桑名市は、本当に保育士を増やす気があるのですか。本当に5月に途中入園できなかつたら保育士を辞めます。

○名古屋市から転入してきた。転入前も保育所に預けていたため、転入後も同様の時間帯で利用希望をしたが、桑名市での一時保育の利用条件が合わず、預けられなかったためやむなく一定期間仕事を休まざるを得なかった。転入後のスムーズな移行や柔軟なサー

ビスの利用ができればありがたかったと感じる。

- 不妊治療費の助成や育休退園の撤廃等、新しいことをどんどん取り入れていて先駆けていることも多いと思うので、このまま子育て支援に力を入れてもらいたいです。しかし、まだまだ現状として希望する人が保育施設に入れなかったりと、働きにくい、子育てしにくい社会の一面を感じることが多々あります。桑名市の未来を担う子どもたちのために、どうかさらにお力を添えてもらえると嬉しいです。
- 保育園のオムツの記名や使用済オムツの持ち帰り、毎週のお昼寝布団の持ち帰り等親の負担が減ると嬉しいです。
- 各学区に公立幼稚園がありました。私の地区には一年保育のみ、しかも預かり保育がなく、共働き家庭では預けることが難しい状況にありました。また、年少から保育料が無償化になっているのに、その権利を使うこともできない。そのため私立幼稚園や保育園へ通う子どもたちが多くなったと思います。過去に私立保育園との決まりごとのようなことがあったと聞きましたが、その当時と状況がだいぶ変わっているのにそのままなのではないでしょうか。私立の運営も大切ですが、本来は子どもたちのために考えていくべきなのではないでしょうか。私立にいい顔をするのではなく、子育てを実際にしている人たちのことをまずは考える必要があります。駅を綺麗にすることも観光客の集客などに大切かもしれませんが、住んでいる市民のことをまず第1に考えてほしいと思います。
- 幼稚園について。就労していなくても、慣らし保育期間に預けられると就活がしやすい。
- 復帰する月からしか保育所の利用ができないのは大変だと思います。慣らし保育があるので仕事も早退しなければならないし、入園したてのときは特に体調も崩しやすく、メンタルケアや保護者自身も時短にしなくてはいけないのかなどの目安を知ったり準備をする時間がつくれるので希望する人は復帰する前月から利用できるとありがたいです。
- パートからフルタイムに切り替えるにあたり、1号や新2号認定だと調整で入り直しになるが、その際保育園に確実に入れる保証がないため切り替えることが難しい。また通園が遠いとフルタイムの際どうしても早朝料金や延長料金がかかり結局時短勤務になってしまう。早朝料金や延長料金も後日返還などがあればより働く時間も選べるのではないのでしょうか。
- 私立の幼稚園に1年間通ったが、公立の保育所への転園を促されたことがとても残念だった。
- 育休で保育園の利用ができるが、年度内の仕事復帰が前提とあります。生まれる月によって差が出るので、1歳までの仕事復帰と差がないようにしてほしい。
- 働く母親が保育所を決めづらいと思う。希望の保育所が早くに決まった方が安心できる。

今の市の決め方は、不満で不信感しかなかった。

- 子どもを3人預けています。希望は公立保育園でしたが、叶いませんでした。預けてみて、不安ばかりです。まず先生が愛情を持ってくれていないこと。月の費用、入園時の費用、規定用品、服が多すぎて、少しの融通も受けつけてくれずに、困っています。役所からは「私立だから仕方ありません。」と言われました。
- 現在子どもを保育所に通わせています。「お盆や年末年始のお休みのときに、仕事が休みの日は家で過ごしてください。」と協力をお願いされます。保育所に預けることができる条件を満たして仕事に行っていますし、保育料も支払っているのに、毎回、言われる度に違和感があります。保育所の側からの協力のお願いで休ませるなら、保育料等返金措置があればよいのですが。
- 保育園の保護者に対する姿勢が気になる。例えば、育児と仕事を頑張って両立している親に対し、「長時間保育で子どもが寂しそうだったから早く迎えに来い」と言ったりして追い詰めるような言葉を軽々しく言う。また、親が風邪を引いて会社を休んでいるときに、仕事でないのなら、長時間保育はできないから早く迎えに来いと言う。お盆の時期には保育士が交代で休むため人手が足りないから子どもを登園させないでと協力を促してくる。以上のように、いくら金銭的な施策を考えてもらっても、親の気持ちになって寄り添う保育園になってくれなければ、精神的にも肉体的にも疲弊してしまい、子育てに積極的になれなくなってしまう。
- 保育園についてですが、入れない人がいる中で、嘘の就労証明をつくって時間限界まで預けている家庭を知っています。そのような家庭があることを市は把握されているのでしょうか。保育園で送り迎えをしていると働いていないご家庭は見て分かります。先生たちはお気づきなのでしょうか。
- 産休・育休中においても、保育園を利用できる制度はとても助かります。子どもも環境がコロコロ変わると不安定になるため、とてもよい時期に第2子ができたと思っています。この期間における保育施設の利用時間については、明確なルールがないため、ルール化していただけると助かります。また、おもいやり駐車場の利用期間についても長くなりとても助かっています。
- 保育園に行くとすぐに風邪をひいてしまう。困る。
- 今通っている保育園は駐車場も運動場も狭く、お遊戯室也没有。リフレッシュ事業も大事かもしれませんが、子どもたちも親も、先生も安心して生活できるような保育環境の拡充をしてほしいです。
- 園に預けていても、園からの報告が保護者へ遠慮され報告がしづらい環境になっている

のかなと感じます。認可、不認可で難しいところはあるのかとは思いますが、はっきりと保護者にも言える環境、それを話し合える環境を整えてほしいと思います。多様性をもっと自由に利用できる雰囲気づくりができたらと思います。

○下の子が生まれたときに、保育園を出なくてはならず、親子共々、大変悲しい思いをしました。現在は産休終了と同時に退園制度はなくなったと聞き安心しています。

○仕事をしているから預かってほしいという考え方は、そもそも親のニーズとずれているように感じる。仕事の有無にかかわらず誰でも利用したい時に、預けられる体制を整えてほしい。

○子育て支援については、概ね満足しています。特に通っている幼稚園が、公立で校区の小学校の敷地内にあり、少人数制でのびのびと子どもが通うことができ、とても気に入っています。卒園後も、園の先生と会う機会もあるので、常に見守ってもらえているような安心感が子どもにも親にもあると思います。幼稚園の無償化により、公立幼稚園を利用する家庭は更に減っており、存続も危ぶまれています。私学の幼稚園のように、年少時から受け入れをすれば、もっと人数が増えるのではないかと思います。公立の幼稚園の預かり保育には、とても感謝しています。そんな風に時代に合った変化を加えていけば、廃れることなく残っていくのではないかと思います。

○私立幼稚園でもきょうだい児の減額を適用してほしい。

○日曜保育利用時には有料なのに、平日保育を休んでも利用料が返還されないのは納得できません。

○幼稚園の延長保育の補助が少なく自己負担が大きい。

○保育園の延長料金の発生基準の見直し、延長料金の上限設定を希望。現状、園の開所時間を基準としているため、7時開所の園は18時以降一律に延長料金が発生する。しかし、7時半開所の園は18時半まで延長料金が発生しない。これにより例えば、7時半から18時半までの同じ時間を預けていても、選ぶ園により延長料金がかかるケースとかからないケースが発生している。また、延長料金には上限もなく、入る園によって負担が大きく異なる。18時までの迎えが困難な家庭によっては、延長料金の負担の有無により、本来の希望と異なる園に通わせているという話もよく耳にする。登園時間を基準とした延長料金の請求とし、18時半までは延長料金なし（おやつ提供もなし）、という選択がどの園でもできるようにする等、制度設計の見直しをお願いしたい。また、近隣の市町村では延長料金の上限を設けているところも多くあり、そちらもお願いしたい。

○必要な保育を受け入れることができない保育所が多数ありとても困っています。

○公立のこども園があれば入園させたいです。

- 保育園への入園が困難であり、市の一時預かりに問い合わせても空きがなく、遠くの地域を紹介された。支援を受けることが簡単にはいかないことを桑名市に引っ越してきて痛感している。
- 就職活動中に保育園入園ができなかったので、入園の条件をクリアしているなら希望する人が誰でも入園できるようにするのが市の役割だと思います。
- 休職中だと保育園に入れず、毎月申請に行っては落ちるのが辛かった。
- 3人目の出産のとき、育休がなく保育所の継続利用ができませんでした。そのため、年中の途中で幼稚園に変わらざるを得なくなり、本人にとっても苦勞をさせてしまいました。
- 長子が3歳のとき、妻が育休中のため、幼稚園にしか入れませんでした。子どもが4歳になると妻は職場復帰し、預かってもらう時間を考慮すると保育園に転園するしかありませんでした。我が子は結果的に、いろいろな友だちと出会うことができ、成長にも繋がりましたが、いろいろな子どもがいると思います。選択できる権利をもてるよう、桑名市でも進めてほしいと心から願っています。
- 桑名市の保育園に通っていますが、雰囲気もよく先生も親身になってくださって、とても優しく子どもにも合っているようでのびのびと通っています。
- 保育園に通っていますが、園によって方針が違い統一させてもよいのではないかと考えています。1歳児から遠足、運動会、お遊戯会は、先生にとっても子どもにも負担が大きいと思います。年齢に応じた保育、先生方にも余裕のない保育をさせないように願っています。
- 公立幼稚園の教育内容は本当に素晴らしく、いろいろな個性を持つ子が、ともに過ごすインクルーシブな環境での学びは未来をつくっていく子どもたちにとってよい経験になっていると思います。
- 仕事と家庭の両立は、周りに定期的に手伝ってくれる実家等がないと、とても大変だと感じています。特に食事づくりが一番大変です。保育所で時々ある施策の食事業業をもっと充実させてほしいです。手づくりで添加物もほとんど入っていないので、とても助かっています。ただ回数が少なく、メニューも決まっているので、もっとメニューが選べられて、平日はほとんど利用できるようにしてほしいです。
- 幼稚園に提出する書類が分かりにくいと感じた。
- 保育園の決定も遅く、職場が変わらないのに毎年提出しないといけな書類も多い。
- 保育園の途中入園に落ちたら毎回申し込むのは大変なので年度に1回で済むようにできませんか。
- 希望保育をお願いするときは、勤務日数分の就労証明を出さなくてはならないので、毎

回職場にお願いするのが大変。働いているから保育園に預けているのに、負担が多すぎるので、市の方でルールを統一してほしい。

- 保育園の申込みはLINEででき、とても便利でした。今後もLINEでできることが増えてほしいです。窓口へ書類を持参したとき、子どもが愚図っていたので、待たされることなく、快く受け取ってくださり本当に助かりました。
- 仕事が平日にあり、幼稚園の預かり保育を利用していますが、施設利用費の請求のために市役所等に平日行かなくてはならないのが不便です。保育園申込みのようにLINEやネット、園を通して手続きできると助かります。
- 保育園や幼稚園に入るまでの方法が理解できずに苦労した。やって当たり前のようなことを言われた。孤独を感じるお母さんもいるだろうと感じた。
- 周りの市町村には園が少なく、桑名で働いているので、桑名の園に預けた。でも他の町に住んでいると、年に1回、申込みし直さなければならない。

(3) 不適切保育

- 認定こども園の不適切保育の詳細を報告してほしい。（同様5件）

【同意見の内容】

- ・ 不適切保育があった認定こども園がこれからどうなっていくのか。何の情報もなく、来年度は募集なし、近隣の保育園は一杯で、子どもを預ける先が確保できるのか不安になった。
- ・ その後の対応がどうなったのか、子育て世代に納得のいく説明もない。
- ・ 改善されたところなど最新の情報を発信していただきたいです。
- ・ 再発しないように対策をして、ホームページなどで情報開示するべきだと思います。

- 市の対応も課題である。（同様5件）

【同意見の内容】

- ・ 初動対応に問題があり、信用できないと思った。
- ・ 市の対応として残念な気持ちになりました。子育て支援に対する市の考え方は、現場と相違がないよう、取り組んでいただきたいです。
- ・ 大切な我が子を安心して預けられるように、市全体で改善して行ってほしいです。

- 保育士の労働環境を見直してほしい（同様2件）

【同意見の内容】

- ・ 同市で二度と同じような不適切な事件が起きないようにしていただきたいです。そのために保育士の方々がゆとりを持って仕事ができるような環境にしていきたいです。

す。怖いですが、生活をしていくために預けなければいけない人が大半だと思います。相談窓口も大切ですが、現場の視察、保育士の方の声、保育士さんとの面談をして労働環境が適切か見てほしいです。

- ・認定こども園で虐待があったことが不安です。これから保育園等を検討していくので、他の保育園等の様子が気になります。保育士さんの数を増やす等して、預かってくれる側の人たちの心に余裕ができるようにしてほしいです。

○不適切保育を行った保育士のその後の行方が気になっています。

○市内の保育施設での不適切な言動がニュースで取り上げられていたのを見ましたが、結局当事者は何も罰せられず済んでいるという現状があるのを知って、今後子どもを保育園などに預けたいと考えている立場からすると、とても不安に感じます。

○認定こども園であった保育士による児童虐待事件について。子どもを1人の人間として尊重されておらず、傷付けたにもかかわらず謝罪・罰則がないことを不満に思います。成長過程の大事な幼少期に付けられた傷はすぐには癒えず子どもたちは傷付いたままです。曖昧にされたままでは桑名市に子育ての期待はありません。

○認定こども園で起きた虐待は二度と起きないようにしてください。虐待に関与した職員は懲戒免職にするよう規約をつくってください。

○安心できて、信頼できる環境がほしいです。虐待等、絶対にあり得ないです。

○不適切保育のあった認定こども園への入園を検討していた時期もあったが、報道のような事件があり、今後子どもを育てていくうえで不安になった。子育てに力を入れていくという姿勢は大変ありがたいので、こういうアンケートなどで現状を把握して、改善へ繋げてほしい。

○認定こども園の不適切保育の問題がありましたが、市として虐待の再発防止のために、市内の保育園にどう指導しているのかを知りたいです。

○昨年あたりから子育て支援に力を入れてきているのかなと感じるが、認定こども園の不適切保育への対応など疑問を感じる点もまだまだ多い。

○不適切教育で立て続けに桑名市がニュースになっており、このまま桑名市で子育てをしていくべきか悩みます。子育て支援センターの充実やスタッフの方の対応、保育園の先生は素晴らしいので、今のところは留まっています。

○保育施設での虐待などもあり自分の子どもは本当に大丈夫なのか信用できない。働かなくてはいけないので、どうしても預けていますが、もう少し安心して子育てをできるまちにしてほしいです。

○桑名市のすべての保育所や認定こども園、幼稚園で虐待のない保育環境を整えてほしい。

- 問題のあった保育園について、何も公表されないまま次年度の保育園募集が始まったことについても違和感です。本市の保護者にはきちんと対応等を説明してほしかったです。
- 認定こども園での虐待やくわな特別支援学校での校長の不適切発言等、桑名市の教育現場に不安と憤りを感じている。誰もが安心して子育て支援を受けられることを切に願っている。
- 保育園や小学校、特別支援学校等、よくない事件やニュースが桑名市で明らかになり不安があります。子どものために何が一番よい環境なのか、私自身も定まっていますが、安心して教育してもらえる環境を整えてほしいです。
- 昨年、私立保育園で子どもの虐待があったと大きく報道され、その後、どのように改善されているのか気になっています。
- 桑名市の教育現場は問題を起こし過ぎ。認定こども園の不適切保育、精義小学校の不適切指導、特別支援学校の校長の問題発言。多数の親子を傷つけてきた市の責任は重い。
- 保育園に入りづらい環境をどうにかするべき。認定こども園の事件があってから、安心して子どもを預けられない。桑名市はもう少し子どもの環境について深く考えるべき。
- 不適切保育のあった認定こども園のようなことが二度と出ないような体制づくりをお願いします。
- 認定こども園の不適切保育ことがあったので、市のスタッフが定期的に視察に行ったらよいと思います。保育士の負担がかなり増えて、そちらの方が心配です。待遇を良好にして、満足感が増すことにより、仕事の質が向上したら理想的です。しわ寄せは子どもたちに行くのですから。

(4) 母子保健事業

- 産後ケアが7回しか補助が出ないので、増やしてほしい。（同様2件）
 - ・乳腺炎になると何度も助産師さんに処置をしていただく必要があるので希望者にはもっと補助を受けられるようにしてほしい。
 - ・産後ケアの券を少なくとも12枚はほしいです。毎月異なる悩みがあるので相談したり、1か月に1回はリフレッシュしたりするための券があると助かります。
- 産後ケア事業も充実していて助かっています。
- 産後や検診の際は、子どもだけでなく母親に対してもケアしてくれたと感じている。
- 産後ケアができる施設を増やしてほしい。病院で半日から数日程度滞在できるのが望ましい。
- 産後のサポートの利用料がもう少し安いと、実際に利用ができるので助かると思います。

- 産後ケアのパンフレットにて「育児や身の回りのことはできるだけご自身で行っていただきます。保育や家事のサービスではありません。」とあるが、産後一番つらいのは保育や家事だと思っている。保育や家事などをサポートしてくれる人がいて、母親が休息を取ることで、「また頑張ろう」と思えると思う。ぜひとも、保育や家事も産後ケア事業の範疇としてほしい。
- 産後ケア事業は産後すぐに利用できると思い、生後3週間頃に産後ケア施設に問い合わせたら「小さいと難しい。もっと大きくなってからにしてほしい」と言われた。施設の一覧リストには、利用可能な月齢も記載すべきだと思った。
- 産後ケアを申込みする際、市役所まで行くのが大変なのでWEB等で、申込みができるようにしてほしい。
- 福岡市の産後ケア、宿泊型(ショートステイ)・日帰り型(デイケア)・訪問型(アウトリーチ)を導入していただけると嬉しいです。
- 医師から車の運転も控えるように言われるので、産前休暇42日前は大変です。桑名市独自の政策で1週間でも2週間でも早く産休に入れるようになれば、子育て世帯の移住に繋がると思います。
- 新生児聴覚スクリーニングと産後の1か月健診を無料化にしてほしい。
- 検診等で子どもの発達を診断してくださることは助かります。ですが、数分見ただけで根拠もなく親の恐怖心を煽るような発言等はやめていただきたいです。保健師と名乗る以上、自身の発言がどれだけの重みがあるか理解してから発言していただきたいです。
- 1歳半、3歳健診の会場は目の前に大きな駐車場があり、周辺道路が混雑しないところで行ってほしいです。あと待ち時間が辛いので、何とかならないでしょうか。
- 1歳児健診を受けるまでに日にちがかかる。実際は1歳8か月過ぎ。
- これからも、多くの人に出産し、子育てしてほしいと考えているのなら、出産時の対応も大切だと思います。

(5) 相談

- いろいろな相談や支援をいつもありがとうございます。
- 市役所の方が、いつも親切に相談にのってくださるので、安心できます。
- 地域別に担当の保健師さんがいて、いろいろと相談しやすい。現在も、次男の成長面で保健師さんにお世話になっている。
- 県のLINE相談サービスを時々利用しています。こちらの気持ちを汲んで優しい言葉をくださりますし、とても親切で丁寧で助かっています。

- 2人目の出産にあたり、1人目の預け先などを相談しに市役所に行ったが、預かり保育は難しく、結局何も解決しなかった。もっと寄り添ってほしかった。
- 市役所に相談機関があり相談しても、あまり頼りにならないと感じる。
- コロナ禍で娘が1歳の時に40度を超える熱を出し、保健所に電話したのですが、この電話対応に本当に傷つけられました。根掘り葉掘り時間をかけて聞かれて、結局なんの解決もアドバイスもないまま広報に書いてある誰でもわかる病院を紹介された。こっちの話も聞かない。不安な人に対して意味がわからないことを言う。電話恐怖症になりました。まともに対応できない職員の配置は考えていただきたいです。
- 以前、子ども医療相談に電話しましたが、そっけない対応で、大したことも言われず全く役に立たないことがありました。改善してもらえると嬉しいです。
- 医療相談に何度かお世話になることがあったが、相談にならず、空いている医療機関を伝えるのみで、救急を避ける形となったが、肺炎を起こして命の危機にさらすことになった。
- 悩みを相談する場所がなく困っています。守秘義務、プライバシーを守ってもらえたらありがたいのですが、なかなか難しく、安心して相談できる場所がないため本当に悩みに対して困っています。
- 子育てにおいてお母さんのストレスや悩みをもっと積極的に聞いてほしい。
- 赤ちゃん訪問、LINE、民生委員に子育てについて相談・質問しましたが、いずれも回答が明確でなく、あまり頼りにならず参考になりませんでした。一般的な答えはインターネットで確認できますので、もう少し具体的な案をお話ししてくださると助かります。
- 小・中学生の保護者にも、子どもの教育・保育に関しての悩みや不安を持つ方が多くいます。学校教育課だけでなく、子ども未来課でも、病院の紹介等を相談窓口としてサポートしていただきたいです。
- 子どものことを相談するところはたくさんあるけど、母親のメンタル等、自分のことを相談できるところがないか、あっても分からない。
- 赤ちゃん訪問のような家に来てくれて相談にのってくれるようなものが、希望者に定期的にがあると嬉しいです。

(6) 一時的な預かりや病気のときの対応

- 病児保育を充実させてほしい。(同様17件)

【同意見の内容】

- ・病児保育の定員が少ない。（同様 9 件）
- ・病児保育や病児シッターの充実を切に願います。
- ・病児保育の部屋数が少なすぎるので、増やしてほしいです。時間も短いので、長く預けられるところをつくってほしい。
- ・病児保育の場所が近くにないので、桑名市内に何か所かつくってほしい。
- ・病児保育、緊急時に子どもを預ける施設の営業開始時間を現状より早くしていただきたいです。7時半には預けられるのが理想です。
- ・働きながら子育てするには、親が気軽に子どもを預けられたり、病児保育だったりがとても必要です。
- ・病気や学級閉鎖のとき、子どもを預かってもらえる場所を増やしていただきたいです。

○一時預かりの時間制限を見直してほしい（同様10件）

【同意見の内容】

- ・くわなメディアライヴの一時保育は、最大 3 時間の利用時間制限があります。制限をなくしていただきたいです。（同様 6 件）
- ・困っているときに預けられる場所の予約が取れません。もっと増やしてほしいです。途中入園もできず仕事もありファミリーサポートも高く、市には、もっと考えてほしいです。
- ・8時間の一時保育をしてくれる施設を増やしてほしい。少なすぎて、必要な時に予約が埋まっていることが多い。
- ・一時預かりの時間制限の緩和や時間帯の増幅を望みます。
- ・預かり時間を保育園と同じ利用時間にしてもらわないと、仕事に間に合わないと思う。
- ・もっと親のリフレッシュ時間を確保できる施設があるといいと思う、最大 3 時間は長いようで短く、もっと夫婦の時間に余裕が持てたら子育てもゆとりが出ると思う。

○就園児等も一時預かりを利用したい（同様 7 件）

【同意見の内容】

- ・保育園・幼稚園を利用している人は、一時預かりが桑名市内でメディアライヴのプレイルームしか利用できない。
- ・保育園を利用していると一時預かりができる場所が 1 か所しかない。スタッフの人数が少ないから仕方がないなら、保育園で一時保育をしている施設も利用できるようにしてほしい。
- ・支援センターの一時預かりをよく利用していたのですが、就園したら支援センターの一時預かりを利用できなくなったのがとても不便と感じています。必要な場合は、市

外の民間一時預かりを利用しています。

- ・ショッピングモールの一時預かりが就園児を預かれない点を改善してほしいです。買い物中に歩けるようになった子を預けたいので就園児こそ預けたいです。

- ・休日、私用の時に預ける場所をつくってほしい。支援センターにここを、保育園に行っている子どもでも預けられるようにしてほしい。

○未就学児の子は一時保育等の預け先がありましたが、小学校低学年のまだ留守番できない年齢の子は預け先がなく困ったことがありました。就学時でも一時的に預けられる場所があればとてもありがたいです。また、あるのならその情報を入手できなかったのも、分かりやすく市のホームページなどに記載して情報提供していただけると嬉しいです。

○一時預かりの金額が高い。（同様2件）

【同意見の内容】

- ・一時預かり保育料を1時間100円にしてもらえると、もう少し利用しやすくなる。

○一時預かりが、もっと身近に使えるようになるといい。

○夜PTAの集まり等で数時間子どもを預けられる場所があるとよい。

○子どもにとって過ごしやすい環境、子育てしやすいまちにしてほしい。一時預かりや送迎サービス等、もう少し使いやすいものがあるとよい。流山市や長久手市のようになっていくとよいと思います。

○園に通っている子どもで、保育時間外に預かっていただける施設がない。緊急時に預かっていただける施設が切実にほしい。

○親が笑顔でいることが、子どもにとって一番だと思いますが、親のリフレッシュのために保育施設や一時保育を利用できない現状があります。親のリフレッシュのために利用できるサービスがあると嬉しいです。

○預かり保育をしてくれるところがすぐ近くにない。送迎時間を考えると、使える時間が限られてしまう。

○市の一時預かりを何度か利用したことがありますが、仕事で使うには利用できる回数や予約の仕方・利用できる時間等がとても使いづらいと感じました。

○預かり保育を充実させていただくとありがたいし、働くお母さんも増えると思う。

○メディアライヴのプレイルームは直接行かないと予約ができないので、予約するためだけに、子どもを2人連れて行くのが大変。保育園の一時保育は電話で予約できる。

○一時保育は、受け入れを渋られることが多く連絡するのがいつも億劫です。

○子どもを預けられる場はあるが予約が取りにくい。もっと一時預かりを充実させてほしい。

い。希望する人が使えるようにしてほしい。

- 病児保育施設、一時預かり所、ファミリーサポート制度において、県内他市より利便性が低いと感じます。2つの病児保育施設に登録しましたが、当日利用できたことは、1度也没有せん。しかも前日の朝に電話予約しなければ翌日の利用はほぼ不可能という状態です。病児保育施設を増やしていただくか、定員を増やしていただく等、改善を強く望みます。
- 子どもが病児保育に預けられない病気（インフルエンザ・コロナ・アデノウイルス等）になるので、預け先がなく、仕事を休むことが多くて困っている。
- 子どもが病気になったら仕事は休まなければならないけれど、休めるほど余裕がない。子どもを少しみてもらうことができたと思います。
- 子どもが病気等で急に仕事を休みたいと思った時に休みを取れる企業がない。
- 子どもが病気的时候は、預けるより両親が看病してあげる方がよいと思います。周りの理解が大切だと思います。
- 病児保育や預かり保育を利用しない理由としては、利用しなくてもよい働き方をすることができているからであり、必要がないわけではないです。働き方が変われば、必要になってきます。
- 仕事と育児の両立ができるような環境を整えるべき（病児保育の拡充、一時保育の利用方法の検討）。
- 就労する母親が増えているのに保育所などの預け先等が充分でない。リフレッシュよりも日々の生活に対するサポート(病院受診や買い出しの際の一時預かりの無償化など)を充実させてほしい。
- 桑名市の公務員の方は子が小学生の間は看護休暇孫休暇が使えるとネットニュースで見しました。桑名市で働いている人皆が子が小学生の間は看護休暇を使えるようにしてほしいです。
- 親が病気になった時、少しの買い物の代行や通院時など子どもを見てほしい時に使えるサポートがあると助かります。もうすでにあるかもしれませんが、知らないです。
- ショートステイは、ケースにより変わると思うのですが、利用したいときに、すぐに利用できればと思います。
- ショートステイなのに送迎に時間がかかってしまい、お迎えの時間まで、休めなかった経験がありました。希望しても実態とは乖離していると思います。ただのアンケートではなく、実態を理解する活動をしてほしいと切に願います。

(7) 教室・講座・イベント

○イベントを充実させてほしい（同様4件）

- ・体験型のイベントも少なく、それを知る機会もあまりなく残念に思います。
- ・他の市のものに参加している。もう少しいろいろ企画してほしいです。
- ・乳幼児を対象としたイベントがもっとたくさんあればよいと思います。
- ・まちづくり拠点で、イベントや習い事の教室等を開催してほしいです。

○季節のイベントをもっと充実させてほしい。（同様2件）

【同意見の内容】

- ・以前住んでいた町では季節に合わせたイベントに予約なしで参加でき、またその際作ったもの（七夕の笹飾り等）を無料で持って帰れる等、就園前の子どもに季節行事を体験させられるいい機会でした。桑名市は支援センターの環境、設備等は充実していると思うので、予約しなくても気軽に参加できる季節のイベントが増えたらよいと思います。

○子育てイベントや園等行事は土日祝ばかりではなく平日にも行っていただきたいです。

○妊娠中の母親学級のようなイベントを土日にも開催してほしいです。平日は働いているとどうしても参加しにくいです。

○子育て講座等を充実させてほしい。

○子ども総合センター等の講座や相談室にも参加したいのですが、子どもが寝てしまったり家事が終わっていなかったりして、なかなか参加できません。

○歯の衛生講座が、満員で受講できなかった。その後、保育園に入ったので、未就園児ではなくなり、受講の権利がなくなり、ずっと残念に思っている。人気の講座はもっと開催するカリモート受講できるようにしてほしい。

○子育て支援センターで行われる未就学児のイベントなどで、参加人数に制限がある場合がありますが、できる限り参加人数を増やしていただきたいです。申し込み日当日に申し込もうとした際、上限に達していて申し込みできなかったことがあったため。

○9か月のときの離乳食教室で仲良くなった同い年のお友だちと、5歳になった今でも親子とも仲良く遊んでいます。あのとき離乳食教室でグループワークをしてくれたおかげで連絡を交換し、赤ちゃんのときもコロナ時代のときも連絡とりあい相談したり遊んでいます。離乳食教室主催の方にいいきっかけをありがとうと伝えたいです。これからも桑名市で子育てして子どもにはのびのび成長してもらいたいと思っています。

○離乳食教室の定員がすぐに埋まって受講できなかったなので、実施頻度を上げるか定員を増やしてほしいです。

○産まれる前や生後1歳までは手厚い講座が多いが、その先の育児についての講座もしてほしい。今後こんなことがある、こういう時はこうしよう、オムツはいつまでなど、育児相談と大まかにするのでなく、もう少し内容が分かるもので講座があると行きやすい。

(8) 経済的な支援等

○高校生までの医療費の助成は助かる。(19件)

○学校生活に必要なものは市で負担してほしい(同様10件)

【同意見の内容】

- ・学費等の無償化、補助(同様4件)
- ・給食の無償化(同様4件)
- ・園服や制服。お金だけ支給しても子にまわるとは限らない。
- ・制服・学用品・修学旅行。フリーライダーを排除するため、5年以上桑名市在住の方のみ支援。

○オムツやミルクなど子育てに必要な物の費用や物資の支援をしてほしい(同様8件)

【同意見の内容】

- ・短期間しか使わない大きなベビー用品のレンタルや代金補助、日用品の代金補助やサンプルボックスプレゼントなどが充実していると、2人、3人と産んでみたいなと思うと感じます。値上がりしすぎて妊娠後出産後の10万円なんて足りないし、リフレッシュ事業はよく分からないし、全然魅力に感じませんでした。
- ・保育園も第2子から半額にしてくださり預けやすい環境になったかと思います。欲を言えばリフォーム補助等ではなくオムツ券や子育て支援券のようなものをもらえると生活が苦しいため助かります。

○金銭面の支援を望む(同様7件)

【同意見の内容】

- ・お金がかかりすぎる。
- ・仕事との両立が少しでも容易になるような経済的支援や預かりの充実を望みます。
- ・生活が苦しいときに助けてもらえる行政でないと子どもを安心して持てない。子どもは増えないと思う。
- ・両親だけでは、子どもを育てながら、十分に仕事することは不可能です。頼れる親族がいる場合はよいですが、そうでない場合は親の犠牲ありきです。加えて2人が働いていても将来の金銭的不安があります。
- ・子育て支援のためにできることはいろいろあるだろうけど、子育てにおける多くの不安は金銭的に余裕があると解決できる。

- ・子育て世帯の住民税を安くする等。
- ・物価高の影響も大きいため、一時的な支援があるとありがたいです。

○保育料を無償化、安価にしてほしい。（同様 6 件）

【同意見の内容】

- ・第 2 子の保育料も無償になっている市もあるので桑名市もそうになると嬉しいです。
- ・保育園は 3 歳から無償ですが、年度で区切らないでほしいです。3 歳の誕生日から無償にしてほしいです。

○児童手当を増やしてほしい。（同様 5 件）

○補助金等の所得制限についての見直しをしてほしい（同様 5 件）

【同意見の内容】

- ・収入による子ども手当の格差をなくすべき。子どもがいる家庭の税率軽減やスーパーなどで使用できる商品券など配布。
- ・扶養している子どもの数によっても支援をしてほしい。
- ・世帯収入で生活をしている家庭にとっては不利に感じている。
- ・世帯全体の所得として上限額を上げるなどして不平等をなくしてほしい。
- ・子どもの対応は母親 1 人のためなかなか働くことはできません。単身赴任の場合、会社から別居手当や帰省手当がつきませんが、まかないきれないので、生活費は家計にかなり負担になります。しかし、年収にはこれらの手当分も反映されてしまうので、子どもたちは児童手当の減額や高校無償化の対象外となります。なぜ、家庭の都合も考慮されないただの年収の額面で、子どもへの支援が受けられる子と受けられない子がいるのでしょうか。子どもたちは平等に支援を受けられる権利はないのでしょうか。

○給付金はありがたい。（同様 4 件）

【同意見の内容】

- ・児童手当をずっと継続していただきたいです。
- ・子ども応援手当は本当にありがたいです。

○予防接種の補助をしてほしい。（同様 2 件）

【同意見の内容】

- ・おたふく風邪の予防接種を強く推奨するなら、全額公費負担にしてほしい。
- ・以前、自分が勤務した病院がある地域では、インフルエンザ予防接種の補助が小学生以下の子はありました。2 回予防接種をしなければいけない小さい子が複数いると結構な出費になります。桑名市も補助がほしいです。

○世帯主に子ども手当の支給することをやめてほしい。（同様 2 件）

【同意見の内容】

- ・実際に育てている人に入るべきだと思います。
- ・世帯ごとに選択できるようにしてほしい。
- 子育ての金銭面の支援は進んでいてよいと思う。（同様２件）
- 児童手当の所得制限を撤廃する政策に感謝しています。（同様２件）
- もっと最低賃金を上げてほしいです。交通が不便で、交通費・ガソリン代もかさむのに給料が少ないです。
- 医療費の補助が拡大されるなど改善されている点や形だけの保健師訪問、民生委員の訪問はありましたが、他の自治体で行われているような補助(お祝い金や市内でつかえる金券、オムツ代の補助等)は何１つなく、以前住んでいた自治体から比べると物足りなく、引っ越してきたことを後悔しました。
- 他の自治体から遅れているイメージもあります。「桑名市は最先端だな」と思われるような工夫が必要かと思います。インフルエンザ等任意の予防接種の助成や、オムツ無料券の配布等、家庭の負担になる部分を直接的に助けてもらえると、より自治体を身近に感じることができると思います。
- 10万円が給付されることがありがたいです。
- 「働くこと」へのフォローは増えていますが、「働かずに子育てに専念したい親」へのフォローが少なく感じます。仕事と育児の両立は、ご存じの通りとても大変です。親が育てたい気持ちを持ち続けるためには、社会的な居場所を確保しつつ、パートや専業主婦の経済的安定を市から提案していただきたいです。
- ３人目から手厚い支援が増えてきましたが、両親揃っていても、子ども２人の生活も苦しいです。３人目から手厚く支援されている話を耳にすると、私は２人だから我が子たちは苦しいときがきても、支援対象にならず、諦めるようなときが来るのではないかと、今から申し訳なく思えることがあります。
- 補助金等も少なく、他の市より子育てしにくく感じます。
- 子ども手当だけでなく、世帯収入に関係なく未就学児がいる世帯への手当や助成金があると助かります。
- ３人子どもがほしい家族に連続で育休手当を希望。
- 会社から給料を増額してもらっても勤務時間を増やしても税金が多くて手元にくるお金があまり増えません。２人目がこれから小学生になりかかるお金も増えるのはわかっているのですが、３人目がほしくてもこれでは難しいです。税金を減らしてください。今のままでは、お金の心配が先立ちます。保育園児、小学生の身体をつくる給食はとても大切

です。給食費補助しっかりお願いします。

- 産後ドゥーラ費用の補助化。第2子出産で心身ともに疲れて、産後ドゥーラの方に子どものお世話や料理づくりをしていただき大変お世話になった。とてもよいサービスである分、お値段も高いので、自治体での補助を希望する。
- 助成金が少ない。
- 手当等子育てへの支援がまだまだ不足していると感じる。もう少し子どもファースト、子どもを産もうと思える、そして育てやすい市になってほしい。
- 子ども手当を給付されるのはありがたいですが、集めた税金を配るより最初から配る金額と同じだけの金額を所得税減税又は社会保険料の減額をしてくれた方がよいと思う。
- 児童手当3人目30,000円の制限をなくしてほしい。もしくは市で別の対策をしてほしい。
- 3人産んでも教育にお金がかけられる様な生活が送れる様に手当も充実させてほしい。
- 子どもを1人育てるための費用として子ども手当が十分な金額か、ということも見直しを検討してもらいたい。子ども扶養控除がない今、収入に対しての子どもに必要な金額の割合が、1子だけのときよりも、2子が産まれてからの方がぐんと上がったように感じます。少子化の今、産めば産むだけ損のままでは今後子どもを産む人はもっと少なくなると思います。
- 障害児に対しての金銭支援が足らなさすぎるし、子どもが多い家庭においても、金銭支援が全然ない。子どもを沢山産んでもつらいだけ。
- 子育て世代への出産祝い、結婚祝いなどの給付金がないのはがっかりした。
- 預かり保育を利用しています。1日450円の上限では、風邪をひいて休んだときに、預かり保育料を月払いしているため、負担が増えてしまいます。預かり保育で支払った分で上限金額に達していない場合は、補助が受けられると助かります。ほぼ毎日利用予定なので、日払いで延長保育料を支払うと月払いの1.5倍くらいの金額になるからです。
- 歳の差があるきょうだいも多いため、2人目以降の減額の条件の変更は保育園以外でも広めていただきたい。
- 低所得の人ばかり支援してもらっているけど、もう少し平等にしてほしい。育児給付延長のために「保育園落ちねらい」をしている人が多い。改善すべき問題ではないか。
- 子育てには、たくさんお金がかかりますが、税金は増え、給料は上がらず、子ども1人でも十分に育てられるのかと思ってしまいます。金銭面での不安をもう少し解消できれば、もう1人子どもを持つことを考えられるのにと感じています。
- 金銭面でもあまり支援を受けていると感じていません。物価高のうえ給料も上がらないので、毎日生活は厳しいです。「桑名市で子育てがしたい」と思えるような対策、事業

を提案して頑張ってもらいたいです。

○3人目以上の子どもへの公平な金銭的補助。

(9) 医療体制

○休日や夜間の医療体制を充実させてほしい。(同様15件)

【同意見の内容】

- ・休日や夜、子どもが病気になっても総合医療センターは医師がいないと断ってくる。
- ・夜間小児救急の体制が愛知県に比べて酷い
- ・夜間や休日に相談ダイヤルに電話したり、病院に問い合わせても、1度も助けてもらえたことはありません。県外に案内され、そちらの方が親身になり対応してくれました。もう少し、受入れ態勢を整えてほしいです。
- ・土・日・祝日の対応強化を強く望みます。四日市市の病院で働いていますが、発熱、ケガ、救急対応等が違いすぎて困っています。
- ・医療体制、木曜日や夜間休日は特に不安がある。
- ・病院が木・日曜日、全部休みになる。
- ・どこも断られた挙句、同じ病院へ3回ほど連絡して、じゃあ仕方なく、という感じで診察してもらった。毎回、たらい回し覚悟でみてもらえる病院を探すまでに1時間以上かかることがほとんどである。市立四日市病院は電話をしたら断ることなくすぐに受け入れてくれた。桑名市の病院には断られるのに、四日市市では受け入れてくれる。急な病気になったら、すぐにアクセスできる体制を早急につくってほしい。
- ・桑名市応急診療所にみてもらえないか電話をすると小児科医がいらないため無理だと断られ、桑名市の他の病院を紹介されました。しかし、そこも十分な機器がないため無理だと断られてしまい、とても不安な気持ちになりました。結局市外の病院にみてもらえましたが、何か対策をしていただきたいです。
- ・休日や夜間に病院や#8000に問い合わせると、市内の医療機関は救急対应当番の病院でも小児科医が不在で、小児の受入れができない、市外の病院へ行ってほしいと断られることが毎回で大変困ります。小児の急患は一刻を争うので、きちんと市内の救急医療体制を整えてほしいです。
- ・よくクループになり、ネブライザーをしていただきたないと何件も夜間に電話したが、対応してもらえず、やむなく救急車を呼ぶことになった。
- ・いつも海南か四日市に行ってくださいと言われるので、桑名市で子どもの救急をみてもらえるところがあると安心です。

- ・どこも受け入れてくれないことが今まで何度もありました。#8000もかからなかったり、繋がりにくかったりすることが多いです。救急に電話しても、「今は小児科の先生がいらないから、みることができません。」と何度も言われました。

○市内に小児科が少なすぎるので増えてほしい。（同様11件）

【同意見の内容】

- ・駅周辺に小児科がない。（同様3件）
- ・小児特有の疾患について、桑名では充分ではなく、名古屋に通院することがあるため、みてもらえる小児科があるといい。
- ・人気の小児科は毎日、患者さんがいっぱい、待ち時間も長いです。先生も年配の方なので、先生が倒れてしまったら、何処の病院に行ったらいいのだろうと不安です。これから先も安心して子育てするために、小児科の病院支援をお願いしたいです。
- ・桑名市では、小児の先生がいらないため、みることができないと言われたため、市外の救急医療機関に連れて行った。

○救急医療の体制が不十分。（同様5件）

【同意見の内容】

- ・子どもが救急医療にかかりたいときにどこも診てもらえる病院がなくて困っています。
- ・高度医療体制が不十分であると感じる。出産サポートは、充実してきたと感じる。
- ・心停止して救急要請をしたのにもかかわらず5～6軒の病院に断られてたらい回しにされました。蘇生しましたが、亡くなりました。桑名の医療は崩壊しています。
- ・小児科の救急外来が他市に比べると圧倒的にレベルが低いと思う。市民病院は、紹介状がなければみてくれない。応急診療所も小児科医がいないことが多い。救急病院も小児科は受け入れが少なく、受け入れてくれる病院も「休日は検査ができない。」と言われる。他市は24時間受け入れ可の小児科や市民病院の救急がある。
- ・子どもが病気の時、まずみえ子ども医療ダイヤルに連絡し、三重県救急医療情報センターのコールセンターに繋いで医療機関を紹介してもらうように言われたので連絡したが医療機関を紹介するまでの対応が非常に横着で紹介したくないのかなと思える態度であった。それ以来救急医療情報センターには連絡するのはやめようと思った。

○産婦人科を増やしてほしい。（同様4件）

○現状では医療体制、子育て支援が不十分な気がします。

○24時間体制で小児専門でみてくれる病院が少ない。

○乳腺外科の不充実。

○児童発達、児童精神科の専門医が全国的に不足しているが、桑名市に専門医を呼んで育

てほしい。

○桑名の医療センターについて、子どもがアレルギーや風邪や心配がある時は必ずみてほしい。

○病院・クリニックでの待ち時間が大変です。桑名市で予約方法の説明会や資金援助等をしてほしいです。

○待ち時間が長い割には診察時間が短く、2、3回通院しないといけないのがつらい。

○病気が重症化したときに行ける病院がない。毎回、海南か四日市に回される。子どもが3人いるので、できれば近場で済ませたい。

○娘の風邪などで、かかりつけの病院に行くのですが、ネット予約にしてほしいです。子どもはじっと待ったりすることができないので大変です。子どもを預ける施設が高く、名前を書いたりしないといけないので利用しにくいです。

○受付時間が17時まで短縮され、土曜の午後の診療がなくなり、予約がないと診察不可だったり、小児科の利用がしにくくなりました。共働きのため、子どものお迎えから病院に行きたくても絶対に間に合わず、翌朝まで体調不良を我慢してもらうので、安心して子育てできません。

○助産院が終了してしまっても大変残念でした。

(10) 公園・遊び・居場所

○公園が少ない、ほしい。(同様13件)

【同意見の内容】

- ・どの年代でも楽しめる公園をつくってほしい。
- ・0から2歳ぐらいまでが安心して遊べる大きな公園が少ないように感じます。遊具が少し大きい子向けで、ゆっくり遊べないことを何度か感じました。
- ・多度地区は整備された公園がない
- ・広い公園がないのが残念です。ただ、土地の関係や歴史的なこともあるので、「あったらいいな。」くらいの意見です。
- ・大きな公園がなくて残念だと感じています。東員町役場の隣にあるような新しい遊具があり車を停めて、芝生でピクニックができるような公園が1つでもあるといいなと思いました。私の住む地域に公園は多いですが、どれも古く、未就園の子どもを遊ばせることが難しい遊具ばかりで残念と引っ越してから常に感じていました。他の県の人も行きたくなるような魅力的な遊具のある公園が桑名にできたらいいなと思います。

○児童センターなどが少ないため増やしてほしい(同様13件)

【同意見の内容】

- ・未就学あるいは、未就園の子どものために子育て支援センターはあるのに、なぜ小学生以上の子が、雨の日でも放課後遊べるような施設がないのですか。
- ・学区によって学童の料金にバラつきがあり、特に修徳は高額だと聞いています。小学校の敷地内に人気のない公立幼稚園を置いておくのではなく、学童に転換するか、子どもが安心して過ごせる居場所に変更してほしいと思います。

○雨の日。暑い日、寒い日などにも子どもたちが遊べる場所がほしい。（同様8件）

【同意見の内容】

- ・スター21子ども室のような、子どもが遊べる場所を増やしてほしいです。
- ・室内温水プールや体育館等、子どもやお年寄りも自由に体を動かすことができる施設がもっとあればいいと思う。
- ・室内で自由に遊べる施設、もしくは公園等の設備の見直し。熱中症で亡くなる子どもがいなくなるような制度、設備の見直し。
- ・雨の日など毎回レジャー施設に行くわけにもいかないし、遊具が充実した施設ができてくると、外出して身体を動かして遊ぶ子どもが断然増えると思います。

○小学生や就園児が遊べる場所が少ない。（同様6件）

【同意見の内容】

- ・小学生が自由にボール遊び等、できるような公園や遊び場がない。（同様2件）
- ・小学生が利用できる支援センターも用意してほしい。
- ・小学生以上の遊び場の確保。公園の遊具も老朽化が進んでいる所がほとんどで、児童館もないため行き場がない。以前、支援センターキラキラを小学生も利用できたとのことで、そちらの利用再開など、遊び場を増やす施策をお願いしたい。また、放課後の過ごす場として学童以外にも児童館や名古屋市のトワイライトスクールのような別の過ごし方も選択できるとありがたい。
- ・夏休み、冬休み等の長期の休み期間に遊べる施設があると嬉しいです。室内のアスレチックなど体が大きく動かせる場所があると助かります。
- ・放課後や夏休み期間に小中学生が自宅以外に過ごせる施設があるよいと思います。愛知県みよし市の黒笹小学校地区に住んでいるときはそういった施設がありました。学童とは違い、名前を書いて施設で遊んだり勉強して過ごしていました。

○室内で遊べる場が少ないので増やしてほしい。（同様5件）

【同意見の内容】

- ・土・日曜日の保育園がないときは、必ず外に遊びに行くのですが、子どものため、親

のリフレッシュのために、無料で行けるところが、支援センターしかなく、飽きてしまう。公園は天候や季節によって、難しいことがある。

- ・子育て支援センターの先生方はとても温かく、利用しやすいのですが、もっとダイナミックな遊びがしたいと思うと物足りないです。

○遊具が充実した公園をつくってほしい。（同様 5 件）

○子どもが自由に遊べる場所がほしい。（同様 4 件）

○公園の遊具が充実していない、古い。（同様 4 件）

【同意見の内容】

- ・精義小地域に公園があまりなく、あっても遊具が錆びていて、1 から 3 歳児が遊べるような公園ではない。

○公園の草刈り、蜂の巣の除去等、整備をしてほしい（同様 5 件）

- ・長島に住んでいるが、夏になると子どもが遊ぶ公園や、図書館等に雑草が生い茂りとても利用しにくいと感じた。できればもう少し手入れをこまめにしてほしい。
- ・草刈りがされておらず外観も悪く防犯上もこまめに手入れしていただきたい。

○駐車場のある公園が少ない。（同様 3 件）

○子どもたちが安心して遊べる場所をお願いします。（同様 3 件）

○自転車に乗れる場所がほしい。（同様 2 件）

○子どもが遊べる施設を増やしてほしい。（同様 2 件）

○大山田地区に図書館がない。（同様 2 件）

○市内でもっと広くて無料で子どもが遊べる場が桑名にもほしい。

○外で遊べる環境づくりをしてほしい。

○子どもが五感を使ってのびのび遊べる環境がない。プレーパークのような、土水火に日常的に触れられる環境を切望している。公園の水道で遊んでいたら、税金の無駄遣いだと言われ、とても肩身の狭い思いをした。公園の遊具や支援センター等大人が決めた枠組みの中でしか遊べない環境に疑問を感じている。

○長島の旧役場の有効的な活用を希望します。学校にも近く駐車場も多いので、学童や大きな支援センター、高齢者の憩いの場等いろいろな世代の人が足を運びたいような、あたたかいいろいろな世代が結びつく総合的な支援センターができたらいと思います。

○公園で遊ぶことが多いのですが、タバコのポイ捨てやアルコール飲料の空き缶のポイ捨てなどが気になります。市や地区ではポスター等で注意喚起をしてもらっていて、ありがたいです。利用者のマナーの問題なのですが、子どもと公園に遊びに行っても、なかなか安心して遊ぶことができず、残念に思います。

- 児童館が予約制なのが利用しにくいと感じ、1度も利用できていない。
- 各校区から歩いて行ける、もしくは自転車でいけるところに、図書館や友だちと勉強できるところがあるといいと思う。らいむの丘のフリースペースはとてもいいと思う。
- 小学校期の子どもの居場所についての施策が弱いと感じています。新たに施設をつくるのは難しいと思いますが、学校を使う等の案を本気で検討していただきたいです。
- 桑名市は駐車場のある公園が3つくらいあるのでよいと思います。
- 修理費の予算を取って、B & Gプールを再開してほしい。
- 大型遊具のある公園が駅より西側地域に集中しているので、東側にもつくってほしい。
- 地域に公園が2つあるが、両方とも同じ遊具に運動場となっているので、遊具を違うものにして、対象年齢を分けて遊べるようにしてもらえると、同年代の子どもと交流できていいと思う。
- 今は小1の壁を感じています。放課後の安全な居場所や十分な教育をさせられる環境（習い事の送迎等）を充実させていただけるとありがたいです。
- キッズサロンに置いてあるおもちゃの質が酷すぎる。支援センターのおさがりで、物を大切にするのは分かるがパーツが足りない、壊れている物も多くある。ケガをしないか毎日心配しつつ遊ばせなくてはならない。七和については、ファミレス等でもらえるおもちゃがたくさんある。市が提供する遊び場のおもちゃとして相応しくない。
- 周囲の公園に子どもがいない。就園前の子ども同士が交流できる場所がもっと増えると嬉しいです。

(11) 子育てリフレッシュ事業

- 産後に利用できるリフレッシュ事業、とても嬉しかったです。（2件）
- 子育てリフレッシュ事業ありがたく使わせていただきました。本当にリフレッシュできました。
- リフレッシュ事業等、子育てに関する取組を積極的に行う姿勢がみられて大変好ましい。今後もそのような取り組みを継続してほしい。
- 子育てリフレッシュ事業はとてもいい試みだが、当日キャンセルは利用料をとられる施設もあるため、突然体調不良を起こした場合等を考慮すると利用しづらい。
- リフレッシュ事業の対象店舗を増やしてほしい。
- 1年間に1度、リフレッシュ券の配布をしてほしい。預かり5,000円を無料に、食べ物チケット10,000分等。
- 子育てリフレッシュ事業も、小さな子を育てる母親・父親なら子の年齢にかかわらず、

誰もが利用したいサービスだと思います。

- リフレッシュ事業の内容を見直していただきたいです。母乳育児で何時間も預けて遊びに行けません。おむつのサービス等の方が助かります。
- リフレッシュチケットは、令和5年4月生まれからで、それ以前に産んだ母親は利用できません。公立幼稚園も4歳からで、家でみている人がほとんどなのにリフレッシュする権利はないのでしょうか。
- 以前、選べるリフレッシュ事業で何がしたいか案を出して採用されたのですが、利用できるのは令和5年4月1日以降に生まれた方限定だったので、利用できなくてショックでした。リフレッシュしたかったです。
- 子育てリフレッシュ事業について。子どもを置いて参加するのがはばかれるので、一緒に参加できるプログラムを考えてほしいです。期限ももう少し長く設けてほしいです。お母さんが罪悪感を持たずにリフレッシュできる施策を考える必要があると思います。

(12) 少子化対策

- 益生地区は子どもが少なく、人数は少なくなっているのに、保育所はパンクしている矛盾を感じます。桑名市としても人口減少対策パッケージとして全面的に人口誘致をしているようなので、この状況下での桑名市の方向性にも疑問を感じます。まずは今、桑名市に住んでいる子育て世帯に手を差し伸べてほしいです。
- 他市ではふるさと納税を利用して若い方の移住が増えているところがあるそうですね。安心して住みやすい場所だと思うので頑張ってください。
- 移住・空き家バンク等に、市としてもっと力を入れて桑名市に定住しやすい環境をつくらせていただきたいです。
- 空き家は見かけるが、物件が少ない。愛知の稲沢市が空き家や土地を買い取ってハウスメーカーに売ったりしている。
- 人口増加を目指すなら子育て世帯への支援をどんどん取り入れていってほしい。
- 自宅の周辺では少子化が進んでおり、同年代の子どもたちと触れあう機会がない。

(13) 小学校等

- 学校の老朽化対策（同様13件）

【同意見の内容】

- ・老朽化している小学校を計画的に建て直してほしい。（同様2件）
- ・地震、津波が数年のうちに発生するとされており桑名の土地柄を考慮するとダメー

ジが大きいことが確実なのに、保育所、学校の建て替えになぜ取りかからないのか。

- ・子どもが通う予定の小中学校（益生小・明正中）は耐震性等安全なのか。平成26年には益生小のコンクリートの一部が崩落しており、大地震等の災害に耐えうるのか疑念があり、通学させるのが不安。
- ・校舎の修繕義務があるのではないか。危険を感じたり、和室トイレの小学校も、どうにかできないか。災害が起こったときに、避難場所として機能するのか、検査してほしい。

○家から学校までが遠いため心配（同様4件）

【同意見の内容】

- ・配慮してほしい。（同様2件）
- ・小学校を増やしてほしい。
- ・家から藤が丘小学校まで、子どもの足では30～40分かかります。暑い時期の期間限定でもいいので、スクールバスを考えていただけませんか。新西方の生徒だけでも、かなりの生徒数がいいますので、運行すればガラガラということもないと思います。下校中に熱中症でお亡くなりになったお子さんのニュース等を見ると、心配になります。

○食育の充実を図ってほしい。（同様4件）

【同意見の内容】

- ・小・中・高は給食にしてほしいです。（同様2件）
- ・中学校の給食センターを整備し、全員が平等に温かくバランスの整った食事を提供されることを強く希望します。

○近所に子どもが少なく、小中学校になってからの登下校が心配。（同様2件）

○長島中部小学校のほとんどの遊具が壊れたままで危ないので早く直してほしい。

○学校の設備がよくない。特に特別教室にエアコンがないのは今の気候では無理だと思う。

○卒園してからのサポートがありません。

○小・中学校を選びたいです。四日市では境界線付近の場合は選べるようです。

○子どものコミュニティの観点から、中学校を自分で選べるようにしてほしいです。実際に子どもの母親が中学校入学時に多くの友だちと離れることになったため、選択制を強く希望します。

○今年度から小学校に入るが、小・中学ともにクラスの人数をもっと減らしてほしい。高学年以上になっても30人くらいが望ましい。

○大山田地区の児童密集により小・中学校が飽和状態にあります。教室に生徒が入り切らず、校庭の仮設教室で勉強している等の話を聞くと、防犯の面から考えても将来子ども

を通過させることに不安を感じます。また教師の方への負担も大きく、教育の質の低下を危惧します。学校によっては、少人数のところもあるので、早急な校区の再編や学校設備、人員配置等の対策を望みます。

- 小学校の新1年生のクラス定員が35人を超えている学校があると聞きました。少人数で子どもをみていただきたいです。小・中学校の先生も病気で変わったりするので、長期的なサポートがほしいです。
- 幼稚園に同じ小学校に通う子が少なく子どもが不安に思っています。入学前に触れ合う機会を何回かつくってほしいです。
- 小学校でも地域によっては1クラスしかなく友だちとのかかわりが減っているなか、選択の幅が狭いことがこれから成長していくときにとても気になります。
- 日本の教育はギフテッド傾向にある子どもたちへの理解がまったくと言っていいほどありません。それに対して、授業への意欲が欠けてしまっています。子どもの知能に合ったクラス編成等、対応をしていただきたいです。
- 義務教育へ力を入れてほしい。
- 公立幼稚園、公立小学校、中学校の繋がりを、もっと進めていくべき。
- 「桑名市小中学校再編計画」が進められているのは承知しているが、再編による環境変化にも順応できるか疑念がある。通う学校が遠くなり、家を出る時間が早まれば、自身が共働き家庭のため出勤に間に合わない等の問題が発生するのではといった不安がある。
- 多度では小・中一貫校が開校されるとのことですが、学校側の一方的な意見ばかりで、保護者の意見は無視されています。予定通りに事業を進めたいのか知りませんが、中途半端な市だと思っています。
- 小中一貫について今後の予定を示してほしい。
- 小学校数が多く生徒が少ないので合併を考えてほしい。
- 学校によって子どもの人数が偏らないでほしい。
- 小学校の人数が地区ごとにバラつきがある。久米地区にいと子どもが少ないので、引っ越しか私立への入学を検討している。併合等の噂もあるが、通学面も心配なので、小・中学校が1か所に集中して、子育て世代が多いエリアを探している。
- 子どもが減っている割に、小学校が複数あり、分散していると思います。統廃合を進めてほしいです。
- 小学校区を見直して、人数の少ない地域は合併するなり、多いところはもう少し分散させて、バランスよくしてほしい。
- 精義小学校が1クラスしかないのが心配です。今後、小学校に入って、いじめにあった

ら逃げ場がないように思います。できれば合併などして生徒数を増やしてほしいです。

- 少子化により1つの学校における生徒数も減っていき、多様な人間関係が築きにくい環境になりつつあります。生徒数が少ない小学校は中学校区域で統合するなど、子どもが固定された人間関係だけでなく、広くて多様な人間関係の中で人間性を育む環境を整備していただきたいと思います。

(14) 習い事・教育

- 教育を受けさせる場所が少なすぎる。
- 保育園での習い事支援や、習い事の送り迎えバス等があるとありがたいです。
- 愛知県が創設した「ラーケーションの日」を桑名市でも取り入れたらよいのではと思います。平日が休みの保護者が、子どもと一緒に過ごすことができますし、子どもも校外で普段と違う体験ができるからです。
- 教育についてですが、LGBT等のジェンダー教育ではなく、根本的な性教育を充実させてほしいです。家庭でも教育はするべきですが、家庭ごとに差がありすぎると感じるし、それでは意味がありません。他人を尊重し、傷つけることのないように、全体の意識を変えるために教育として必要だと感じます。
- 習い事をたくさんしたいが、金額・場所・時間をもう少し考えてほしい。
- 習い事をさせたいと思っていますが、子どもが2人いるため、出費がかさみます。1部補助をしていただいたり、市に運営していただいて、通わせやすい月謝で習える環境ができると助かります。
- 大山田地区に文化的公共施設が充実しておりません。ライムの丘は大きな面積をしめしますが、一部市民と高齢者にしか今の時点で恩恵がありません。これからの桑名市を担っていく子どもたちが貧富の差に関係なく、学べる場所が必要であると強く感じます。

(15) ファミリー・サポートセンター

- ファミリー・サポートセンターの会員数とメンバーの充実。(同様5件)

【同意見の内容】

- ・支援してくれる人が少ない。(同様3件)
- ・ファミリー・サポートに登録しましたが、利用までには至りませんでした。近所のサポーターさんがいない等の理由でした。市からもお金を出してサポーターさんへの支払いを増やしてあげる等、サポーターさんを守ってあげてほしいです。
- ・ファミリー・サポートを利用しようとすると、急には、みてもらえる方がいなかった

- り、お金が高かったり援助サポーターがその区域にいないため困る。利用したいと思っても難しい。学童を利用しようとしても、土曜日も1日みてもらうことができない。
- ファミリー・サポートも名古屋に比べて機能していないので、仕方なく多額のお金を支払って、シッターを利用している。
- 学童が徒歩圏内になく、学童への送迎等してほしくてファミリー・サポートの相談に行ったが、会員の人数が少ない。もし送迎してくれる方が現れたとしても1回の料金等を考え使用を断念しました。市に相談しても学童に運営任せている、学童に相談しても学童まで何とか子ども送ってもらわないと、ファミリー・サポートは人数が少ないので希望に添えるかどうかわからない、と言われ、仕事を辞めないと小学生って育てられないんだなと当時悲しかったです。
- ファミリー・サポートが利用しにくい。祖父母や親族がいないと働くのも勉強するのも難しい。
- ファミリー・サポートを利用しようとしたら、条件が合わず利用しにくいです。
- ファミリー・サポートもありますが、利用者が少なく、私自身も利用したことがありません。制度の拡充により、仕事と家庭の両立ができる環境をつくってほしいと思います。
- 習い事の送迎や仕事が急に延びたとき等、当日にファミリー・サポートを利用したいが、当日は利用できないため、予約制だと意味がない。困ったらその日にすぐお願いすれば、300円程度で助けてもらえると大変助かる。

(16) 子育て支援センター

- 子育て支援センターは年齢制限や就園児制限があり使いにくい（同様24件）
- 【同意見の内容】
- ・上の子の年齢が対象外で一緒に行けずに困る。（同様12件）
 - ・子育て支援センターを就園児も平日利用可能にしてほしい。（同様8件）
 - ・就園すると、土・日・祝日しか支援センターを利用できない。また、就学すると室内で遊ぶ場がまったくなくなってしまう。利用したくても制限があり、利用できないのが現状だと思う。数少ない支援センターなのに、なぜ2か所とも月曜休館になっているのか。休館日をずらせば利用しやすくなると思う。
 - ・平日の仕事が休みの際、親子で保育園を休んで、支援センターを利用したいが、桑名市は就園児が利用できないため、市外の支援センターを利用している。
 - ・支援センターが小学生も自由に利用できると思います。放課後、小学生が無料で遊べる場がないからです。以前、都内に住んでいたときは利用できたので、小学校の近

くにあればと思います。7年ほど前、長子と支援センターに行ったら7か月くらいからしか来れないと断られたことがあり、疑問に思いました。親子が自由に遊べるはずの支援センターなのに桑名はハードルが高いと、がっかりした記憶があります。1番辛い時期だったので、大人と話したかったです。誰もがいつでも遊びに行ける場所であってほしいです。

- ・幼稚園に行っていると、支援センターの利用が土日に限られており、夏休みや春休みに利用できなくて困っている。以前「にこにこ」の一時預かりを利用しようとしたら未就園児のみしか利用できず困った。空いているときは園に行っても利用できるようにしてほしい。子育て憩いの広場が階段を使わないと行けない場所にあり、小さい子どもと行くときに神経を使う。以前あったメディアライヴの2階だとエレベーターがあり、ベビーカーで部屋の前まで行けて便利だった。メディアライヴの場所に戻してほしい。
- ・ぽかぽかも小学生が使えなくなってから行かなくなってしまった。自由に使えるようにしてほしい。

○子育て支援センターがあって助かっている。（同様6件）

【同意見の内容】

- ・子どもを遊ばせられる場がありがたいです。（同様2件）
- ・相談できる場があることがありがたいです。
- ・他者との交流ができる場がありがたい。
- ・同じぐらいの月齢の子と会えるのが楽しいです。面白そうな講座はすぐ埋まってしまうので、複数回あると嬉しいです。支援センターにはたくさん保育士さんがいて、話しやすく助かります。

○子育て支援センターが1日2時間までの利用というのがとても不便です。（同様3件）

○幼稚園に通っていても春・夏・冬休み等の長期休暇のときに支援センターを利用できるようにしてほしいです。（同様3件）

○子育て支援センターが充実している。（同様2件）

【同意見の内容】

- ・支援センターの数が多く、綺麗に整備されている点が素晴らしいと思います。

○子育て支援センターの遊びについて、現在は個人遊びのみだが、集団遊びを取入れてほしい。例えば、午前・午後それぞれの部の終了15分前にみんなで片付けをして絵本の読み聞かせや手遊びをする等。転入前の他市ではそのようにされており、お友だちと一緒に片付けをしたり手を繋いで遊んだりできる機会があつてよかったと思う。個人で遊ぶ時間、お片付けをする時間、みんなで遊ぶ時間を習得させてくれるとてもよい取組だ

った。

- 近くに子育て支援センターがなく、自分の住んでいる地域に馴染む機会がないのが残念に感じます。上の子のときは、蟹江町に住んでおり、少人数のごく近くに住む方とのみ、毎日子育て支援センターで顔を合わせることで、自然な形でその地域に馴染むことができました。桑名は立派な支援センターはありますが、「ぽかぽか」などを利用したことのあるママ友たちと話すと、逆に疎外感や孤独感を感じるから行かなくなったと話しており、私もそう感じて利用しなくなりました。各地域に、小さな施設でいいので、その地域の方だけが主に利用できるような施設があった方がありがたいと感じる方も多いのではと思います。
- 支援センター等公共施設ではオムツは持ち帰らねばならないのは不衛生なので改善してほしいです。
- 支援センター等は市内在住の方がメインなので、他県の友だちと会うときに遊ばせる場所がない。
- 支援センターのスタッフで、子どもの主体性を軽視していると感じる人がいる。
- 支援センター「ぽかぽか」の2つの部屋を自由に行き来できるようにしてほしい。
- 子育て支援センターについて、もっと子どもがのびのびと遊べて親も交流が取れる場所になればいいと思います。平日に2か所ほど行ってみましたが、どちらも小さな子と大きな子が分けられず同じ部屋だったので、2歳児だった息子を遊ばせるには大きな声や動きで小さい子を驚かせないかヒヤヒヤして親子共々安心して遊べませんでしたし、「お子さんとの遊びに集中してくださいね」が徹底されていて他の親御さんと交流する余裕もなく、出会いの場にもなりません。結果、身体を動かすことが大好きな息子には公園遊びの方が合っているということで支援センターには行かなくなりました。年齢でお部屋を分けていただいて、もう少し親同士で話すことも許されるような雰囲気であればたくさん利用したいと思えたと感じています。
- 保育所に入ったら支援センターが冷たく感じます。土日に利用しやすくしてほしい。
- 子育て支援センターに行っても行事等が少なすぎる。毎週、イベントや対象年齢を変えて親子教室等を開いている市もあります。本市は先生たちが力を入れていないのが残念です。
- 雨の日の支援センターが使いづらい。「キラキラ」以外は、恐らく駐車場から屋根がついていないので、子どもたちを抱っこして行くのが億劫。「にこにこ」もせっかく2階から屋根があり入れそうなのに、2階からの入室は拒否されて、子育てにまったく配慮されていない。

- 支援センターによってルールが違うので、使いづらい。例えば、名札を付けないといけない等。住所・名前等を毎回記入するのが手間。
- 前はご飯も食べられて、昼からもそのまま遊べていた場所でした。子どもの遊び場がなくて困ります。
- 子育て支援センターに、食事を持ち込めるようにしてほしい。もしくは、子連れで食事ができる場所をつくってほしい。
- 支援センターの先生方は、職員室にこもってばかりです。遊び部屋に来てくれる先生は少しだけです。先生同士での私語もあり、結局子どもと遊ぶのは母親ばかりで、リラックスできないです。子どもの相手や親の話し相手になって、リフレッシュさせてほしいです。昼時間に閉館になるのもやめてほしいです。お弁当を食べる部屋があるといいと思います。
- 支援センターのリユース品は助かっています。
- 我が家は歳の差きょうだいなので、末っ子ができたとき、支援センターのプログラムに参加したかったのですが、第1子限定のものが多かった気がして残念でした。
- 支援センター・児童センターがもっと利用しやすい環境だと嬉しいです。
- 日・祝日に開いている支援センターが少ないので、もっと開放してほしい。
- 支援センターの職員さんが、忙しそうにされていて遊んでくれません。遊んでもらえるところだと思っていたので、残念でした。
- 広くて行きやすい場所に支援センターもほしいですが、イオンの中は、家賃が発生するので、採算が取れているのか疑問を感じています。毎月、いくら出資しているのか見直して、環境がよい場所への移転、施設の集約等、できることがある気がします。
- 3歳までは子育て支援センターをよく利用していました。低額で数時間預かってもらえるところがあればよいと思っていました。

(17) 休日・長期休暇の子育て支援

- 祝日の保育を充実してほしい。（同様3件）

【同意見の内容】

- ・祝日の保育施設がほしい。（同様2件）

- 長期休暇期間中の子育て支援を充実させてほしい。（同様15件）

【同意見の内容】

- ・長期休みの時の預かり保育があれば仕事をしやすくなると思います。（同様4件）
- ・長期休みはどこに預けたらいいのか、不安です。

- ・子どもを幼稚園に通わせながら仕事復帰予定だが、冬休み等は預かってもらえず、短縮保育も頻繁にあるため、有休が足りるか心配している。幼稚園でももう少し働く親に寄り添ってほしい。
- ・公立幼稚園の内容を拡充してほしい。フルタイムでも預けられる体制や長期休暇時の預かりが必要。
- ・長期休暇中の保護者の負担もありますが、子どもたちがかわり合える場が必要です。特に夏休みは期間が長いので、幼稚園を利用したいです。
- ・学童をフルで使うわけではないのに長期休み、確実に預けられる保険をかけるような形で毎月10,000円以上払わないといけません。長期休みだけでも確実に預かってもらえるサービスや事業が増えるとありがたいです。
- ・これから小学生になる子どもがいます。長期休みのとき仕事は休みではないので困っています。長期休みのとき預けられるところがあればよいと思います。
- ・夏休み等の子どもの長期休暇に利用しやすく誰もが利用できて、安心して楽しく過ごせる預かり場所がほしい。利用するのにあたって、抽選はやめてほしい。
- ・小学校の夏休み等の長期の休みの預かり施設・場所を増やしてほしい。
- ・年長～小1の春休みに預けるところがない。
- ・育休中の保育時間の制限が厳しい。保育料を払っているのだから、夏・冬休みの預かりもきちんとしてほしい。今年の冬休みは、半月しか行けなかった。
- ・春・夏・冬の長期の休みがあると、仕事ができず困る。長期休み中の預かり保育があるが、通常の保育料+預かり保育料がかかり負担。休みや午前保育が多すぎる。
- 土曜休みなのに、出勤していることにして子どもを預けている人を見かけます。かかわるのは大変ですが、対策してほしいと日々思っています。
- 土曜出勤もしたいので事前申請なしでも土曜保育をできるようにしてほしい。
- 仕事がない日でも、保育園の土曜保育を利用できるようにしてほしいです。
- 就労時に土曜保育を依頼したら「子どもがかわいそうだから」と預かりを拒否されてしまった。通常勤務と同じ就労の土曜日だったのに。その時は嫌な気持ちになりました。
- 幼稚園に入園してから、土・日曜日や長期休暇で、一時預かりが利用できなくなり、母親の病院受診や両親揃っての勉強会に参加できなくなりました。にこにこのような一時預かりを入園後も利用したいです。
- 仕事をしていないと、子どもを預かってもらうことがまったくできないので、夏休み等の長期休暇中に、週1～2日、通うところか、地域のどこかで預かってもらえたらと思います。

- 保育園や幼稚園等のうちがいいが、小学生になったとたん仕事がしにくくなる。早帰りや長期の休みについて、学童を利用していない子にも、何か支援があると嬉しい。
- 日曜日に仕事で両親とも働いています。小学生になっても休日預かりをしてくれる施設があればありがたいです。

(18) 安心・安全・子育て環境

- 安心して子育てできる環境にしてください。
- 通学路を整備してほしいです。危険な道がたくさんあると思います。
- 横断歩道の安全対策として、歩行者分離の信号への切換えを検討してほしい。
- 狭い道や踏切が多く子どもが歩くには危険な道が多い。歩道橋が少ない。
- 何年か前に、益生小学校の教室の天井が剥がれ落ちたことがあるという事件を知り驚きました。益生駅近くの歩道橋の激しい腐食も、安全面で大変気になっています。多くの要望がある中で優先順位がつけづらいのかとは思いますが、生死にかかわることは、迅速にご対応いただきたいと切に願っています。
- 通学が難しくなるという課題もありますが、自動運転バスを定期的に走らせ、子どもがバスに乗った時間を保護者がアプリで確認できるようなシステムを導入することで、対応できるのではないかと考えます。保護者が子どもとかかわる時間を社会全体で支援し、子どもが自分たちの生活する環境の中でのびのびと成長できるような体制を構築していただくことを望みます。
- 公園などの塗装剥がれ、途中で歩道がなくなる道、通学路の歩道の幅が確保されていない、ベビーカーで散歩するには道がガタガタして狭い。
- 歩道がない道路や閉ざされていない側溝等、整備されていない環境で子どもを歩かせるときに危険が多く、車移動を余儀なくされてしまっているのを、改善してほしい。
- 子どもが小さい頃、ベビーカーや自転車を利用していたが、道路・歩道が狭く、でこぼこしていて補修がされていなかったり、石畳みが多く、スムーズに通れず、こけそうになったり、とても不便に感じた。そうした整備にも目を向けてほしい。
- 小学生の子どもがいるのですが、死角になるところ、道が細いのに、車が飛ばして行くところ、通学時間帯しか人が横断しないため、普段あまり注視しないところ等、通学路で危ないところを改善してほしい。一旦停止線や横断歩道をつくってほしい。理想は押しボタン式信号。
- 野田地区のカーブミラーが冬の朝、曇っていてまったく見えません。通学路にもなっているのが危ないです。

- 三岐鉄道、蓮花寺駅をほぼ毎日利用しますが、駐車場から出るところから見えるカーブミラーが3年くらい前から片方壊れたままです。小学生が通学路として利用しています。自転車の学生もたくさん通ります。なぜいつまでもミラーを直さないのですか。子どもの命にかかわることです。
- 桑名はインターロッキングが多いが車椅子やベビーカーは移動がしにくい。ガタガタする。まちづくり部門と連携してこのような歩きにくい歩道をやめるようにしてほしい。見映えをよくしただけでは、観光客は来ない。それよりも住民が歩きやすい歩道にしてほしい。
- メディアライヴの授乳室が使えないのはどうしてでしょうか。ホームページを見て使用できと思っていたのに、閉まっていて、1階の待合室で授乳しました。使えないのであれば、赤ちゃんの駅の対象外にしてください。
- メディアライヴの駐車場の数があまりにも少ないので、1歳半健診や3歳健診のときに、不便を感じました。
- 公共施設などにもっと赤ちゃんと親が過ごせるベビースペースをつくってほしい。
- 高齢者による自動車・自転車の運転で危険を感じる事が多く、摘発・指導等を強くお願いしたい。

(19) 防犯・防災

- 大山田西小は学校内に地域に開かれた場所をつくと聞いた。子どもの安全に配慮した政策であるとは、少しも思えないので、やめてほしい。そうした取組が他の学校にも広がっていかないようにしてほしい。よく分からない人が出入りするのとはとても不安。犯罪が増えそう。子どもの安全をもっと考えてほしい。
- 大山田北小、光陵幼稚園の敷地内にシルバーサロンがあるが、不特定多数の人が出入りすることに不安を感じる。
- 安心して過ごせるよう治安をよくしてほしい。
- 不審者情報がよく入るため、日頃からパトロール等、働く親に代わって安全を守ってもらえる機会が増えるといい。
- 災害が起きたときの子どもへの支援について知りたい。

(20) 学童保育

- 学童保育が高い。安くしてほしい（同様24件）
- 【同意見の内容】

- ・他の市に比べ、学童保育料が高い（同様４件）
- ・学童保育の無料化などを進めるべき。
- ・聞いた限りでは、値段の割に内容が不十分だと思う。費用が安い名古屋市が羨ましい。
- ・地域によって内容や利用料にも差がある。
- ・学童が少なく選択肢が少ないなかで、利用料が高いのは辛いです。
- ・小学校入学後の学童についての支援はかなり薄いと感じている。働くことへのハードルを高めていないか。民間も巻き込んでの支援等を検討いただきたい。
- ・学童保育費の補助をお願いしたい。きょうだい割引が僅かで複数人預けると赤字だが、安全面から帰宅させるのには不安がある。
- ・費用と見合わない内容。名古屋のトワイライトのようなものがあれば理想的ですが、せめて費用を四日市等近隣と近い水準に引き下げてほしいです。
- ・安心して預けられない環境（金額・時間も親の送迎を組み込むと短い）にあることを、今１度市で検討してください。そもそも、預かり場がなさすぎる。
- ・学童の預かり費用が預かり場所により、異なり、近くの学童はとても費用が高いと感じる。学童の環境もアパートの部屋で子どもたちが過ごすため、衛生環境的にも気になるところがある。桑名市の学童施設の整備をしてほしいと思う。
- ・学童に入れません。保育料も高かったのに働いていても全額保育料へかかってしまったり、子どもが風邪のときは保育料だけかかってしまうのでマイナスのときもありました。子どもが小さいときはかなり大変でした。
- ・学童保育は１人当たり月額20,000円、きょうだいがいる場合でも補助もないため、物価高や賃上げが追いついていない企業も多く負担である。しかし、働かねばならず、子どもへかけたい時間がどんどん減る。せめて、第２子以降は半額にしてほしい。

○学童を学校内につくってほしい。（同様６件）

【同意見の内容】

- ・修徳小学校の学校内への学童の移動を希望します。
- ・就学後は地域によって学童がなく、学童がなければ働くことが難しい。教育集会所は預かってくれる時間が短かく、不便な時間で、フルタイムで働くには祖父母に頼らなければいけない。学童を学校内につくってほしい。
- ・学童を多度青葉小学校にもつくってほしい。
- ・すべての学校に学童を設置してほしい。

○トワイライトのようなことを行ってほしいです。（同様５件）

【同意見の内容】

- ・小学生の預け先が就労していないと預けられない点や、預ける金額が高額な点を、名古屋市のトワイライトのような制度にしてほしい。
- ・小学生になると学童は満員、1人下校、行事は平日等が多く、長く働くことが難しく感じる。学校内トワイライトがあるといいと思う。
- ・桑名市にトワイライトスクールがないことが残念です。名古屋から引っ越してきたい職場の人がたくさんいますが、子育ての環境が充実していないと、桑名市へ引っ越してくるメリットがないため、トワイライトスクールや学童を充実させてほしいです。

○学童が少ない（同様4件）

【同意見の内容】

- ・ボランティアで学童をつくってください。預かってくれるところがないし、人数オーバーの意味が分かりません。廃校する小学校で無料の学童をつくってください。
- ・放課後の子どもの居場所をつくってほしい。学童が学区にない。
- ・名古屋勤務の場合に遅くまで預かっていただける保育施設や学童が少ないと感じています。通勤に時間がかかっている人が子育てしやすいまちになってくれればと思います。

○学童等の拡充と質の向上（同様3件）

○学童保育の受け入れ人数を多くしてほしい。（同様2件）

○放課後児童クラブの老朽化

○学童保育について、桑名市では学童保育は民間に委託しているが、それぞれの実態、現状を把握しているのか。また、学童保育をしている指導者が公園など連れて行ってくれるときがあるそうだが、スマホを弄ったりして、しっかり監督されていないようである。何かあっては困る。市でも定期的に監督していただきたい。認定こども園の不適切保育のようなことが発生している以上、市への不信感も強い。しっかり訴えても聞いてもらえるのか、対応してもらえるのか不安である。

○来年の学童に入れるかが不安です。そもそも学童はどんな場所なのか、インターネット等にもほとんど情報がなく、閉ざされていると感じます。修徳地区ですが学童がアパートの一室であり外から見えづらい環境であることや学校から少し歩く必要があることに不安を感じています。利用者が少ない幼稚園の園舎等を間借りできないかと思っています。

○小学校には学童がなく、ファミリー・サポートの方に小学校から離れた学童に送迎をお願いすることになりそうです。小学校が合併するまでの2年間利用しなければならないが、料金も高く、経済的にも不安です。また、安心に送迎してくれるかどうか不安で

す。少人数しか利用しなくても小学校内に学童を設置してください。

- 両親がフルタイム共働きで、いつでも頼れる親族も近くにいない場合、子どもの帰宅時に家に大人が誰もいない状況になります。安全面でとても不安です。どんなに児童数が少ない学校区でも、通学する児童が存在する限り、各小学校のすぐ近くに、必要な家庭が必ず利用できる学童保育を提供してもらいたいです。
- 働くうえで保育園の存在がとてもありがたいです。子育ても大事だけど、働きながらその背中を見て子どもも成長してほしいと思います。小学校に入学すると、保育園のように預かってくれる場所があるのか分からず、近くに見てくれる親もいないため仕事をセーブしないといけないのか悩んでいます。学童や放課後児童クラブ等の情報もないため、小学校の学童について聞いてみようと考えています。市役所にも相談してみたいと思います。
- 学童を市内すべて民営化をしてほしい。そのために、市からの補助や援助をしてほしい。保護者主体の場合、それがネックとなり預けるかどうか不安がある。一部が保護者主体、一部が民間ということに不満を感じている。就学前の時期だけでなく、就学後の子育て支援も考えてほしい。働き手不足と言われる昨今、保護者が安心して子育てと仕事を両立できるように施策を考えてほしい。
- 学童に入所したくて連絡すると「説明会に出ていないと、入所できない。」と言われ、鍵っ子を余儀なくされた。説明会に出ていなくても入所できるシステムにしてほしい。
- 学童・保育所もなくてはならない施設です。長時間保育や教育者の充実も図っていただきたいと思います
- 放課後児童クラブの運営・管理が各事業所となっていること。利用料金に助成制度がほしい。保育園のように市が管理に入ってほしい。
- 本当に「子どもを3人育てられるまち」でしょうか。両親とも働かなくてはならない時代がきています。小学校に入学後に安心して預けられる場所が少なく、学童も経営が厳しいです。このままでは、学童は続けられず、親は預ける場所がありません。将来を担う子どもたちが、安心して過ごせないまちでは、子育てもできません。学校や学童、保育所や幼稚園にもう少し予算をつけ、子どもたちがいきいきと過ごせるようにしてほしいです。
- 学童に入りたいと思っても、夏休みの期間等、長期の休みのときのみ利用ができないので、今後の働き方を悩んでしまいます。
- 土・日曜日も学童に預けられたら、とても助かります。
- 学童保育について、長期休みは保育園と同様に7時から19時まで対応してもらいたいで

す。時短は小学校に入ると取れなくなるのに、学童が保育園より短いと正社員を維持できません。桑名で生活していると小1の壁が高いです。

○城南小学校の学童を旧城南幼稚園の場所に移動するなどしてほしいです。

○両親がフルタイムで働く家庭にとっては、小学生になってからのサポートが少な過ぎると思います。学童も18時半終了で、休み期間のスタート8時も厳しいです。

○伊曾島地区の高学年は、学童の利用ができる施設が少なく、長期の休みに子どもを預かってくれる施設がなく困っていますが、もう少し学童が利用できるよう、受入れ人数を増やす検討をしていただきたいです。

○放課後児童クラブ等の情報はどこで収集してよいか、分かりにくい。また、説明会等は、もっと早めにしてほしい。

○短時間労働の方が学童を利用しづらい。地域によって学童がまちまちなのはどうかと思う。小学生の放課後の預かりの充実をお願いします。保育園の短時間労働をなくしてほしい。

○小学校低学年の子どもたちが、安全に過ごせる場所について、もっとよく考えてほしい。学童保育も保護者運営でなく、保育園のように、しっかりとした施設になってほしい。

(21) 父親の子育てへの参画

○子育ては母親がするという意識があると思う。市のほぼすべての施策のアンケートの記入欄では男性が先にくるが子育て関連の保育所の申し込みや、このアンケートでも母親の仕事の状況の次に父親の仕事の状況が聞かれる。なぜ子育てのときだけ、女性が先なのか。

○父親が育児参加していないことが多い。周りも含めて市全体で父親学級等、コミュニティの場が多くあるといい。

○子育て等で夫婦の意見が合わなかったときや妻から夫に口で意見したとき、夫から暴力を受けたりするので、父親が参加する子育て教室があればいいと思う。子どもに口にキスを迫るので、「菌がうつり風邪をひくから。」とその行為を注意すると怒ってくる。子どもへの悪影響を及ぼす行為等の勉強会があればいいと思う。

○父親が職場・仕事のことで育休が取得できなかったため、母親は仕事できません。母親が病気になっても、1日も休めません。

○パパセミナーの機会を増やしてほしい。(パパ同士の交流会)

(22) 支援が必要な子ども・世帯

- 支援が必要な幼児に対して、ブレ保育を市で行っていただけると、保育園や幼稚園の入園がスムーズにできるかと思います。
- 小学校の学習支援員さんを増やしてほしいです。サポートが必要な子が多く、手が足りていないように思います。
- 障害児の育児情報が知りたいです。障害児のみが通える幼稚園があったら親が生きやすいのかと思います。初めての障害児の育児で健常の上の子のときと真逆の別世界で情報が分かりません。幼稚園はどこに行けばよいのだろうか、通える小学校は桑名市にあるのだろうかと考えてしまう日々です。健常の子たちが行く支援センターも行きにくかったです。他のお母さん方と話すことで障害のことで気を遣わせてしまう。体重が重たくなってきて、肢体不自由児のためずっと抱っこすることが厳しくなってきたのでかかりつけの小児科がバリアフリーで、バギーで院内に行けるようになったら助かると思います。言葉が伝わらないのでダメなことを教えられず上の子の目に簪を投げてしまったりするため、よい方法があれば知りたいです。
- 奥さんは3人目の子どもがほしいようですが、次男が重度の知的障がいかつ、私の仕事が遅いので現実的に面倒を見てもらえる先はなく3人目は諦めざるを得ない。また、市ではなく国であると思いますが障がいに対する手当に所得制限があるのは優しくないと感じています。児童手当が減る、なくなるは子育て層全体の話ですので、フラットだと感じますが重度の障害児を育てる親への手当てに所得制限を設けるのは差別のようにも感じてしまいます。
- 発達相談の需要に対して供給が追いついていない。発達の度合いがグレーな子に対する支援がない。発達がグレーな子が医師の診断をもらってからやっと療育に結びつくことが多い。小さい頃から多くの子に対して、支援をしてほしい。
- 外国人に日本での子育て等の指導や説明等がないので、ちょっと残念です。
- 発達に困り感のある子どもの相談や医療へ繋がるのが難しく、それまでに親の心が折れる。
- 何年たっても進歩を感じない。発達障害、グレーの子や、経済的に貧困とは言えないがまったく余裕がない、就労はしていないが就労している以上に忙しい生活を送っているなど、制度のひずみにいる家庭にとっては何の支援も感じられない。
- 発達外来のような病院は遠くに行かないといけないので、苦勞する。発達支援の申し込みが多いせいか、順番待ちが長い。
- 病気がある親への支援についてですが、家事育児が立ち行かず毎日大変困難な状況でした。

地区担当の保健師の方に相談しましたが、私が就労しておらず祖母が近くで日々サポートできる体制があることで、育児サポートや保育園の利用はできないとの案内でした。案内されたのは、月数回、数時間の一時預かりやヤクルトレディの託児所、それでも困難であれば一時的に乳児院に入れてはどうかとまで言われました。結局全員が無理をし、追い詰められ身体を壊しながら何とか今まで育ててきましたが、当時保育園へ半日でも行かせることができれば、もっと追い詰められることなく、よりよい育児ができたと思っています。闘病中であれば、就労していない方が多いと思いますので、そういった家庭への柔軟な支援・ご対応があればよかったと今でも思います。

- 学校の特別支援学級の担任には、専門性の高い教員を配置してほしい。普通学級の担任を持たせられないような教員等、指導力不足の教員を配置することは障害者差別だと感じる。
- 発達障害や発達グレーの子が増えているなか、小学校の支援の先生が足りなかったり、児童発達施設や放課後等デイサービスが足りていません。
- 障がいを持った子どもたちが、他の子との関りを学ぶことができる、学校外の施設、放課後等デイサービスや児童発達支援の施設を充実させてほしい。子どもに対しての施設が少なく、一杯で断られるケースが多い現状がある。
- グレーゾーンの子どもが就学前に、作業療育、集団療育等へ行けるよう、津市のように津市児童発達支援センターやことばの教室を充実させ、プロフェッショナルを雇ってほしい。
- 私は子どもと一緒に成長できているかなと思っています。障害がある子がいるので、大変なことも多いですが、祖父母と一緒にいてくれるだけで、すごくにぎやかで毎日、忙しいけど幸せです。
- 桑名は住みやすく支援が手厚いので子育てしやすい環境ではありますが、病児保育だけでなく美容室等、普段使用したい場所であっても障害を理由に断られることが多かったので障害に対してもそうですが、個々のニーズに合った場所が増えてほしいです。
- 発達障害児をサポートしてくれる施設がもっと増えてほしい。障害児を持つ親は、共働きが難しいので、長時間の預かり施設がもっとあれば、働きやすくなると思う。
- 子どもが障害者になったことで、とても生きづらく感じます。「何かあったら言ってください。」とよく言われますが、何かある前のアクションがもっと必要で重要なのではないかと思います。

(23) ひとり親への支援

- ひとり親への支援をもっと手厚くしてほしいです。（同様3件）
- 児童扶養手当の所得基準に該当せず、ひとり親の援助はほぼ受けられていない状況です。同じひとり親でも仕事をセーブし、サポートが手厚い人の話を聞くともどかしい気持ちもあります。利用できるサポートがあればありがたいです。
- 母子家庭への支援がすごく足りない。両親と同居していて一定の所得が両親にはあっても切り詰めて生活を送っているため金銭的に余裕なんてない。生計も別になっている。みんな同じひとり親家庭なのに母子手当をもらえる人ともらえない人、医療費などの免除を受けられる人と受けられない人がいるのはおかしすぎる。誰かと同居していても金銭的苦労をしていることをもっと理解するべきです。ひとり親家庭への支援を見直す必要があります。
- 母子家庭・母子手当を手厚くしていただきたいです。母子家庭・母子手当の基準を見直していただきたいです。世帯収入で判断されることは残念でした。
- ひとり親の恩恵を最大限受けて、毎月のように旅行や自分の子どもに物を買って与えている人をみると真面目に細々と暮らしているのが、馬鹿らしくなります。
- 子育て支援も大事ですが、ひとり親世帯に対しての保障も厚くしてほしいです。何度かひとり親になることを決意し、市や知人に話を聞いてみましたが、ひとり親では生活が難しいです。子どもの対しての支援も必要ですが、親に対しての支援も検討してください。

(24) 多子世帯

- 多子世帯への支援を手厚くしてほしい。
- 多子世帯にさらに手厚いサポートをすることで子育て世帯に優しい市であることを積極的にアピールして、他市との差別化を図ることで桑名市の魅力向上にさらに取り組んでほしいです。
- 「子どもを3人育てられるまち」というコンセプトを示されていたことがあった気がします。実際子どもを3人以上育てていますが、保育園の入園にあたって何度も困ったことがあります。多子世帯に対してのポイントをもう少し考えてほしいです。桑名は好きですが、今現在子育てしやすいまちとは感じていません。
- 第3子以降の優遇措置が少ないので、もっと充実させないと、桑名市からの流出は避けられないと思います。
- 子どもが3人いて、周りから冷ややかな目で見られるので子育てし難い。

(25) 子どもの育ちを支える人材確保

- 保育士を増やして、希望の保育園に入れるようにしてほしいです。
- 保育士が足りていないと聞きました。保育園に落ちました。保育士への待遇を改善する必要があると思います。
- 保育士の待遇を改善し、人数を増やし、保育園の定員の拡充を行ってほしい。
- 保育士さんが足りているか、待遇は悪くないか気になります。より多くの働く親の保育所の第1希望が通るためには、保育士さんの配置の改善が必要なのかと考えています。
- 保育士不足なのか保育園に入れないので対策してほしい。
- 保育士の確保。先生たち、一人ひとりの負担が大きい。
- 保育従事者の方の負担が大きければ手厚い処遇や人員等を考えていただければと思います。
- 保育士が不足しているなら、保育士の時給を上げたらいいのではないですか。
- 保育従事者の収入をもっと上げて、モチベーションを保ってほしい。
- 保育士さんをもっと増やして、手厚い支援をしてほしい。なり手がいないと聞くので、給料をあげてなり手を担う。
- 保育士さんの働く環境をもっとよくしてあげてほしいです。
- 保護者のニーズの把握も大切ですが、それを踏まえて支援をただ拡大するだけでは、支援の場で働く職員の方々がいっそう疲弊するだけです。不適切保育の問題があったので、子育て支援の「質」に力を入れてください。まずは保育施設や学童保育で働く職員の方々の待遇をよくして、様々な知識や技術を学ぶ機会を提供してください。
- 保育士さんの定数を市独自で増やし、保育士さんの負担を減らすこと、なり手や給料を増やすことにより、一人ひとりの子どもを大切にしたい子育てを望みます。子育てや教育にしっかり予算を取ってください。
- 低月齢で保育士さんの人数の都合上、子どもを預けられるのが8時からしか無理と言われてしまい、フルタイムなのに結局時間の制約ができてしまう。市の取組としてぜひ、保育士さんの確保も行ってもらいたいです。
- 保育士・幼稚園教諭の人数不足。保・幼職員の待遇改善が必要だと感じています。これらが改善されると、子育て世帯が増加すると思います。
- 保育士や教師や学童職員などの手当充実など教育医療福祉分野への助成が増えていかないと人材不足となり預けられなくなったり適切な教育が受けられなくなったりすると思います。
- 保育士さんたちの給料をもっと手厚くして、働きやすくゆとりのある環境を整えて、保

育施設を充実させてほしい。園内での虐待が起こらないようにしてほしい。

- きれいに整備された子育て支援センターに、ほとんど毎日通いとても親身になってくださる保育士さんのおかげで、親子共々充実した日々を過ごすことができています。今後、市内の保育所等に入所を希望していますが、周りの保護者から「保育園に入れなかった。」と聞き先行きが不安です。子どもを安心して預けることができる施設・人員の充実を強く希望します。
- 保育園やこども園の先生の数が増えてほしいと思っています。家庭での虐待を防ぐために就労していない親がいる家庭も息抜きに定期的に預けられた方がいいですし、まだまだ手のかかる年少さんは先生1人で大勢見るのは大変そうです。年少に上がる時に、「年少から見ると先生が減るので、トイトレが進まず度々おもらしするようだと困ります。家で朝に大便をさせてから連れてきてください。」と若干の無理難題を言われて親も子どもも、恐らく先生も辛い状況でした。余裕のある保育や子育てのために、保育士の拡充を望みます。
- 保育所に入れなくて、仕事に戻れません。他市ですが、保育士として働いていました。どうして、保育園入園調整の際に、他市の正規保育士は加点してもらえないのでしょうか。桑名市で保育士として働きたいのですが、年齢制限のためパートしかない状況です。どこの市町も保育士が足りていない状況です。どうか保育士に仕事をさせてください。

(26) 交流

- 子育て支援の種類が乏しい。妊娠中、産後、育休復帰、などステージごとに仲間がつけられるような事業が細かくあるとありがたいです。出産後はあっという間に時間が過ぎてゆくので、その間に自分で人脈を切り開くのは大変でした。一番参考になるのは、先輩ママ等の生の声なので、初めての出産での出会いや学びが、その後の出産や仕事への意欲に繋がりました。
- コロナ禍で支援センターの利用もほぼできなかったのも同月齢の子を持つ親との交流ができませんでした。
- 地区で同じ年代の保護者の方の集まりがほしい。

(27) まちづくり

- 子どもと一緒に出かけられる、親同士で出かけられる場所が少ないです。支援センターが駅前にもあるのににもかかわらず駅ビルや公園もないため、交流がとても少ないです。人工芝の公園にベンチや駅ビルに総菜屋やカフェがあるだけで、ママ・パパたちが、も

っと支援センターの周りに出やすいと思います。

- 図書館も利用しますが、駐車場が狭くとても不便です。大山田か陽だまりにつくってほしい。
- 図書館の駐車場が狭いし、停められる台数も少ない。年寄りや子ども連れを優先して停めさせてほしい。柱にぶつかるので、ドアが開かず、乗り降りもできません。
- 長島にもう少しお店を出してほしい。本屋さんもない。習い事も弥富、桑名まで行かないとなかなかない。休日診療所も遠い。
- 地域で生活するにあたり、地域の空き施設の活用、交流を含めて広く計画できるのが、市の力だと思うので期待しています。保育係と教育（小・中）の部門は、もっと連携しないと、年齢差の大きいきょうだいがいる家庭は大変だと思います。
- NTNサッカー場の女子トイレの数を増やしてほしい。特に女子サッカーの試合の際は、数が少ないことにより、困っている姿が見受けられる。

(28) 仕事と子育ての両立

- 共働きが優遇されること。働く人間が損をして、働かない人間が得をすること。制度、税金の使い方。
- 妊娠した際に、仕事を退職しなければなりません。また次の職場を探したいのですが、妊娠や子育て中ということを喜ばれない職場も多いと思うので、小さな子どもがいる主婦でも歓迎の求人情報サイトがあるとたいへん助かります。また、働いたとしても自分の給料1か月分より保育料1か月分のほうがずっと高いのが緩和されるとありがたいです。本当は興味のある仕事を選びたいけど、子育てが絡むと諦めざるを得ない場面が多くて悲しいです。
- 保育園に入らなければ育児休業延長ではなくて、希望者は2年間育児休業を取れるようにしてほしい。
- 近くに頼れる親族や友人がいない共働き世帯は、子どもや保護者が病気やケガになった場合とても困ると思います。自治体が保育施設や医療施設を充実していくことも重要な施策だと思いますが、親としてはできる限り自分たちで面倒をみたいと考えるものだと思います。その中で、企業に育児に必要な休暇制度がなかったり、制度はあっても気軽に利用できる風土が根付いていない場合には、休業や退職という選択を選ばざるを得ない世帯も少なからずいるのではないのでしょうか。企業の育児に対するリテラシーを上げるためにも、経営層を対象としたセミナーの開催や、周知に予算をかけてほしいです。
- 幼い子がいても働ける在宅ワークなどを紹介してほしい。

- 仕事と子育ての両立は、本当に難しいです。通勤時間・勤務時間に対する配慮がないと両立は不可能です。また、職位に対する資格もあるため、よほど精神的に強くないと、フルタイムでキャリアを積んで子育てするのは、厳しい現実かと思います。
- 子育て中のママが仕事と両立できるように、働く職場で理解し、あたたかく受け入れてもらえるような企業との橋渡しをサポートしていただけると嬉しいです。
- 仕事と子育てとの両立は、フルタイムで働く者にはとても無理です。心身ともに少しでも楽になれるような支援をお願いします。子育てが、まだまだ女性中心になっている現状を何とかしてほしいです。

(29) 情報提供

- 市のホームページが見づらい（同様4件）

【同意見の内容】

- ・子育て支援等をどこで知ることができるのか、何があるのか、分かりにくいです。一覧になっているもの等があると嬉しいです。
- ・どんな取組が当てはまり利用できるのか分からない。役所に聞きに行かなければならない。
- ・何か知りたくてもサイトでは言葉が難しく理解できないことが多々あり、結局、人に直接聞かなければいけません。子育てが初めての人にとっては、政策等も無知のことも多いので、もう少し分かりやすいと助かります。
- 分かりやすい子育て雑誌が、発行されると助かります。
- 子育て支援の情報がばらばらで利用方法や条件・料金等、サービス内容が分かりづらく、年齢ごとに利用できるものや施設の案内を配ってほしいです。もうあるかもしれませんが、私は手にしたことがないです。
- 予防接種・健診の案内がしっかりされていない気がします。地域によって違うから、小学校までの一連の流れ等、子育てに関しての情報を教えてほしいです。子育てブック（予防接種の時期、健診がいつか）を家に届けてもらえと嬉しいです。
- 最近は子育て事業に力を入れていると感じます。LINEやアプリ等、使いやすいツールで発信してくれているので、情報が得やすいです。
- 出生届・転入届を出す際に、メールアドレスやLINEの登録をし、子育て中の役立つサービス等のお知らせを送ってもらえるようにしてほしいです。
- 母子モアプリで、支援センターや図書館で行われるイベントのお知らせが見られるようにしていただけるとありがたい。

- 明石市のようにメディア力もつけ、他市からの移住を増やし、税収を増やし、子ども支援に繋げてほしいです。せつかくの制度が、知られていないのはもったいないし、桑名市の魅力を伝えてほしいです。
- 保育園選びに悩んでいるので、園の雰囲気等、保育園が比較できるような情報をもっと知りたい。すでに情報があるならどこにあるかを教えてほしい。
- 回覧板や広報の内容は高齢者へのアプローチが多く残念に感じます。
- 子育て家庭としてLINE登録しているが、結婚支援事業の情報は流れてきても保育園の情報等子育てに必要な情報が流れてこない。支援センターの使い方も不明瞭。利用方法の開示とSNSでのリアルタイム予約空き情報の提供をしてほしい。
- 産前産後の同胞の保育園利用についての情報提供を、母子手帳交付時等にお伝えいただきかった。妊娠中に自宅安静となり同胞の育児が困難であった。産後も年子育児で不安や困難が多く、問い合わせた際には申込時期を過ぎており利用できなかった。事前に情報として知り得ていたらと思うことがあった。
- 他の県や市で議論されていることが議論されているのか情報がない。要望等の声を上げる場所が分からない。
- 子育てや教育が変わってきたのを実感しています。古い情報ではなく新しい子育ての仕方や考え、心理の情報発信を積極的にするべきだと思います。センターに来た人だけでなく、子育て以外の人にも幅広く発信することで周囲の理解も得られるはずです。
- 大変だけど可愛いので毎日が楽しみです。何かよい制度あれば知りたいです。
- 情報弱者への強化。オンラインに慣れている人は、情報過多になるほど集められるが、慣れていない人は、「何が必要か」を示すため、子どもに関する窓口は1つで案内してもらおう方が分かりやすくてよい。いろんな事業やアプリ等があっても分からないと困ったまま、何の助けも求められず疲弊してしまうので、子育ては大変、もう嫌に繋がってしまう場合もあると思う。いろいろ考えてくださっているのにもったいない。
- 市が行っていることを詳しく知ることができるようにしてほしいと思います。どんなことを行っているのか、子どもを預けるなら、どこにどのような方法で等、知らないことがたくさんあります。
- 各保育園の各学年の定員を予め開示してほしい。

(30) 行政

- 市役所の窓口で「お母さん」と呼ぶのをやめてほしい。（同様2件）
 - ・子育て関連部署は、子どもが中心になるためか、その母親という位置づけで「お母さ

ん」と呼ばれる。やめてほしい。名前で呼んでほしい。違和感しかない。

- ・問い合わせたり窓口へ行く女性に対し、一律「お母さん」と言われますが、せめて名字で呼ばれた方がいいと思います。理由は①予期せぬ妊娠に戸惑っている妊婦にとってはプレッシャーとなるため。②名字でやり取りをすることで、相談等の個人の事情が職員の方にも印象に残りやすい。我が家も何度か相談のお電話をしましたが、記録には残っているようですが前回の相談内容を把握されていないことも多く、再度説明することが多くありました。限られた時間で電話しているため、やり取りがスムーズであるに越したことはないと思います。③実の母親以外の女性が子育てをしている場合も多々あることと思うため。

○子どもが保育園に入園するまでのこと等、特にお世話になりました。子ども未来課の窓口の職員さんはとても感じがよく、話しやすかったです。これからも子育てをサポートしていただけると嬉しいです。

○子育て関連の手続きが、桑名市役所子ども未来課以外の支所でもできるようになるとありがたいです。

○特に子どもが小さい時期の予防接種・入園・保育園に関する手書き書類が多すぎる。

○いろいろな申請を簡単にしてほしい。LINEで申請できるが、どうしたらいいのかわからないときがある。

○窓口の対応が業務的すぎます。子育て世代は繊細なのに業務的に言われると頭にきます。親の健康があつてこそ、子どもの健康があります。子どものことばかり言わないでほしいです。最優先なのは母親の心身の健康です。それが保たれないと子どもの笑顔は生まれません。業務的に子どもの健康診断やご飯は食べているのか等聞かないでほしいです。

○以前、窓口で相談に行った際に、女性の方が対応していただきましたが、すごく冷たく、困っていたのに、あんな対応は駄目なのではないかと思いました。もう少し対応の仕方を考えていただきたいです。

○小学校で、2月28日に保護者と子どもたちが、一緒になって大掃除をします。市の方も来て子どもたちの学びの場である学校の状況を見ていただければと思います。

○保育施設において、私立と公立で待遇が分かれるのはなぜなのかと思います。保育園申し込みは市役所にもかかわらず、窓口で問い合わせても私立園に関しては答えられないのもなぜなのかと思います。ある程度把握しておくのはできないものなのでしょうか。

○窓口職員や保健師等から、提出済みの資料に記載した内容を把握しないまま対応されることがままある。

○窓口職員自身が市の条例や規定を正しく理解しておらず、手続きの際誤った案内をされ

たことがある。

- 離乳食のことで相談した際、「下痢や嘔吐がなければ、何でもいいんじゃないか」と言われました。赤ちゃん訪問でも「ミルク少ない方だよ。母乳をやめるのを決めるのは赤ちゃんだよ」と言われ、責められているようで信頼できません。
- 子どもが病気で入院しなければならず、他の子の学校・園の手続きで分刻みのスケジュールで多忙な中、市役所で病気の子の話を詳しく聞かせてほしいと言われ、ひとしきり話した後、「後日、電話で連絡します。」と言って、いまだに連絡は来ません。
- もっと市民の話をよく聞いて働いてもらいたいです。
- 上の子同室での出産施設がないので、2人目以降の出産時には、近くに身内がない場合にはリスクしかありません。まず、出産時に上の子をどうするのか等を支援してもらえるように考えほしいです。年子や上の子が幼いときは、四日市の乳児院が対応するのであれば、そのような案内を産前に教えてほしいです。産前に最悪を考えて、対応策をこちらが練っているのに、市役所は「必要になったら、来てください。」の一点張りでした。命にかかわる際に、2歳になったばかりの娘を家に残して病院に行けと言われていたのかと思ったら市役所の対応にがっかりした思いでした。もっと、出産時の対応から考えるべきです。こんな対応をされて、3人目は諦めました。
- 市役所の方々は皆さん感じよく、市内で知り合ったお母さんたちもとても助けてくれ、桑名市のことはとても好きです。子育て支援についてもこういったアンケートを取り、よりよくしようと思ってくださる背景も感じられます。
- 市の職員も人数が十分とは言えない状況かもしれませんが、その中でサービス向上をするのは容易ではないと思いますが、国の宝を守るため、よろしくお願いします。

(31) アンケート

- アンケートの質問が多すぎる。(同様4件)

【同意見の内容】

- ・子育て支援を考えているなら、アンケートの取り方も考えてほしい。このようなやり方をしている時点で今後の改善は期待できない。
- ・1/3程は関係がない。年代別に分ける等、回答しやすい配慮を桑名市は取るべき。

- WEBアンケートが入力しづらい。(同様3件)

【同意見の内容】

- ・はじめに子の生まれた年と月を入力しているのだから、5歳以上の方を対象とした質問が4歳以下の人に出題されるのはおかしいのではないのでしょうか。他の設問でも、

該当しない場合は飛ばしてくれと記載されていますが、それではせっかくのWEB回答の意味がありません。

- ・途中で保存できる機能を追加すべき。またWEBでは、生年月日をすべて記載しなければいけないのに対してペーパーは年月のみ。特定できるのではないか。

○表面だけやりました感を前面に出して、結局、根本的なところは何もできていないことが多いです。少子化を止めたいなら、やるべきことはたくさんあるはずです。このアンケートも必要があるのか謎です。金の無駄です。

○調査の中の設問について、なぜ選択数が制限される必要があるのですか。特に子どもの権利条約では大切にされるべき常識的なことであり、優先順位をつけるものではありません。

○このアンケートで何が聞きたいか分からない。

○ここに意見しても変わるとは思いません。

○アンケートの結果を知らせてほしいです。

○皆さんお子さんの年齢や人数によって悩みや苦労は変わっていくものなのかと思いますので定期的にこういったアンケートがあるとありがたいです。

○アンケートで希望を聞いてくださりありがとうございます。可能であれば、支援センターなどで実際の親子に聞いてみるのはいかがですか。

○このような意見を聞くアンケートを取ってくれて嬉しい。

(32) その他

○次年度で娘が小学生になります。保育園ではなかったPTAや学童の保護者会があり、負担が増えるという不安があります。最近では、PTAは任意とニュースでも言われていますが、久米地区では強制のようです。PTAも学童の保護者会も共働きの世帯が増えた今は現実的ではないと思います。仕事をしているから学童に入っているのに、夏休みに指導員の手伝いのため、仕事を休まなければいけないなんて、本末転倒です。保護者の負担軽減のための支援もお願いしたいです。

○今年、小学生になりますが、仕事をしている親にはPTAはきついと思います。

○多度山の登山道を自転車で走るのは禁止してください。また、登山道を近自然工法によって市民参加で整備してください。

○近所のお家の暖炉から異臭と灰が飛んできて、子どもの呼吸器官が心配です。10年間ずっと悩んでいます。

○観光客も桑名でお金を落としてくれます。長島・名古屋に近いのに本当に勿体ないです。

- 引っ越そうと思いました。
- 市内どこからでも、桑名駅へのアクセスをもっとよくしてほしいです。中央図書館へ行きやすくなるとうれしいです。
- 西側は坂道が多いので、車でないと生活が厳しい。子育て中はバスの割引等があると嬉しい。

2 小学生児童の保護者

(1) 子ども・子育て支援全般

○長子が成人したときも、第2子、第3子のまま数えてほしい。（同様2件）

【同意見の内容】

・桑名市から制度を変えてほしい。

・子どもの年が離れていると損した気分になる。

○桑名市は私が子どものときとは大きく変わり、とても子どもにとって過ごしやすい環境になっていると思います。時代の変化が速いので、親は戸惑うこともあります。iPadなどの支給、授業等に導入など、子どもはとても楽しく今を生活しているように思います。これからもどんどんお願いします。

○医療や手当など、子育て支援に力を注いでいただいていると感じています。桑名で育ててもらって、桑名に役立てるような大人に育ってほしいと思います。

○地域的に安心して子育てできています。市長には今後も期待しています。

○桑名市は、高校生の医療費助成、支援金等もあり、県内でも良くなっている自治体だと思います。特に大切にしなければならないと思う権利は、選ぶのに大変悩みました。どれも大切に思えます。今後も住みやすい、子育てしやすい桑名市であることを望みます。

○子どもたちが小さかった頃、支援センターや園庭開放に行くこと、福祉事業が開催してくれる行事に参加することが子育ての楽しみを深めてくれました。今でもいい思い出として心に残っています。感謝しています。

○桑名市は子育て支援に力を入れていて、安心して子どもたちを育てられる場所だと感じています。これからも子どもが住みやすく、子育てしやすい環境を目指して頑張ってほしいと思います。

○子どもたちの笑顔を守るためにいろいろな支援があることを期待しています。

○子どもはみんな平等。どんな支援も子どもたちが平等に受けられることを望みます。

○乳児や幼児に対する支援は多いが、小学生児童に対する支援が薄いと感じています。

○桑名市の子ども、子育てについての支援で充実していると感じたことはなく、これからがんばってほしいと思っています。

○子どもの1日は大人の時間よりも長いと言われていますが、すべてのことにおいて初動が遅いのではないかと感じます。何人もの大人が訴えかけなければ動かない。時間がかかる。子どもたちのことを第一に考えていただきたいです。

○今は必要性を感じていないが、必要だったときはもっと母親目線で充実してくれていた

らと思っていた。保健師は若くて相談するには経験が足りないと感じた。

○子育て支援に前向きではないと感じている。

○地域とのつながりを十分に充実することの大切さ、家族を孤立させないこと。

○施設を充実させるよりも、子どもと離れてまで働かないといけない現実を助けてほしい。

親が仕事をしているからと、高校生の子がご飯を作って家のことをしている家庭や、親が帰ってこないからと子どもだけで19時頃まで外で遊んでいる家庭。大人の私たちが目を背けていいのでしょうか。アンケートと言って、子どもと過ごす大切な時間を奪っていることをよく考えてほしい。アンケートを書いている全保護者の貴重な時間を無駄にしないでください。

○子育てしやすい桑名という看板をみたが、他の市町村よりいい支援があるようには思えない。長島B & Gプールも閉鎖したまま、幼稚園もなくなり、子育てに力を入れているようには思わない。

○子どもたちはかわいいですが、やはりお金がかかります。習い事も興味のあるものは経験させたいし、お出かけや外食にもほどほどに連れていきたいです。でも老後資金が不安なので旅行は我慢です。

○アンケートを取っても反映されなければ意味がないので、結果を開示して問題解決に取り組んでほしい。何が問題で、こうしてほしいという皆の意見がわからなければ、問題点を考えていけないと思う。一人ひとり家庭環境が違うのだから、すべてに当てはまる解決策は無理だと思う。だからこそこそくある問題点は何なのか知りたいし、皆で考えていかなきゃいけないし、子育て世代じゃない人たちにも周知してほしいし、知ってもらわなければ職場での子どもや子育てに対する理解は得られないと思う。

○小学校によって地域差をすごく感じます。また教育委員会への不信感は大きくあります（他の小学校であったことに対する対応等を聞いていて）。認定こども園の不適切保育からもう少し学んで、子どもたちの生活が安心して送れるようにしてほしいです。支援もわかりにくく感じます。桑名に住んでいてよかった、ここで子育てできてよかったと思える市になってほしいです。またPTA活動について触れていませんが、働く親の最大の敵です。そこも踏まえてのアンケートにしてほしかったです。本当に子育てについてアンケートを取りたいならもう少し踏み込んでほしかったです。

○ようやく医療費を窓口で支払うことがなくなったのが、だいぶ助かっている。東員町で働いているので、どうしても比較してしまうけど、桑名市の支援は少ないと思う。インフルエンザワクチンとか。学校のこともについても先生の配置、人数も手薄いと思う。一貫校になっても自転車で通わせてほしい。3年だけ歩きなんて納得いかない。

- 市だけではなく、国は子どもを預ける場所を広げることが一番ではなく、乳児が母と過ごせる環境（収入も含め）を一番に考えればいいのに、と思う。子どもや乳児といふことに不安や苦痛、ストレスがある人は別。保育園（私立含む）遅番の様子なども市は把握しているのでしょうか。小学生が徒歩で遊びに行けるところが少ない。狭い公園が多く、学校まで行かないといけない。公演、音楽等、学校以外で楽しめるものをもっと市がやってほしい。市内の団体の公演（歌や合奏など）も桑名発信の文化として市がもっと宣伝して知らせてほしい。そしてよいものをつくっていけるようにしてほしいです。
- 桑名市の子育て支援については、もっと具体的にわかりやすく発信していただきたい。私が知っている他の県や市町村に比べると、子どもたちの日常生活においてのびのび育つ環境にないと思います。自然豊かな桑名市のはずが都会化されていたり、子育て支援においても充実していないと思います。医療機関においても高齢者優先なところも多く、正直困ったときもありました。桑名市が他の県や市町村を見習うべきところはまだまだたくさんあると思っています。
- 小児医療機関の不足、学齡児支援の場の整備の悪さの改善。教員が多忙で子どもたちの心的側面や行動を洞察する時間の不足からくる問題のサポート力の強化が必要。隣県で当然の行政サービスや方針の改革を取り入れない姿勢改善の必要性。
- 子どもの医療費を窓口で払わなくてよくなり、幼稚園の無償化など前より子育てしやすくなったのではないかと思います。子どもがインフルエンザ等で休まなければならないとき、さすがに友人宅へも頼めないと思うと病児保育を利用することになると思う。空き状況等わかりやすいといいなと思う。これらの支援をありがたいと感じるのは主に親だと思うが、子ども自身が嬉しい楽しいと感じる支援はその子が大きくなった時に地元の子どもに返していきたいと自然に思うもので、地域の発展に繋がると思う。そういう活動が増えていくといいなと思うし、何か自分もできることがあったらしてみたい。
- 年々子育ての支援が充実してきているようで、子育てする立場としては嬉しいです。ただ、限りある財源を有効に使うために、子育て支援も本当に必要かどうか考えていく必要もあると思います。第3子以降支援等は、支援があるから子育てをしているわけではないと思うので、特別扱いする必要があるのか、等。ただ子育て支援に所得制限がなくなったのはいいことだと思います。子育てするのに所得は関係なく、必要なものは必要なもので。今後は学童利用者が増えてくることを鑑みると、現在は父母運営のところを市の支援がもっとあるといいと思います。
- このアンケートが本当に子どもたちのことを考えてくれるのか疑問です。形だけでなく、本当に子どもたちのことを考え動いてくれることを期待しています。

○減免申請での施設利用がしづらく子育て活動がしづらいこと。

(2) 幼稚園・保育園

○公立幼稚園の休園・閉鎖が増えていて心配。（同様2件）

【同意見の内容】

・私立よりもはるかによい教育環境なのに、それを知らない人が多すぎて驚きです。幼児期の大切な時期をよい環境で過ごせると、小学校に入ってから自信につながります。公立幼稚園のことをしっかり考えてください。

・公立の幼稚園を1つは残してほしいです。配慮が必要な子はもちろんですが、必要でない子のことも考えてください。子どものために使う税金は大歓迎です。

○公立幼稚園がとてもよかったので、継続して利用させていただきたいと思います。先生方が子どもたち一人ひとりの意見をしっかり聞いて、何か問題が起きて子ども同士の橋渡しをしてもらったおかげで、小学校に入ってから公立幼稚園を卒業した子と保育園を卒業した子では、何か子ども同士で問題が起きた後の対応の仕方にかかなりの差が感じられました。

○公立の保育所や幼稚園の必要性について、未就学時に、次年度で転園を検討したときに私立の幼稚園や保育園は「加配はついてないが発達に不安がある」と一言電話口で伝えただけで、それまで空きがあるようなことを言っていたのに主任や園長の態度が硬化し、会ってもいないのに断られました。教育を平等に受ける権利の侵害だと思います。公立の保育所や幼稚園の方が、保育者が働きやすいかではなく、子どものことを第一に考えた部屋づくりやお金儲けを第一に考えない保育に取り組んでみえると感じました。公立の幼稚園の預かり延長時間について、子育て中の母親がよく活用する時短勤務ですが6時間勤務の縛りが多く、9時から16時の勤務が多いので、16時にお迎えはまず無理だと思います。私の場合はコロナで就業時間が会社都合で後ろにずれ込み、仕方なく退職しました。ファミリー・サポートセンターのお迎えサービスも検討しましたが、企業ではないので週何回と確約できるわけではなく、料金も高いので現実的ではありません。

○保育園の行事の音楽等が古過ぎる。せめてYouTubeで見られるものにして。

(3) 母子保健事業

○0歳児健診のときの対応に不満があった。

○長男が1歳半健診のときの保健師に「療育」に通った方がよいと強く言われたのがすごく傷ついた。

(4) 相談

○以前相談したが、改善しなかった。（同様2件）

【同意見の内容】

- ・もう少し経験豊かな相談員が電話で対応してくださるとありがたいです。
 - ・「見守ってください」と言うだけではなく、具体的なアドバイスが必要だと思います。
- 保育所にも学童保育所にも待機せずに入れていただいたので、とても助かりました。長男の成長で悩んだときに、相談センターで数年間お世話になりました。丁寧に説明して支えていただいたおかげで、私も成長を見守ることができました。感謝しています。
- 不登校の子どもについて等、相談窓口をもっと増やしていただきたいです。
- 児童扶養手当や就学援助制度に支えられ生活が成り立っており、とても感謝しております。ですが、母子家庭なので、子どもの義務教育以降がとても不安でなりません。そんな不安を少しでも相談できる場所があればよいと感じることがあります。相談できる場がありません。子どもが大学に進学したいと言ったらどうしたらよいのか、どんな方法があるのか、今の就労状況では不可能なのか、不安にかられる日々です。
- 相談窓口がよくわからない。相談しても親身になって答えてくれた人はごく一部で、人によって対応に差があるのはよくないと思う。桑名に引っ越してきたときに、前市との支援の違いに驚いた。子育て支援が充実している市町村との意見交換やよいシステム導入を期待したい。
- 親が長期にわたる病気のと看、相談や支援がお願いできたらよいと思います。
- ニーズと事業がマッチしていない。相談支援事業所と連携して、教師の教育や他事業所と連携すべき。
- 小学校などで支援学級に通う親の情報共有や悩みを話したりできる場所があるといいなと思います。

(5) 一時的な預かりや病気のと看の対応

○長期休暇中の子どもの預け場所がない。（同様4件）

【同意見の内容】

- ・普段は短い時間であれば仕事ができるが、長期休暇のときは困っています。
 - ・午前に2時間、午後に2時間教育集会所は開いているが、お昼に1回帰らなければならないので、結果仕事に行けない。
- 日曜日や祝日が仕事の人もあるので、子どもを安心して、気軽に預けられる場所が必要。今は事前に申し込みや面接が必要だったり、できれば休みをとるように言われるので仕

事を休まざるを得ない。

- 夜間保育園や夜に子どもを預けられる施設があれば親は仕事ができると思う。
- 未就園児の一時預かりがあるように、小学生（特に低、中学年）の一時預かり施設をつくってほしい。小学生だからといって、全員が親のいない状態で留守番できるとは限らない。上のきょうだい等がいればまた別かもしれないが、うちのような一人っ子の小学生は、まだ一人では留守番が怖いと言っている。仕事をしているのでうまくいかない。放課後の学童も値段が少し高すぎます（一律の値段、何回利用したとしても）。低所得な家庭には非常に利用しにくい。仕事との兼ね合いが難しい。
- 夏休みだけではなく、冬休み、春休み等も預かりをしてもらえると助かる。病気のときや学級閉鎖のときに預かってもらえる環境があると嬉しい。
- 親が病気になったとき、子どもを預かってくれる施設があれば助かったなと今思います。小6になったので、もう一人で何でもできるようになりましたが、赤ちゃんの頃や幼少期はいつもただゆっくり寝たい、休みたいと思って日々育ててきました。父親の仕事が休みなくあり、常に子どもから目を離さず、安全に育ててあげることがどれだけ大変なことかと感じていました。核家族が多い中、一時間でも二時間でも子どもから目を離していい時間をつくっていただける環境や施設が今後必要ではないかと思います。利用料金等を考えると、預かり施設は利用できなかったのです。
- 小学生低学年のとき、未就学児のときは病児保育（ぞうさん保育園）の存在が助かりました。利用料金など安いとありがたいと思います。市が助成するなど。
- 病児保育は、子どもが小さいときに働きながら子育てするうえでとても助かりました。もっと早い時間から預かってもらえるとさらにありがたいなと感じていました。他の自治体でまだやっていないことも、今後先進的に取り組んでほしいです。
- 病児保育や病気の子どもの面倒を見てくれるシッターの派遣事業をしてもらいたい。

(6) 経済的な支援

- 所得制限をなくしてほしい。（同様7件）

【同意見の内容】

- ・親の所得によって支援（補助）が変わることが納得できない。
- ・教育費のためにフルタイムで勤務しているのに、収入があるとみなされて補助が削られるのはおかしい。本当なら子どもが帰る時間に家にいられるパート勤務がしたい。
- ・子どものためにと頑張って稼げるようにしたり節約したりしているのに、所得制限があると頑張る意味があるのかとつらい気持ちになります。

- ・多額の税金を納めていると、収入制限でひっかかる。パートや専業主婦で働いていないもの勝ちはやめてほしい。PTAなどの役割は平等に回ってくるのに。陽だまりにあるほかほかも、保育園に入っていたら利用できるエリアが限定されていたのが不満だった。保育園は料金を払って利用している。税金を払っているのに、休みの日ぐらい使わせてもいいんじゃないのか。
- ・子どもの医療費について所得制限で助成が受けられなかった時期があり、そのときに手術や持病の通院等でとてもお金がかかりました。現在は所得制限が撤廃され、医療機関が受診しやすくなりありがたいです。ただ、上の子どもについて、高校無償化のはずが所得制限のためにすべての助成が受けられません。子どもの権利条約にもあるように、親の状況に左右されず、すべての子どもが平等に教育を受けられるよう、子どもの権利として所得制限の撤廃を切望します。東京都はできて、三重県や他の都道府県ができないなんておかしいと思います。市の支援とは違いますが、もっとこのような声を県や国に上げてほしいと思います。もしくは、桑名市独自の支援として拡充していただけるとありがたいです。
- ・子どもの医療費について、所得制限がなくなったことにより、すべての人が平等になったことでしっかり医療の力を借りやすくなりました。ただ、子育てにかかるお金や、労力は同じなので、高校の授業料も所得制限を設けずに、同じ教育を受ける中ですべての家庭を平等に扱っていただきたいです。

○医療費の助成や窓口負担に感謝しています。（同様7件）

○年齢が上がるほど費用がかかるので、中高生への手当を増やしてほしい。（同様2件）

○物価高となり、生活が少しずつ厳しくなっていくので、子育て家庭に対しての給付金等の支援があると助かります。以前のペイペイの還元ポイントのようなものでもよいと思われれます。

○支援金等ありがたい反面、結局税金を使っているのだし、後々の借金になってくるのであまり嬉しくはない。

○他の市町村に比べて、子どもの補助金、インフルエンザの補助等がないのが残念。また、子どもの教育に対しても充実感が欠けていると思う。

○毎年インフルエンザ予防接種の費用の補助があったらいいのにと感じています。子どもが3人いると毎年痛い出費です。ぜひ検討していただけたらと思います。

○子どもの医療費等の充実。

○物価が上がり食費や生活費も厳しいですが、子ども3人を育てていくうえで高校・大学への進学のことを考えると、子ども手当の金額を上げたり子育ての補助をしてほしいで

す。

- 子育て支援が手薄。市民税が高い。支援施設等があるが、実際子育てをする親は今ほぼ共働きで、利用する時間がない。そこに税金を使うなら子育てに使えるクーポンや支援金にしてほしい。金銭的な不安で、1人なら安心して産み育てられるが、2、3人となると現実難しい。2、3人産んで仕事を休む期間があっても今と同じ生活が確約されるなら産みたい気持ちになると思う。
- 貧困ではないが普通世帯の最低レベルのため、何の助けもなく苦しい。共働きをしても、学童保育を利用するのも高額で、かといって長時間働けなくなると収入が減るため、利用するしかない。他に預けるところはない。子どもは2人以上がよかったのだが、金銭面の問題で1人しか育てられないと判断したため、一人っ子になってしまった。多子世帯ばかり支援されても困る。多子にしたいくてもできない家庭もある。それがなぜか考えてほしい。
- 桑名市だけではなく、低所得・非課税世帯にばかり支援が行われている。その世帯は初めから支援が多いはずなのに。幅広い範囲の普通な家庭もギリギリで頑張っています。一番支援が少ないと感じます。
- 保護者（世帯主）の口座に子ども手当等を振り込むのではなく、学校への支払い（給食費や教材費、コンパス代とか修学旅行の積立金など）に充てると、すべての子どもがお金の心配をせずに学校生活が送れるのではないかと。少額のもので現金を封筒に入れて提出することが時々あります。星座早見盤とか彫刻刀とか分度器など。
- 給食費の無償化を希望します。
- 少子化対策について桑名市もいろいろ工夫し、考えられているかと思いますが、やはり子どもを産んでから小学校までの手厚い支援も大事ですが、中学・高校ももっと手厚い支援があれば、安心して子育てができるのではと思います。医療費、高校の授業料などについても考えていただきたいと思います。
- 中学校入学にも大変お金がかかるということを知りました。指定の制服や体操服、スリッパやシューズなどの購入、自転車も必要だと、合計で20万くらいになります。部活動に必要なものを合わせたらもっと必要かもしれません。そのような費用への支援が市から全世帯に少しでもあればすごく助かると思います。子どももそんなにお金がかかることを申し訳なく感じてしまう子もいると思うので、親も子も前向きに入学に向けての準備ができるのではないのでしょうか。
- 常日頃の子育て支援はありがたいと思っておりますが、中学の制服を統一されたことで無駄な出費と衣料の廃棄が多く、それに関してだけはまったく納得しておりません。

上の子の制服を着せるつもりでサイズアップの買い換えもし、人からのお下がりも含め十分な在庫があったにもかかわらず、ハッキリとした通達もないまま噂が本決まりになる形で全部無駄になりました。制服購入費の補助をしていただきたいです。

○高校生の私学授業料の助成金の拡充。

○高校生まで医療費の無償化が拡大され、助かっています。しかし、子育てと生活でギリギリの生活です。3人の子どもを学校に行かせるだけではなく、塾にも行かないと大学進学が難しいなど、無償化されているものだけでは不十分です。高校のタブレット、教材費用や塾の費用の一部助成等があれば子ども達のためになるのではないのでしょうか。

○子育てすることに対して、お金がかかることも少子化の原因だと思います。少子化対策として、考えるのであれば、高校や大学の授業料無償化等をしていただくと子どもを産むことにためらうことなく、少子化対策につながると思います。実際私も生活面を考えて、うちの収入では子どもが大学進学を考えた時に厳しいと思い2人で諦めました。今後、検討していただきたいです。

○教育費の負担、捻出が大変です。小6の医療費がかからなくなり、とても助かっています。上の2人は窓口負担も大変でした。大学費用も負担してもらえる制度をつくってもらいたいです。

○大学費用まで無償になることを望みます。

(7) 医療体制

○夜間や休日の緊急時に受け入れ可能な病院が少ない。（同様7件）

【同意見の内容】

- ・個人病院なら理解できるが、中核病院も受け入れ拒否をするので、本当に不便だと思っている。原因（熱中症）を救急隊員の方から連絡していただいたのに、拒否されたことは本当に腹立たしい。理由は小児科の先生が不在だったから。
- ・小児医療の不十分さを感じます。15歳までの子への医療行為は限られた医師しかできないのは承知していますが、それでも緊急時には何か代替案を用意して対応してほしいと思います。今年の元旦の夜に子どもが体調を崩して、関係各所に電話して対応策を探しましたがあまりよい方法が見つからず、不安な夜を過ごしました。
- ・他県まで熱を出した子どもを乗せ車で走ることも度々ありました。応急診療所も「小児科の先生ではないのでそれでもよければ」がだいたいの対応でした。桑名市は子どもが育てやすい市だなと思えるよう、変えてほしいです。
- ・子どもダイヤルにかけても、時間をかけて情報を詳しく説明させられるのに、紹介先

がないと言われて数十分たらい回しにされたことが何度もある。でもそこ以外に頼り先がわからず、毎回頼るしかない。いつも最終は海南病院に直接問い合わせ受けてもらう形におさまる。ただ時間の無駄。桑名市で対応できないのであれば、いっそのこと窓口ダイヤルはなくしていいと思う。

- ・最終的に自分で県外の病院に電話して判断をしないといけない。
- ・環境整備ができていない。基本的に海南病院に行くよう案内される。

○小児医療を充実させてほしい。（同様４件）

【同意見の内容】

- ・乳幼児のころ病気になった際に預かってくれるところが少なく、問い合わせでも思うよう予約が取れなかった等があります。その都度私が仕事を休みました。あと今現在ですが、土曜午後と日曜日の開いている小児科がほしいです。＃8000もかけましたが、結局市外の病院に行きました。私の子どもたちは成長し、市のサービスも受けることは少なくなりましたが、次世代の子どもたちのためによりしくお願いします。
- ・発達検査等専門的な病院がない。

○緊急時に直接市民病院へ行ったが、電話してからしか診てもらえないのを知らず、駐車場で血だらけになったまま電話し続けたがつながらず、医療ダイヤルに電話して、つながりそうなところにいくつか電話して、１時間後にやっと見つかって行きました。まだ５歳の子なのに、病院でもまったく扱ってもらえず、電話してじゃなきゃ診てもらえない環境はいかかなものかなと思いました。それなら電話がつながるように配慮してほしい。

(8) 公園・遊び・居場所

○小・中学生も利用できる児童館がほしい。（同様９件）

【同意見の内容】

- ・子どもの力で行けるよう、近くにほしい。（同様２件）
- ・子どもだけで行ける児童館があるとよい。四日市市等近隣の児童館へ行っている。
- ・放課後、大人に見守られて遊べる場（児童館やプレイパークのような場所）がなく、特に低学年までの時期には子どもだけで遊びに出かける時に不安を感じています。
- ・気軽に利用できる川越町のような児童館ができてくれたら助かります。

○公園が少ない。（同様９件）

【同意見の内容】

- ・もっと子どもたちがのびのびと遊べる場所を増やしてほしいです。

- ・自然を活かしたアスレチック公園を充実させていただけるとありがたいです。
 - ・和泉には堤防公園がありますが、人通りがほとんどなく、安全とは言えないです。大人が体を動かす器具も置いてあり、子どもが楽しめる遊具もある、小さい運動公園があればいいなと感じます。
 - ・気軽に遊べる公園を増やしてほしい。陽だまり地区は割とあるが、より近くにほしい。道路や空き地での遊びができない時代のため。
 - ・子どもが自由に遊べる公園が少ないと思います。犬の散歩をしている大人や公園管理人などがルールなどを厳しく言いすぎる。
 - ・子どもが集まってくる大きくて楽しめる公園が桑名市はとても少ないと思う。駐車場が狭く、土日になかなか行きづらい。
 - ・公園の名の付いている場所は特に遊具もなく、ただの広場。この地区は子どもにお金を掛けたくないのだと強く感じました。自然は多いですが、車の通行量も多く、安心して外で遊んでおいでと言えません。
- 乳幼児だけの施設ではなく、小学生以上の子たちが楽しく過ごせる施設があると嬉しい。
- 桑名の公園は、野球やボール遊びが駄目、自転車が駄目など、禁止事項が多い。それは仕方ないと思うが、では公園を増やす、遊び場を増やす等の対処をしてほしい。プールも体育館も古い。
- 高校生までの医療費控除や学童の支援、学童指導員の雇用強化、学童費の補助、公園の遊具の増加など、誰も利用していないものにお金を費やすより補助金として役に立つことに予算を使ってほしい。例えば老朽化が進む公園の整備や公衆トイレの整備等。これからの桑名市に期待しています。
- 小さい公園も整備して、新しい遊具を取り入れ、子どもたちが思いっきり体を動かせるようにしてほしい。
- 公園にブランコがほしい。長いすべり台がほしい。
- 児童センターの充実。子育て支援センターの対象が未就学児というのは、やむを得ず働いている親子（保育園に行っている）は利用できないということ。誰でも利用できるようにするべきです。もっと児童が遊べる児童館をつくってほしい。愛知県は小学生、中学生が集まって遊べる児童館が充実しています。
- 市で企画するイベントを増やしてほしい。小学生が行ける支援センターを増やしてほしい。
- 子どもたちの居場所がどんどん減っています。これ以上選挙権のない子どもから奪わないでください。教育費をもっと増やしてください。

- 子どもが遊べる場所がもう少し増えればよい。
- 地域によって助成金に違いがあるが、子どものための施設が少ない。未来ある子どものための施設より、若い先短い老人施設が多い。中学校の制服が変わる必要性はあったのか。もっと安い制服にしてほしい。物価が高くなったり、いろんなところで出て行くお金はたくさんあるのに、最低賃金が低すぎて生活を圧迫している。もっと子育てしやすいところへの引っ越しを迫られているようだ。
- 雨天や夏の猛暑など、外で遊ぶには危険が伴う際などに、就園児や小学生が遊べる場所（特に身体を思い切り動かして遊べる場所）がなく、困っています。
- 公園やスポーツ施設の充実を希望します。集まる場所がなく、SNSやゲーム、オンラインしか時間を過ごせない子どもが多く感じる。
- 図書館の自習室が少ないと思います。
- 学校で授業を受けることが難しい子も増えてきているので、どこでも自由に平等に学べる環境整備を進めてほしいなと思います。
- 無料で参加できるスポーツイベントや学びの場をもっともっと増やしてほしい。
- 医療費の窓口負担無償の拡充はとてもありがたいです。私事なのですが、以前自治会長をさせていただいた経験があります。その際に会員の方から、未就学児、小学生の道路遊びについて数件苦情が寄せられました。車道にてキックボードなどの乗り物で走り回ったり、ボール遊びや飛び出しがあり、この住宅数なので夜勤者や不規則勤務者も多く、子どもたちの声が騒音となり困っているというものでした。自治会では注意喚起の回覧を回すくらいしかできず、もう少し皆さんが寄り添う町になればいいなと痛感しました。子どもが賑やかなのは当然かもしれませんが、しょうがないではなく、もう少し親御さんもお子さんの遊び先を気にしていただき、親御さんが安心して子どもたちが安全に公園や放課後に友だち同士などで集まれる地域の開放施設等があれば気軽に遊びに行けるのかなと思います。

(9) 小学校等

- 学校施設や備品の整備を進めてほしい。（同様7件）

【同意見の内容】

- ・小、中学校の施設が老朽化や不衛生など（トイレが和式のままなど）で、子どもたちの不満がたくさん出ています。早急に対策をお願いします。（同様3件）
- ・多度だけではなく、市内全ての幼稚園・小学校・中学校の老朽化に予算を平等にあてて修繕して欲しい。

- ・何か協力できることはないか考えている。
- ・小学校が避難所になっているのにかなり校舎が古いので、大丈夫なのかとても心配です。非常階段が壊れて使える状態ではないみたいなので、子どもの権利条約に基づいて早急に検討した方がいいのではないかと思います。
- ・小学校の耐震補強。
- ・学校の老朽化が酷い。市にかけあっても直してもらえない。陵成中体育館の内屋根が落ちる等危険な状態でもネットをかけることしか対応されず、事故があって犠牲が出てからでは遅い。チャイムが壊れても新しい機械に交換してもらえない。

○同じ小学校からの中学への進学を同じ学校に統一してほしい。（同様３件）

【同意見の内容】

- ・なぜ同じ小学校から少ない人数だけ違う中学へ進学しなければならないのか、理由もわからず理解しがたい。それをするなら、該当エリアは基本皆と同じ中学に進学できるけれど、希望者は少人数通学できますという逆の形になるのが自然ではないか。
- ・地区の子どもの希望もしくは小学校から同じ中学に行ける方が子どものことを思うといいのではないかなと思う。具体的には、在良地区の５年生が２地区ほど正和中学校に行くことについて、不安な親がいると聞いたことがあります。

○中学校も給食制にしてほしい。（同様３件）

〈同意見の内容〉

- ・弁当作りの親の負担を減らしてほしい。
- ・冬の冷えたお弁当もかわいそうですが、給食の考えられた栄養をまだまだ必要とする年代です。

○学校の授業時間、内容の充実で塾に頼らず学力が付けば、保護者の負担も減り、その分家庭・家族との過ごし方も充実するのでは。

○小中一貫校の件など、大人の目線ではなく子どもの目線で考えてほしい。（同様２件）

○大成小学校の校長先生の考え方、子どもたちへの姿勢、先生方が放課に一緒に遊んでくれるなど、子どもが毎日楽しく通えていることにとても感謝しております。

○小学生全員にタブレットが配布されることで、小学校にまつわる色々なことで少しずつ電子化が進んでおり、特に欠席連絡などがネットでできるようになったのはすごく助かっています。

○学校の教育と家庭での教育の違いがあり、いざ問題が起きたときの学校の対応と家庭の思いなどで距離を感じています。もう少し学校と家庭が寄り添い、子どもたちを安心してあげたい。

- 小学校の行事が少ない。課外活動をもっと増やして、経験値を高めてほしい。
- 小学校によって子どもへの対応の手厚さが違うと感ずることがある。
- 学校行事が行われるようになってきてありがたい。コロナ禍で学級閉鎖のとき、iPadが1人1台あった桑名市は対応できることが多かったようでありがたかった。ただ使用頻度が上がると視力に影響が出るので、注意してもらいたい。
- 教育にける予算をもっと増やしてほしい（教員数、トイレの整備など）。小学校の衛生環境が気になります。トイレの換気扇が24時間稼働していない。固形石けんをハンドソープに変えてほしいなど。休日診療所の待合室が閉め切られていて、しかも廊下に簡易的に椅子が置かれている空間だったので、今後また利用したいとは思えない。子育て支援とは関係ないかもしれませんが、もしもこの地域で地震等の災害が起こったら避難先でどう過ごすのか、備品はどこにあるのかなどを事前に把握するために、町内避難訓練や自治防災組織をつくる活動をしてほしい。
- 教育を民営化にしたり、私立に任せていくのではなく（教育でお金儲けをしてはいけないと思う）、公立の学校（幼稚園や中学校）の充実をお願いしたいです。
- 小学校の教員の数が増えたらよいと思う。小学校区によって子どもの数に差があり、教育の質に差が出ているのではないかと思う。
- 野田地区ですが、小学校の人数差があまりにもあり過ぎませんか。大山田西小と東小の差を考えてみて下さい。学区整理が必要じゃありませんか。子どもを育てるのにとても通わせづらいです。
- 子育て支援とは違ふのかかもしれませんが、小学校の給食、中学校のスクールランチの見直しをお願いしたいです。成長期の子どものにとって、食はとても大切です。栄養バランスを考えて給食は作られてはいると思いますし、近年の物価高騰により仕方ないとは思いますが、給食の量（特に高学年）が足りていないように思います。もちろん個人差もあります。いろいろなご家庭、事情もあるとは思いますが、多少給食費が上がったとしても成長期の子もたちの食を考へ、給食の改善を願います。また、中学生のスクールランチについても同様に、多少金額が上がったとしても、質・量ともに向上を強く希望します。桑名市の場合、主に小学校は校内調理での給食なので温かく美味しい給食を食べられていますが、中学校のスクールランチは食の衛生面から冷たい食となっています。温かい食の提供は難しいのかかもしれませんが、子どもたちにとって大事な食です。美味しく安全に食べられるようご検討をお願いしたいと思います。今のスクールランチでは、冷たすぎで食べにくいものも多く廃棄も多いと聞いています。食品ロスを防ぐために美味しく食べられる食の提供をご検討願いたいです。

- 子育てにはお金がかかるので、制服や体操服は廃止して自由化してほしい。特に中学の制服はテスト期間とか限られた日しか着ないと聞いているため。
- 進学への選択肢が少ない。インターナショナルスクールに通わせたいため今後は市外への移住を考える。
- 学級崩壊のクラスがあることを見聞きしてしまうと、自分の子どもも被害や加害をしてしまうのではと思ってしまう。

(10) 教育の内容

- 子どもたちが安心して教育を受けられるよう対処してほしい。学力、発達、家庭の状況によって差が出ると思われるので、学年別だけでなく、習熟度別も検討していただけたらと思う。学校数は多いと思うので、地区単位だけでなく、子ども達が不登校等にならないような対策を講じてもらえたらと思います。
- 公立幼稚園の存続に向けて、公立園に入りたい保護者の意見もしっかり吸い上げて、どんな子も求める保育、教育ができるようサポートしてほしい。小学校では一人ひとり探求する授業や、みんな一緒になくてもいい時間など個性も大事にできる時間や教育を希望します。
- 学校のタブレットが重たい。また利用制限も高学年にもなると自分で外し、親よりも理解が進んでいるため、家庭内での約束もすぐに破られる。コロナのときは持ち帰りであったが、コロナ前に戻ってきた今、オンライン授業もないようであれば、学校にタブレットは置いて帰ってもよいというルールを加えてほしい。一斉授業ではなく、個々のレベルに合った教育を受けられるような体制を作してほしいです。他府県で成功している事例を取り入れてほしいです。公立学校でもできると信じています。
- タブレット等の通信機器をもっと活用してほしい。
- 学校毎に教育の差が激しい。一部の先生方の負担が大きく、保護者から見ても時間外労働が多くなるほどの問題があるにもかかわらず、校長先生からの説明もありません。塾ありきの授業の進め方をするのであれば学校は必要ないかと思います。本当にひどい授業の学年があることを知ってほしいです。あり得ないです。大変なのもわかるので我慢していますが、子育て支援に桑名市が力を入れようとしているのであれば、市内の学校教育の差をなるべくなくしてほしいです。保護者の方々から桑名市教育委員会に何度も訴えかけがあったと思いますが、動きがないようです。次は県に訴えようと思います。もう校長先生に言っても何も変わらないのはよくわかりました。
- 桑名市内で教育の差が著しいので、もう少し教育面で力を入れてほしい。

- 幼少期から思いやり、感謝の心を育む教育を大切にしてほしい。童話・童謡等、日本文化を継承してほしい。コロナ禍でできなかった体験や見学、交流をできるだけ多くさせてほしい。高校教育に係る費用が大きいと、図書館等公共施設の利用や交通機関等、何らかの補助を考えてほしい。子どもと接する時間を増やしたいので、家事軽減に関する補助を考えてほしい。
- 学力のレベルを向上させてほしいです。授業を妨げるようなグレーゾーンの子たちは別教室で授業を受けさせてほしいです。子どもの権利のうち、「育つ権利」が阻害されています。加害者の親へ適切な対応（連絡）を望みます。

(11) 安心・安全・子育て環境

- 通学路の整備をしてほしい。国道421号は車通りも多いが歩道がガタガタ、秋まで草刈りしない状況で、草のところに危険なものがあったとしても、時すでに遅し状態で困っています。子どもが参加しやすいイベントがあるととても嬉しいです。
- 通学路は歩道をできるだけ利用してほしい。車道に線があるところを通るのは心配。旗当番をなくし、安全に通学できるように新しく通学路を考えてください。通学路が遠回りだし、行きと帰り道が違うのがややこしい。砂利に動物のフンがいっぱいある。歩きにくい。水路が臭い。あぶない。どぶがいっぱい。溝にふたをしてください。光風中に行くとき、電車の陸橋を新しくきれいにして、犯罪が起きないようにしてほしい。
- 地域の見守りや公園で安心して遊べるように子どもを守ってほしいです。放課後や下校のとき、安全を守ってほしいです。
- 登下校の見守り不足、通学路の信号機をLEDにする、道路の安全性のチェック。
- 陽だまり地区に高速の出入り口ができるとのことですが、信号等が適切に置かれておらず（右折用信号等）、かなり強引で危険な運転をする車を見かけます。既に市民から声が上がっていると思いますが、多くの子どもが通る道なので、できれば早めに対応してほしいです。
- 公園も市の管理だと思いますが、草が茂って子どもが遊べなくなっているところも多い。また遊歩道の木も通学路にまでおよび、危険な箇所がある。市内の美化、清掃にも力を入れてほしいです。子どもが遊べません。

(12) 学童保育

- 学童の保育料が高すぎる。（同様7件）
- 【同意見の内容】

- ・時間でお迎えできる家庭の金額を分けるべき。他県や他の地域は安いところで3,000円のところもある。14,000円は取りすぎ。正社員の人しか預けることができない値段。
- ・愛知では放課後16時か17時頃まで学校で待つことができる（月1,000円程）。
- ・学童保育の料金が高く、学童に入れることができません。学校から帰ってきて、子どもたちが不安に思うことがあると思うのですが、仕事で家にいられないときもあります。学童代を払ったら何のために働いているのかわからなくなります。病気になったりするとマイナスになります。なので放課後、子どもたちを安心して預けることができる低価格の学童があればいいなと思います。
- ・学童保育は費用も高く、子どもが希望しないと親の負担が重くなるなどハードルが高い。仕事はしたいが、子どもを放置してしまうことになりそうで、常に板挟みで悩む。

○小学校に併設された学童等を増やしてほしい。（同様6件）

【同意見の内容】

- ・学校から徒歩ですぐの場所ではありますが、歩道のないところを通らなければならず、日々心配です。学校敷地内に学童保育があればと思います。子どもを一人で家においておくのも心配なため預けていますが、利用料も安くはないです。でも、とてもよくしていただいていますし、学童保育は大変ありがたく利用させていただいています。
- ・学童保育所が学校内にあるところと、学校から離れているところとがあり、通う学校によって違う。安全のため学校内に設置してもらいたいし、費用負担も学校外の事業所の家賃負担が保育料にプラスされる。法人さんも努力されていると思うので、市がもっと負担して、学童の利用料格差をなくしてもらえたらありがたいです。費用負担がネックで利用できない方もいると思います。同じ市内の小学校に通うのに、利便性や費用面で格差があると思います。学校内にある学童では、移動時間がなく、校庭や体育館など遊ぶ場所もあってよいなと思う。
- ・各学校内で学童を利用できるようにしてほしい。民間だと費用も高く、移動もあることから現在は利用できていないし、定員もあるため待ちもある。低学年でしか利用できないことも難点、また低学年しかいないことも難点。

○学童保育を公営のものにしてほしい。（同様6件）

【同意見の内容】

- ・学童を利用していますが、子どもの利用減で資金繰りが苦しく、土曜利用が不透明になったり、おやつ等の廃止が検討されたりと、一部の子どもに我慢を強いるような状況になるのではと危惧しています。1年で変わる役員が、簡単ではない学童運営をしていくこと自体が難しいのでは。役員を経験したものとして感じます。保護者運営で

は無理があるのでは。

- ・以前学童に預けていたが、経営が親メインで大変すぎた。学童の人数が多くて入れてもらえず、子どもが知らない子しかいない学童に預けられとてもしんどい思いをしたことがある。子どもが幼稚園のとき、メディアライヴの下の子預かり保育を利用していたが、昼食が与えてもらえず、14時に仕事を終えて迎えに行くまでお腹を空かせて過ごしてしんどそうだった。学童のシステムは、名古屋市のように市が取り仕切って運営してもらえると、全然違うと思っていました。子どもを預けるところは、子どもの立場よりも経営の立場で時間など設定されており、子どもはいろいろしんどい思いをしてきたと思う。これ以上しんどい思いをさせるのがつらくて仕事を辞めました。
- ・学童保育について。現在公設民営となっているが、実際には施設修繕や諸問題について要望を出してもあまり通らず、運営費から費用を捻出している状態である。また、学童の定員が溢れてしまう状態で、4年生以上のお子さんに自主的に退所を進めている状態である。市がもう少し積極的に学童にかかわり、諸問題解決に向け尽力いただけると思う。できれば、今後公設公営に向けて動いていただけるといいと思う。また、夏休みの居場所づくりで学校を一部開放したり、学校支援員を長期休みの間学童保育に対してお手伝いに回してもらったりと、留守番する子たちの居場所づくりを考えていただけたらと思う。
- ・預ける予定の日でも子どもが間違えて帰宅しても連絡がない。預ける日に子どもが帰りたいと言ったので、保護者への確認ができていないにもかかわらず帰らせた（保護者は仕事で不在）など。他にも多数聞くが、預ける先がなくなると困るのでみんな言えないでいる。安心して預けられるよう、もう少し市が介入して指導してほしい。

○他の自治体にあるトワイライトスクールを、桑名市でも実施してほしい。（同様4件）

【同意見の内容】

- ・名古屋市のトワイライトスクールのような場所の提供を支援してほしいです。学区内に月単位ではなく1日単位で、低料金か無料で子どもを預かってもらえる場所があるとありがたかったです。学童より申し込みも予約も簡単に過ごせる場所があればよかったと思っています。特に長期休みの際に、連日一日中家で子どもだけになるのは不安で、仕事の時間を調整してもらっているので利用したいです。長期休みがネックでフルタイムの仕事へ移行できない方も多いのではと思います。
- ・保育園・小学校に通学している間の保育料と学童保育料の負担が大きい。複数の子がいると給料が保育料でかなり減り、何のために働いているのか残念に感じる。名古屋のトワイライトスクールや東京のように、低学年も17:00か16:00までそのまま学校

に子どもたちが留まり、そのまま何らかのプログラムに安価に参加できるような施策を検討願いたい。

- ・努力はしていただいておりますが、時代が変化しており、核家族共働きがスタンダードです。学童等も預かりはしていただいておりますが、「預かり」です。トワイライトの導入、放課後の子どもたちの遊びと学びの場を確保してもらえたらと思います。小学校のあらゆる体制を令和仕様にアップデートしてほしいです。

○学童保育の定員が少なく、入所できない。（同様４件）

【同意見の内容】

- ・必要とする家庭はすべて入所を受け入れてほしい。入所制限を設けないでほしい。
- ・大山田東小学区内に都市開発を進め、転入者が増え、子どもの数が増えることは十分に予測できたにもかかわらず、放課後保育等の受け皿に関しては想定されていないようで、市が管理できていないと思われる。この無責任な都市開発に対し怒りを感じており、子育てがしやすい地域とは到底思えない。

○夏休みだけでなく、春休み、冬休みなども学童保育を開いてほしい。（同様４件）

【同意見の内容】

- ・短時間パートで働いているため、学童は利用していませんので、夏期限定の学童はとても助かりました。冬休み、春休みもそういうものがあれば、パートを休まなくても済むのにと 생각합니다。地域の学童でも、夏・冬・春休みのみの利用ができればいいのにと 思いました。そうすれば近いし利用しやすいです。
- ・今は夏休みのみ３つの施設で学童保育が利用可能とのことですが、冬休みや春休みも実施していただけるととても助かります。当地域は学童がありませんので、長期休みがくるたびに困っています。

○学童保育の施設を増やしてほしい。（同様３件）

【同意見の内容】

- ・市全域にないので、小学校区域内に学童保育をつくってほしい。（同様２件）
- ・学童が少なく、預ける選択肢がない。城南幼稚園があった場所が使われてないなら、そこを学童に変えたら場所もわかりやすく有効利用できるのではと思っている。夏休み等の長期休暇だけでも考えてほしい。

○学童保育が学校から遠いため、学校の近くだとよいと思う。

○夏休みに初めて学童を利用しました。親子ともに利用してよかったです。今年も利用しようと思っています。

○母子家庭だが、学童の人数オーバーで来年度退所させられそうな話が出ている。これだ

け働きたい母親が増えているなら、市もそれにあわせて迅速に対応すべきではないか。希望は通りづらいし対応も遅いので、世の中の流れに沿ってやっていかないと困る家庭が増え続けると思う。

- 子育てをするのに親が会社を休まなくてもいいように、企業に小6までが利用できる学童ルームを配置してほしい。特に夏休み、春休み、給食がない日など、どうしても休まなくてはいけなくなる。会社に学童ルームを設置してもらえただけで、仕事が安心してできるようになる。先生など一人いるとなおさら良い。これの実現を早急に求む。学校とは違う友だちもでき、刺激し合えるし、メリットの方が多い気がする。親の働いている姿も見られて、勉強になることもあると思う。私は市外で働いていますが、三重県全体でやってほしい。小学生の親の長期休みの課題だと思います。特に春休み、夏休み、冬休みは年末年始の休みがあるため何とかなります。夏休みはあまり仕事ができないので困ります。ただでさえ夏はエアコン代が上がり、電気代が増します。学童は高いし、遠いし、夏風邪がすぐうつるし、夏休みは学童へ入れる気はありません。祖母の家に行くのもありますが、毎日の食事や習い事の送迎などかえって大変です。会社の学童ルームが一番良いです。ヤクルトのように。食事付きだとおいしいと思います。
- 学童の待機児童について。現在我が子は1年生で退所の心配はなさそうですが、定員超えのため高学年は退所していただく可能性があるという父母会で学童指導員からお話がありました。我が子が5、6年生になって1年生に席を譲ることになったとき、学校の長期休みにお留守番が可能なのか不安になります。6年生だからといって子どもには変わりありません。長時間留守にして不安にならない親はいないです。公立学童について、夏休みにはあっても春休みや冬休みにはないのはどうしてでしょうか。まず、このアンケートが役に立つのかわかりません。
- 夏季学童保育所を各学校教室へ配置してほしい。夏季限定学童保育所の設置数、募集数が少なすぎます。令和6年度夏季学童保育所の会場を募集しているようですが、各学校教室を使えば通いやすく、環境変化による児童のストレス軽減になります。
- 長期休み（夏休み）は市の預かりがあり利用していますが、年々人数も増え、室内はパンパンで衛生面も気になる。また希望者全員を受け入れていないため、不満な方もいると思います。春休みや冬休み等もあり、学校は休みが多い。この時期も市の預かりがあれば利用したいので検討してほしい。
- 学童保育について他の市町村と比べると、桑名市からの補助が少ないと感じます。
- 小学生を育てながら、フルタイムで働くことの難しさがあります。18時半から19時頃の時間帯、学童が終わり、仕事からの戻りが遅れる場合に困るときがあります。

- 保育所に通わせている時は19時まで預かっていただけることもあり、共働きでも安心していました。しかし、学童になると18時半と短くなります。仕事では責任も増える時期ですし、同じように19時までにならないのかなと思います。
- 学童保育は自費負担が多いわりにサービスが保護者に向いていないことを残念に思います。長期休暇の預かりの時間が通常の学校より10分遅くなるだけで仕事に遅刻する状況です。それほどに常にギリギリの状態で両立しています。
- 朝の学童は7時半から利用したい。
- フルタイムで働いていないと学童に入れないのが困る（枠が少ない、アルバイトにとつては料金が低い）。長期休みなどは結局留守番させないといけない。子どもの安全のことを考えるとよくないと思うが、子どもの休みに合わせて仕事を毎回休むわけにもいかない。でも仕事をしないと生活できない。
- 保育園に関しては利用料など各家庭の状況に合わせた配慮があったが、学童に関しては母子父子家庭の利用料等の配慮がほぼなく、説明会等も入学説明会に紙が配布される程度。個人的には利用までいかなかった。学童も保育園同様、市がかかわって公平に対応していただけたら、と感じます。夏休みのみの桑名市から募集の入る学童に関しては、子どもが低学年の時の利用時の料金やルールが明確で、雰囲気も明るく利用しやすかったです。
- 学童保育所の入所申し込み～審査までを市で行ってほしい。保育所の入所手続きは市が行っているのに、学童においては各学童任せになっており、定員超過した場合の対応が父母では負担が多く、公平公正の観点からも、市で審査していただきたいです。
- 学童は企業や父母会で実施しており、市が関与せず、学童側からの要求も通りません。学童もしっかりとフォローしていただきたいと考えます。必要だから要求するのに、「検討します」の返答では困ります。寄り添い、解決への導きを見つけ出す、案を出すことも市として大切なのではないのでしょうか。子どもを一人で留守番させられる方もみえますが、共働きが当たり前となって来た世の中でなかなか近隣の方に助けを求めるのは難しい現状です。小学校でも中学生になっても守られる、そんなコミュニティ、施設が大切なのではないかと考えます。
- 学童運営を父母に任せているのなら、必要な情報は開示してほしい。今後の学童運営のため、近隣保育園在籍児童数推移や学区内の共働き世帯推移、近隣学童との人数バランスの3点について各学童へ情報開示をしてください。
- 学校教室の一部を学童保育所に使わせてほしい。桑名市学童連絡協議会から正式要望として、2020年度以降継続して年に2回のペースで学校教室の一部利用を要望しています。

児童数や学級数が減少してきているにもかかわらず、桑名市からの回答は「空き教室がない」との回答のみで、学童利用児童数の増加に伴う具体的な対策の回答がない状況です。大山田東学童保育所において、2024年度は大幅に定員越えとなり、待機児童が発生する危機的な状況です。

(13) P T A 活動等

- P T A は必要だとは思いますが、負担にならないよう簡素化できるように何か支援がほしいと思います。高校の授業料無償化をしてほしいです。高校進学希望校の選択肢が増えます。
- 学校の P T A 活動を市でどこかにお願いしてなくしてほしい。なぜみんなが行いたくないのに活動するのかと思います。
- 桑名市の小学校は入学時に P T A の申込書や案内等がなく、ほぼ強制的に入られます。そのことを学校や教育委員会に伝えても、「連携して地域のために動いているのでご理解ください」と P T A の役割を説明するだけで、本来のあり方（入退会自由の任意加入団体であること）が無視されます。全国的にも P T A に関する裁判等が起き判例も出ており、桑名市で小学校や保育園による不祥事が相次いで発生していることもあり、周りの保護者間でも桑名市の子育てへの付き合い方に不信感のある人が大勢です。今回のような計画の策定でもそのような設問もなく、本当に保護者が求めている対応がわかっていないことがよくわかります。子育て環境の充実を図るのであれば、まずは保育園・幼稚園・小学校が適切に運用されることに全力で取り組んでください。
- P T A 活動や旗当番が大変で、仕事との両立ができなくなったのでなくしてほしい。
- 中学校は自由選択にさせてほしい。子どもの人間関係など微妙な年ごろなので。通学の旗当番が負担。月 1 回、そのために会社を休まなければいけない。本当に必要ですか。万が一、突っ込んで来る車が来たらどうすればいいんですか。身を挺して子どもを守れますか。大人が一人入ったとしても同じじゃないですか。なぜ必要なのか、意味があるのか、教えてほしい。

(14) 支援が必要な子ども・子育て世帯

- 障害児への支援が少ない。（同様 2 件）

【同意見の内容】

- ・ 障害がある子に関する相談先が少なく、支援も少ない。不登校になり、相談先を探すのが大変で補助もなく、親は仕事を辞めなくてはならなくなり、家計が厳しくなる。

もっとそちらの支援に目を向けてほしい。

- ・ 障害児の支援が近隣の自治体と比べて本当に少ないと感じます。知的障害のない情緒障害児に対する支援が少なく、居場所がありません。そのような子が不登校にならず教育が受けられる体制を早急に整えてほしいです。

○障害児への教育や理解に力を入れてほしい。（同様2件）

○視覚や聴覚に障害のある幼児が行ける施設の充実や、保育者が手話の学習をする機会をつくってほしい。

○息子は先天性の病気を持っていますが、障害福祉課や子ども総合センターの皆さんに非常に助けていただいております。ありがとうございます。

○桑名市の子育て支援があるのを知らない。発達支援に力を入れてほしい。

○不登校児童の受け皿（施設・支援員）を増やしてほしい。

○不登校になった時、ただいられる場所があるのは知っているが、同時に学校に復帰した時に授業に遅れないように学べる場所をつくってほしい。またはフリースクールに行く場合、費用の面で負担があり、助成してもらえる制度があるとありがたいです。

○子どもが学校に通えなくなったときどうしたらいいのか、親は精神的にもまいります。仕事も無理を言い、急に休むことになります。子どもだけを置いて仕事に行くことはできません。収入もなくなります。そのようなときにどのような支援をしていただけるのですか。結局学校側にこちらとの温度差をすごく感じます。私たちは今も戦っています。学校に再び通えるようになったら終わりではありません。

○スクールカウンセラーの数が少なく、すぐ話を聞いてもらえないので増やしてほしい。

あと、不登校の子が進学しやすいようにバックアップをしてほしいです。フリースクールの拡大や、事業のあり方の見直しが必要だと感じます。

○メタバース空間で不登校の保護者の交流会は、保護者に子どもを理解させることを目的にするより、不登校の家庭の困難を解消に向ける前向きな会にしてほしい。学校に行かないことより、理解していない学校、教育委員会の対応が子どもを切り捨てて、学ぶ機会を提供していないのだから。

○母子家庭で他に頼れる人もいない。不登校で仕事もできない。どうやって生きていけばいいのかわからない。

○ひとり親家庭では、子どもがやりたいことを我慢させてしまうこと。ひとり親家庭への支援を考えてほしい。

○母子手当や生活保護を受けるために離婚をして、それでも同居をしていたり、家庭として成り立っているところは調査しているのですか。3人の子にそれなりの教育を受けさ

せるために、共働きで子どもに留守番をさせながら必死に働いている家庭を支援していただく方法を考えていただけたらと思います。共働きでも3人分の教育費には十分でないので、学力低下は否めません。

- 従来の教育システムに固執せず、時代に合わせて柔軟な対応を期待しています。核家族が増えた今、一人で抱え込んでいる母親、不適切な養育を受けている子どもを取りこぼさず、地域全体で世帯を温かく見守ることが大事だと思います。変革するのは難しいこともあると思いますが、頑張って子育てしやすい市を目指してほしいです。

(15) 子どもの育ちを支える人材確保・育成

- 保育園や学校の先生の負担軽減、大人の余裕が子どもの接し方に変わると思う。
- 先生（小学・中学）、教育にかかわる方々の待遇を改善してほしい。先生たちに心の余裕ができると、子どもたちをもっと分析して見てもらえると思います。
- 今までお世話になった学校の先生や保育園の保育士には、しっかりと我が子へ向き合っていていただき感謝しています。そういった教育や保育のプロである教師、保育士の方々の給料がもっと上がればいいのにと考えています。
- 少子化を考えて保育施設を縮小しているが、現在1歳児で保育園に入れない子どもが多い。子どもを3人育てるまちと掲げているのに、桑名市は保育園に子どもが入れない現状がある。人口を増やしたいのであれば、保育施設の充実を図ることが必要だと思う。不適切保育で注目されている市だからこそ、その部分に力を入れることでイメージアップも図れるのではないかな。保育士の離職率が多いのは、仕事の量と給料が合っていないから。保育は子どもの発達個性の理解をし、一人ひとりに合わせた対応を必要とする専門職であるのにもかかわらず、ただ子守りをしているだけと思っている人が多い。社会生活に向かう前の、人として生きるための基礎的部分の構築を図る保育の現場の理解をもっとしてもらいたい。子育て支援として、そのような専門性をもっと表に出してほしい。
- 小学校の教員不足が心配です。
- 桑名市は子育て支援をきめ細かく取り組んでいると思うが、時々人手不足のように感じる。子どもが減ってきているが、それに合わせて支援員を減らすと意味がないと思う。
- 保育士の確保、保育園を増やす、学童保育の充実、市の施設を利用させる、民間保育施設への補助金。
- 保育園での人員がギリギリすぎる。公私立ともしっかり人員を確保すべき。そこに予算を使ってほしいと考えます。

- 教員の質を向上してほしい。
- 子育て支援センターと相談支援事業者との連携がうまくいっていないように思った。心身共に健やかな状態で教育を受けられるような学校教員の質や教育・補充を求めます。
- ここ数年で、学校の先生方の雰囲気が変わってしまったように感じます。あまり子どもたちの話を聞かずに決めつけのような発言があったり、閉鎖的な感じがします。お便りや懇談会、授業参観のときと普段の授業では、先生の様子が違うと聞きます。忙しさゆえにゆとりがないせいだとするならば、先生方の就労時間と子どもたちへの対応が関係しているのかなと。大切な義務教育期間を安心して過ごせるように、対策を考えて実行していく必要があるように思います。
- 発表をハキハキできる子を先生は評価していました。うちの子はおとなしいのであまり評価されず残念で悔しいです。発表をハキハキできるような性質もおとなしい性質もそれぞれの個性で、格差をつけるのはおかしいのではないですか。おとなしい人間は性格がだめな人間ですか。先生のようにしゃべる職業の人にはおとなしい人の気持ちがわからないでしょうが。2年生のときの先生は、色々な人がいてひとつの教室になるからよいですと言ってくださったので、その言葉が励みになっていますが。
- 先生の子どもに対する接し方がよくない。不登校になった生徒もいるようです。今までも生徒、保護者から何かしら問い合わせがあったかと思いますが、そのときに学校・桑名市は何も対応していないのでしょうか。
- 言ったもの勝ちではないですが、人格障害の親に対応できない教師によって、被害を受ける他の子どもや親が傷つけられたり、迷惑を受けている場合を見ます。その地域に住んでいて運が悪いで済ますことでもないし、子どもの権利条約って機能していますか。
- 市内の学校での教育格差が生じていることはとても気になります。地域の特性は分かりますが、「教育」をしっかり考えていただきたいです。また令和5年度は、市内の教職員の不祥事が大変多く、子どもを預けることに不安しかありません。報道されていること以外にも、病休等で子どもの学習が健全に保障されていないことが、子どもの未来にかかわることを考えていただきたい。
- 保育園、学校のことで桑名市はニュースになり過ぎている。
- 医療費の助成対象が拡大したのはありがたいです。メディアでも取り上げられたこども園での不適切保育の件もあるが、全国的にもいろいろな問題が取り上げられていて、子どもの健やかな成長をサポートするサイドの保育者や教員を応援しつつも、きちんとチェックできるような仕組みをつくっていただきたい。学童の補助費があるとありがたい。

(16) 移動・交通

- 過疎地区の交通機関の充実、子どもの行動範囲を広げるため。
- 城南地区は交通の便が悪い。習い事に通うには家族が車の送迎をしないといけない。Kバスの本数を増やしてほしい。

(17) 仕事と子育ての両立

- これ以上は下校時刻を早めないでください。働く女性には厳しいです。
- 転居してきた際はこちらで仕事を探そうかと思っていましたが、小学校地区内に学童がないとのことで、あまりに外に働きに行くハードルが高く諦めております。小中一貫校の件も、とにかく通学のこと心配で、外に仕事をしに出ることは考えられません。家に祖父母がいる家庭でないととても働きに出られないと思います。市の中心から離れているからしょうがないと思うのですが、「子育てしやすい」と広報に書いてあっても「そうかなあ」と思ってしまいます。
- 子どもが流行性の病気にかかった時に、今回は土日を含んでいたため仕事を休む日にちが短く済んだが、そうではなかったりきょうだいにうつっていたりした場合は、熱が下がれば子どもだけで留守番させていたと思う。療養期間中は体調が急変することもあると思うため、できるだけそばにいてあげたい。病気の子の預け先もほしいが、それよりも小中学生の子が対象の看護休暇や、休みやすい職場環境、理解が得られるような社会になる働きかけがほしい。
- 子育てが終われば親は年を取り高齢となっていく。子どもらが自立をして安心して巣立っていけるよう、高齢者のケアも充実させてもらいたい。最近結婚や出産が遅くなっているのも、子育てと親の世話というのも重なったり、女性の社会進出は難しい。女性の仕事というのは収入も大事だが、家族から離れたプライベートな空間であったり、会社から必要とされ、ストレスの発散の場であったりする。その居場所が守られるように長く働きたい。今の状況に親のことが入ってくると生活も変わるし、心も折れてしまう。

(18) 情報提供

- 桑名市は子育て支援についてすごく力を入れていると思います。私はあまり市の情報発信のツール（市のSNS等）を知らなかったのですが、たくさんあってすごいと思いました。
- 知らない支援があるようでしたので、学校を通じて等もっとアピールしてもらえたら利用しやすいと思いました。

- 桑名市内のホームページがとても見づらい。デザインを変えてはいかがでしょうか。
- 公式LINEで市の情報を得ることがあり、最近は配信も増えて、情報を得やすくありがたいです。インスタグラムもよく見るのですが、子育てに関する情報がなく残念です。今ある施設の紹介等でもよいのでコンスタントに発信してもらえたら、桑名市で子育てすることに興味を持ってくれる人が増えると思います。
- 母子モを利用しているが、未就園児向けの情報ばかりで、小学生以降の子どもに向けた発信はないので、今後どう使っていこうか（アプリを削除しようか）迷っています。未就園児向けのアプリなのでしょうか。
- 支援を受けられる施設の紹介や、受けられる支援内容の公開・申込み方法をまとめたものを作って、どんな人でも知ることができる状況をつくってほしい。ホームページや広報等。支援制度があっても、市役所でもこちらから聞かないと教えてもらえず、自分で調べないとわからないのでは意味がない。
- 個人的には訪れたこともお話を聞いたこともあるので、子ども未来課に色々な助ける手段があるのは知っています。桑名市も子育てに前向きで、ひとり親世帯にも気を配ってくれているのもとても安心して子育てができるまちだと思っています。マッチングでの家庭教師のようなものもあったと思いますが、子ども未来課がやっていることを学校プリントやアプリ等を利用してアピールし、もっと利用を促してもいいと思います。桑名市がより安心して住めるまちなのだと大々的にアピールすることで、より安心を与えるのではないかと思います。あと、父子家庭は少なく、母子家庭より支援が手厚くはありません。でも、子どもが小さければ小さいほど不安を感じていると思います。緊急時にサポートするよりよいシステムの構築とそれを知らせることが大事だと思います。父親に限って子ども未来課のことを知らないかもしれません。
- 色々考えていただきありがとうございます。しかし、その考えていただいたことが手元に届かず、多くの子育て世代にスルーされてしまっているのが現状のような気がします。
- たくさん支援活動があると思うのですが、知らない、利用したことがないと思いました。どんなときにどこへ聞くのかもわからない。広告などをちゃんと読んでいないこちら側も勉強不足ですね。
- 乳幼児期を過ぎてからは、子どもに関しての公的機関のかかわりがとても少なくなっており、何を求めているのかもわからないままこのアンケートに答えています。医療費の窓口負担がなくなったのはありがたいですが、それ以外の小学生高学年の子育て支援とは何ぞや、との疑問があります。
- 忙しすぎて、広報や市の発信する情報を確認する時間がない。

- 母子家庭ですが、何の手当があるのか、どんなサポートがあるのか自分から調べないとわからないのは忙しい中でとても大変で、見逃してしまうことも多い。

(19) 行政

- 子ども未来課には本当によくしてもらっています。
- 支援していただきありがとうございます。
- 今年度は桑名市・三重県からたくさん支援をしてもらい、親子で何とか生活してこられました。ありがとうございました。来年度はもっと自分たちで自立していけるように頑張ろうと思います。
- 教育・子育てに対する思いが感じられない。桑名市としてのビジョンが伝わってこないし、実際教育・子育てに関することは2の次、3の次のやり方に正直不満。金をばらまいたらいいわけではない。

(20) アンケート

- 「特に大切にしなければならない子どもの権利」の選択を5つまででは絞れない。親としては全部の事項を選択したい。（同様2件）
- このアンケートに答えることで、子どもたちの生活がよくなっていくといいなと期待しています。
- 民間会社でも同じような内容のアンケートに定期的に協力し、集計されたデータをフィードバックしていただいています。民間会社のデータ等も利用されるとよいのではと思っています。

3 子ども・若者の生活実態・意識調査

(1) 取組の方向性

- 高齢者の支援も大事とは思いますが、人口が減ってきている桑名市でもっと子どもや若者に需要のある取組や施設を整えてほしい。
- 少子高齢化のため、年配の方が過ごしやすいよう老後施設や年配の方が利点になる取組が多すぎるように感じる。若者離れを起こさないためには、ショッピング施設やその施設内の利便性であったり、お店の豊富さであったり、飲食店を増やすこと。かつ生きやすくするための助成金等をよくすることが必要になってくると思う。年配ばかりの配慮ではなく、若者が住みたくなるまちづくりをしていくべきである。
- 今すぐ桑名を活性化させるために、何かをつくるとかするよりも、とにかく今の子どもたち、これから子どもたちに寄り添っていくことが大事かなと感じている。他県や他の市に比べて、桑名に住んでいる人が子育てに関する不安を感じなくなれば、自然と子どもが増えていき、常に明るい桑名市に繋がっていくと考える。もちろん、高齢者世代に向き合うことも大事ではあるが、人口比率や投票率などよりも『子ども』を中心に優先順位を組み立ててほしいと切実に願っている。決してすぐには効果がなくても、長期的に考えて、子育て支援を充実してウェルカムな体制を整えることは桑名にとっていいと考える。
- 子どものために市のお金を今よりも使うこと。
- 若者を呼び込む取組や婚活パーティー等にて家族をつくりやすくする環境。
- 身近なところと言えば川越町等のように子育てに対するサポートが手厚かったり、桑名市だけでなく国と言えることですが、子育てばかりに目を向けず、働けなくなっていく高齢者の方へ目を向けるサポートを手厚くするべきなのかなと思います。
- 外国人をサポートする活動をたくさんするべきだ。
- 障害者に対する差別をなくして、障害であることを理解できるようにしてほしい。
- ユニバーサルデザインに取り組む。
- みんなのサポートとケアのために一緒にがんばりましょう。
- すべての人のために支援とケアを。
- 紙文化の廃止。

(2) 出産・子育て

- 積極的に子育て支援に取り組んでほしい（同様2件）
- 子育てに対する支援として、毎月オムツを支給する等。（同様2件）

- 子育て支援（特に乳幼児期の子どもを育てる世帯に向けた経済的支援）、インターネットを利用した地域コミュニティ。
- 子どもを育てやすい、明石市のような取組。
- 保育園に入りやすくするために保育士を増やす。
- 地域住民による子育てサービス（一時預かり等）。
- 各企業で保育スペースや保育施設を設ける。若者が参加したいと思える地域イベントの企画。

(3) 学校・教育

- 学校の整備。（同様3件）

【同意見の内容】

- ・桑名市内の高校を増やす。
- ・公的フリースクールや通信制高校が桑名駅近くにあると選択肢が広がる。
- 桑名市はより教育に積極的に取り組むと子どもや若い世代が定住するようになると考える。特に桑名市民は比較的教育に力を入れている家庭は多いように思える。また名古屋には四大も数多くある。そのため土台となる学校の環境整備（エアコン、トイレ）などを整えて、子どもたちが安心して親も安心してもらえるよう取組、周知を行う。またそうしたところで働く職員の満足感を向上する一つの要素にもなり得る。そして他の自治体との教育の質を明確にし、選ばれるような市として取り組んでいただけたら幸いです。
- 学校の設備を整えて、中高生向けにも遊べる場所がほしい。
- 古い校舎等の建て替えを行い、防犯・防災に強く、安全に過ごせる学校をつくってほしいです。特に廊下は狭い上にタイルも剥がれてきているので、危険なことが多いです。また、このように若者の意見を取り入れる機会をたくさん設けてほしいです。
- 災害の時に避難所となる学校の体育館にエアコンの設置。
- 桑名に住んでいる外国籍の子がたくさんいると思いますが、学校で結構困る子がいるそうです。自分の学校には、国際ルームという外国人の学習支援を行う部屋があり、この国際ルームをもっと色々な学校につくったら、もっと住みやすいまちになると思います。
- 高校にブロム（ダンスパーティー）を取り入れ、若者が青春を送れる場を増やす。
- 子どもたちの教育環境（小学校等）が古すぎる。耐震性も心配。
- 行きたい高校に全員行ける制度。
- 復学支援。
- 教員教育。

- PTA業務のボランティア化、外注（働きたい人の妨げとなっている）。減税、ふるさと納税の充実。

(4) 経済的な支援

- 子育て世代への経済的支援。（同様6件）

【同意見の内容】

- ・養育費の援助。
- ・おむつ購入の助成。
- ・中学の給食費免除、子育て世代への給付金。

- 経済的支援の充実。（同様4件）

- 0～2歳児の保育料無償化（保育料も高い）、給食費無償化。若者世帯が新築を建てた際に補助金を出す。

- 子ども出産時のお金が無料。義務教育費無料。

- 出産補助金、保育料等支援、新居手当。

- 高校無償化。

- 進学するための経済的援助が充実すると嬉しい。

- 学業優秀な人で桑名市から大学に通学する人に経済支援をして、桑名市内で就職できるように取り組んでほしい。

- 資格取得に関する支援がほしい。

- 鈴鹿市がベルディPayといった地域限定の電子決済ツールを使い地元企業にお金落ちるような取組をしており、桑名も真似してほしいと感じた。子育て世代への金銭的支援または物的支援が充実すると将来桑名市に住みたいと感じます。

- 体育館やダンス練習ができる場所の低価での貸し出し、低所得者への支援金(ガス代、水道など)を桑名市独自でやっていただけたらとてもありがたいです。

- お金が常になく暮らします。どうにもなりません。毎日その日暮らします。

- 私は日本に半年しか住んでいない外国人です。他の地域で行政から経済的援助を受けている友人のようになりたいと思っています。私の給料は低く、家族のニーズは高いので、経済的援助を得ることを望んでいます。

- 通学中、ポイ捨てを見かけることがよくあるのが嫌です。私の通学路では、煙草の箱・吸い殻やビールの缶、ビニール袋等結構落ちています。各自治体でゴミ集めをする日を設けて桑名市を綺麗にするなどをして、桑名市全体で環境への意識を高めるようにしてほしいです。現在、桑名市は18歳以下の医療費は無料です。私はそれをもう少し改善し

たほうがいいと思います。医療費が無料だということで、全員が病院に頼るようになってしまっているように感じます。いつも病院は混んでいる気がします。私は医療費をすべてタダにするのではなく、毎月医療費としていくらかそれぞれの家族に渡す方がいいと思います。もちろん、子どもの年齢等によって金額を変える必要はあると思います。これらはあくまでも私個人の意見ですが、桑名市で日常生活を送っていて気になった点です。

(5) 情報提供・相談

- 市からの広報の手段が少ないため、もし取組を行ったとしてもそれを知らないまま過ごしてしまっている。取組としては積極的であると思う。もう少し伝達手段を革新的なものにすればいい。
- 桑名市は都心への交通機関などが盛んであり、自分も名古屋などほかの県に移動したりするときに電車等の交通機関が便利だなと感じる時があります。なので、私は桑名市という市は交通機関が便利だともっとアピールすることで人口を増やすことができと考えました。東海3県では駅と駅をつなぐスタンプラリー等が開催されていると三重県のホームページで拝見いたしました。ですが、このようなスタンプラリーが開催されていたということは知りませんでした。普段電車を使わないということもありますし、スマホを持っていないので桑名市のホームページなどを確認する機会が少ないのです。このように、情報の提供が完全に広がっていないこともあると思います。まずはチラシなどの情報誌等を使い、三重県などに住んでいる人たち全員になるべく認知されることが重要だと思います。以前ショッピングモールでそのような情報誌を見ました。データカタログだけではなく、紙媒体の表紙でしっかりインパクトを残すことが大事だと思います。そうすればおのずと人は見ますし少しは興味を持つと考えました。
- 桑名市に企業をつくることで、名古屋まで通わなくてよくなる。広報誌に載っている桑名市の取組内容をもう少しわかりやすくしてほしい。また、おすすめスポットを若者向けにしてほしい。
- 自治会の情報がわかりやすい方がいい。
- 市役所内に子どものスペースをつくってほしいです。相談をしに行っても、子どもを抱っこしながらだと真剣にできない。
- 困ったことがあったらすぐに相談できる場所。子どもがいても母親がゆっくりできるような飲食店。
- 精神的に不安定になりやすいので、メンタルのサポートをしてくださる相談窓口やサー

ビスなどが増えると嬉しいです。

(6) 移動・交通

○路線バスの数を増やす。(同様5件)

【同意見の内容】

- ・桑名駅までのアクセスをよくしてほしい。
- ・住宅街等にバスの本数を増やす。

○交通の便をよくしてほしい。(同様4件)

○渋滞の緩和をしてほしい。(同様3件)

【同意見の内容】

- ・信号の時間の見直しや、車線の新設等で見直してほしい。
- ・長島町から他の場所に行くとき、橋が混むので2車線にするなどしてほしい。
- ・ナガシマスパーランドやなばなの里の渋滞緩和。

○道路を綺麗にしてほしい。(同様8件)

【同意見の内容】

- ・自転車専用道路がほしい。(同様3件)
- ・歩道の充実、整備。(同様2件)
- ・公共工事に出し惜しみせず、施設や道路等のインフラ整備をもっと行う。色々な業者が工事した後の道路のでこぼこなど、通行したりする上でも問題点が多く感じる。
- ・通学路等に歩行者用信号機や横断歩道をつけること。
- ・通学路について、草が生えていて通りにくかったり、暗くて困る。トラックの出入りがたくさんあって危険。子どもの数は少ないが、通学路の安全をちゃんとしてほしい。

○のるーと桑名の運行範囲を拡大してほしい。(同様2件)

○電車の本数を増やしてほしい。(同様2件)

○伊勢大橋の完成。(同様2件)

○給料が低く車やバイクを買えず、自転車で生活しています。桑名市は坂道が多くなかなか自転車で遠くまで行けなかったりコミュニティバスの本数が少なかったり不便です。

○高齢者がすごく多くなっているように感じます。買い物難民の声をよく聞きます(ひとり暮らしの方など)。買い物に行く手段がないとも。

○陽だまり→大山田→桑名駅ではなく、陽だまり→桑名駅を直で通るバスがほしい。バス利用者が増えて桑名駅の混雑が改善すると思う。高速バスも大山田のスマートインターに行くバスがあると便利。桑名駅発のバスの終バスをもう少し遅くしてほしい。バスが

なく、タクシーを使うことが何度かあった。

○最終のバスが早すぎてアクセスが悪いので、もう少し遅い時間までであると嬉しいです。

○近くにバス停がないからバス停を増やしてほしい。

○バスの料金が高いので利用しにくい。学割の充実。

○高校生の通学定期代を無償にする。地域のゴミ拾いを1か月に1回行う。

○バスの本数が少ない、料金が低い（名古屋まで近いようで遠い）。国道1号を2車線にしてほしい。

○多度町内を走るコミュニティバス、もっと高齢者や学生が日々使えるよう、ルート、時間を考えてほしい。いつも人が乗っていないともったいないと思う。神馬の湯ができて、訪れる人も増えたのはよいことだと思う。あの前の道に街灯を付けて、雰囲気をよくするとよいと思う。暗すぎる、もったいない。

○バス等、空港までのアクセス（高速バス）がなくなってとても困っている。他県から桑名市にアクセスしやすいよう空港までのバスがあると便利。たくさんの人たちが訪れやすくなると活気にもつながると思う。ぜひお願いしたい。

○養老鉄道の本数を増やしてほしい。

○市電を通してほしい。

○道路の舗装、白線が消えていて危ない道が多いように感じます。歩道の整備、小学生の通学路等でも車道と歩道が白線で区切られず狭く、車のスピードが速い道が多いように思います。街灯が少ない、夜は街全体がとても暗く、塾帰りの学生等の街の往来が危ないと感じることがあります。側溝の穴、側溝の蓋の取り外す用の穴に、幼稚園児が足を落としてはまっていたのを見かけました。蓋と蓋で段差（老朽化でガタつき）ができたところに、ご老人がつまずいているのもよく見かけます。

○桑名市内のカーシェアリング。

○大桑道路でのうるさい車やバイクの取り締まりを強化してほしい（特に夜）。大桑国道の周辺は住民がかなり住んでおり、かなり迷惑になっていると思います。

(7) まちづくり

① 子ども・若者の居場所

○公園を増やしてほしい。（同様3件）

○乳幼児が安心して遊べる公園を増やす。

○子どもの室内遊び場があると自然と集まって情報共有がしやすいと思う。

○小さな子どもが無料で遊べる室内施設が増えてほしい。スーパーにキッズスペースを積

極的に設置してほしい。

- 子どもが安心して遊べて自然に触れられるような場所がもっとあると嬉しいです。
- 個人的に市民プールが不足していると感じるので改善してほしいです。
- 体を動かして遊ぶ場所（お店より公園やアスレチック等）がもっとほしい。
- 温水プール、科学館、小中高一貫校、夏に週1で夜市を駅周辺で開催。
- 気軽に集まれて、友だちとの交流や勉強できるスペース、未来の職業について詳しく知れるブース等、楽しいことが詰まった施設。
- ゴミ拾いをする。テストを全学校で統一してほしい。近くに図書館がほしい。学校が休みのときの子どもの居場所をつくってほしい（家以外）。
- 24時間解放の集会所等、好きな時に友人と飲み食いや遊ぶことができる屋内施設がほしいです。
- 嘘のない正直な心、子どもが安心して自由に遊べる場所。

② 公共施設

- 桑名駅をもっと整備してほしい（同様4件）

【同意見の内容】

- ・桑名駅にゴミ箱をよりたくさん設置すること。
- ・北勢線の改札機をICカード対応可能な改札機にしたらいいと思う。西桑名駅と桑名駅を合併。
- ・桑名駅の駐車場、ロータリーを大きくする。
- ・駅西の駐輪場を広くしてほしい

- 家の近くに図書館がほしい。（同様2件）
- 自習室がない図書館に自習室をつくったり、ある図書館をもっと充実したりしてほしい。（同様2件）
- 公園等に座れる場所や本を読める場所や勉強に集中できる場所を増やしてほしいです。あと、Wi-Fi環境が使える場所を増やしてほしいです。
- 図書館の人気の新刊の冊数を増やす等、本の種類も充実させてほしい。介護認定申請期間を短くしてほしい。使いたいときに施設やサービスを利用できず大変だった。
- ふるさと多度文学館で自習ができるようにしてほしい。多度から桑名駅への電車の本数が少ないので交通アクセスをよくしてほしい。近くの山が削られて悲しかった。山を削らないで自然を大切にしてほしい。高校の選択肢が少ない。神馬の湯の市民割があったら嬉しい。小中学校への通学路が狭くて怖いと思います。

○冬場の長島駅の対応を何とかしてほしい。帰宅ラッシュのときに改札口が人であふれて
いるのはかなり困ります。

③ まち並み

○桑名駅周辺の開発を進めてほしい（同様22件）

【同意見の内容】

- ・カフェ（同様9件）
- ・娯楽施設（同様3件）
- ・ショッピングセンター（同様2件）
- ・飲食店
- ・ファストフード店
- ・ドラッグストア
- ・デパート
- ・おしゃれなお店
- ・SNS映えするフォトスポット。今駅前で行われているイルミネーションはとてもよい場所だと思いました。

○商業施設を増やしてほしい。（同様7件）

【同意見の内容】

- ・スーパー（同様2件）
- ・デパート
- ・ショッピングセンター
- ・若者向けのお店

○街灯を増やしてほしい。（同様5件）

○飲食店を増やしてほしい。（同様2件）

○ちょっとした休日に行くことのできる魅力のある施設を増やす。

○複合温泉リゾート施設ができれば嬉しい。

○娯楽施設をつくる。

○カラオケを増やしてほしい。

○カフェを増やしてほしい。

○コンビニを増やしてほしい。

○法律を学べる塾。

○老人ホームを増やす。

- 城南地区に住んでいるけれど駅自体が遠く、車か自転車でしか栄えているところまで行けないので、お年寄りのために近場にコンビニなどをつくってほしい。
- 駅周辺だけでなく、他の場所も視野に入れ、修繕等を行う。
- 駅郊外の発展、市道の道幅を広くする、現在のトレンドの店をつくる、交通の便を向上させる（車がなくても生活できる程度に）。
- 年期が感じられるのはいいところもあるが、汚いところが多いので少しずつ綺麗にしていく。桑名駅周りの開発、特にバス乗り場あたりは、さびで汚いし雨漏りもするので新しくする。ナガシマスパーランド等の観光地は世界にも誇れると思うのもっと宣伝し、時代に合わせてデザインし綺麗にする。
- 地域の商店街等が過疎化しないように、若者のお店と昔ながらのお店が共存し合う場所としてできればいいと思います。私は寺町商店街の三八市によく行きますが、地域の方と話したり暖かみを感じ、リフレッシュする場としてとても大切な場所になっているので、なくならないように続けていく必要があると思います。老朽化等の対策ができるといいと思います。
- せっかく新旧よいものが集まっているまちなので、マンションばかりではなくて、人々が集まれるお店や施設が増えるとよいと思います。
- 家賃が安くてセキュリティがしっかりしたアパートがたくさん建ってくると、ひとり暮らし等しやすい。
- 若者向け（経済的）の住宅、団地などの生活スペースがほしい。便利な土地柄、住むのに負担が大きい。
- 桑部をもっと便利にしたい。
- 陽だまりの丘は団地で人口がとて多いため、体育施設や有名な飲食店が充実してほしい。
- まちを発展させていくために変えていくことも大切だが、森林破壊が進むのは少し悲しい。
- これ以上山を削って住宅地を増やさないでほしい。自然を第一に守ってほしい。
- 名古屋に近い立地を活かし研究施設等を誘致、学園都市化し若者の増加を促す。

(8) 桑名市の魅力・PR

- 観光地を増やす。（同様3件）

【同意見の内容】

- ・他地域の人が楽しめる観光スポットがほしい（娯楽ではなく文化や歴史など文化の方

面で)。

- ・町おこし観光スポットをつくって収益や人流を増やす。

- 七里の渡しの復活。

- レジャー施設を増やす。

- もっと日本刀とか歴史系等で魅力的なまちであることを売り込むべき。現状はパツとしないイメージがある。

- ハマグリ以外の名産品をPRする。

- 桑名市について色々な人に知ってもらえるように、桑名市の歴史についての講演、石取祭の宣伝（伊勢志摩サミットのときのような）をやってもらえたら嬉しいです。

- 音楽やスポーツ等の文化をもっと発信してほしいです。

- 七里の渡しなど観光資源はいくつかありますが、それに至るまでの案内や周辺施設が乏しいため、困っている人をよく見かけます。もったいないなといつも思います。古くからの人や土地も多く、開発が難しいかとは思いますが、少しずつ新しいものが増えていくといいなと思います。

- 名古屋からの交通アクセスのよさをアピールする。

- 三重県で一番名古屋市への所要時間が短く、またそれにより東京大阪等の都市へのアクセスもしやすい。

- 田舎アピールで移住者を受け入れる。

- 従来からある地域や信仰に根付いた伝統ある祭りだけではなく、新しいものを企画して、桑名市を内と外から盛り上げる起爆剤にするとよいと思います。桑名市を内から盛り上げるというのは桑名の生活を活性化させることであり、少子高齢化対策やひきこもり・ネット依存の学生の外出につなげるとともに、他者との相互理解やかかわり方について考える機会になるという効果も期待できます。また、桑名市を外から盛り上げるというのは桑名に興味を持ってもらうということです。志摩スペイン村が最近人気を取り戻したのにはVチューバーが起爆剤となったことが大きな要因であり、Vチューバーは本格的なファンが多く、スキャンダルリスクが低い等の理由から、近年は他の地方自治体等からも注目されています。群馬県や東京都と大手のVチューバーのコラボもありました。そうしてVチューバーのファンに地方の魅力を知ってもらうことで活性化につながっていますが、このように知ってもらい興味を持ってもらう起爆剤が桑名市にも必要です。名古屋から近い、世界レベルのアトラクションがある遊園地がある、ハマグリがおいしいといった桑名市の魅力をPRするためにも、起爆剤となる新たな企画の検討、よろしく願いいたします。

(9) 地域のイベント

- マルシェの開催。(同様2件)
- あらゆる世代が楽しめるイベント(近隣店舗を巻き込んでのゲーム開催等)。
- 地域で気軽に参加できる、誰かと遊んだり学んだりできるイベント。
- イベントを増やして人を集める取組や、楽しかったりおしゃれなお店や施設を増やして賑やかにする取組があったらよいと思いました。
- 桑名市を離れている若者とそうでない若者が交流できる機会があるといい。
- 長島町の町おこし、活性化を図り、若者が多くなるような取組。
- フードのフェス等を開催し、地域の飲食店を発達させ、市外からの顧客を集める。
- 以前桑名駅前にキッチンカーが並んでいて、人が賑わっていていいなと思ったので、駅前のスペースや寺町等で地域の人とかかわれる場やイベントを今後も増やしてもらえたら、地域活性化にも繋がるのではないかなと思います。
- 藤が丘に住んでいるので古くからの祭りがなく、桑名で石取祭などしていても、こちらには音も聞こえず、賑やかさがわからずさみしいので、何か賑やかさが大山田にも感じられると嬉しい。桑名のどこかの広場で、古着のマーケット、骨董市等あれば嬉しい。大山田では秋のグリーンフェスタで古着のものはあり、子どもの祭なので子ども服のマーケットはありますが。大人向けの古着マーケットを、東京のようにお寺等でやってほしいです。
- ミュージカル鑑賞やスポーツ観戦などのイベントの開催。花火大会の混雑緩和、治安の維持(ポイ捨てがあると気分が悪い)。ビンなどの回収をわかりやすく。
- お菓子のイベント。

(10) 地域の生活・交流

- 多国籍用のゴミの出し方を指導するマニュアルづくり。
- 現状ではゴミ置場の指定場所は決まっているが、アルミ缶やペットボトル回収等は、一部の民間業者が指定した場所にしか捨てることしかできないので、今後は地域のゴミ置場にも同様なゴミ保管場所の設置を希望します。
- 桑名市は挨拶が少なく、またそれに限らず人とのコミュニケーションが少ないと思った。例えば、小学生の登下校中の子たちに挨拶をしても返事をしてくれなかったりする。話しにくいと思うかもしれないが、挨拶して嫌な気分になる人は少ないと思う。逆に会釈だけで済まされてしまったり無言だったりすると、挨拶した側としてはいい気分だとは言えない。他の地域がどうかはわからないが、寂しいところだと思ってしまう。最近は

インターネット環境が充実してきているため、どうしてもネットで済ませることが多くなってきている。昔を知らないなのでそのせいかはわからないが、昔よりも現実での会話ができない人や苦手だと思ふ人が多くなっていると思う。実際私の周りにも人(店員さん等)と話せない、という人が少なからずいる。だから店員さんに商品の場所をたずねるだけでも、なぜそんなに人と話せるのかと聞かれる。こちらからしたら「なぜ話せないのか」と思ってしまう。店員さんと話すことができないから、買いたいものがあるのに行きたくないという人だっているし、買うのを諦める人もいる。これは桑名市だけとは思わないが、対面でのコミュニケーションが取りたくても取れないという人が増えてきていると思う。私は人とコミュニケーションをとるのが好きなので、これからどんどんコミュニケーションを取れなくなってしまうのは嫌だし、人間は生活する上でコミュニケーションを取る必要があると思う。だから大きくなっていくときに人と話すことができない、というのは大きな問題点であると思う。個人的な意見だが、小学校低学年のうちから人とコミュニケーションを取るということを強制でなくてもさせてあげると、人と話すことに慣れてくると思う。そして、すぐとは言わないが十数年後にでも桑名市が今よりも挨拶で溢れて元気で住みやすい場所になっているといいなと思う。

- ボランティアで見回り。
- 幅広い世代で協力し合える場づくり。
- 月に1回掃除を行う。

(11) スポーツ

- 桑名市ならではのスポーツイベント。
- 駅伝だけでなくマラソンをやってみても面白いのではと思う。
- みんなが一緒にスポーツができる機会(例えばバスケットやサッカー等)をつくると思った。
- せっかく小中一貫校を多度につくるなら、多度町民がまた集まれる運動会も開催してほしい。
- 社会人になってもチームスポーツ(バレーボール)に参加できるシステムがあるとありがたいです。
- もっとスポーツに力を入れるべき。公認の陸上競技場等スポーツ施設も限られているように感じる。市長もスポーツに対して情熱があるのか分からない。桑名市民が全国の代表になっているが、それに対するアクション等がまるでない。戻りたいところだと思ってくれなくなる。

- 無料で遊べる施設、スポーツできる場所を提供してくれるようになったらいいと思う。
小さい子どもだけでなく、中高生向けにも。
- 鈴鹿市にある三重交通スポーツガーデンのようなスポーツができる総合施設が1か所に
集まってあるといい。特に、市民が利用できる屋内温水プール（大会が開催できる規
模）は早くつくってほしい。
- スケボーパークがあれば嬉しい。
- ストリートバスケができる場所がほしい。学校クラブチーム以外でスポーツが気軽にで
きる場所がほしい。

(12) 就労・産業

- 若者の創業支援の強化。
- 中学生、高校生が起業のシミュレーションや海外への経験を気軽に積めるような給付支
援を提供する。またそれらの支援活動の呼びかけ、全員に知ってもらえるようにする。
- 色々な仕事の体験。
- 農林水産業に関する取組、特に農業についての支援が他の市町村に比べて低いと強く感
じます。一度、他の市町村の支援を学ばれたらどうですか。農業離脱者が増えて、田ん
ぼ、畑を放棄する方が急増しているのはご存知ですか。田や畑が減ると洪水などの災害
が起きたときに、困るのは桑名市民ですよ。目に見えないことも支援していく、それが
大切では。

(13) 防災・減災

- 災害に備え、全年齢での避難訓練。（同様2件）
- 災害に強いまちづくり。
- 津波への対策がしっかりされること、道路の浸水対策。
- 住んでいる人全員が、災害が起きたときに安心して暮らせるようにすること。
- 地震が来たときの避難対策に力を入れると、若い世代が市外へ出ていかないのかなと思
います。
- 津波が来たときに逃げられる高い避難場所をたくさんつくってほしい。今の避難場所に
なっているところは低い。
- 津波の際に安全な避難所をつくること（特に長島地区）。
- 年に1回地震を体験できるイベントを開き、大きな地震が来たときの対処法などが学べ
る機会をつくる。

- 南海トラフが起こると言われているので、焦っていても避難が素早くでき、避難するところや安全なところに逃げられるように、道に避難経路を示す看板を設置して、最短で避難所に行けるようにする。病院とかは災害時、患者を助けてから逃げるので、津波にのまれにくく、避難所となるところから近いところに移動させるべき。
- 津波等の災害が怖くて住みたいと思える場所が少ない。

(14) 行政

- 桑名市の資産を増やす。そして、それぞれの家庭みんなが充実した暮らしをできるようにお金の支援をすること。（同様２件）
- 若者の意見を取り入れて実行するような取組が必要。
- もっと住民の意見を取り入れ、住民がもっと政治に参加できるようにする。行政の透明性を高める。市議会などの様子を動画でわかりやすく解説する。市民がアンケートを職場や学校でできるようにする。
- 若者が参加したいと思えるような、多角的な取組を期待します。
- 教育や医療機関の予算を増やす。
- 税金を低くしてほしい。
- 税金を低くする。高いならそれなりに市民に還元してほしい。よくわからない施設は建っている必要がないと思うので、福祉や教育、医療等生活に必要不可欠なところにお金を使ってほしい。
- 水道代を安くしてほしい。
- ゴミがよく落ちているから対策してほしい。
- 猫や動物が大好きなので、動物を守ったりできる取組が必要だと思います。
- もっと国民のために給付金を配って、経済を回してほしい。

(15) その他

- ウーバーイーツがほしい。（同様２件）
- 成人式の日、成人した人はナガシマスパーランド等の入園を無料にしてほしかった。
- 意識を変える。
- ざっくり楽しいまち。
- とても落ち着いていていいまちだと思う。

第2部 ヒアリング

◇ヒアリング調査結果の概要

▼ヒアリング調査の対象者

対象	実施時期	人数	方式
中学生・高校生（津田学園中学校・高等学校）	【中学3年生】 令和6年1月15日、 2月19日 【高校2年生】 令和6年1月22日、 2月26日	【中学3年生】 26人 【高校2年生】 20人	ワークショップ
高校生（桑名北高校「わくわくコミュニケーション」を選択している2年生）	令和5年10月31日、 11月2日	71人	ヒアリング
ケアリーバー（児童養護施設や里親などの社会的養護の保護を離れた方）	令和6年3月19日	2人	ヒアリング
妊婦（母子健康手帳を交付した妊婦）	令和6年3月1日～ 令和6年3月31日	77人	ヒアリング
子どもの父親（子ども・子育て応援センター「キラキラ」・「ぽかぽか」利用者）	令和5年11月12日、 11月16日	15人	ヒアリング
ひとり親家庭の保護者	令和5年12月21日～ 令和6年1月19日	7人	ヒアリング
子育て中の外国人	令和5年12月22日～ 令和6年1月31日	12人	ヒアリング
多胎児の保護者	令和6年3月1日～ 令和6年3月31日	12人	ヒアリング（WEB・紙併用）
医療的ケア児の保護者	令和6年2月1日～ 2月21日	10人	ヒアリング（WEB方式）
障害児の保護者	令和6年2月8日～ 2月21日	121人	ヒアリング（WEB方式）
幼稚園教諭（公立幼稚園・私立幼稚園）	令和5年12月1日～ 令和6年1月31日	39人	ヒアリング（WEB方式）
保育士・保育教諭（保育所・保育園・認定こども園）	令和6年1月18日～ 2月12日	173人	ヒアリング（WEB方式）
学童保育所支援員等	令和5年12月28日～ 令和6年1月31日	96人	ヒアリング（WEB方式）
ファミリー・サポートセンター援助会員	令和6年1月10日～ 1月31日	24人	ヒアリング（WEB・紙併用）
こども食堂（運営スタッフ）	令和6年3月1日～ 3月19日	12か所	ヒアリング

1 中学生・高校生（津田学園中学校・高等学校）

(1) ワークショップの概要

中学生・高校生に、市政に関心を持っていただき、行政に意見や考えを伝える機会を設けることを目的に学校法人津田学園の協力のもと、「みんなでつくる桑名の明日～中高生が考えるまちづくり～（以下「ワークショップ」という。）」を実施しました。

対象者	中学3年生	高校2年生
日時	◆第1回 令和6年1月15日（月） 午後1時35分～3時25分	◆第1回 令和6年1月22日（月） 午後3時40分～4時40分
	1 開会・あいさつ 4 発表 2 アイスブレイク 5 閉会 3 グループワーク	1 開会・あいさつ 4 発表 2 アイスブレイク 5 閉会 3 グループワーク
	◆第2回 令和6年2月19日（月） 午後1時35分～3時25分	◆第2回 令和6年2月26日（月） 午後3時40分～4時40分
	1 開会・あいさつ 3 発表 2 グループワーク 4 閉会	1 開会・あいさつ 3 発表 2 グループワーク 4 閉会
会場	津田学園中学校・高等学校	



(2) ワークショップの主な内容

① 中学生

テーマ	内容
〈第1回〉 ○桑名市で実施している取組を知る ○桑名市で実施している取組等の課題を考える	・令和5年度桑名市政10大ニュースを提示し、「知っていること」「知らないこと」をグループで確認しました。 ・「知っていること」は知ったきっかけを、「知らないこと」は認知度が低い原因を考察しました。 ・桑名市が実施している施策や事業を周知するために必要なことをグループで検討しました。 ・桑名市にある課題を検討しました。
〈第2回〉 ○桑名市に住み続けたいようになるための取組を考える	・第1回ワークショップの振り返りをしました。 ・「こんなまち（桑名市）だったら住み続けたい」というテーマで、グループで検討しました。 ・住み続けたいまちの実現に向けて、必要なことを提案しました。

② 高校生

テーマ	内容
〈第1回〉 ○隠れている地域課題を知る ○地域課題について、自分、地域、行政ができることを考える	・「子育て世帯」、「引きこもり」、「ヤングケアラー」、「ひとり親世帯」の具体的な事例を提示し、それぞれの事例について、どのような支援や助けがあれば暮らしやすくなるか検討しました。 ・具体的な事例を抱えている人や世帯が身近にいた場合、自分、地域、行政ができることを提案しました。
〈第2回〉 ○桑名市にある課題とその課題に対する解決策を提案する	・桑名市にある課題の検討とその課題に対する解決策について提案しました。

(3) ワークショップで出た主な意見

①中学生

【桑名市の取組や出来事を知るきっかけと知らない原因】

▼桑名市の取組や出来事を知るきっかけ	▼桑名市の取組や出来事知らない理由等
☐ ニュースで見た ☐ 友人や親から聞いた ☐ 学校、授業で聞いた ☐ 実際に体験した、現場に行った、見た、利用したことがあった ☐ 市役所で案内を見た	☐ 関わりがない。関心がない ☐ 目にする機会がない ☐ 周知が不足している。周知の方法が悪い ☐ 報道されていない ☐ 若者はニュースを見ない
▼桑名市の取組や出来事を周知するために必要なこと	
☐ 地域のニュースアプリをつくり、学校で使っているタブレット等にアプリを入れる ☐ 桑名駅前にあるモニターでニュースを流す ☐ 桑名市のホームページを見やすく、利用しやすくする	

【桑名市にある課題と桑名市に住み続けたいするための取組】

▼桑名市の課題だと思うこと	
☐ 通学路の街灯を増やしてほしい ☐ 公園にゴミが落ちている ☐ カーブミラーの設置が必要な場所がある ☐ バス停に屋根とベンチがあるとよい ☐ 桑名駅前のトイレを綺麗にしてほしい ☐ 桑名市だけで取り組むのではなく、全国から多くの人に関わることが必要	☐ 交通の便が悪い ☐ 税金の使途を知りたい ☐ 駅の周辺を活性化してほしい（店舗・学習スペース） ☐ 他校と交流する機会がほしい ☐ 遊べる娯楽施設や飲食店がもっとあるとよい
▼桑名市に住み続けたいための取組	
☐ SNSやYouTubeを使い、桑名市に関する広告を増やす ☐ 桑名市のホームページに桑名市のPR動画を掲載する ☐ 桑名市のCMをつくる ☐ 多様な世代のニーズを聞くために、駅などにご意見箱を設置する ☐ 市内の企業を援助し、商業を発展させる ☐ 移住の支援を手厚くする ☐ 子育て世代へのサポートを行う ☐ 運動できる場所、遊べる場所を増やす ☐ 広報紙が行き渡るように、様々な人材の活用や、設置場所を増やす	☐ 桑名市の特産品を宣伝する ☐ スポーツイベントを行うなど、スポーツの魅力を伝える ☐ ペットと一緒に過ごせる場所を増やす ☐ 防災設備の充実、避難所を整備する ☐ 地域行事を増やして地域の人の交流を深める ☐ 防犯や取り締まりを行い、住みやすい、安全なまちにする ☐ 自然を大切にする ☐ 公共の場所を綺麗にする

②高校生

【具体的事例に必要な支援】

【事例Aさん】子育て世帯について

35歳、女性、夫・子ども2人（2歳、0歳）と同居、既婚

- 結婚を機に桑名市に居住しはじめた。
- 家族は遠方に住んでいて、近くに親しい友人はいない。
- 夫の収入で生活できているものの、Aさんは仕事をしたいと考えている。
- 夫は家事や子育てには協力的ではなく、Aさんが中心となってやっている。
- 子育てや夫が家事や育児に非協力的であることに不満を抱えているが、相談相手がいない。
- 子ども以外と関わるのが少なく、孤独を感じている。

＜【事例Aさん】子育て世帯への支援など＞

- 夜間も利用できる保育園がある
- 相談する機会をつくる
- 短時間だけ子どもを預けられる場所を増やす
- 地域との関わりを持つ
- 同じ境遇の人々が交流できる場を増やす
- 夫と話し合う機会をつくる
- 夫に子育てや家事の大変さを知ってもらう機会をつくる
- 子育て支援を強化する（給付金、子どもが遊べる場所を増やす）

【事例Bさん】引きこもりについて

20歳代後半、男性、無職、父親・母親と同居、既婚歴なし、子どもなし

- 就職活動がうまくいかず、現在は仕事をしていない。
- 周囲との劣等感に悩み、人付き合いをしなくなった。
- 外出はほとんどせず、自室にこもっていることが多いが、近くのコンビニに行くことはある。
- SNS やゲームをしていることが多い。
- 親は仕事をして自立してほしいと思っているが、本人との話し合いはできていない。
- 本人も仕事をしたいと思っているものの、なかなか行動に踏み出せない。

＜【事例Bさん】引きこもりの人への支援など＞

- 親と話し合う、話すきっかけをつくる
- 自分のしたい仕事を見つける
- SNS等を活用して他者との関わりをつくる
- 趣味や特技を仕事にできるようにする
- 地域活動に参加する
- 同じ境遇の人々と交流する機会をつくる
- 相談できる機会や場所をつくる

【事例Cさん】ヤングケアラーについて

17歳、女性、学生、母親・弟（6歳）と同居

- 父親の死後、母親が精神疾患を発症した。また、弟が特別支援学級に通っている。
- 母親は日によって、一人で外出することが困難な場合があり、Cさんが付き添って外出している。
- 家事や弟の世話に追われ、自分のために使える時間が少ない。
- 大学に進学したいと思っているものの、勉強時間が確保できない。
- 現在の状況に問題があることを本人は自覚しておらず、誰にも相談していない。
- 親や弟の病状が心配。
- 勉強と家族の世話で睡眠不足。学校を遅刻することもある。
- 以前はバスケットボール部に入っていたが、現在は家族のお世話や家事に追われ退部した。

＜【事例Cさん】ヤングケアラーへの支援など＞

- 同じ境遇の人々と交流する機会をつくる
- 母親を専門の支援につなげる
- 母親のケアを誰かに依頼する
- 地域に援助を求める
- 弟が家以外で過ごせる場所をつくる
- 資金の援助を求める
- 家事代行などを活用し、自分の時間をつくる
- 本人にヤングケアラーであるという自覚が必要

【事例Dさん】ひとり親世帯について

35歳、男性、正社員、子ども（4歳）と同居、離婚歴あり

- 1年前に離婚し、現在は4歳の子どもと2人で暮らしている。
- 正社員として仕事をしているが、仕事にかける時間が減ったことで、収入が少なくなった。
- 近隣に実家があり、子どもが発熱した際などには頼っている。
- 仕事と子育てに追われ、睡眠時間があまりとれない。
- 子どもは保育園に預けているが、仕事が遅くなる日も多く、子どもにさみしい思いをさせているのではないかと不安に思っている。
- 子育てや仕事の相談は同僚にしている。
- 家事が得意ではなく、子どもに手作りの食事を食べさせたいと思っているが、ほとんど実現できていない。

＜【事例Dさん】ひとり親世帯への支援など＞

- 支援やサービスの情報を提供する場所が必要
- 親族の援助を得る
- 子育てと仕事を両立しやすい職場に転職する
- 相談窓口を設置する
- 教育費、生活費を経済的に支援する
- 会社内に託児所をつくる
- 職場に休暇を取りやすい制度を導入する
- 同じ境遇の人々と交流する機会をつくる
- 子育て支援を強化する（給付金、子どもが遊べる場所を増やす）

【桑名市にある課題と課題の解決に向けた取組】

<桑名市の活性化>

【課題だということ】

- 公園、野球場、プールを増やして欲しい
- 球技ができる公園が少ない
- 安全性を考えた上で、上げ馬神事の継続
- 娯楽施設がほしい

【桑名市の活性化に向けた取組】

- 球技が行えるよう、既存の公園にネットなどを増設する
- SNSを活用して桑名市をPRする
- ふるさと納税やクラウドファンディングで資金を集めて、公園などを整備する

<住みやすいまちづくり>

【課題だということ】

- 自転車専用の道路がほしい
- 通学路が狭い
- 桑名駅前のトイレを綺麗にしてほしい
- 福祉センターを増やす

【住みやすいまちにするための取組】

- 道路やトイレなどを整備する
- 福祉センターを増やすために、空き家を活用する。また、介護士を増やして人手不足を解消する
- 住民アンケート等を行い、ニーズを把握して取り組む
- 回覧板をデジタル化する

<安全・安心なまちづくり>

【課題だということ】

- 通学路の街灯を増やしてほしい
- 騒音バイクの取り締まりを強化する
- 道路で遊んでいる子どもがいて危険

【安全・安心に暮らすための取組】

- 住民アンケート等を行い、ニーズを把握して取り組む
- 騒音に関する条例をつくる
- 警察の巡回を増やしてもらう

<公共交通に関する事項>

【課題だと思うこと】

○バス・電車の料金が低い、本数が少ない。

【公共交通課題の解決に向けた取組】

○駅周辺を活性化させることで、電車に乗る人が増えて運賃が下がるのではないかと。住民と桑名市との間で話し合いが必要

○無人駅の改修、ＩＣカードを使えるようにする

(4) ワークショップを終えた感想

① 中学生

○住みやすいまちづくりをするためには様々な工夫が必要だと分かった。

○他の人たちの意見を聞くことができて、色々なアイデアがあるのだなと思った。

○考え出したら実現してほしいことがたくさん出てきた。

○全体的に楽しいまちにしてほしい。

○市の人に考えを伝える機会があって良かった。

② 高校生

○交通の面という大きな課題はあったけれど、それ以外に特に困ったことがあまりないことが分かって、改めて桑名は良いまちだと思った。

○自分たちが意見を言い合うことが大切だと思った。

○今まで受け身で過ごしてきた。桑名について、普段とは違った目線から見る事ができて新鮮だった。桑名について掘り下げて考えるきっかけになった。

○政治や行政には関心があり、自分の考え、意見を伝えることがしたかったため、このような機会はうれしかった。

○普段考えない桑名市の課題を見つけられるのが楽しかった。友人の意見を聞いて話を深めたり、意見をもらいながら解決策を考えたりして、良いグループワークになったと思う。

○どのグループも似た意見が多く、問題を共通認識していることが分かった。

○桑名市に通うようになって、良いまちだと思う反面、もっとこうすればよいのに、と思っていた。このような機会のおかげで伝えることができた。

○困った点を解決しようと思うとお金や時間がかかるため、それらをできる限り使わない解決策を考えられるのもっと住みやすいまちになると思った。

○桑名市だけでなく、近隣の市町村の活性化やサポートなどが必要だと感じた。地域をより良くするためには、このように意見を発信させていく重要性を感じた。

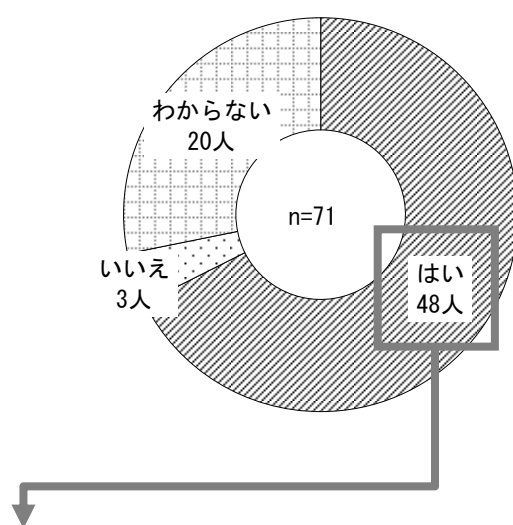
2 高校生（桑名北高校「わくわくコミュニケーション」を選択している2年生）

(1) 将来結婚したいか

結婚や子育ては個人の自由な意思決定に基づくものであることは大前提ですが、対象の高校生71人のうち、結婚したい（「はい」）のは48人（67.6%）を占めています。

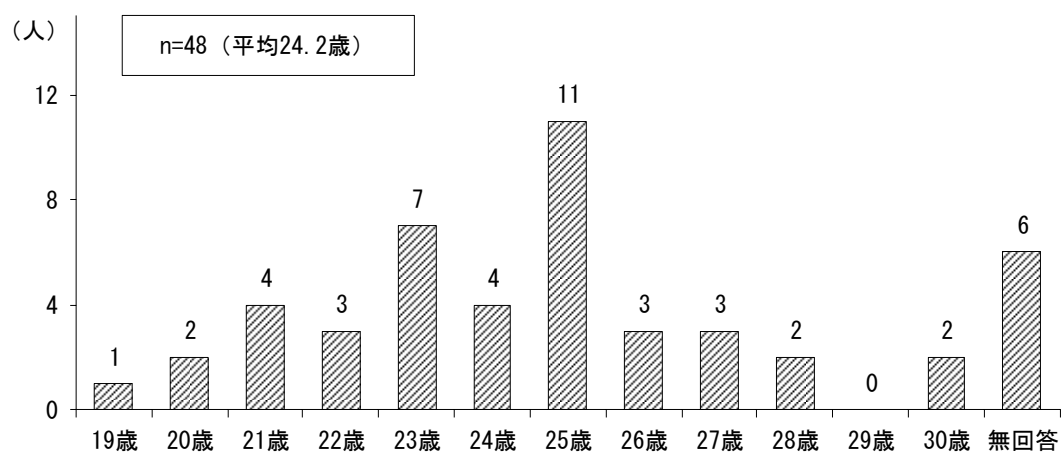
結婚願望のある48人のうち11人（22.9%）が25歳で結婚したいと考えており、25歳以下は32人（66.7%）です。

図表1 将来結婚したいか



（注）図表中のn（Number of Caseの略）は回答数を示しています。（以下同じ）

図表2 結婚したい年齢

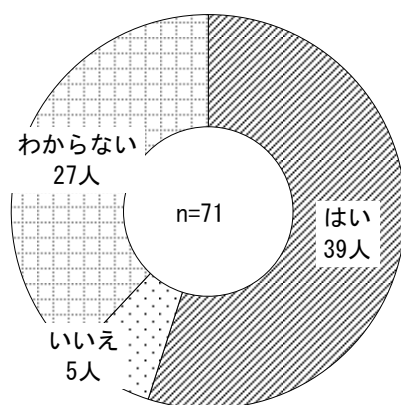


(2) 子どもがほしいか

子どもがほしいと考えているのは39人（54.9%）と最も多い回答でした。

それぞれの理由として、図表4、図表5、図表6の内容が記載されていました。

図表3 子どもがほしいか



図表4 子どもがほしい理由（子どもがほしい人）

・かわいいから（18件） ・子どもが好き（8件） ・ほしいから（2件） ・子育てをしてみたい（2件） ・家族は多い方が楽しいから ・自分の家庭を築きたい ・家族を増やして楽しい生活を送りたい ・賑やかだと楽しいから ・子どもが好きだからという理由もあるが、学んだことをむだにしたくない ・子どもをつかって、いろいろな初めてをたくさん知ってほしい	・他人の子ではなく、自分の子の世話をしてみたい ・他の子がかわいいなら、自分の子が一番かわいく見えそう ・一生の宝物になるから ・目標をつくりたい ・子どもがいる方が楽しみは増えると思うから ・いところがいつもかわいい。お世話をしてみたいと思ったから ・自分の子と会ってみたいけれど、痛いらしいから不安 ・好きな人との子どもはかわいい ・子どもがいた方が仕事も頑張れる
---	--

図表5 子どもがほしくない理由（子どもがほしくない人）

・結婚をしたいと考えていないから（2件） ・お金を使いたくない ・愛せるかわからない
--

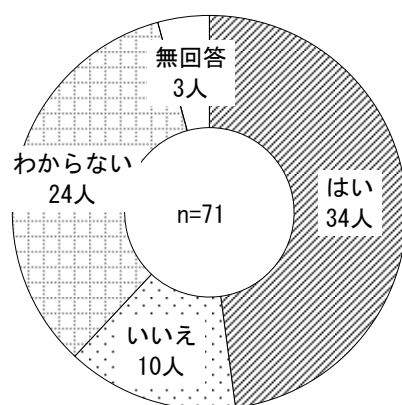
図表6 子どもがほしいかわからない理由（子どもがほしいかわからない人）

・かわいいけれど、大変そう（3件） ・結婚できるかわからない（2件） ・まだそこまで考えていない（2件） ・金銭面の不安（2件） ・ほしいけど、大変だという話を聞くから ・子どもを産むのが怖い。しかし、子どもを育ててみたいという気持ちもある ・自分が結婚するかどうかかわからず、子どもがいてもいなくても自分なりの幸せはあると思うから ・結婚すればほしい	・育てるのに一人で背負う責任がないと無理だから ・実感がわからない。自分が一つの命を育てるという覚悟や責任がまだわからない ・かわいくて守ってあげたいけれど、実際にはどのくらい大変なのかわからなくて不安 ・自分の中で覚悟が決まっていない ・できるかわからない ・想像がつかない ・わからない ・考えたことがないから
---	--

(3) 将来、子どもを育てながら働きたいか

将来、子どもを育てながら働きたいと考えているのは34人（47.9%）と最も多い回答でした。

図表7 将来、子どもを育てながら働きたいか

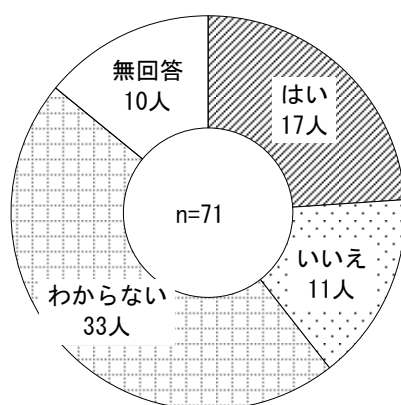


(4) 桑名市に住み続けたいか

桑名市に住み続けたいかたずねたところ、「わからない」が33人（46.5%）と最も多く、住み続けたい（「はい」）は17人（23.9%）です。

それぞれの理由として、図表9、図表10、図表11の内容が記載されていました。

図表8 桑名に住み続けたいか



図表9 桑名市に住み続けたい理由

・慣れ親しんでいるから（4件） ・知っている場所だから（2件） ・知り合いと離れたくない ・店や医者のある場所がある程度わかっているから ・桑名が住みやすいから ・桑名が安心できる ・今は不満がほとんどないから	・よいまちだから ・親と近い方が助けてくれる ・困ったときにすぐに助けを求められるから ・立地が以外とよい ・家から出たくない ・知らない場所が怖い
---	---

図表10 桑名市に住み続けたくない理由

・違うところに住んでみたい（4件） ・桑名市以外に住みたいと思っている場所があるから ・地震がこわいから ・海外で働いてお金を稼ぎたい ・桑名市に住んでいない ・桑名のような田舎だと、高校受験の時に自分の行きたいところに行くことになったら、名古屋まで行かなければならなくなるかもしれないから、都会で好きなように生きていってほしい ・遊ぶ場所がなさすぎる ・静岡で暮らしたい

図表11 桑名市に住みたいかわからない理由

- ・どこで仕事をするかわからない（4件）
- ・どこでもよい（3件）
- ・都会にも住みたい（2件）
- ・まだわからない（2件）
- ・元々桑名市民ではないからわからない（2件）
- ・住む場所が変わるかも
- ・地元がよいかわからない
- ・ダンスがしたいから
- ・緑の多いところがよいが、自分だけで決めることではない
- ・子どもを育てる場合、働かず子どもと家庭に集中したい。子どもがいない場合は、働く方向で考えてい。桑名市に住み続けるのか、職のことを考えて、別の場所に住むのか考えたい
- ・自分の住みやすいところに住みたいから。それが桑名市とは限らないため
- ・桑名市にずっといられるのかわからない
- ・考えが変わると思うから
- ・そのとき次第だから
- ・出たいと思っているし出たくないとも思っている。何をしているかわからないから
- ・実家の近くがよいが、桑名かはわからない
- ・他の場所に行ってみたいし、いろいろな人に会ってみたい
- ・夢が決まっていないから
- ・もっとよい場所があるかもしれないから
- ・いろいろな店や施設があるところがよい
- ・他の県に住んでみたいが、このまま住み続けるのもよいと思っている

(5) 家庭ではどのような子育てがよいと思うか

- 夫婦で協力しながら子育て（13件）
- 子どものやりたいことをさせてあげる（9件）
- ダメなことはしっかり言う（6件）
- 愛のある子育て（5件）
- 笑顔でやさしく（4件）
- 子どもが安心・安全な環境（4件）
- 子どもに寄り添う子育て（3件）
- 家族全員で子育て（3件）
- 楽しむ（3件）
- 自由（3件）
- 危ないことをしようとしたら、厳しくする子育て（2件）
- 協力する子育て（2件）
- なるべく子どもにやらせる（2件）
- 自由で元気に
- 適度に自由な空間をつくってあげる
- 子どもの好奇心を大事にする
- 怒鳴るのではなく、叱る子育て
- 共働きで、仕事のときは親族を頼る
- 皆で育てる
- 皆笑っている
- 周囲からの支えが必須
- 自分が子どもに指示を出すのではなく、子どもがしたいようにすればよいと思う
- 楽しくたくさん笑う
- できるだけ長時間子どもと一緒にいる
- 子どもと一緒にいる時間を大切にする
- 自分の親が手助けしてくれる
- 生活にゆとりをもつ
- 子ども第一
- 無理をしない
- 厳しくしない
- 自分のやりたいこと、やらせたいことを押しつけない
- 人に迷惑をかけない
- コミュニケーションをとる
- よいこともしっかり言う
- 自然とふれ合う
- 子どもにとって居心地のよい環境
- 子どもを守る
- 子どもが楽しく過ごせる環境
- 赤ちゃん同士や同年齢の子と遊ぶ機会
- 五感や脳を使う
- かかわる人皆がよいと思う子育て。育休をとる
- 子どもとたくさんかかわる。行事など楽しいことを大事にする
- 子どもがいて、専業主婦の場合は、子どもに「おかえり」と言って迎え入れる環境

(6) 子育てするときにあるとよいサポートや支援

①情報提供・相談

- ☐ 相談できる場所や人（8件）
- ☐ 24時間365日電話や直接相談があるとよい
- ☐ 子育て支援センターや病院等に行かなくても相談できるとよい
- ☐ LINE機能のように、聞いたら何でも答えてくれる機能があるとよい
- ☐ 子育て専門の質問箱のサイトがあると便利
- ☐ 病気もちの子がいる母親の話をゆっくり聞いてあげてほしい
- ☐ 子育ての仕方を教えてくれる
- ☐ 離乳食などを教えてくれる
- ☐ 子どもが楽しめる遊びを教えてくれる
- ☐ 言葉などを教える
- ☐ 赤ちゃんのことについて知れる会

②経済的支援

- ☐ 金銭的支援（11件）
- ☐ 安価なサポート
- ☐ おもちゃの譲渡

③保育事業

- ☐ 子どもを預けられる場所（12件）
- ☐ 子育てを助けてくれる場所、人（3件）
- ☐ 保育所・保育園（2件）
- ☐ 認定こども園
- ☐ 学童などに子どもを預けられる
- ☐ 子どもの面倒を見てくれるサポート

④子育て支援センター

- ☐ 子育て支援センター（4件）
- ☐ 「ぽかぽか」のような施設（4件）

⑤遊び・交流の場

- ☐ 遊ぶ場所（2件）

- 子育てについて考える会
- ママ友、家族
- 0～2歳の子が来られる場所

⑥共働き支援

- 会社からの支援（育休など）
- 会社にも保育園のようなものがあるとよい

⑦精神面の支援

- 不安なことや心配なことを共有して解決していく
- メンタルケア
- 親からのサポートと保育所・園などから心的な支援
- 子どもが明るく、元気に成長するためのサポート

⑧その他

- ごはんなどを届けてくれる、つくってくれる支援（2件）
- 子どもがいる人だけのスペースがバスや電車にあるとよい（2件）
- 自分だけの時間を過ごせる場所
- 夜泣きで寝られない日が続くので、月に1回夜、子どもを見てくれる人がいるとよい
- 保護者が体調を崩したとき、助けてくれるサポート
- サポートの人が自宅に来てくれる
- 今もたくさんのサポートがあり、それに助けられている母親もいるため、今のままでも十分だと思う

(7) 桑名市のよいところ

- | | |
|---|---------------------|
| ○自然が豊か（10件） | ○人がよい（7件） |
| ○お店が多い（5件） | ○治安がよい（4件） |
| ○子育て支援センターがあること（4件） | ○食べ物が美味しい（4件） |
| ○田舎過ぎず、都会すぎないところ（3件） | ○名古屋へのアクセスがよい（3件） |
| ○空気がおいしい（3件） | ○のんびりしていて平穏なところ（2件） |
| ○友人が多い（2件） | ○公園が多い（2件） |
| ○桑名駅（2件） | ○ハマグリ（2件） |
| ○皆幸せ（2件） | ○子どもを預けられる場所が多い |
| ○子どもを育てやすい | ○少し山を登れば景色が綺麗なところ |
| ○生き物が多く、勉強になるところ | ○田舎 |
| ○なんだかんだ都会 | ○田んぼが多くてのどか |
| ○明るい、元気 | ○自由なところ |
| ○遊べるスポットがたくさんある | ○小中学校が近い |
| ○いろいろな場所の距離感 | ○夏はイベントがたくさんある |
| ○祭りがある | ○平和 |
| ○さまざまな楽しさがある | ○賑やか |
| ○困ったときに近所の人に手伝ってもらえることがある | |
| ○近くの川で遊べる | ○スター21 |
| ○施設が多い | ○城の跡地がある |
| ○名物がある | ○施設が多く、子どもをまかせやすい |
| ○ミカンが美味しい | ○思い出がある |
| ○保育に専念できる。高校のコミュニケーションの授業や保護者の人の協力が桑名市のよいところだと感じる | |

3 ケアリーバー（児童養護施設や里親などの社会的養護の保護を離れた方）

(1) 児童養護施設入所中に、周りの大人にしてもらいたかったこと、嬉しかったこと

- 十分施設にはしてもらった。嬉しかったことは、サンタさんをしてくれたこと、施設職員に抱きしめてもらったこと。ささやかな日常を楽しむことはよかった。ちゃんとした理由で叱ってもらえたこと
- 「ちょっと待って。後にして。自分で考えられない？」が施設職員の口癖。ただ、夜になると、その職員が部屋に入ってくる。「さっきの何だった？ごめんね」と言ってくれるこの職員さんが好きだった。自分のことを気にかけてくれて、放置しない
- 「行ってらっしゃい」と「お帰り」の人が違う、引継ぎがうまくされておらず、自分から説明しなければならないのは嫌だった
- 地域の人が話を聞いてくれることも嬉しかった。専門職じゃなくてもいい。寄り添ってくれる人。心のよりどころになってくれたことが嬉しかった

(2) 入所前～退所後の支援であるとよい支援

- 入所前に地域が私にできたことはない。そもそも存在を認識されていなかった。頼れる大人は施設職員だった。退所後も施設の職員の連絡の取りやすさが嬉しかった。パート先で苦しかった時、クビになりそうだった時に泣きながら相談した。クビになったら住むところがない、行き場がないため、退所後の自由に対して責任を感じた。退所後に施設も含めてケアリーバーが相談できるところがあるとよい。

(3) 入所前、入所中、退所後で、一番不安だったこと

- 退所後の生活が、会社の寮だったので、クビになったら住む場所がなくなる。困った時に帰れる実家が無いので、実家のような機能があると嬉しい
- 入所前に児相職員等が来て、説明があった。担当職員の名前も覚えている。なんで施設に行かなければならないのか、子どもが理解できるように説明するが、知らないところへ行くのだから不安。子どもは施設を選べない
- 入所中はモデルになる大人がいたので不安は無かった。施設に入る子どもは、ヤングケアラーが多いので、自炊の仕方などの家事は皆できるので不安はない。人によってニーズが違う。人に頼ることができる力をつけることが大切。失敗しないと頼れないため、頼る力をつけるには、失敗をさせて見守ってくれる環境が必要
- 退所後は、お金のことが困った。大学の学費は高く、今日明日のお金が必要。

○地域の方に望むことは、施設のことを知ってもらうこと。「悪い子がいるところね」という思い込み。ランドセル、お菓子、クリスマスケーキを買うお金は施設にはある。モノよりも、現状どんな子がいてどんな課題を抱えているかを知ってもらうことが大切。精神的な支え、そういう存在が必要

(4) 子どもの権利についての意見

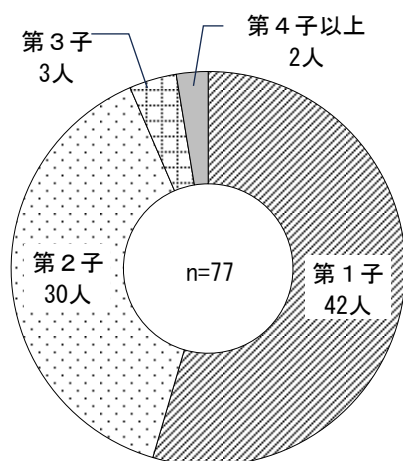
○子どもの権利を守るといっても、本当にわかっている大人がどれだけいるのか。大人が学ぶ必要がある。学び、深め続けていく。子どもを守ることを真剣に考えていかなければならない

4 妊婦（母子健康手帳を交付した妊婦）

(1) お子さんは第何子か

現在妊娠中のお子さんが第何子かたずねたところ、「第1子」が42人（54.5%）、「第2子」が30人（39.0%）、「第3子」が3人（3.9%）、「第4子以上」が2人（2.6%）です。

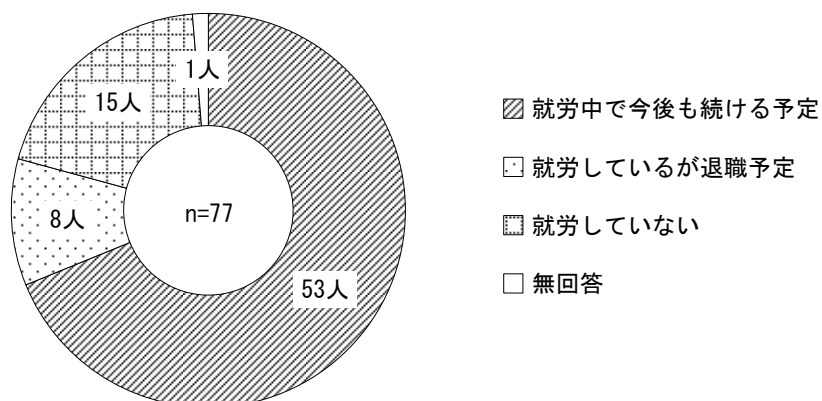
図表12 現在妊娠しているお子さんは第何子か



(2) 現在の就労状況

現在の就労状況は「就労中で今後も続ける予定」が53人（68.8%）、「就労しているが退職予定」が8人（10.4%）、「就労していない」が15人（19.5%）です。

図表13 現在の就労状況



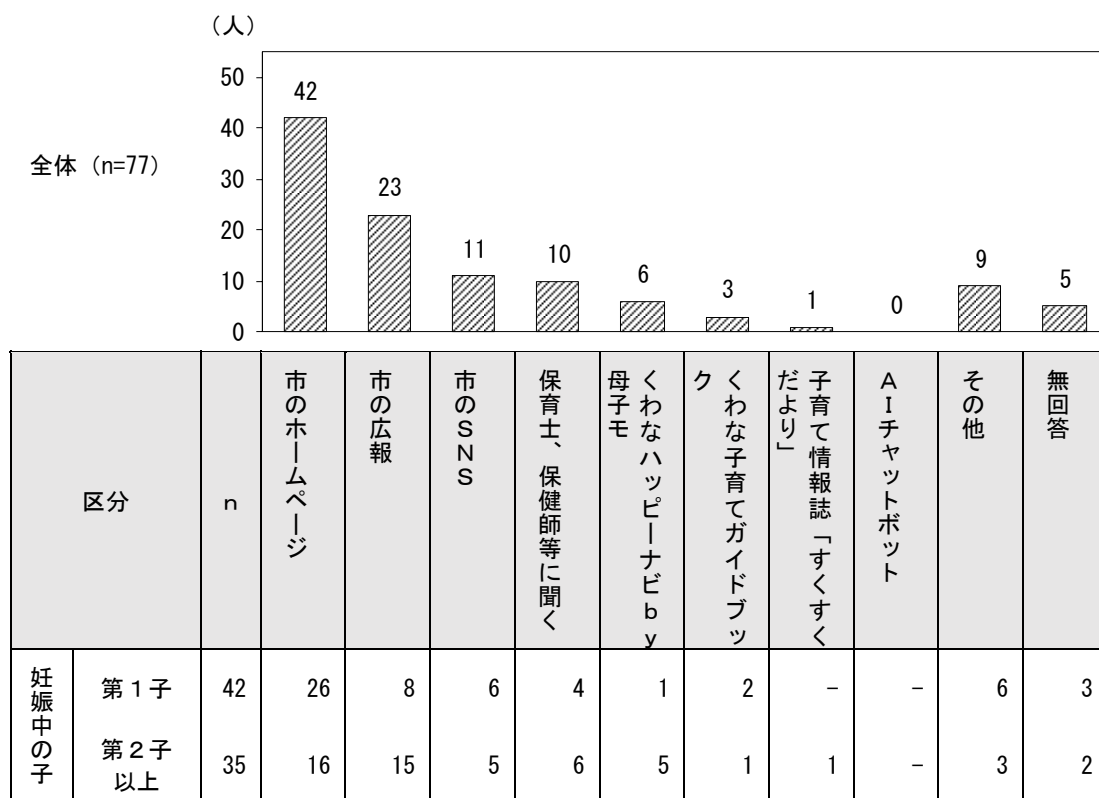
(3) 情報の取得方法

市の子育て情報の取得方法は「市のホームページ」が42人と最も多く、次いで「市の広報」(23人)となっています。

妊娠中の子が第1子の人では「市のホームページ」が最も多くなっていますが、第2子以上の人は「市の広報」と「市のホームページ」が同程度です。

図表14 情報の取得方法（複数回答）

単位：人



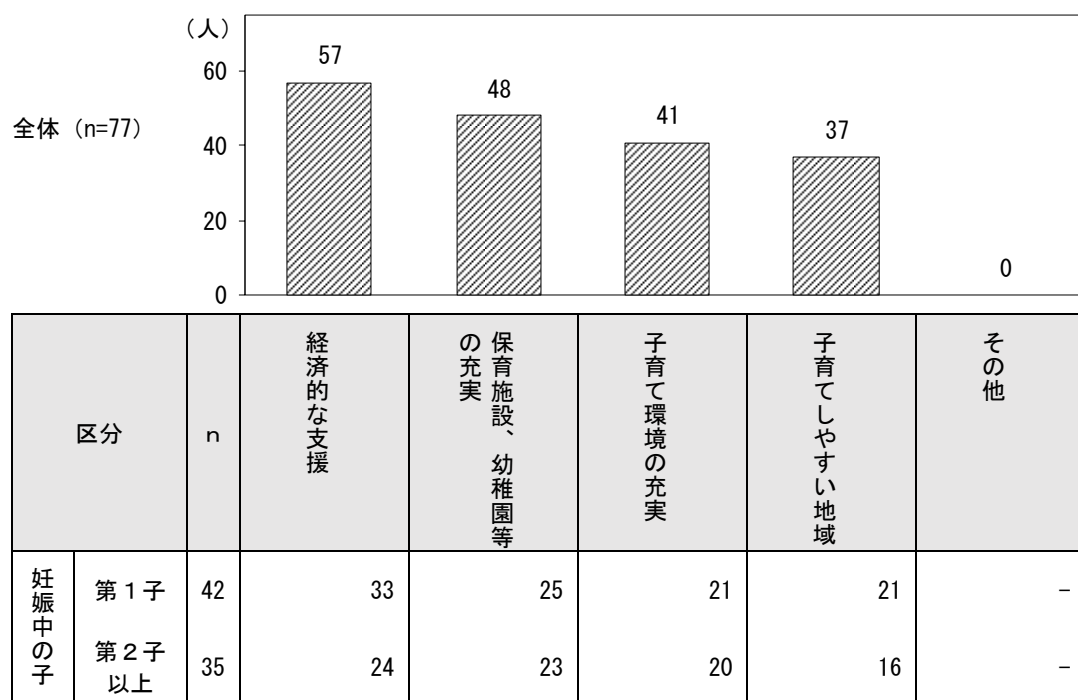
(4) 充実してほしい子育て施策

充実してほしい子育て施策は「経済的な支援」が57人（74.0%）と最も高く、次いで「保育施設、幼稚園等の充実」が48人（62.3%）、「子育て環境の充実」が41人（53.2%）、「子育てしやすい地域」が37人（48.1%）となっています。

妊娠中の子が第1子、第2子以上の人ともに「経済的な支援」が最も多くなっていますが、第2子以上の方は「保育施設、幼稚園等の充実」も同程度となっています。

図表15 充実してほしい子育て施策（複数回答）

単位：人



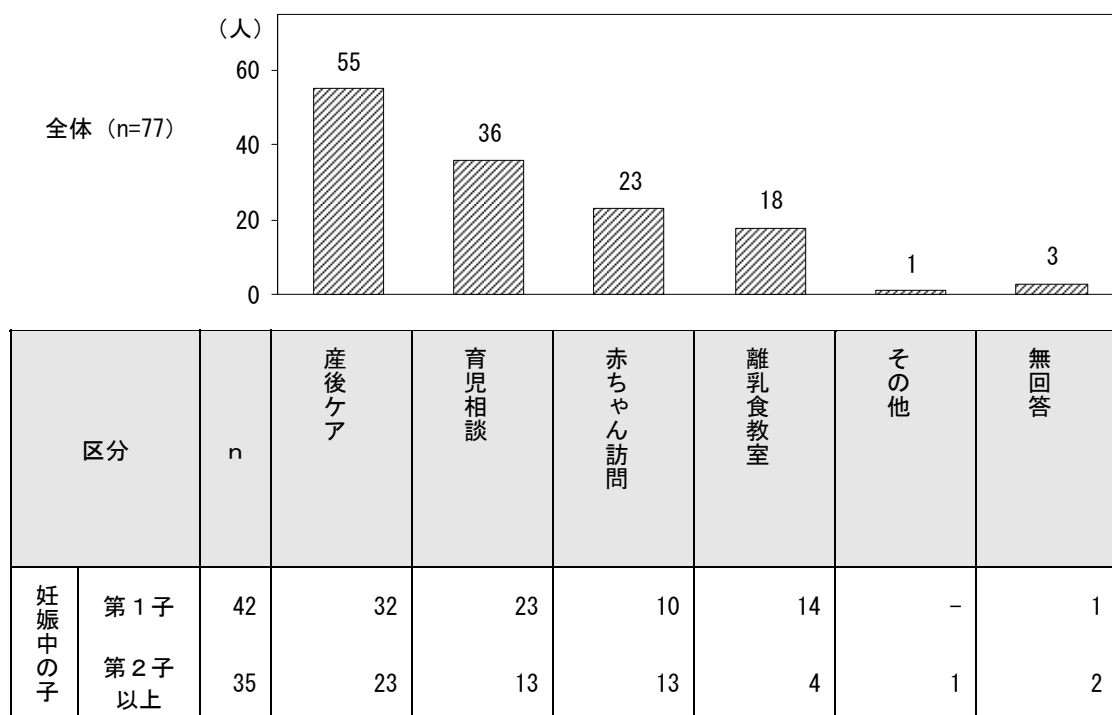
(5) 出産後に希望する母子保健のサポート

出産後に希望する母子保健のサポートは「産後ケア」が55人（71.4%）と最も多く、次いで「育児相談」が36人（46.8%）となっています。

妊娠中の子が第1子、第2子以上の人ともに「産後ケア」が最も多くなっています。次いで多いのは、第1子の方は「育児相談」、第2子以上の方は「赤ちゃん訪問」、「育児相談」となっています。

図表16 出産後に希望する母子保健のサポート（複数選択）

単位：人



5 子どもの父親（子ども・子育て応援センター「キラキラ」・「ぽかぽか」利用者）

(1) 子育て全般について、桑名市のよいところは何か

①子育て支援センター

- ☐ 子育て支援センターが充実している（5件）
- ☐ 「ぽかぽか」や「にこにこ」があって助かる
- ☐ 子育て支援センターの知育玩具が充実している
- ☐ 子育て支援センターがたくさんある
- ☐ 社会福祉協議会のぽかぽかの講座を利用している。料金も利用しやすく、子どもも楽しんでいてありがたい
- ☐ 子育て支援センターの数が多く、各センターで休みが違うので、毎日でも連れて行ける
- ☐ 「ぽかぽか」のような大きな子育て支援センターがあるのでよい。施設内には先生もいるため安心

②公園・遊び場

- ☐ 公園が充実している（2件）
- ☐ 自然が多い（2件）
- ☐ 地域イベントが充実している

③その他

- ☐ らいむの丘のような官民共同での施設運営も画期的になっているところ
- ☐ 病院の医療費助成が事後精算から窓口無償になったこと
- ☐ 子育て世代が多い
- ☐ 桑名子育てリフレッシュ事業等の新しい試みをしているのはよいと思う。また、LINEを活用している点もよいと思う。今後、もっと利用できるシーンが増えるとよい

(2) 子育てをされていて困ったこと、必要な支援は何か

①子育て支援センター

- ☐ 日曜・祝日も「キラキラ」等を使えるようにしてほしい
- ☐ 以前、豊橋市のこども未来館「ここにこ」に行ったとき、子どもがとても喜んでいて、子育て支援センターの拡充があるとうれしい。フェスタなどのイベントが増えてほしい
- ☐ 「ぽかぽか」のような施設が近場にあると来やすい

②保育園・幼稚園・認定こども園

- 保育園などの入所が難しいと聞いたことがある
- 保育園に入園する際、希望の保育園の募集がしていなかったり、募集人数が少なく入園できなかった
- 認定こども園に入れる際、母が仕事をしていない場合、預ける時間がかなり減ってしまうし、共働きの子と比べると夏休みも多いので、その間置いていかれる
- 保育園に入れず困った。公立に入れないと認可外が基本の選択となってしまう。認可私立も7時からが多くなると助かる。もしくは、公立が増えたら
- 共働きをしようとしたら、公立の幼稚園に入れると働く時間が短くなってしまう
- 桑名駅周辺の保育施設が少ない

③公園・遊び場

- 近所の公園の遊具が古くなってきているので新しくしてほしい
- 雨の日、暑い日に遊べる場所（屋内施設）がほしい（多度在住）
- 1～3歳くらいの子ども用のアミューズメント施設
- 子どもと行きやすい公園が少ない気がする。1つ大きな公園がほしい

④経済的支援

- 医療費の無料期間を長くしてほしい
- 金銭的な支援（子どもが産まれたときにもらえるポイント等）
- 子育て支援金の拡充

⑤その他

- 小学校の通学路が歩道と車道の間隔が狭く危険
- バス、電車がが増えて移動しやすくなってほしい
- 子育て相談の巡回
- 妻が車を運転できないため、アプリで配車可能なサービスがあるとよい
- 小学校が古いため新しくしてほしい
- くわなメディアライブプレイルームでの一時預かりについて、電話やネットで予約できないのが不便。また、くわなメディアライブプレイルーム、「にこにこ」での一時預かりの際、記入する内容が多いため減らしていただきたい

(3) 桑名市の好きなところ

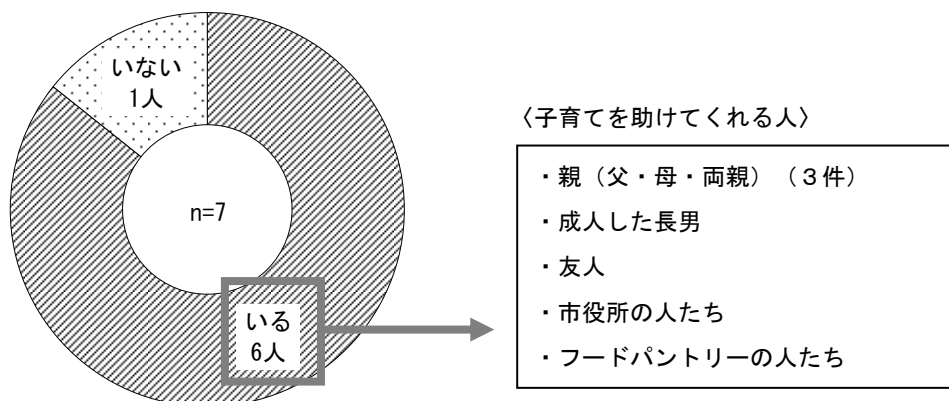
- 名古屋までのアクセスが便利（3件）
- 自然が多い（3件）
- 歴史・文化（3件）
- 街の部分と田舎の部分のバランスが丁度よい（3件）
- 歴史があり、大社、遊園地など観光できる場所も多く、いろいろな人を招待したくなる
よいまち
- 適度に田舎なところ
- 人が多すぎず、少なすぎず丁度よい
- ハマグリ、石取祭など自慢できることが多い
- 立花公園、デザイン公園
- 子育てしやすい
- 穏やかで静か
- 移住の補助金等の支援金があるので助かる
- 住みよい
- 美味しいご飯屋さんが多い
- 高低差があること。新西方の方から市街地を見たときの眺めが好き
- 人が穏やか

6 ひとり親家庭の保護者

(1) 子育てをサポートしてくれる人の有無

対象のひとり親家庭7人のうち、子育てをサポートしてくれる人がいないのは1人です。

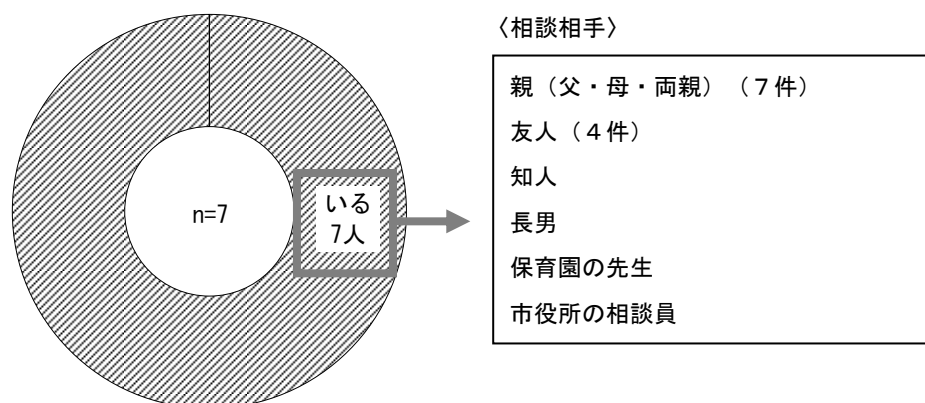
図表17 子育てをサポートしてくれる人の有無



(2) 子育てで困ったときに相談する人はいるか

子育てで困ったときに相談する人がいるかたずねたところ、7人全員が「いる」と答えています。

図表18 子育てで困ったときに相談する人はいるか

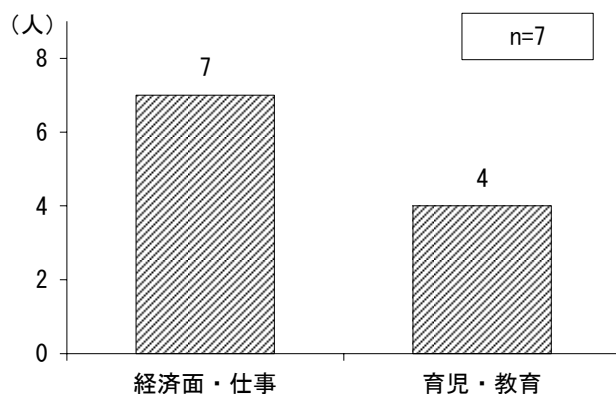


(3) ひとり親になった当時の心配事や悩みごと

ひとり親になった当時の心配事や悩みごとをたずねたところ、「経済面・仕事」は7人全員、「育児・教育」は4人となっています。

具体的な心配事や悩みごとの内容として図表20が記載されていました。

図表19 ひとり親になった当時の心配事や悩みごと（複数回答）



図表20 ひとり親になった当時の具体的な心配事や悩みごと

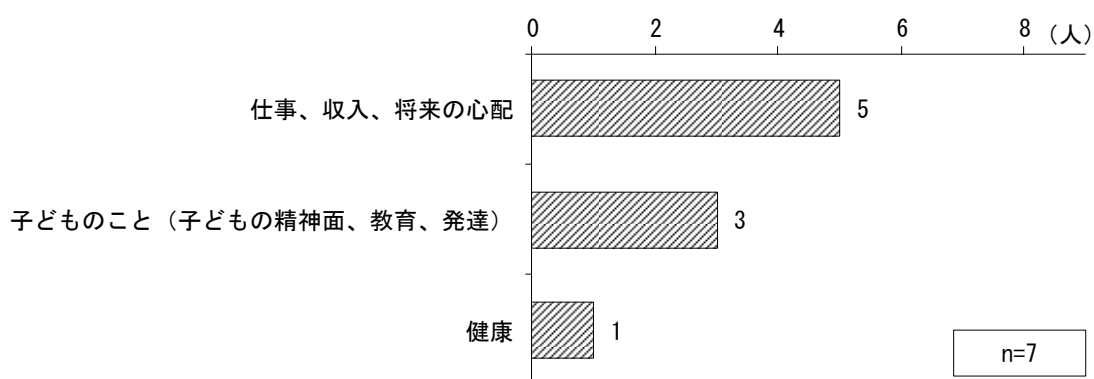
- ・仕事を辞めていた時期だったため、どうやって生活していこうか、子どもが成人するまでの人生プランについてとても悩みました。支えてくれる親や友人はいたため精神的には大丈夫でした
- ・ひとりで育てていけるのか、経済的な問題、仕事と育児を両立できるか
- ・経済的に余裕がなく、将来的な暮らしや教育について不安があります。また、子育てについても、きちんと向き合えているのか不安があります
- ・収入面で心配になるときがあります
- ・お金のことが一番心配です
- ・経済的なこと
- ・子どもが病気になったときに仕事に行けなくなることや、病児保育を利用しても満席で預かってもらえなかったこと、利用料が高額となり家計が圧迫されたこと。親族がいない中での子育てだったので、自分自身に病気が見つかり、もし自分が死んだら子どもたちはどうなるのか心配だった

(4) 現在の心配事や悩みごと

現在の心配事や悩みごとは「仕事、収入、将来の心配」が5人、「子どものこと（子どもの精神面、教育、発達）」が3人、「健康」が1人です。

具体的な心配事や悩みごとの内容として図表22が記載されていました。

図表21 現在の心配事や悩みごと（複数回答）



図表22 現在の具体的な心配事や悩みごと

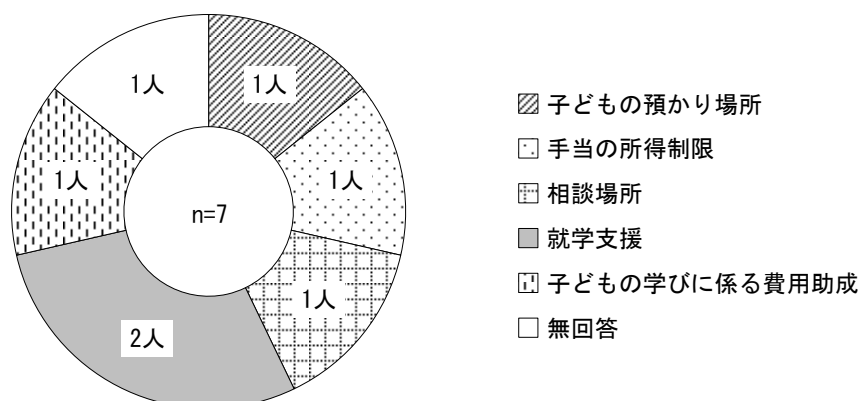
- ・ 現在学校に通い資格取得を目指しているため、無事に取得できるか、その先就職できるかどうかは心配ごとの一つです。ですが、子どもたちと一緒に前向きに楽しく暮らせています
- ・ 子どもの発達面が心配
- ・ 時間とお金の余裕がないので、子どもに寂しい思いやつらい思いをさせていないか心配です
- ・ 収入面で心配です。子どもが小学生なので働く時間が限られてしまう
- ・ 子ども手当（児童扶養手当）がなくなるのに子どもが進学すること
- ・ 進学のコストが用意できるのか。子どもが自立できるまで生活を支える収入を確保できるのか
- ・ 毎日時間に追われているので子どもと話をする時間も取れず、しっかりと向き合っていることができずに子どもに不安と孤独を感じさせているのではないかと
- ・ 健康面

(5) 桑名市に必要な支援やサービス

桑名市に必要な支援やサービスをたずねたところ、いずれの項目も1人程度となっており、様々です。

桑名市に必要な支援やサービスの具体的な内容として図表24が記載されていました。

図表23 桑名市に必要な支援やサービス



図表24 桑名市に必要な具体的な支援やサービス

- ・今でも十分支援していただいております。学校に通って学ばせてもらえるのも支援があるからなので、この先も続けていただきたいです
- ・未就園児限定の子ども預かりの場所を就園児も可にしてほしい
- ・気楽に相談や頼れる場所があるとうれしいです。ちょっとした相談をできる場所、話を聞いてもらえる場所があるとよいと思います
- ・桑名市ではないですが、国全体で、母子手当（児童扶養手当）の所得制限がもう少し緩和されてほしいです
- ・学費のサポート
- ・ひとり親に限らずですが、子どもの学びにかかる費用をなくしてほしい。子どもが大きくなるほどお金がかかり、子どもにいろいろなことを諦めさせるしかありません。保育園から小学校までは減免もあり、なんとか生活できていましたが、中学、高校となると制服、部活の費用、交通費等、本当にお金がかかります。学童費、授業にかかるお金、制服、部活のユニフォーム代、給食費等、子どもにとって当たり前の生活にかかるお金は無償化をお願いします

(6) 子育て全般に関して桑名市のよいところ

- 子育て支援センターが充実している。子育て世代が程よく多いため暮らしやすい
- メディアライヴ1階の託児所
- 子どもについての支援がたくさんあるところです
- いろいろサポートしてくれる人たちが多い
- 保育園の先生が優しく思いやりのある方が多かったように思います

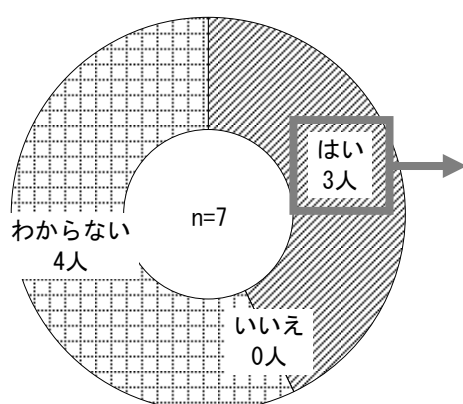
(7) 桑名市の好きなところ

- 人口が多すぎず、少なすぎず、暮らしやすいと思っています。バスの路線がもっと増えたらもっと暮らしやすくなるだろうと思います
- 買い物できる場所が多い。公園も多い。名古屋へのアクセスがよい
- 名古屋などにもアクセスしやすく、適度に田舎なので暮らしやすい
- 気候がよい。交通の便がよい
- 交通の便がよい。住みやすい
- 緑が多い
- 安全

(8) 大切だと思う子どもの権利はあるか

大切だと思う子どもの権利がある（「はい」）と考えているのは3人です。

図表25 大切だと思う子どもの権利はあるか



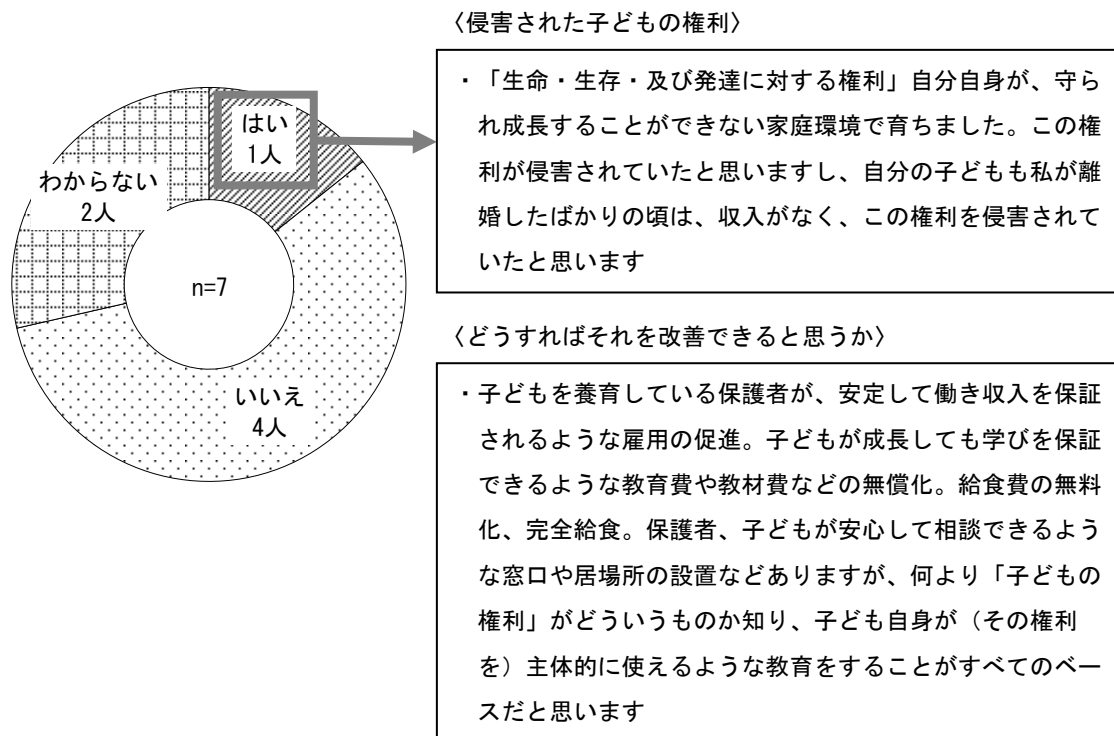
〈大切だと思う子どもの権利〉

- ・まだ言葉をうまく話せない子どもでも、対話してあげる姿勢を持ってかわってほしい
- ・教育を受ける権利
- ・「子どもの意見の尊重」。この質問では、「子どもの権利」のことをよく知っている人しか答えられないと思います。「子どもの権利」を知らない人にも答えられるように「子どもの権利条例」の説明のチラシなど同封するべきだと思います。非常に不親切です。また、多くの方は子どもの権利条例を策定するののかも知りません。市のホームページにも分かりやすく掲載し、策定しようとしていることを広く知らせるべきだと思います

(9) 過去に侵害された子どもの権利はあるか

過去に侵害された子どもの権利がある（「はい」）のは1人です。

図表26 過去に侵害された子どもの権利はあるか

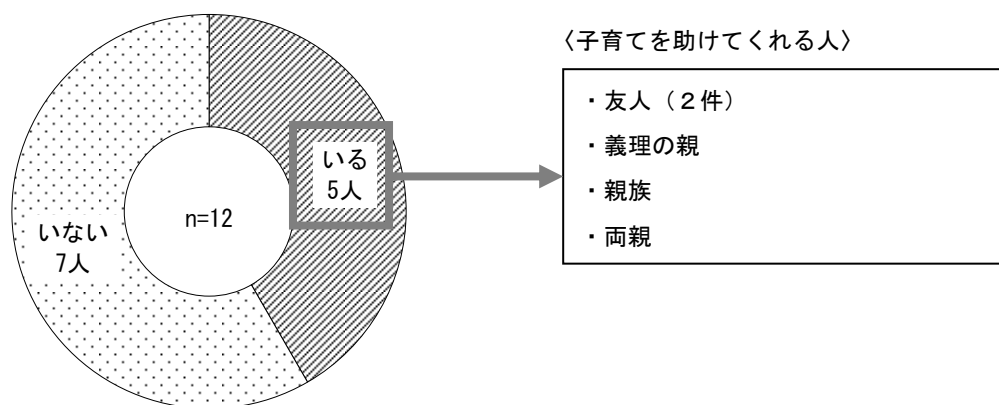


7 子育て中の外国人

(1) 子育てを助けてくれる人はいるか

対象の子育て中の外国人12人のうち、子育てを助けてくれる人がいないのは7人です

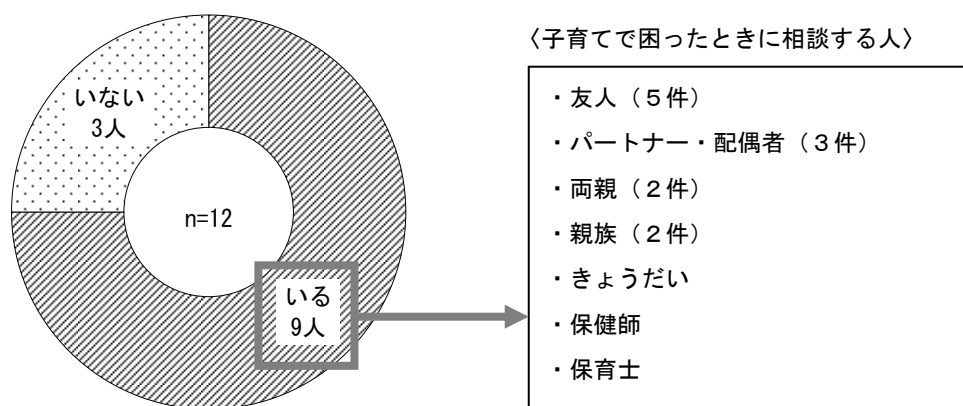
図表27 子育てを助けてくれる人はいるか



(2) 子育てで困ったときに相談する人はいるか

子育てで困ったときに相談する人がいないのは3人です。

図表28 子育てで困ったときに相談する人はいるか



(3) 桑名市で子どもを育てていて、よいところは何か

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|
| ☐ 保育園の先生方が親切なところ | ☐ 親切な人が多い |
| ☐ こころがあたたかい | ☐ 学校が近い |
| ☐ 住みやすい | ☐ 市や学校の教職員の支援 |

(4) 桑名市で子どもを育てていて困ったことは何か

- ☐ 園への連絡がアプリでできないこと
- ☐ 桑名市社会福祉協議会が運営している園では、欠席などがアプリで連絡できるので、日本語ができなくても連絡が簡単でよい。日本語が不得意な人にとって電話はハードルが高い
- ☐ 救急時に小児科がなくて診てもらえない。断られたりして、対応もよくなかった
- ☐ 市役所に行くと、以前のような親切が少ない
- ☐ 先生の相談が伝わらない、変化がみられない
- ☐ 難しい言葉がわからない
- ☐ きょうだいそろって同じ園に入るのが確約されない。学童を19時までに延長してほしい
- ☐ バスケットコートとサッカーコートがあると子どもたちが遊べるからよい
- ☐ 産まれたばかりの赤ちゃんのお母さんにヘルパーさんの助けがあるとよい

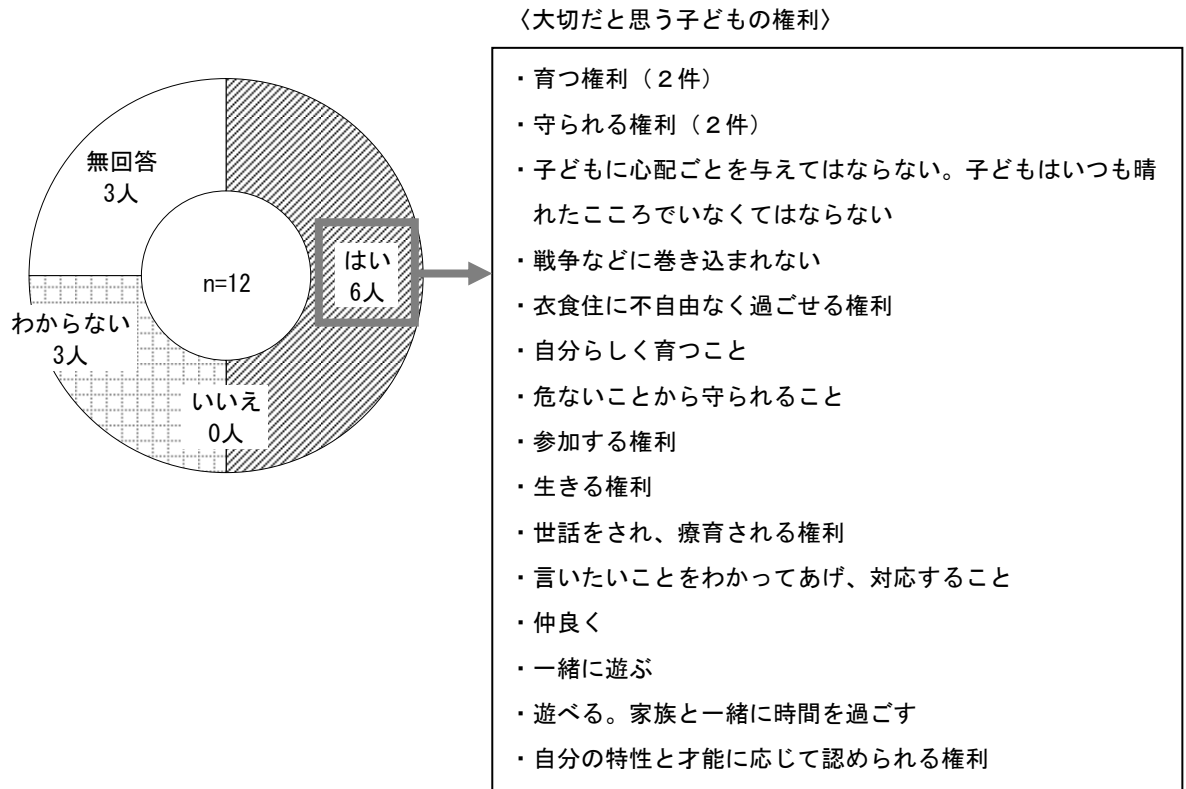
(5) 桑名市の好きなところは何か

- ☐ 公園がたくさんあるところ（2件）
- ☐ 人がやさしい（2件）
- ☐ 市役所での手続きなど対応もよく、親切な人がいました。特に、子ども未来課にいました
- ☐ フレンドリーな人々
- ☐ 環境が静かでとてもきれい
- ☐ 清潔な環境
- ☐ 外国人向けのインセンティブが多い
- ☐ 交通の便がよい
- ☐ 自然災害が少ない
- ☐ ショッピングセンターに行けるところ
- ☐ 三八市、公園。桑名城を直すとよいと思う
- ☐ すべて

(6) 大切だと思う子どもの権利はあるか

大切だと思う子どもの権利がある（「はい」）と考えているのは6人です。

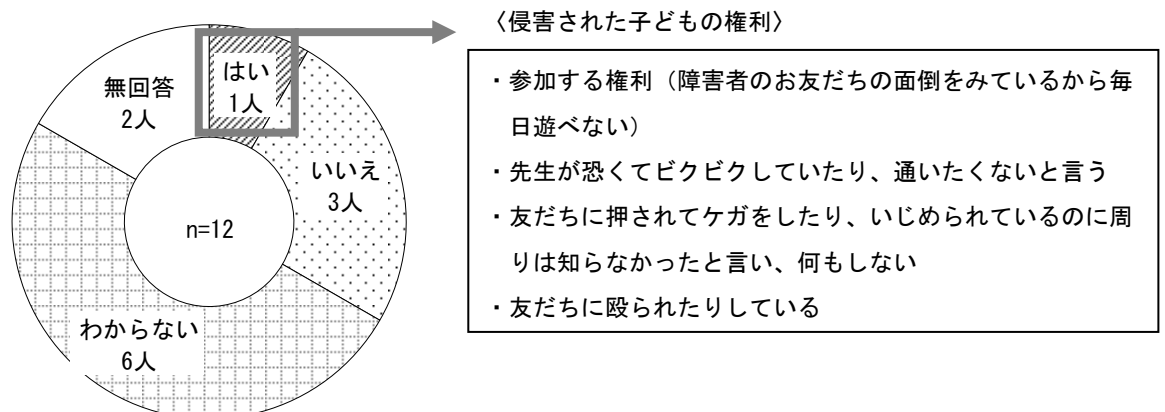
図表29 大切だと思う子どもの権利はあるか



(7) 今まで侵害された子どもの権利はあるか

過去に侵害された子どもの権利がある（「はい」）のは1人です。

図表30 今まで侵害された子どもの権利はあるか



(8) 子どもの権利を守るために、どうしたらよくなると思うか

○専門的知識のある人を指導者として週2回呼び、先生も学ぶ

○もっと目を配る。何度か相談しているのにもかかわらず、うちの子はケガをしていたり、友だちに殴られたりしているからもっと注意するか、親に言う。場合によって親同士で話がしたい。相手は学校の方針によって守られているが、私の子は他の子によって暴力や暴言だったり、いじめじゃないかと思うくらいのことをされてきていますので、子どもだけで話というのも解決しませんので、親と向き合って話がしたい

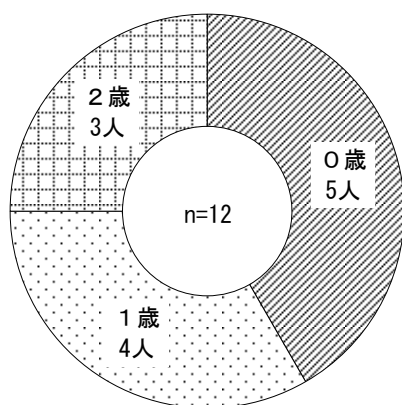
○障害者の子による暴力などもあります。たまたまぶつかったと処理をされることが多い。障害者がクラスにいたのであれば、あらかじめ教えてくれることで、自分の子への説明だったり、こちらとしての対応も変わるケースもあるのではとここ1年思いました。もちろん暴力はダメが前提です

8 多胎児の保護者

(1) 子どもの年齢

対象の多胎児の保護者12人に多胎児の子の年齢を聞いたところ、「0歳」が5人、「1歳」が4人、「2歳」が3人となっています。

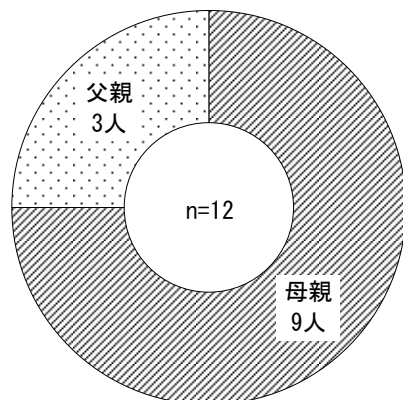
図表31 子どもの年齢



(2) 回答者

ヒアリング調査の回答者は「母親」が9人、「父親」が3人です。

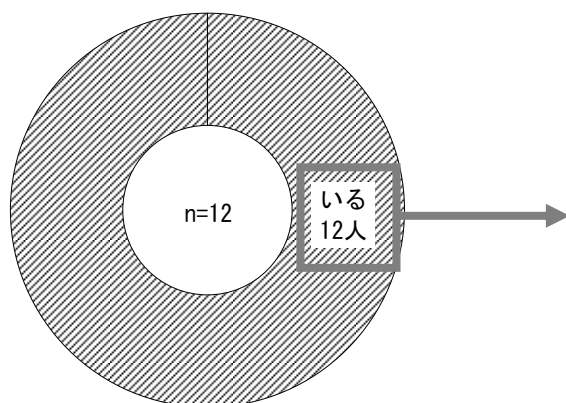
図表32 回答者



(3) 子育てをサポートしてくれる人の有無

子育てをサポートしてくれる人の有無をたずねたところ、全員が「いる」と答えています。

図表33 子育てをサポートしてくれる人の有無



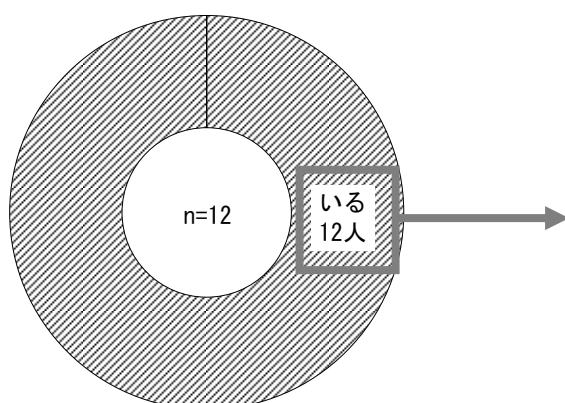
〈子育てを助けてくれる人（複数回答）〉

子育てを助けてくれる人	人数 (人)
(お子様の) 父	9
(お子様の) 母	6
(お子様の) 祖父	7
(お子様の) 祖母	12
(回答者の) きょうだい	4
(回答者の) 友人	4
近所の人	1
かかりつけ医	1
保育園	5
電話相談	0
サークル	1
子育て支援センター	1
その他	0

(4) 子育てで困ったときに相談する人はいるか

子育てで困ったときに相談する人の有無をたずねたところ、全員が「いる」と答えています。

図表34 子育てで困ったときに相談する人はいるか



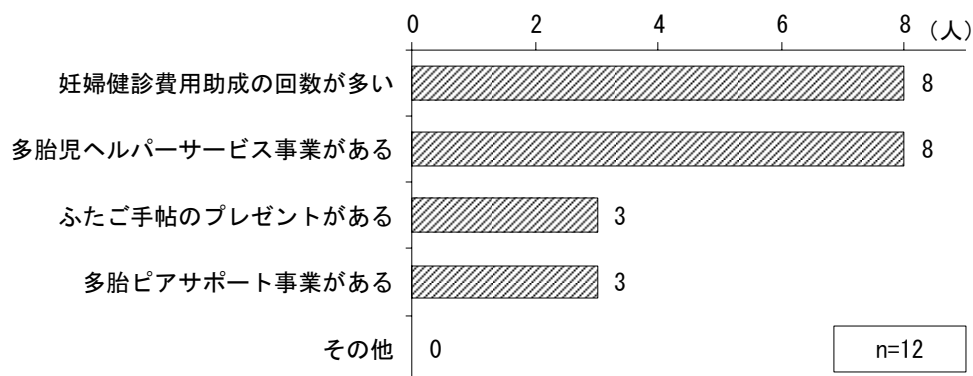
〈相談相手（複数回答）〉

子育てを助けてくれる人	人数 (人)
(お子様の) 父	7
(お子様の) 母	5
(お子様の) 祖父	6
(お子様の) 祖母	12
(回答者の) きょうだい	3
(回答者の) 友人	6
近所の人	1
かかりつけ医	3
保育園	5
電話相談	0
サークル	2
子育て支援センター	1
その他	0

(5) 多胎児支援・子育て全般に関して、桑名市のよいところ

多胎児支援・子育て全般に関して、桑名市のよいところをたずねたところ、「妊婦健診費用助成の回数が多い」、「多胎児ヘルパーサービス事業がある」がともに8人です。

図表35 多胎児支援・子育て全般に関して、桑名市のよいところ



(6) 子育てをされていて困ったこと

- 多胎児ヘルパーサービス事業の予約を10日前にしないといけないこと。急に自身が体調を崩したり、子の生活リズムや体調は日々変わるので事前に計画を立てて申し込むことが困難。支援が必要になるのは大抵急なので前日（可能なら当日）に申し込めるようにしてほしい
- 多胎児ヘルパーサービスは土日も利用可能にしてほしいです。サービス自体は満足なのでもっと安価になれば、大変ありがたいです
- 保育園に入れないこと
- 学童が他の市に比べて充実していないこと。双子のため自分と家族の負担を考えると自宅近くの園を希望しているが、来年度も望みが薄くて絶望しています。やっと1歳になったら保育園に預けて働くことができると思ったのに、まだまだ1人で2人を日中見る日が続くと思うとつらいです。多胎児支援として一時保育の利用の補助券やベビーシッター補助があるとありがたいです。少しでもいいので子どもと離れてリフレッシュがしたいです。働けないので収入が減ることを考えると補助なしでの利用はどうしても考えられません。子どもと一緒にいると楽しい反面いろいろ考えてつかれてしまう自分がいます

- 病院の付き添いなど。双子が桑名で産めず四日市への通院が必要だが、ヘルパーは2時間とかだったので利用できず。産後の支援センターや助産院での休息は双子分の持ち物を用意するのが大変で利用できず。一時保育も荷物が多く利用できずでした。子どものイベントも自分で調べる気力なく。発信力が弱いかなと思います。夜間の救急の病院がありません。双子は早産児のため、体調を崩しやすいですが、海南や四日市を案内されます。桑名の病院は役に立ちません
- 土曜、日曜でも気軽に子どもを見てもらえる施設
- 24時間いつでも子どもを預けれる施設。静岡県島田市でとても大きな子どもの室内遊び場があり、とても羨ましいと思いました。桑名はショッピングモール内の子どもの遊び場もとても小さいため、こういった施設を設置していただけると嬉しいです
- 双子の姉が保育園に行っていますが、双子を連れての送り迎えがとても大変です。重くなってきましたがまだ歩けず、ベビーカーも室内は入れないため、教室の前まで連れていくのが相当大変です。保育園の先生に相談し、1か月ほどは先生が車まで迎えに来てくれましたが、ずっとはできないと言われてしまい、毎日双子ふたりを同時に抱っこしながら荷物を持ち、上の子の送り迎えするのがとても辛いです。車に置いておけないですし、もっと協力がほしいです
- 横型双子ベビーカーで長島の図書館へ入れなかった。支援センターや市の施設などは、ベビーカーで行けないと断念することが多いので通路幅をとっていただけるとありがたいです
- 将来保育園への入園を考えているが、小さく産まれて発達が遅いため、育休を長めに取得し、4月ではなく途中入園したいです。早産なので、途中入園の相談が気軽にできて、入園できるようになればよいなと思いました(復職の負担を減らすため双子は同じ園がよいです)
- 選べる子育てリフレッシュ事業はとてもよいと思いました。長島地区で利用できるものをもっと増やしてほしいです。あと上の子どもと親と一緒にリフレッシュできるものが増えると嬉しいです。体験するものや、利用しやすいテイクアウトのおいしい食べ物など
- 0歳児の時に自治会の役員が回ってきたため、会議や集会などの際困った。ご高齢で自治会活動に難色を示す人が多いこともあり、多胎児家庭だからといって欠席や他の方に一任するなどはなかなか難しい

(7) 桑名市の好きなところ

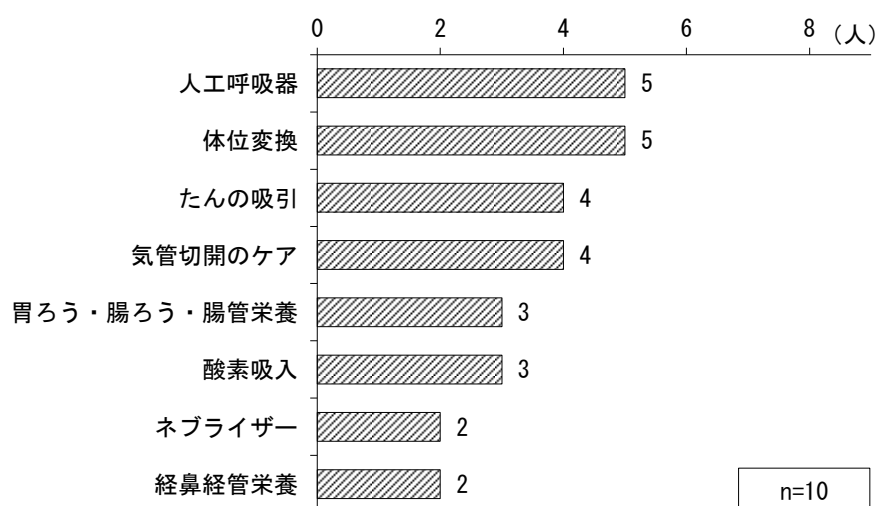
- 交通の便がよい（２件）
- 多胎児ヘルパーサービスがありがたいです。子育て以外だと歴史あるまちの感じがとても好きです
- 子育て世代にありがたい政策が増えていること
- 粋な取組が多いと思います。今年から始まった子育てリフレッシュ事業はとても嬉しかったです。他の市が取り組んでいないことを真っ先にしてくれる、市長が住みやすいまちにしてくれようとしている姿に感銘を受けます
- 名古屋が近く、程良く都会。道が混まない、歴史的な場所が多数あり。愛知や岐阜の友だちを誘いやすい。自然が多く、人も優しい。ちょっと関西の調子なところが好き
- 九華公園や、大きな公園
- 花火大会や石取祭
- 買い物が便利
- ナガシマリゾートがある
- 子どもの医療費助成がある
- 双子と一緒にいると声をかけてくれる人が多い
- 市役所の方が親切

9 医療的ケア児の保護者

(1) 日常的に必要な医療的ケア

医療的ケア児の保護者10人に日常的に必要な医療的ケアをたずねたところ、「人工呼吸器」、「体位変換」がそれぞれ5人、「たんの吸引」、「気管切開のケア」がそれぞれ4人となっています。

図表36 日常的に必要な医療的ケア（複数回答）

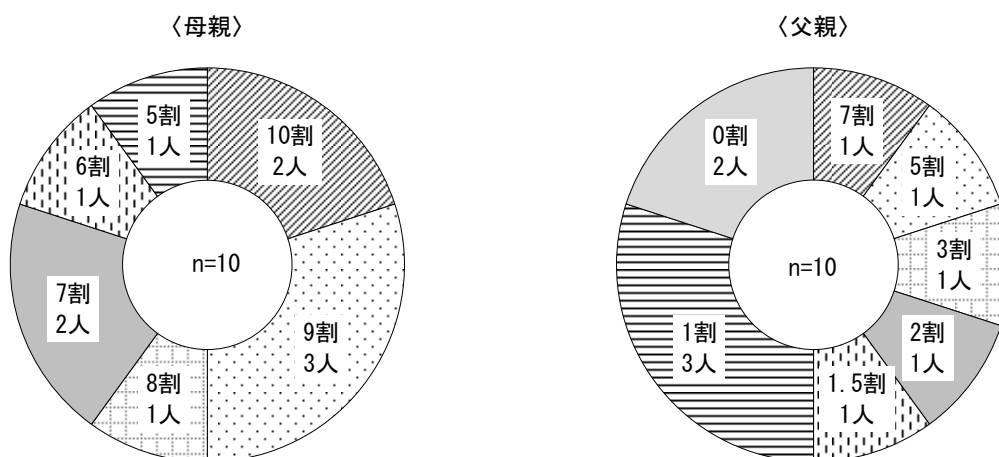


(2) 医療的ケアを担う割合

医療的ケアを担う割合は、母親の6人が〈8割以上〉となっています。一方で、父親の7人が〈3割未満〉です。

母親と父親以外では、「祖母・叔母・祖父が1.5割」、「叔父が1割」の回答がありました。

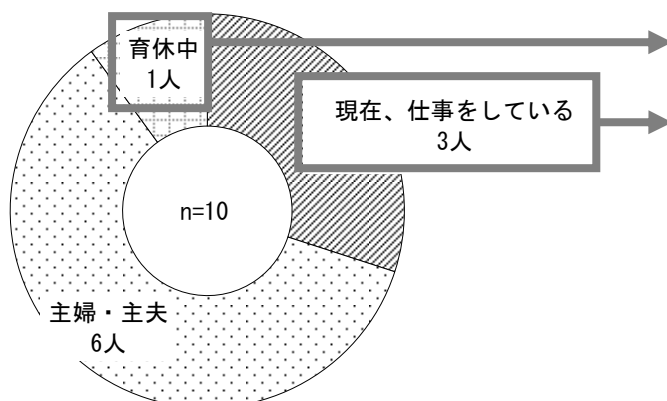
図表37 医療的ケアを担う割合



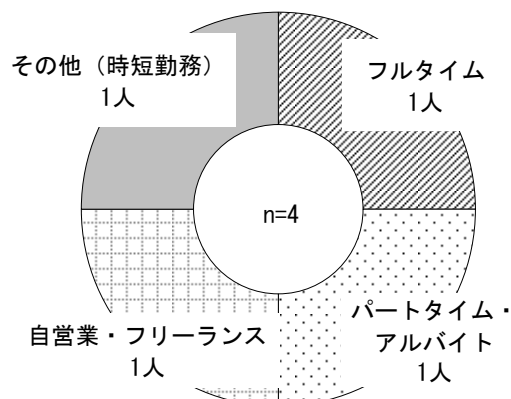
(3) 主に医療的ケアを担っている人の就労状況

主に医療的ケアを担っている人の就労状況は、「主婦・主夫」が6人、「現在、仕事をしている」が3人です。

図表38 主に医療的ケアを担っている人の就労状況



図表39 就労形態（就労している人）



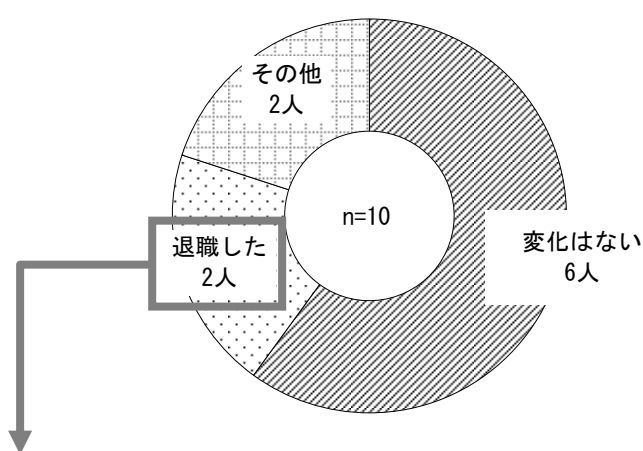
(4) 主な介助者は、医療的ケアが必要になったことで仕事に変化はあったか

主な介助者は、医療的ケアが必要になったことで仕事に変化はあったかたずねたところ、「変化はない」が6人、「退職した」が2人です。

その他として「妊娠を機に退職後医療的ケア児が産まれそのまま」、「退職して落ち着いてから自営ではじめた」の記載がありました。

また、図表41は退職した2人に医療的ケアをしながら働くためには、どんな支援があるがよいかがよいかたずねた結果です。

図表40 主な介助者は、医療的ケアが必要になったことで仕事に変化はあったか



図表41 医療的ケアをしながら働くためには、どんな支援があるがよいか（退職した人）

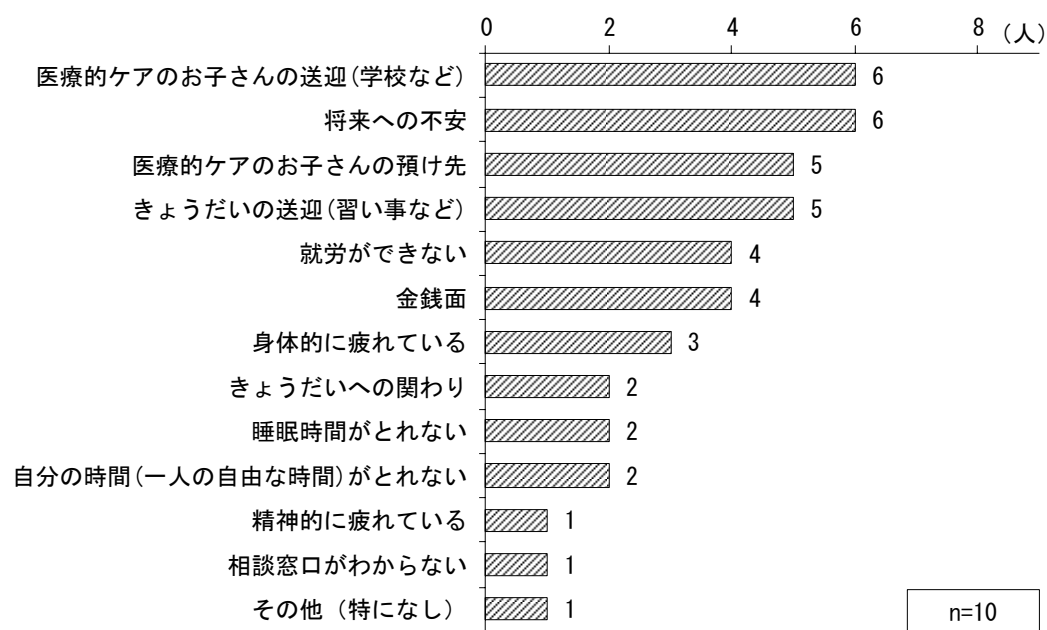
- ・放課後デイサービスに対しては、安定して通えること（定員いっぱいでは断られることもある）、子どもが楽しく通えること（行きたくないと言われると罪悪感から預けられなくなる）、勤務時間帯に合わせて預かってくれること（現状、学校が休みの日は10時～16時の事業所が多くフルタイムで勤務できない）、きちんとリハビリを兼ねてくれること、プラス料金がかかってもいいので臨時で預かってくれたり、急な残業やトラブルがあった時に少し延長して預かってくれることなどをお願いしたいです。あとは、医療的ケア児も預けられるショートステイができてほしい。泊まりがけの出張や帰宅が遅くなる時に利用したいです。病院の入院と見た目が変わらないレスパイトは子どもも嫌がるし、可哀想で預けられません。いつも楽しく通えている事業所でお泊まりもできたらいいなと思いますし、今ショートステイがある事業所も医療的ケア児の受け入れをしてほしいし定員を増やしてほしいです。病児保育のように急な発熱時などにも対応してくれたらフルタイムで働けるかもしれません
- ・急な休みにも対応してくれることと、完全在宅ワークであること

(5) 現在の困りごと

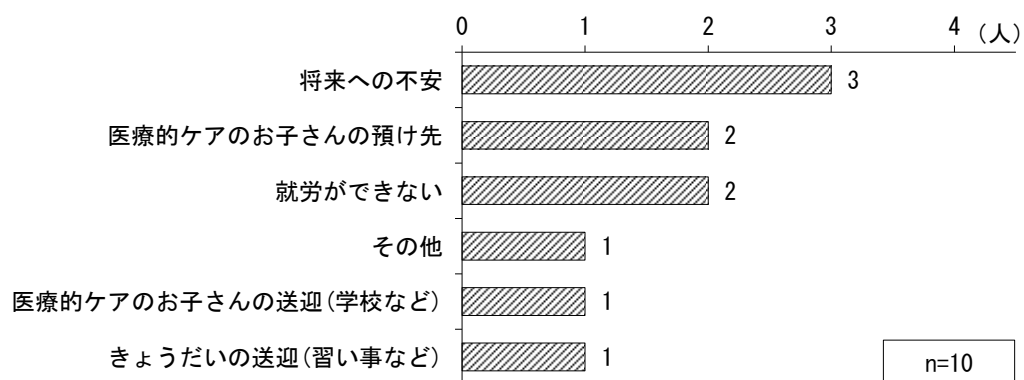
現在の困りごとをたずねたところ、「医療的ケアのお子さんの送迎（学校など）」、「将来への不安」がそれぞれ6人、「医療的ケアのお子さんの預け先」、「きょうだいの送迎（習いごとなど）」がそれぞれ5人となっています。

また、その中で最も困っていることをたずねたところ「将来への不安」が3人となっているものの、その他の項目についても1～2人となっており、困りごととは様々です。

図表42 現在の困りごと（5つまで）



図表43 現在最も困っていること

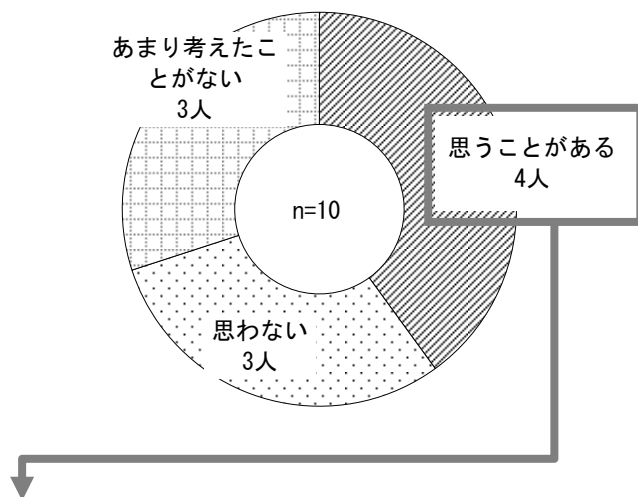


(6) 子どもと離れて過ごしたいと思うことがあるか

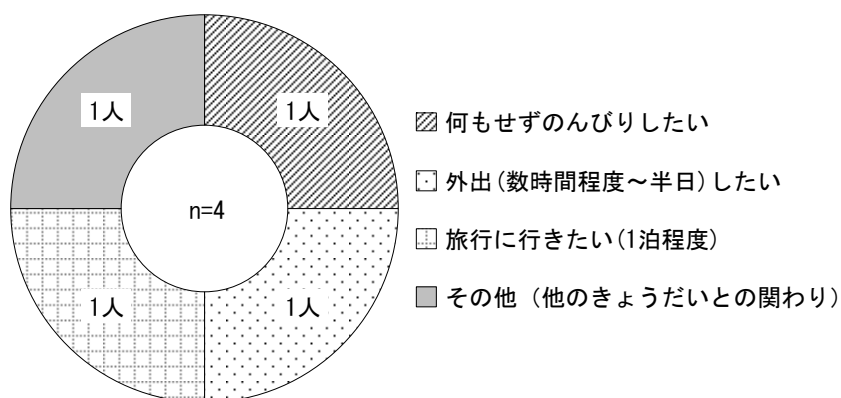
子どもと離れて過ごしたいと思うことがあるのは4人です（図表44）。

図表45は子どもと離れて過ごしたい理由です。

図表44 子どもと離れて過ごしたいと思うことがあるか



図表45 子どもと離れて過ごしたい理由（子どもと離れて過ごしたいと思うことがある人）

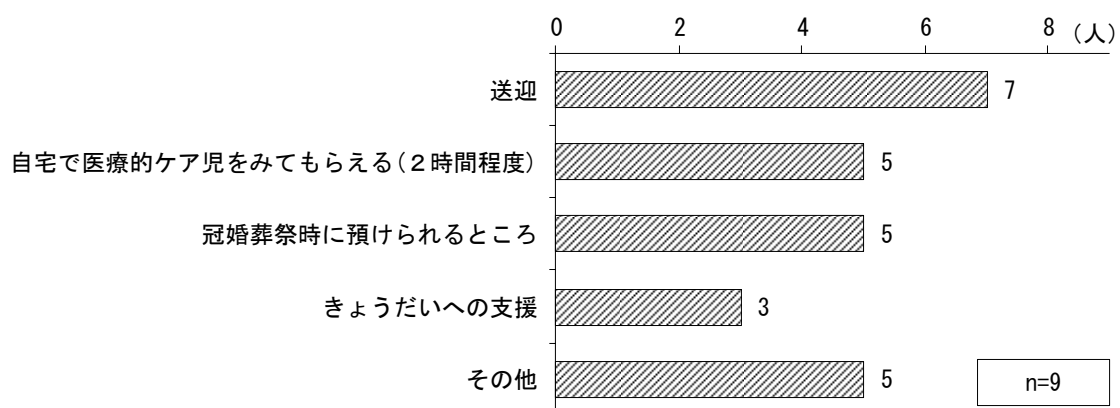


(7) あると助かるサービス

あると助かるサービスは「送迎」が7人、「自宅で医療的ケア児をみてもらえる（2時間程度）」、「冠婚葬祭時に預けられるところ」がそれぞれ5人となっています。

その他として図表47の内容が記載されていました。

図表46 あると助かるサービス（複数回答）



図表47 あると助かるサービス（その他、複数回答）

- ・ ショートステイ
- ・ 主に見ている者が体調不良程度ではなく、入院等必要になった時に預かってもらえる場
- ・ 突然のレスパイトに対応してほしい
- ・ 本人やきょうだいが入院した際に、付き添い入院中に一時帰宅したいので、数時間みてくれるサービスがあると助かる

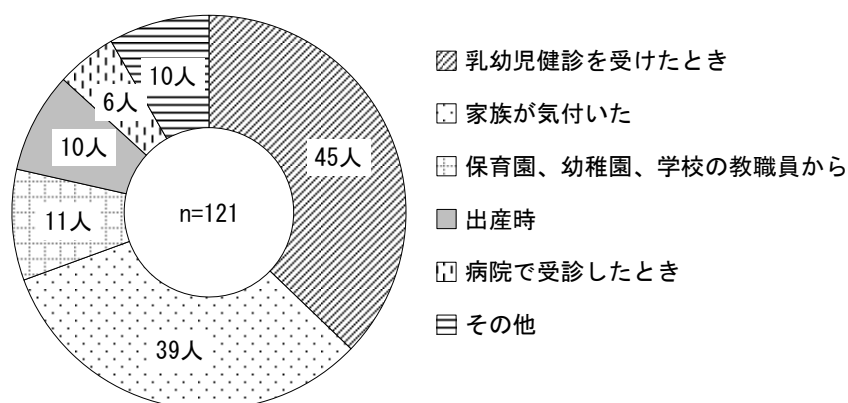
10 障害児の保護者

(1) 発達の不安や障害に気づいたきっかけ

障害児の保護者121人に発達の不安や障害に気づいたきっかけをたずねたところ、「乳幼児健診を受けたとき」が45人（37.2%）、「家族が気付いた」が39人（32.2%）です。

その他として図表49の内容が記載されていました。

図表48 発達の不安や障害に気づいたきっかけ



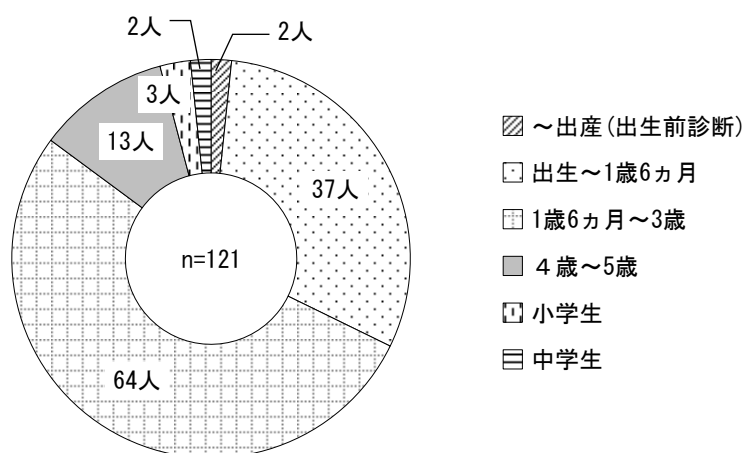
図表49 発達の不安や障害に気づいたきっかけは何か（その他）

- ・育てている中で、自分で気づいた
- ・育てづらかったから
- ・言葉がでるのが遅かった。歩きはじめが遅かった
- ・言葉が遅かったことと歳の近いひとと遊んだときや子育て支援センターで他の子の様子を見たときに違いを感じた
- ・急性脳症に罹患したため
- ・知多市の支援センターの保育士に発達の遅れを指摘され支援センターで専門の人と面談して療育を受けることを決めた
- ・歩くのが遅かったのと、早産は発達がゆっくりな兆候があると出産時の病院の小児科医に言われた
- ・NICU入院中
- ・2歳の時、弟にあまりにちょっかいを出すため、止めるのがあまりに大変で保健師さんに相談した
- ・4、5歳の頃、ダンスの無料体験に行き、同じ歳の子たちが落ち着いてレッスンを受けていることに衝撃を受けた。わが子だけ落ち着きがなかった

(2) 発達の不安や障害に気づいたお子さんの年齢

図表50は発達の不安や障害に気づいたお子さんの年齢をたずねた結果です。「1歳6か月～3歳」が64人（52.9%）と最も多く、次いで「出生～1歳6か月」が37人（30.6%）となっており〈出生～3歳〉が80%以上を占めます。

図表50 発達の不安や障害に気づいたお子さんの年齢

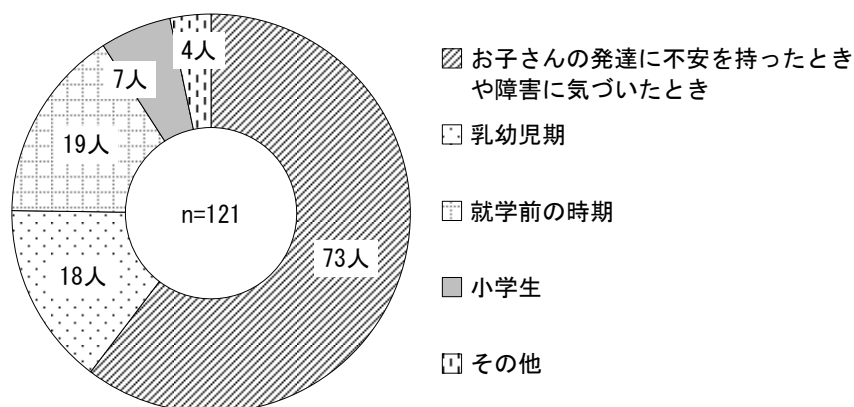


(3) 子育ての中で一番相談が必要な時期

図表51は子育ての中で一番相談が必要な時期をたずねた結果です。「お子さんの発達に不安を持ったときや障害に気づいたとき」が73人（60.3%）です。

その他として「一生」、「常に」、「産まれたとき」、「中～高校生」の記載がありました。

図表51 子育ての中で一番相談が必要な時期

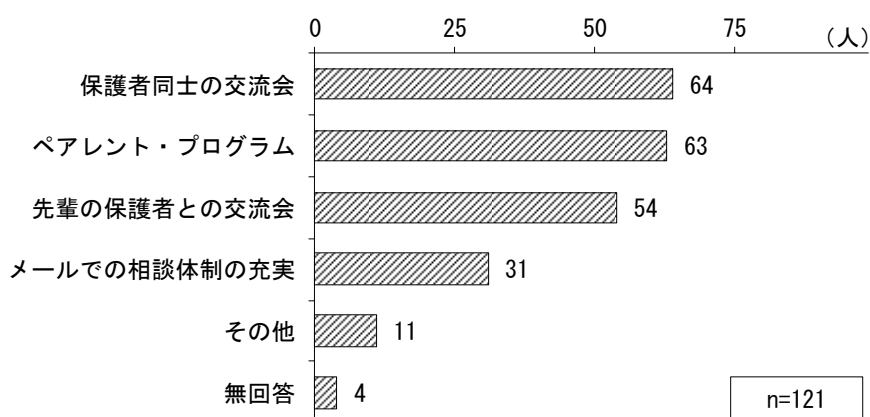


(4) 保護者への相談支援として、あるとよいこと

図表52は保護者への相談支援として、あるとよいことをたずねた結果です。「保護者同士の交流会」及び「ペアレント・プログラム」は60人以上と多くなっています。

その他として図表53の内容が記載されていました。

図表52 保護者への相談支援として、あるとよいこと（複数回答）



図表53 保護者への相談支援として、あるとよいこと（その他、複数回答）

- ・ 保護者との交流を目的としない専門性を持った、1か月以内には対応してくれる相談窓口
- ・ 障害についての勉強会
- ・ 気楽に相談できる電話窓口。話すことで楽になるが、日程を決めての集まりだと、子どもの預け先を考えたりとハードルが高くなる
- ・ 支援センターなどで発達障害の専門知識のある職員の方に遊びに行くついでに気軽に相談できるとよい
- ・ 児童精神科の先生がいる受診可能な桑名市内の病院を紹介してほしい
- ・ 支援級に行く児童を持つ親向けの説明会を行ってほしい。支援級についてや受けられる福祉サービス等を詳しく知りたい
- ・ 受けられる支援の種類や内容の細かな説明
- ・ 発達外来
- ・ 主に子育てをする方を対象にしたマンツーマンの発達に関する勉強会
- ・ ペアレント・プログラムを受講したことがあるがよかった

(5) 桑名市の子育て支援のよいところ

①情報発信・相談

- 乳幼児健診の後も、すすすく相談や発達相談など、相談できる機会が途切れず続いているところ
- 子育て支援、発達相談にかかわる職員の方たちがすごく親身になって話を聞いてくれる
- 保育園や市役所が連携して相談に乗ってくれたり、一緒になって考えてくれるところ
- 早急な相談支援事業所の紹介や発達支援事業所につなげてくれたこと

- 悩みがある方ばかりだったので、お互いとても話しやすい関係になれたことがとてもよかった
- 小学校給食が最終日までであるところ。全体としては、相談機関や医療機関にアクセスしやすい
- 発達についての相談、手続きにおいて対応してくださる市の職員の人柄が素晴らしい
- 市役所の中に子育ての相談をする窓口があるところ
- 定期的に子育てに関して考える機会が与えられていること。引っ越したばかりのときの赤ちゃん訪問では、1から情報を教えていただいていた助かった
- 何かあった時にすぐに話を聞いてくれる
- 年少の前のタイミングで市のスタッフさんが相談に乗ってくださり、とんとん拍子に療育に参加できることができて今に至っている。相談できるPT、ST、OT、保育士、ママ友など、療育に通っている期間にたくさんできてよかった
- 健常児向けのサービスや地域のイベントはよくチラシが学校で配られる
- 悩みを持っていたら的確に相談部所を教えてもらえ、すぐに対応してくれる点
- 発達について相談したらスムーズに療育支援を受けられて、子どもは楽しく療育に通っている

②保育園・幼稚園

- 保育園や児童発達支援センターの先生たち、市の職員が皆さん笑顔で明るく接して下さり、子どもが楽しそうにしているところ
- 保育園の入園申込がLINEでできるのは画期的
- 保育園の待機児童が少ない
- 公立の幼稚園に通えるところ
- 今通っている保育所の先生はおおらかで子どもに寄り添ってもらえている

③特別支援学級・特別支援学校

- 加配保育や特別支援が充実している
- 校区の小学校の特別支援や学校長以下教職員の意識が高く信頼できる。安心して通学させられる
- 特別支援学校が桑名市にあること
- 小学校の支援学級も、子どもに合わせて対応してくださり、助かっている

- 子どもの幼稚園（公立）時代、発達支援コーディネーターの先生がおり、常時相談にのっていただき心強かった。また、小学校の支援学級の先生もほどよい距離で寄り添っていただいている。幼稚園、小学校と支援が続いている体制はよいと思う

④児童発達支援・放課後等デイサービス

- 放課後等デイサービスなど、発達支援が充実しているところ
- 放課後等デイサービスがいくつかあるところ
- 児童発達支援や放課後等デイサービスが多数あり、すぐに通わせることができる。相談する場所が多数ある
- 療育や児童発達支援、放課後等デイサービスが受けられること
- 療育センターがあり、必要と感じたら相談や訓練を始められる窓口があること
- 療育センターで同じような悩みをもつ保護者の方とお話ができたり、病院などの情報交換、これから先のことなど、いろいろと話をしたり、聞くことができたこと
- 子どもが幼稚園や保育園に入るような時期に療育センターがあったこと

⑤子育て支援センター

- 子育て支援センターが充実している（５件）
- 子育て支援センターがきれい、通しやすい
- 子育て支援センター内で、服や物の交換

⑥医療費の助成

- 医療費が無料になるところ（７件）
- 18歳まで医療費免除（５件）
- 子ども医療など少しずつでも前進がある
- 子どもに関しての所得制限(医療費や子ども手当)が緩和されてきたこと

⑦その他

- 公園の数が多い（３件）
- ２人目、保育料半額
- 小さい市ながら、福祉は充実していると思う
- 支援していただいている
- 少しずつ支援が改善されてきていると思う
- 担当していただいた方は、みなさん丁寧に対応してくれた
- 発達検査などを市で手厚くフォローしてくれる

- 療育を受ける環境が近くにあったり、障害のある子を持つ親のサポートをしてもらえる
- 加配の先生をつけてくださる
- 陽だまり地区は子どもが多く、子育てに理解ある大人も多い
- 自然があるところ
- 病院が多くあるところ
- 診断書がなくても、どんぐり教室や療育に繋げてくれるところ
- 子育て支援センターでは乳児期にお世話になり、近くにあったよかった
- 障害福祉課の職員の方に書類作成時、親切に教えてもらったこと
- こども食堂が充実している
- 適度に田舎、適度に都会
- のびのび育てることができる
- ネットで見ると（他自治体住まい）「とても冷たい対応をされた」と書かれている方がいらっしゃる中、私はそういう思いをしたことが一度もない
- 不安な気持ちを抱えて市役所や療育センターを訪れた際も気持ちに寄り添って、テキパキと対応して下さった。そういったことの繰り返しのおかげで、今も親子揃って明るい気持ちで療育を続けている
- 乳幼児検診で、不安を感じた子どもや母親を取りこぼさないで、次の支援につなげているところ
- 小学校の学習指導員さんが、優しくて頼りになる

(6) 桑名市で子育てをされていて困ったことや、必要だと感じる支援

①情報発信・相談

- 発達相談で予約をとってもかなり先になってしまう（2件）
- 発達相談の予約をとりやすくすること
- 市の相談窓口について、毎回発達相談に行くと知らない人が出てくる。同じ話を毎回聞かれて、ただの聞き取りを行われているだけのように感じる
- 相談件数が多いと思うので、すぐに動くことができずに待つことがあり、タイムラグが起きる。支援側の体制も対応できるように人数などを増やしてほしい
- 専門の先生と一緒に、「ここが苦手なのでこうしてみよう」「ここがよくできています」と診ていただきながら相談する機会があればよいと思った。市役所での相談は、家庭での様子を職員の方にお伝えし、その間に子どもの様子を心理士の方が診るという形で、チェックされている時に相談ができない
- 私立の幼稚園に通っているが、幼稚園に子育ての相談がほとんどできなかった
- 小・中学校支援学級担任の相談援助技法の修得。相談支援事業所やサービス提供事業所と学校の連携が必要。連携できていないことで、二次障害につながりそうなことがあり、改善してほしい
- 相談支援事業所を選ぶのがとても困った
- 困っている時のアドバイス
- 詳細などを自分で調べないといけない。子育て全般について一覧表があると便利だと思う
- どんな福祉サービスがあるかわかりやすくしてほしい
- 情報に対し能動的態勢かつ、どんな時間帯でも市の予約時間などに保護者が対応できないと、福祉サービスを受けるスタートラインにすら立てないこと。フルタイムで働き、情報を集める気概、能力が乏しい保護者だった場合、年単位で福祉サービスを受けるまでの時間を要する。それでは適正な時期を逃してしまうこともある
- 出生時の頃、どこに何を相談したらよいのか聞いても教えてもらえず辛かった。障害を持って産まれてきた子を持つ親に寄り添って欲しい
- 児童発達支援、放課後等デイの情報が入手にくい
- 児童心理や発達外来の病院の情報が得られず、お困りの方が多いのではと思う
- 発達に不安がある子ども向けのサービスや地域イベントを学校でもっとチラシ等で配ってほしい。そのようなイベントがなければ開催してほしい

- 中学校の校区ではない学校の方が家から近く、そこへ通わせたいが、どこへ相談すればよいかわからない
- 支援級に属さない程度の発達障害を有する子たちの支援が少ない。一番生き辛い子たちではないかと思う。重度の子は周りに助けられ福祉に守られて生きていけるが、軽度の子は健常の子と同じ土俵で生きていかなければならない。その子たち向けの進学や受験、高校の情報などが全くない。そういう子たちのための窓口、支援、情報がほしい

②保育園・幼稚園

- 年少から入れる幼稚園がないこと（３件）
- 保育園の少なさと、公立幼稚園が少ない
- 就労していないなら幼稚園へとなるが、公立幼稚園は早くて年中からしか入れないし、私立幼稚園は発達に難ありの子どもには厳しい
- 保育園に入れなかった
- 母親が入園申込時に就労していないと、保育園入園はかなり狭き門
- 知り合いの方が保育園に入りたいのに点数が足らず入れられなかったとすごく苦労されていた。仕事復帰が決まっているので、どうしても無理なら祖父母に頼るか仕事を辞めるかしかないと言われたとのことだった。子どもの送迎時間、きょうだい児の送迎時間、自分の仕事の就業時間などいろいろ悩まれていた。安心して預けられる希望の園がよいと思っても叶わないのはどうにか改善できないのか。保育園、保育所、幼稚園は公立私立関係なく今の時代にあったシステムに変えていくべきだと思う。桑名市以外の都市部の方法でよいものは採用していけばいいし、保育時間の変更や送迎バスの検討なども必要だと思う
- １、２歳児は保育園に入園が難しい。求職中でも入園可能にしていただけるとよいと感じる。働けない場合は退園でも構わない。仕事があるのに保育園に入園できない方がいて困っている
- 最近桑名市の保育園、小学校の先生にかかわるニュースが多いのがとても気になる。小学校に入る前の大事な時期の幼児が楽しく安心安全に通える環境を整えていただきたい。保護者はクラスの不満を直接園側に言えないと思うので、アンケートや聞き取りなどをもう少しやっていただくと安心できるのかと思う
- 障害のある子でも受け入れてくれる幼稚園、保育園が増えるとよいと思う
- 保育園の老朽化と数
- 各幼保園の人員不足の解消

③学校・教育

- 特別支援学級の教師と支援員の方を増やしてほしい（2件）
- フリースクールが少ない
- 学校の先生方の理解が得られない
- 先生の知識不足
- 学年によっては1クラス20人弱のクラスと40人弱のクラスがあり、先生の目が行き届き
余裕もある少人数のクラスが羨ましく感じる
- 子どもたちの各世代の進路が知りたい。データ的な情報を知り、将来を考えるきっかけ
にしたい。他の保護者さんとも話す機会ができるかと思う
- 通い慣れた学校等で発達検査ができると親子ともに負担が少ないと思う
- 学校での学びが合わない子のための選択肢が少ないと感じる。一人ひとりに合った学び
の場の選択肢が増えると、救われる子どもが増えるのではないか
- 特別支援級の先生に、もう少し専門的な知識を勉強してほしい。先生たちが生徒の話を
聞ける余裕がないと感じる。子どもの自信を奪うような対応がしばしば見受けられる
- 少子化や教員不足、教室などの各種物理的な問題等、不公平感がなくなるとよいと思う
- 支援級でどこまで子どもに対応してくれるか不安です。小学校へ連絡するなど自ら動か
なくてはならず、誰か間に入ってくれるとよい
- 地域の小学校に入学する前に判定があるが結果の詳しい内容がわかると納得しやすい
- 就学時に「予算が無い」「支援員が足りない」の理由で加配が必要な生徒の受け入れに
難色を示してくること
- 通級が限られた学校でしか行われていないこと

④児童発達支援、放課後等デイサービス

- 多度と長島には児童発達支援、放課後等デイサービス施設がないこと
- 放課後等デイサービスの夏休み中の預かってもらえる時間が10～16時というのが、共働
きなので困っている
- 児童発達や放課後等デイサービスに通わせたくても事業所が少ないため、探すのが困難。
また、学校や自宅まで送迎をしてもらえるとうれしい
- 児童発達支援、放課後等デイサービスが少ない（特に公的な施設）。現在通っているら
いむの丘が、桑名ではメインの療育施設だと思うが、小4までしか通えないので、その
後どうしたらいいのか。らいむは言語療法が受けられたり専門家が個別に見てくれるの
で、他の放課後等デイサービスとは全くサービス内容が異なる。そのため、他の施設に

変えることもできない。らいむのように、専門家による支援が受けられる施設がもっと必要

⑤一時保育

- 両親が遠方や頼れないとき、出産時などの子ども預かり制度の充実
- 突発の用事や息抜きに一時預かりできるところ
- 助けを求めることができないほど困っているときに、手詰まりになりがちになること。
乳幼児のときに保育所の一時保育に預けるとき、予約が難しかった
- 現在一時預かりをしている施設は時間や予約の取り方など、ハードルが高いと感じる

⑥病児保育

- 人の手を借りたい時、気軽に頼めるサービスがあるとよい。子どもが病気になったとき、
ひとり親だと買い物もままならず困っている
- 病気の時に預かって貰えるところがほとんどない
- 多胎児支援。病児保育施設の拡充
- 障害がある子の病児保育

⑦子育て環境・遊び場

- 働く人を増やして市の財政を増やすためにも、保育環境の改善は必要だと感じた
- 支援の必要な子をのびのび遊ばせられる場所があると嬉しい
- 図書館が少ない
- 本屋や図書館が遠い
- 小学生が遊べる室内施設を増やすこと。幼稚園児までは支援センターがいくつかあるが、
小学生が遊べる公共の室内施設はスター21くらいで、そこでも小学生が満足するような
内容ではない。幼稚園児と小学生のきょうだいを一緒に遊ばせることができず、悪天候
の日や花粉の季節に行く場所に困る
- 支援センターだと、子どもの突発的な行動で他の家族に迷惑をかけないか気になるし、
療育センターは通所日が決まっている。予定のない日に家で子どもとどう過ごしたらよ
いのか、何をさせたらよいのか悩むので、どこかで自由に遊ばせられると嬉しい
- 通常発達の子どもたちだけでなく、発達障害のある子どもたちの支援も増やしてほしい。
児童発達支援センターでは利用者がとても増えているが言語聴覚士の先生が足りず、訓
練が受けられる回数が減っている状況なので療育施設を増やすことも検討してほしい。
私は、子どもの発達障害で将来のことを悩み考え周囲の目を気にして外出するのがすご

く嫌で家から出たくない時期があった。外で遊ばせることも、支援センターに遊びに行くときでさえも走り回らないか、癇癪を起こさないか、他の子に怪我をさせないか、おもちゃを取ってしまわないかなど気を遣うのに疲れて外出するのも大変で、家にこもってしまい発達を促す機会を奪ってしまう罪悪感や他の保護者と比べてできない母親だと自己嫌悪になったり周りとかかわるのが辛すぎる時期もありました。こういう親もたくさんいるのではないかと思いますので、発達障害児の遊び場をつくってほしいと思う。支援センターで発達障害があっても気にせず遊べるとよいのだが。ハードルが高いと感じる人には安心して遊べる場所があると心が少しでも軽くなるのではないかと思います

- 大きな公園が少ないので遊ばせる所に困る
- 児童館等が自宅近辺にない
- 交差点に歩行者用信号がないところがある
- 土曜日に発達の遅れのある子どもが遊べるところ。発達の遅れのある子だけでなく、そのきょうだいも参加できる遊び場があったら嬉しい。どうしても発達の遅れのある子に目が行きがちで、下の子が危なかったことがあるため
- 桑名市小学校統一で小学校の中に学童があると助かる。学校から学童まで歩いて移動しなくてよくなると、安心感が増します

⑧障害への理解

- 障害を持つ子どもや保護者に対して寄り添った言葉かけや制度のあり方
- 年配の方々に心ない言葉をかけられることがあること
- 健常児の親向けに発達障害をもっと理解してもらう手立てを考えてほしい。例えば、学校で講演会を開く等
- 家の給湯器が壊れて、スーパー銭湯に行ったとき、まだ1人でお風呂に入れない小1の男子が女風呂に入れなかったこと。全国的に小学生で線引きしていて、そこに反感はないけれど、給湯器もすぐに修理や交換ができるものでもなく1週間以上、実家のお風呂を借りた。難しいところだが、スーパー銭湯のスタッフがロッカーの使い方や、お風呂を出たあと母と待ち合わせるまでサポートしてくれたらありがたいと思う。制度とまではいかなくても周知してもらえたらうれしい

⑨交流・繋がり

- 親同士が交流できる会などを親主導で行うのではなく、行政機関や学校、教育委員会等の公的機関主導で開催してほしい
- 子どもの発達などに関する勉強会

⑩医療

- 小児科の数（3件）
- 児童精神科医などの障害や発達について相談できる専門医が近くにいない
- 信頼できる個人院の小児科が非常に少なく、よい医院は混雑して受診困難
- 小児の救急医療体制の充実。障害を持つ（発達、肢体、知能など）小児に対する支援や医療の体制の充実
- 三重県立子ども心身発達医療センターの予約がとれない。発達に関する医療の専門的な相談窓口がないため困っている
- 療育や発達支援の病院につながりにくい
- 児童精神科のような専門の病院が桑名市にもあればよいと思う
- 小児科病院の先生が、高齢の方が多く印象。引退して閉院してしまうのではないかと心配
- 子の障害がわかってから、長い間予約待ちをして、ようやく子ども心身発達医療センター初診にこぎつけた。今後も時間をかけて津まで通院せざるをえない
- 乳幼児から診てもらえる児童精神科の病院が遠いので、桑名市にもあると助かる
- 子育てに関する発達障害を定期的に診てもらえる病院や施設がない。小学生になってからは先生たちを困らせてばかりいるが、他に相談してもちゃんとした返答がもらえない
- 医療機関への受診の予約がかなり取りづらい
- 小児救急の整備は必要だと思う
- 発達を診てもらえる専門の病院がないこと

⑪経済的支援・手当等

- 障害児に対する手当などの所得制限を撤廃してほしい。生涯賃金の低い子に、学生の時期からもっと手厚く手当や金銭的な支援をしてほしい。子ども手当よりも必要な手当だと思う
- 第3子がいる家庭への特典的なもの（医療費、保育料）がどんどん消えていっている。ひとりっ子家庭も同じ特典を受けていたら、多子家庭への特典は何もないのと同じ
- 世帯主に全ての給付金が支払われるシステムを改善してほしい。私の家庭では、私（母）が子どもに関する支出をしていますが、給付金は世帯主に支払われる。話し合っても、自分（父）の方が全体的に家庭の支出が多いのだからとのことで話し合いにならない。このようなことはどの家庭にも起こりうることであり、またDVがある家庭ではより難しい問題があるのではないかと。せめて、受け取り口座を子どもが生まれたら申請する形に変えていただけないか

- 就園児前の療育施設利用料の負担が重い。上限額が最大のため、かなりの自己負担。少しでも補助が出ればよい

⑫その他

- 支援学校を卒業してからの就労やグループホームが少ないこと（2件）
- 重度の障害をもつ人でも入れるようなグループホームのような施設を増やしてほしい
- 福祉避難所がないこと
- 災害時に障害をもつ方が安心して避難できる場所を確保しておいてほしい
- 伝え方の支援
- 支援センターは車がないと行きづらい
- 子ども総合センターと相談事業支援者の連携が上手くいっていないように思う。とにかく内容も不明のまま、子ども総合センターでは保護者任せだった
- 子どもの気持ちが理解できずに怒ってしまう
- 有料でもいいので1年に1回ぐらい、発達の度合をチェックする機会があるとよい。前に市役所でみていただいたあと、次の予約が1年以上先だったため、少し心配に思った
- 平日に仕事をしており、自分の親に通所の送迎をしてもらっているのに、親がいなければ仕事を辞めざるを得ない可能性がある
- 学校のPTAのかかわり方が今までの慣例のままで改善や配慮がされないこと
- PTA役員の活動が放課後のみだと障害のある子の訓練や療育を諦めなければならないので、役割によって時間を選べるようにしてくれると参加しやすい
- ひとり親が行政の力を借りたいときに、どうしても手続きで時間がかかるので「今」必要ということを知ってもらいたい
- 療育が不足している。言語療法を受けたいがなかなか予約が取れない
- 近場に3歳頃から通える児童発達支援の施設が少ない。保育園に行かず、かつ公立幼稚園に行く場合、子どもの発達に不安を抱えながら社会とつながりにくい期間が生まれる。子育てそのものにも不安を感じやすく、孤独を感じる時期なので、どこともつながれていない方を上手く支援する方法があればと思います
- 駅近入所が困難
- 癇癇の対応
- 衝動性、不注意に対する支援
- 指示の出し方支援
- 福祉サービスを利用したいと思ってから支援につながるまでの手間と時間がかかる

○のるーと桑名などの「新しくやろう」とする事業が対お年寄り事業ばかり

(7) 桑名市の好きなところ

- 住みやすい（6件）
- 名古屋への交通の便がよい（5件）
- 食べ物が美味しい（3件）
- 公園が多い（2件）
- 広い公園が何か所もある
- 田舎過ぎず、都会過ぎず、ちょうどよい
- 買い物に困らない
- 買い物も遊びに行くのも便利。自分が生まれ育ったところ
- 子どもが少ないので手厚く教育してくれる
- ゆっくりした時間が流れている
- 穏やかなまちで住みやすい
- 人があたたかい
- いろいろなスーパーがある
- 美味しいお店が多い
- 名古屋より物価が安い
- 地域の子どもたちが優しい
- AIの活用やネットでの手続き等、新しいことを積極的に取り入れているところ
- 新しいチャレンジは認めるが、地域全体の世代層に届く支援を期待したい
- 広くて病院がたくさんあって、美味しいものもたくさんあってテーマパークがあること
- 自分が生まれ育った場所であるため、安心はある。いろいろと新しいことを試みていてすごいと思っている
- 幅広い世代で地域活動への関心も高く、治安がよい。地域の雰囲気も落ち着いていて、向上心が高く、子どもを大切にしている家庭が多い
- 駅周辺にマンションが多いためか同じ世代のたくさんの子どもの子とかわりができる。子育て支援センターを利用している親が多く顔見知りになりやすい
- 人口がそこまで多くないため、児童発達支援やデイサービスに空きがある
- 市役所のサテライトオフィスが便利
- 子どもと似たような障害を持つお母さんとは、話がしやすい
- らいむの丘のような複合型施設ができたのはよいことだと思う
- 自然が多い（5件）
- 交通の便がよい（4件）
- 名古屋に近い（2件）
- 観光地がある（2件）
- 名古屋に近いが、ほどよく田舎
- 商業施設がいろいろある
- 名所や公共の施設が整っている
- のんびりしているところ
- 優しい人が多い
- 静かなところ
- お店や役所など充実している
- 行政の皆さまは頑張っていると思う
- 九華公園の桜が綺麗
- 産まれ育った場所であること

- 保健師さんがとても親身に話を聞いてくださり、いきなり双子で行き当たりばったりの育児をしていた私は本当に救われた
- 周囲に遊び場が多くてたくさん遊べる。高齢者の方が子どもに優しく接してくれる。ボランティアの方が子どもの安全を見守ってくれる。教育現場の方みなさんが優しい
- 石取祭
- マンホール
- 北勢線がある
- 小学校がたくさんある
- 子どもの学校、園の先生方は、一生懸命にご指導いただいている
- プールも温水じゃないし、公共の施設はどれも古いし、道も狭い
- 公立幼稚園もどんどんなくなって、保育士さんの仕事が残っているのか

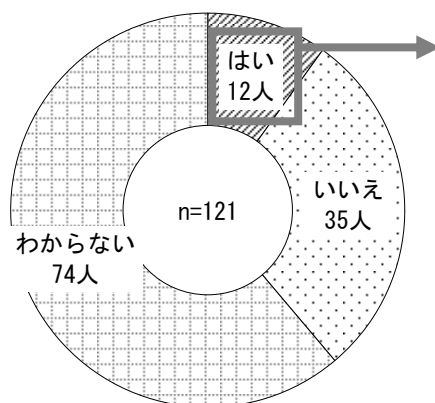
(8) 過去に侵害されたと思う子どもの権利はあるか

過去に侵害されたと思う子どもの権利があるのは12人（9.9%）です。

子どもの権利が侵害された具体的な場面として図表55の内容が記載されていました。

また、どうすれば子どもの権利の侵害を改善できると思うかたずねたところ、図表56の内容が記載されていました。

図表54 過去に侵害されたと思う子どもの権利はあるか



〈どのような権利が侵害されたか〉

- ・子どもが、必要なときに、必要な医療を受ける権利
- ・合理的配慮
- ・時間。平等。差別
- ・保育園を自由に選べなかったこと
- ・差別禁止
- ・教育を受ける権利
- ・療育センター（現児童発達支援センター）が当時は保育園代わりのような感じだったが、突然変わると言われ、選ぶ権利がなくなったこと
- ・学びたい所で学べる権利
- ・白い目で見られ健常者と比べられる
- ・教育を受ける権利
- ・守られる

図表55 具体的にどのような場面で子どもの権利を侵害されたか

- ・子育ての経験が少ない保護者が、子どもの発達や疾病や傷病に正しい判断ができないことは仕方がないのであり、だからこそ、小児科を受診し、相談したいのだが、まともに患者本人（子ども）を診ない、保護者の話も聞かず、質問をすると、「お母さんの考え方がおかしい」、「親のせい」など保護者を否定するなど、患者側からの発言や質問を拒絶するような姿勢の小児科医や精神科医がいる
- ・接し方のお願いをした場合に、周りの子のことがあるのでできないと言われた
- ・差別用語を浴びせられる
- ・現在私立保育園に通っているが、保育園に入学してから発達の遅れに気づき、公立の保育園の方が看護師がいるから転園してはどうかと言われた。選択肢があまりないと感じた
- ・放課後に友だちと遊ぶ約束をして小学校から帰宅したが、友だちの家に行ったところ、親と一緒に遊んではダメと言うから遊べないと断られた
- ・不登校
- ・来年度から療育センターは変わるという時期に療育センターに在籍していた。うちは幸いにも3年間療育センターを保育園などの代わりに毎日通うことができた。しかし、来年度からは毎日通えなくなる可能性が出てくるので、地域の幼稚園に行く方は願書を出してください、とされている状況に遭遇した。今は地域の幼稚園や保育園で障害をもつ子どもと一緒に、となったが、やはりなかなか難しい子がいるのも現状だと思う。そういう場合、選択できるようにしてほしい。やはり昔のような療育センターを望む人には療育センターを、地域の幼稚園や保育園を望む人には地域の幼稚園や保育園を。それぞれ事情がある。選択の余地がないことが残念。やはり、支援学校で子どもを見ていて、同じように療育センターで過ごし、支援学校の小学部から中学部へ上がった子と地域の小学校から支援学校の中学部へ来た子は学校での様子を見ていても全然違う。必要な支援をきちんと受けることができれば、何もできなかった子でも、できることは増える。それを目の当たりにしている
- ・保育施設を探していたとき、加配が必要な我が子は大抵断られた
- ・近所の駐車場に息子が悪気なく侵入した際、口頭で「この駐車場には許可なく勝手に入らないでください」と文句を言われた。隣近所の方からは息子がフェンスで遊んでいた、置き物を触れた際、メモ書きにて注意された。メモ書きの内容は「置き物を動かさないでください。フェンスを含め、ここは私有地です。登らないで、入らないでください。また目撃した場合警察に通報します」と書いてあった。それ以来、その方は挨拶することもなく、私と息子を見るなり無視するようになった。
- ・保育所に入所するにあたり、市の職員の方から、「両親がフルタイムでないと、点数が足りなくて希望の保育所に入れない。もしくは、加配対象児なので、保育所に入れない」と言われ、フルタイム勤務にしたが、今度は保育所に入所前の聞き取りの際に、「時短が取れる職種なのに、なぜ時短をとらなかったのか」と言われた。皆と同じように保育所を希望したり働き方の選択ができなかったことが悲しかった。障害のある子を育てながら働くことの難しさを感じた。また、市の職員の方の話の内容がとてもつらかった
- ・いじめられて学校に行けなくなった
- ・学校生活で、会話が難しい子にやってもない罪をなすりつけられそうになった

図表56 どうすれば子どもの権利の侵害を改善できると思うか

- ・ 医師などの専門家にももの申せる立場の人間がいない。医師たちもそれを受け入れない。それが、小児医療や福祉でもまかり通っていることが、そもそも問題である。医療など子どもの健やかな発達や成長を支える機関が真に健全であって、子どもたちや同行する保護者が安心して医療を受けられるように、市にもご尽力いただきたい
- ・ 現場の方の研修、専門知識のある方の充実
- ・ 箱ものの中では難しいことだと思うため、まだまだ無理なのかと
- ・ 個々の意識の持ちようしかないのでは
- ・ 早期療育のため、私立保育園で発達の遅れのある子どもの受け入れができるように、保育士加配してほしい
- ・ 障害者とはかかわりたくないと思う人は理解しようと心を開いてくれない
- ・ 子どもよりも保護者の無理解が強いと思うことが多い
- ・ 多様な学びの場がつくられること
- ・ 市が当時のような療育センターを再度つくること。または地域の小学校で手厚い支援をしていただくこと。しかし、現実、うちは地域の小学校には断られた。表向きだけではなく、親身になれる先生、市の体制が必要だと思う
- ・ 保育士、教員の拡充
- ・ 配慮が必要な子についての研修等の拡充
- ・ いろんな子がいてこそその学びであるという意識が広まること
- ・ 十人十色なので改善はできない
- ・ いじめる側の人間にカウンセリングを受けさせる制度をつくる
- ・ 適当な聴き取りだけで決めつけず、きちんと話し合いの場をもって、慎重に対応する
- ・ こちらでは、どうにもならない

1 1 幼稚園教諭（公立幼稚園・私立幼稚園）

(1) 子どもの育ち・家庭環境などについて感じること

①親子のかかわり

- 子どもたちと話していると、ゲームの話やYouTubeなどの話がよくでてくる。運動能力や手先を使った製作、友だちとのかかわり方に課題を抱えている子どもたちが、難しいゲームを使いこなし遊んでいることに驚いた。そしてそれは保護者の方とのつながりも薄れてきているのではないかと思う。この幼稚園でも保護者の方との時間があまり取れておらず、幼稚園で不安定な姿を見せる子たちが何人かいる。幼稚園で、先生や友だちとのつながりも大切にしていくとともに、保護者の方とのつながりも取れるよう働きかけやきっかけづくりをしたいと感じている
- 愛情を十分注いでもらっている印象を受ける子が多い。核家族が多いためか、強く思いを主張する子や融通がききにくい様子の子もみられる。また、保護者がすぐに対応できる環境であるためか、してほしいことや困っていることを言葉で表現する力が弱いと感じる
- 運動不足、理解が難しい。働く母親が増え、子育てに時間をかけられず会話などさまざまな面で経験不足を感じる。家庭環境の複雑さ、家庭養育の難しさを感じる。特別支援教育に関しては、さまざまな問題を抱えている家庭が大変多い
- 過保護、過干渉な親が多くなったと感じる。朝の登園時子どもとなかなか離れられない、過剰な心配をするなど。しつけの低下

②コミュニケーション・他者とのかかわり

- 各家庭で親子問わずゲームやYouTubeなど機械相手のことが多いため、人と人とのコミュニケーションのとり方が分からず、特に子どもは自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いや考えを知って受け止めたりしていくことが苦手な子が増えているように感じる
- 家庭によっては新型コロナウイルス感染症の流行の影響により、公園や子育て支援センターなどで遊ぶ機会が少ない子どももいるように感じる。同年代の子どもとのかかわりが少ないという印象がある子もいる。そういった意味でも、可能であれば3歳児保育を公立幼稚園でもしたい
- 人とのコミュニケーション力の未熟さ

- 大切に育てられていることを感じる反面、手をかけられすぎているところがあるように思う。新型コロナウイルス感染症の流行中に育ち、外遊びや人とかかわって遊ぶ機会が少なかった子たちだと思う
- 家庭環境が不安定な子は、日中活動に対する意欲が低く、また、最後まで頑張ろうとする力が低いように感じる。また、家にこもりがちで家庭外の方とかかわる機会が少ない子やスマホやタブレットばかりで遊んでいる子は、友だち関係をつくっていくのに、他の子より一つステップが多くなると思う
- この4年間の新型コロナウイルス感染症による制限生活は、大きな変化があったように思う。人と人のかかわりができなかったことで入園当初は友だちや先生とのコミュニケーションに苦労する姿が見られるようになったと感じる
- 園で自分のペースで伸び伸びと過ごし、お友だちとのかかわりも豊かで、家庭でもゆったりとかかわりをされているのだろうなと感じる子もいれば、相手の気持ちを考えることが難しい子や、言葉よりも先に手が出てしまう子、おもちゃなど身の回りのものを大切にできない子もいて、言葉で伝えてその時は「わかった」と理解しても、また違う日に同じようなトラブルになってしまうなどかかわり方に難しさを感じてしまうこともある。家庭環境もさまざまに仕事をされていてお迎えが遅い子でも、穏やかに遊ぶ子もいれば、寂しさを感じている子もいるように思う

③生活習慣・自立

- 基本的生活習慣（排泄や食事面等）がついていない子が増えてきたように思う（2件）
- 基本的生活習慣が身に付いている子もいるが、身に付いていない子も多い。食事面での好き嫌が多く各クラス残飯が多い。現在の家庭環境は、核家族化で共働きとなり、子どもとゆったりかかわる時間がとれない家族が増えた。また、自分でしつけができない親が増えた
- 食事に関して、子どもに出しても食べないから食べるものだけ出す、トイレトレーニングも紙パンツを履きたがるから、履かせている、と子どもの思いを受け入れているというのを全面に出す方が多いように感じる
- 実年齢より幼く感じる子どもが増えたように思う。本来なら家庭で習得する生活習慣や言葉遣いなどが身についていない、習得が弱いお子さんが多く感じる
- 新型コロナウイルスの影響もあったと思うが、ほとんどの子どもが同年代の子どもとかかわった経験がなく、保護者と子どもだけで過ごしてきているように感じる。保護者も

いろいろな子どもや保護者とのかかわる機会が少なく、この年頃の子どもがどんな様子なのかを感じる機会が少ないように感じる。週末の過ごし方や生活リズムなど大人の都合に子どもが合わせて生活している部分が多いように感じる面と偏食や排泄の自立など子どもの要求に応えすぎている面があるように感じる

○保護者の家庭教育力の弱さ

④体力・運動

○家庭での過ごし方がYouTubeやゲーム、メディアなど、見ることが多いものになり、身体を使った遊びで過ごすことが少なく、体力低下を感じる

○新型コロナウイルス感染症の流行中を過ごしてきた子どもたちなので、家庭内の狭い空間で過ごしてきたことが感じられ、体力のなさ、体のこなし方がわからず、転びやすい、つまづく、床に座った状態でないと上靴の脱ぎ履きや着替えができないことや座っている時、食事の時の体幹の弱さから、肘付き、片手食べなどが見られるので、声をかけたり、励ましたりしながら給食指導もしている。母親の勤務は3時ごろには終わり、預かり保育終了時間までには迎えに来てもらえる家庭が多い。また、未就園児がいる家庭は働かずに家庭にいる

○体幹の弱さ

○外に出て体を動かす経験が少ない子どもが多く、保護者も幼児の体づくりの中で運動の必要性をあまり感じていない

○冷暖房の効いた生活環境や入園前の戸外遊びの減少から、体力が低下しているように感じる

⑤情報提供・相談

○保護者の方に子育てへの不安が強くあったり、不安があっても相談する人が少ないなど感じる。また、年齢層に幅があり、気軽に些細なことを話し合える環境が減っているのかもしれない

○保護者は周りの人に相談する気持ちが薄く、困り感を引き出すのに時間をかける必要があると感じる。子どもはさまざまな情報に溢れていて、言葉はよく知ってはいるが、使い方を知らないなど発達にアンバランスさを感じる

⑥子どもの経験

○直接体験の少なさ（2件）

- 経験(自然体験、絵本に触れる、公共施設利用、習いごと、食生活など)において、家庭による格差を感じる。また、スマホ、YouTubeなど幼い頃より当たり前に触れていることの影響なのか、便利で簡単に反応や答えが得られることを求めがちに感じる。じっくり待ち、待つなかで自ら感じる事、考えることが少なくなっているのではないか
- 新型コロナウイルス感染症の流行の影響もあると思われるが、さまざまな場面で経験の少なさを感じる
- いろいろな面で経験不足だと感じることもある。家庭ではつい手を出しすぎてしまい、自分でやらなくてもやってもらえる環境がある。本人が困らないように先に準備をしたり、手を貸したりすることが多く、できないこと、わからないことに不安が大きくなり、失敗を恐れてチャレンジする気持ちが持てない子が多いように感じる
- さまざまな実体験が少ない。経験が少ないため、人とのかかわりが希薄だったり、課題解決の力が弱い。それは子どもだけではなく、保護者にも共通していると感じる。保護者の中には、子育てに悩んでいても相談する相手がおらず、悩みを出せていなかったり、現実から目を背けているようにも感じる。子育てにいっぱいいっばいで、目の前のことに必死になっているように感じる
- 人とのかかわりが少ない中で、保護者や子どもの育ちを感じ、さまざまなコミュニティの機会や経験の場の必要性を感じる。家庭背景の違いから、個人差が目立つと感じる

⑦その他

- 父親の育児参加が増えた（3件）
- 行事の夫婦参加が増えた。少数だが、親が生きづらさを抱えているところもあり、家庭支援が必要な家庭が増えた
- 子どもも親も地域も多様化、複雑化してきて、対応に戸惑う。発達段階に応じた状況まで育ち切れていない。保護者の価値観の多様化、家庭の教育力の低下
- 子どもの育ちとしては、全体的に幼い。運動能力の低下、体力がない。我慢ができない。偏った知識がある。多くの習いごとをして外で遊ぶ時間がない。家庭環境としては核家族化が進んでおり、親が子どもとかかわる余裕がない。地域社会とのかかわりが少なく、人間関係の構築が難しい
- 制作など同じものを作ることができるが、自分で考え想像して制作、遊びなど展開できる子どもが少なく感じる
- 人数が少なく、刺激が少ない。人間関係が固定してしまいがちである

- 保護者の交友関係で子どもたちのつながりに関係しているところがあるような気がする
- 核家族で保護者の方が病気でもみてもらえる人がいない方がおり困っている

(2) 5年以上幼稚園に勤務している職員が感じる子どもの変化

①ゲーム・スマートフォン・タブレットの利用

- メディアが発達してきて、低年齢でも触れる機会が多かったり、熟知している子が多いように感じる。ゲームや仮想世界の中では簡単に思う様なことができたり、失敗してもやり直しがきく。しかし、実際に自分がやってみると思うようにできないが、それが受け入れられず何度も挑戦しようとしたりするなど、根気強さがなくなっているように感じる。また、メディア相手でのかわわりが多くなることで、想いや感情が一方通行になり、相手の気持ちを感じる、察するなど相手の気持ちに立つことができにくくなっているように感じる。運動能力の低下、たくましさがない。ありのままの自分が出せない
- スマホのある生活が当たり前となり、親がYouTube、携帯ゲームをさせていたり、親がメールのやりとりなど携帯の操作に夢中になり、子どもの話をうわの空で聞いている姿が気になるし、弊害を感じる。未就園児の園開放に来た人が、園内に入ったとたん、子どもを見ることなく、だれかが見てくれるだろうと携帯操作やおしゃべりをはじめた
- YouTubeなどで観たことを自分の体験したこととして捉えているように感じる。好きなことを調べやすい環境にあるのか、博士タイプの子が増えているように感じる
- テレビゲーム、インターネットなど室内の遊びが増えたように感じる。リセットして何度も繰り返すことのできるゲームには、悔しさや痛みを感じる場面がなく、子どもも感情が薄くなっているのではないか
- 降園後、公園や近所での友だちとの交流が少ない。今はテレビゲームやYouTubeが主流。また、習いごとも多くしている
- 携帯動画を見たりゲームをする子が多くなった。そのことにより戸外で遊ぶ子が減り体力低下につながっているように思う
- ネットからの情報が多く、実体験や人とかかわる力、言葉を語源化していく力の減少

②子どもの発達

- 発達の幼さ、身体の発達の未熟さを感じる（2件）

- 言われたことや決まっていることは取り組みやすいが、自分で考えて何かをするということが難しい
- 生活や遊びなど経験の少なさから受け身になっている姿が多くなった
- 自分で考えて行動する力や意志、意欲が低下している。着替えも立っていればやらせてもらえるため待っている姿があり、受け身の子が多く、集団で過ごす中で覚えたり、できることが増えていく姿がある
- 子ども同士切磋琢磨しながら、自ら挑戦したり、乗り越えていこうとする意欲が少ないと感じる
- 話を最後まで聞くことが難しくなった。視覚的に訴えていく必要がある子が増えたように思う。また、大人にやってもらうのが当たり前で自分で動けない子も増えたと思う
- 体力、根気、探究心などがなくなってきている
- 我慢ができない。運動が苦手、失敗を恐れる。遊びが続かない
- 忍耐力が弱まっている。気持ちが穏やかな子が多くなっているが、自分の気持ちを表すことが苦手な子が増えている
- 外で遊ぶことを嫌がる子が増えたように感じる。協調性、団結力が昔より減ったように感じる。自信のない子が増えたように感じる
- 気持ちの切り替えがし難い

③コミュニケーション・他者とのかかわり

- 子どもたち同士でのかかわりが弱い、薄い感じがする。気持ちの伝え方や相手を思いやる行動が少なくなっているように思う
- リーダーのように引っ張っていくような子が少なくなったと思う。相手のことを思いやることとか、迷惑にならないようになどと育ててもらっているとは思いますが、逆に周りを気にして自分の思いを出しにくい雰囲気があるような気がする

④体力・運動

- 運動機能の低下
- 体幹がしっかりとしていないため、姿勢の保持が難しかったり、転びやすかったりする子が多い
- 姿勢の保持が難しい子どもが多い。できない、やりたくない、とすぐに諦める子どもが多い

- 身体の動きが未熟。体幹が弱い。指先の力、握力が弱く、ひねる、掴むことが難しい子どももいる。入園当初、汚れることを気にして、砂遊びや泥んこを嫌がる姿がある
- 圧倒的に体幹が弱く、年齢に合わせた体の使い方や柔軟性が乏しい
- 外遊びの経験が少ないのか、砂や泥、虫に抵抗感がある子が多い。体力がなくすぐに疲れたと言ったり、砂場など足場が悪いとふらついたり転んだりする子が多い
- 体力の減少
- 体力の低下を感じる。転びやすかったり、平らな地面でも転んでしまったりする。よじ登る体験などの少なさを感じる。また、きょうだいの少なさやご近所とのかかわりの薄さから、友だちと遊ぶ機会が限定されていると感じる。そのことにより、子どもたち同士で解決する方法がわからない子どもが増えていると感じる。
- 以前の子どもたちは外遊びも多く、公園で固定遊具遊びや鬼ごっこをするなど身体を使う時間が多くあったが、最近の子どもはゲームなど室内で遊ぶことが多く体力の低下を感じる。集中力の低下も感じる
- すぐに疲れる、集中力がないなども感じる。YouTubeがとても身近な物となり、保護者もつい見せてしまう、見始めたらやめられないことが多くなっている。そのため、外で遊ぶ経験も減っているように思う

⑤支援が必要な子ども

- 支援の要する子が増えたように思う（５件）
- 手先の器用さが弱い
- 家族とのかかわりが難しいお子さんも増えている。物事の善悪の判断が難しい子も増えている
- アレルギーの子や支援の必要な子、重い持病のある子などが増えている気がする

⑥生活習慣

- かなりの偏食の子が増えている（３件）
- 咀嚼ができない子、飲み込めない子が多いように感じる。食べることへの欲もあまりなく、それが活動中での意欲にもつながっていると思う
- トイレで大便ができない子が増えている（紙オムツに履き替えてしている）
- おむつがとれていない子どもも増え、入園してからトイレトレーニングをすることが増えた

⑦遊び

- 遊び方がわからない子が多いと感じる
- 情報源が多岐にわたることや、経験の差や違いから、イメージの共有がしにくく、ままごとなどのごっこ遊びが自然と出てこなくなっている

⑧その他

- 口の動きを見る機会が少なかったのか、滑舌が悪い

(3) 現場での保育における課題や困っていることは何か

①支援が必要な子ども

- 支援の必要がある子どもが多く、人手不足で人的な環境面で困っている（7件）
- 支援の必要な園児が増えており、必要な支援員の確保が難しくなっている。また、支援員の方は勤務時間に上限があるため、人員が足りず困ることもある（2件）
- 支援の必要な子どもとのかかわり方やまわりの友だちとのつなげ方（2件）
- 支援が必要な子どもの数が増えすぎている（2件）
- 特別支援の要する子が多く、他害を加えてしまう子もいるため、目が離せない。また、職員の数が足りず、自分がトイレへ行くのも声をかけあって行かなくてははいけない。
- 支援の必要な子が多く、何をねらってどの程度の活動にしていけるのか、日々の活動も発表会などの行事も迷うことが多い。以前の幼稚園の姿を知っている保護者にも納得してもらい、理解を得られるような働きかけも難しいと感じる。どちらの子どもたちも保護者も大切にするために、どのような配慮がどの程度いるのか、迷うことが多い
- 支援の必要な子の状況に応じたかかわりが十分なのかどうか悩む。人数が足りていないと感じることもあった
- 支援が必要な子が多くなり、遊びが発展しにくい
- 支援の必要なお子さんがたくさんいてどのような手立てをしてよいかわからないことがある
- 支援を必要とするお子さんが増えていることと、精神疾患等支援を必要とする保護者も増えていて、それぞれに対応し支えていくことが難しい
- 勤務時間内に保育の準備などができない。支援を要する子どもが増えて、それぞれに合わせながら、クラス運営を考えていくのが難しい

- 特別な支援の必要な子に対するかかわりと集団としての育ちをどう保障するか。保育の組み立てが難しい。忙しすぎる。ゆとりを持って仕事ができない

②一人ひとりへの子どもへの対応

- 一人ひとりの育ちを丁寧に考えていくこととともに、自分と違う相手のことを受けとめていこうとする気持ちを育てていくこと
- 一人ひとりの子どもの育ちに差があり、個別の対応を必要とする場面が増えている

③教育

- 指導上、子どもが傷つきやすい
- 今までの保育の経験や、子ども、家庭の捉え方に固執せずに保育に臨むこと
- 新しいことや根気がいることに前向きに挑戦できない姿がある。他の子が楽しくやっていると入れることもあるため、やってみたら楽しかったという経験を増やしていきたいと思うとともに、できなくてもすぐに心が折れないよう根気強く取り組める手立てを引き続き考えていきたいと思う
- クラスの人数が少なくなっているため、集団としての経験が少なくなっている。その中で個別の対応を必要とする子の割合が増えていることもあり、遊びが盛り上がらなかったり、続かなかったりする。また、運動会や発表会などの行事のもち方や内容など、クラス、園としてどのようにするとよいか、とても難しい
- 少人数での保育なので、遊びの広がりや、友だち関係を築いていくことに難しさを感じる
- 生活習慣の確立、身辺整理の自立から始めなければならないところ。ひとクラスの定員を超える31人、28人で、いろいろな面で時間が必要
- トイレトレーニングや今の子どもたちの育ちの幼さから先生の数が必要。余裕を持った配置ができることが課題である。保護者の要望も多いので対応に時間がかかり、苦労している

④保護者への支援

- 保護者支援のいる家庭が大変多く、また状況も深刻なケースが多い。その都度、福祉とも連携しているものの、対応の難しさを日々感じる。また、途中入園が大変多く、それによる保育内容の説明、職員配置や事務手続き等、業務が増えている
- 家庭支援が増えている

○さまざまな課題を抱える家庭や子どもがいて、多彩なかかわりが求められること

⑤保護者とのかかわり

○保護者とのかかわり・対応について

○保護者が何を言ってもよいというような流れがあるように感じる

○保護者のニーズが多岐に渡るなかで、丁寧に答えたいが、時間が足りない

○保護者の困り感に対してしっかり対応できない教諭がいる。もっと保護者に寄り添って日ごろの子どもの様子など連絡帳や会話などでしっかり伝えられる教諭を育成していくことも課題

○保育者が叱ることが難しいご時世で、子どもたちに真剣に向き合って伝えても、全く動じない子がいたり、援助の必要な子が増えて、その子たちに手がかかると、クラスの子全員を平等に見ることができなかったり、保育を計画通りに進められず悩むことが増えた。また、必要以上に子どもたちのかかわりに保護者が介入してきたりと、保護者に気を遣うことも増え、保育がやりにくいこともある

○先生のやる気がだんだんなくなってきている。保護者の要望もそれぞれなので、良好な関係を構築することが難しくなった。子どもの質も変わってきて、今までと同じ保育では動かせなくなってきた

⑥その他

○子ども、保護者との信頼関係でもあるが、子どもへの言葉かけや援助

○入園する子どもの減少。3歳児保育を公立でしたい。しないと公立は消えていくと思う

○公立幼稚園の保育の形態(2年保育、保育時間など)が、保護者のニーズに合っていないと感じる

○幼稚園、保育園、小学校の連携が進んでいないため、幼稚園、保育園から小学校につながるような時間があれば、子どもたちも小学校へ行く期待がもてたり、やる気につながるのではないかと考えるため、幼保小の連携があるとよいと思う

○イメージは高度なのに、経験不足なため思うようにならないとすぐに諦めてしまう子が多い。または、自己肯定感の低さ

(4) 子どもや子育て中の親に対して必要な支援は何か

①交流・居場所

○保護者の交流の場（2件）

- 保護者同士もつながっていける支援
- 人とのつながりがもてるような場所や機会
- 集まって話せたり遊んだりできる場所
- 「ぼかぼか」や「キラキラ」など、親子でかかわって遊べたり、同年代の子どもを育てている人と触れ合ったり、専門的なアドバイスをもらえるようなコミュニケーションの場づくりの継続
- ママ友がつかれる場。園開放やイベント、製作や手遊びやダンスなどをするプレのようなこと
- 地域の中で子育てを応援する場所や人が、いつでも身近にありだれでも利用できる制度
- 集える場があること、食育の大切さや身体を使った遊びの提供
- ゲームやYouTubeなどではなく、身体を動かすことやものづくりなど、体験型のコミュニケーションサークル

②相談

- 母親の子育てに対する相談事業
- 悩みごとなど気軽に話し出せるような場づくり
- 話をじっくり聞いて、気持ちを受け止めてあげること
- 子育てのことについて気軽に専門の人に相談できる場所づくり。保護者の方も成長できるような環境づくり
- 子育てで困っていることや心配していることを気軽に聞ける相談の場や集える機会があるといいと思う。難しいことだが、本当に困っている親ほど自分から発信していけないので、そこに気づいて寄り添う支援ができるとよいと思っている
- 子育ての悩み相談等が気軽にできるように、園開放の時などに相談員さんや保健師さんに定期的に来ていただく
- 現在も行っているが、家庭環境の複雑さや、保護者自身の深刻な問題から、その時々で保護者の悩みを聞き、保護者の状況を共有したり支えていく相談事業は必須だと感じる。また相談事業には特別支援の法定のことや精神疾患に関する知識が必要だと感じている
- 気軽に相談できる場があるとよいと思う
- 保護者の方が子育ての相談がしやすいよう自分も勉強していきたい。また、保護者の方が相談しやすいような相談できる機関が身近にあればよいと思う

- 仕事で忙しい中でも、話を聞いてほしい気持ちやつながりたい思いが大きいように思うため、そのような支援の場や方法などあるとよい
- 子育て仲間がいない保護者やご近所とのかかわりの薄い方がいる。安心して子育てができるように相談機関が充実するとよい
- 当たり前のこと、常識的なことで話をしていくと親が自信をなくすことがあるので、一人ひとりに寄り添う
- 親が安定していれば、自然と子どもも安定してくると思うので、親の支援の方が必要だと思う。親支援としては相談と名前がつくと行きにくいので、遊び場広場のような名前で、親子で来てねと言うようなことにすると行きやすいのではないか。また、食べられるところや遊べるところ、専門知識のある方と話ができるスペースなどがあると行きやすいと思う

③情報発信

- 子育て支援の情報発信が少ない
- 桑名市のたくさんの子育て支援の情報が、家庭にもっと伝わるとよいと思う
- 子育てで困っていることや悩んでいることを聞いたり、気持ちに寄り添う、共感するなど、幼稚園教諭としてできる範囲での支援は意識しているが、もう少し桑名市から保育所、幼稚園にもどのような支援があるかなど情報の発信をしていただけると、保護者にも勧めたり伝えたりしやすいと感じる
- 保護者の意向等を理解したうえで、日ごろから保護者に寄り添い、あたたかい声をかけるなど相談しやすい環境をつくる。また、核家族が増えてきた中でも安心安定して、家庭で子育てできるよう困りごとなどを一緒に解決していく。県や市などでしている子育ての集まりや年間のイベント情報などを提供してもらえると把握しやすく、それをもっと保護者に伝えることができるとよい
- 福祉なんでも相談センターをもっと広めてもらえると、どこに何を聞いたらよいかわからない保護者の方も助かるのではないかなと思う

④支援者

- やるべきことが頭ではわかっているがなかなか行動できなかったり、全てのことが子どもの判断に振り回されてしまっていたりするため、アドバイスも必要だが、定期的に支えていける立場の人が保育者以外でいてほしいと思う

- いわゆる“姑”のような存在（子育てにさりげなくアドバイスしていただける方）がいる
とよいと思う

⑤長期休暇中の支援

- 長期休業中の一時預かり制度、放課後等デイサービスの充実、子育て広場の充実、車を
持たない人がもっと気軽に出かけていけるような交通手段の充実
- 長期休暇中の預かり保育が実施できると子育ての支援になると思う
- 長期休み中など、未就園の子どもしか利用できない一時保育の利用ができるようにする
- 夏休み中や放課後の子どもたちの居場所づくり

⑥遊びの場・機会

- 「3人産んで安心して子育てできるまち」が一時の桑名市のキャッチフレーズにあった
が、実際保護者の声は、できない、難しい、働かないとやっていけないから、3人も産
めないと言っていた。今年は酷暑でエアコンの効いた無料施設がなく、遊びに行きたく
ても行けず、狭い家の中で過ごしたとも言っていたので、年齢の縛りなく、未就園児、
小学生も連れて遊びに行ける場の提供があるとよい
- 親子で直接体験を楽しめる機会。家庭や地域の格差に関係なく、さまざまな経験、出会
いができる機会
- 働いている保護者も多く見られるため、親子で遊ぶ場を設け、親子で触れ合う大切さを
保護者に伝えていく。各年齢で行うとよい遊びや・言葉のかけ方を学ぶ場を設ける

⑦その他

- 子育て支援センターが近所ではなく少し距離があるため、利用しにくい（2件）
- 一時保育の充実
- 幼稚園では、分団登園時の地域の見守り
- たまには脱スマホ、脱YouTubeを意識できる何か
- 分団登校のない子どもが園に通いやすくなるような支援があったら、子どもの出席率も
上がり、保護者が自由に使える時間も確保することができ、保護者送迎の負担軽減につ
ながるのではないかな。身近に頼りにできる存在がいない保護者が多く、周りに人や支援
機関があっても孤立している保護者もいる

- 親が周りに迷惑かけていないかと内心ビクビクしながらバスや電車に乗ったりしないよ
うな、周りの人々のあたたかい目や環境。皆で子育てしている人を支えよう、応援しよ
うという啓発をしていくこと
- 園開放の回数をもう少し増やす
- 発達過程に応じた子育てを、研修会などで保護者が学ぶ機会があるとよいと思う
- 預かり保育の利用者全員を無償にしてほしい。利用したいが経済的に我慢している家庭
は、未就園児が複数人家庭にいて、働きにもいけず、母親が1人で抱えている現実があ
る
- 子育てする上での給付金や乳児の保育料等支援があればと思う

(5) 桑名市の子育て支援について感じること・よいところ

①相談

- 相談機関が整っていること、幼稚園の先生以外の外部の専門の方からの視点で子どもた
ちを見ていただき、先生や保護者の方がアドバイスをいただけることはとてもありがた
く、子どもの成長につながっていると思う。桑名の公立幼稚園の保育方針はとても素敵
だと思うので、公立幼稚園がなくならないようにしていきたい
- 教育相談や子ども総合相談センターなど、相談できる場が整っている
- 発達支援などの相談機関の方々がご家族や幼稚園に寄り添っていただけている。幼稚園
との連携もしっかりとれて、保護者と一緒になって相談できる。四日市に姉妹園がある
ことから、四日市の教育玩具などの補助支援が桑名市より充実しているように感じる。
子どもたちのために少しでも補助をしていただけると助かる

②情報発信

- LINEで情報が得られること
- 子育て支援に限らず、こんな支援があるということを知らない人もいるので、それをど
う周知させるかが難しいと感じている
- 子育ての情報が必要としている人に行き渡っていない。受けたい幼児教育(就学前施設)
を選択できない保護者がいる現状がある

③子育て支援センター

- 子育て支援センターがよい（3件）

- 「ぽかぽか」や「キラキラ」など日常的に親子で気軽に参加できる場が継続してあるとよい
- 桑名市は「ぽかぽか」、「キラキラ」、「にこにこ」など各地域に支援場所を設けられていることはとてもよいと思います
- 新しい大きな団地の中に「ぽかぽか」という子育て支援センターがあり保護者や子どもが通っている
- ショッピングモールに市の一時預かりがある
- いろいろな場所で子育て支援をしてもらっているため、そこへ行けば誰かと遊べる施設があることは、よいと思う。ただ、それがあまり広まっておらず、知らずに過ごしている人もいるため、周知できるともっといいと思う
- 子育て支援センターの充実、公立幼稚園の園開放など子育て支援の取組を充実しようとしている

④保育事業等

- 公立幼稚園が存続していること（４件）
- 毎年たくさんの転入生がいて、公立幼稚園がさまざまな問題を抱えた家庭を支えていく場所になっているように思う。公教育としての受け皿があることはとてもよいことだと感じる。特別支援の必要な園児が50%を超えており、インクルーシブ教育として成立しており、さまざまな特徴のある子をお互いに知ることができ、どの子にとっても支え合いながら生活をしていく心の基盤がつけられている
- 幼稚園、小学校が自校で給食を作って提供しているところ

⑤子育て環境・安全

- 幼稚園、小学校、中学校の通学路、高校生の自転車通学路など、危険な道路、場所が多い。親子で安心して散歩できる道が少ない。自転車の練習できるところが少ない
- 総合運動公園、テニスコート、サッカーグラウンド、それらを取り巻く森、ホテルの里などの環境がよいと思う。自然を感じながら、身体を動かせる
- 園庭開放や、未就園児へのサービスが丁寧
- 園庭開放に来ている小さい子の保護者は、幼稚園の園庭開放だと同年代の子どもは在園していないため、どのように遊んであげたらよいのかなど、手本にすることができない。同年代の子どもの割合が低く、子どもを通して保護者同士のつながりをつくることは難

しい。桑名市にルーツのない保護者もいる中で、子育て中に子どもを通して保護者同士も身近なつながりができるような環境があればと思う

- 施設や催しなどが充実している
- 産科が少ない

⑥医療費の助成

- 医療費助成の年齢があがったこと（2件）
- 児童手当や医療費の助成の年齢を広げてもらえたことはありがたい
- 子どもの医療費無償化が遅すぎたと思う。窓口で先に払うなど不便だった

⑦その他

- 子どもを大切に思っているところ
- こんな子育て、保育、教育をしたいという思いを持つ人が多い
- 分団があるなど、子どもや保護者に対して、入学がスムーズになるよう手立てしている
- 地域の方がかわりながら子育てできると感じる
- 発達支援を小さいうちからできること、専門の先生について小さなうちから取り組むことで、少しずつ力をつけたり、保護者のつながりができていくところ

(6) 桑名市の好きなところ

- 名古屋が近く、交通の便がよい（12件）
- 歴史や文化があるところ（7件）
- 美味しい食材がたくさんある（4件）
- 山、海、川があり、自然が豊か（4件）
- 交通の便がいいところ（3件）
- 住みやすいところ（2件）
- 桑名駅周辺が綺麗に整理された（2件）
- 観光地がある（2件）
- テーマパークが近い（2件）
- 人があたたかい（2件）
- 大都市に近く、また一方でのどかなところ
- 都会すぎず、田舎すぎないところ
- 九華公園など歴史ある場所や季節を感じる自然がある

- 名古屋や四日市など大きな都市に近いので、生活面であまり不自由なく過ごすことができ、自然も残っているので、ベッドタウンのようなところ
- 街であり、名古屋市にも短時間で行けるが、自然も豊かであるところ。働きやすく、学びやすい、とてもいい環境だと思います
- 日本の真ん中に位置しており、とても便利な場所であると思います。街でありながら自然も豊かなところがよい
- 花火大会、石取祭、多度の上げ馬神事、ちょうちんまつり、長島温泉などのレジャーも伝統文化もあり、利便性もよく自然も豊かで住みやすい
- 石取祭など、伝統的な夏の風物詩があるところ
- 立地的にいろいろなところから、人が集まって暮らしていて、生活や考え方も多様性があると思う
- 公立幼稚園を残してもらっているところ
- 公立幼稚園教育。小学校や中学校とのつながりからの教育の連携
- 公教育においては、学校を越えた職員同士のかかわりが多々あり、それが現在の他機関連携のスムーズさにつながっていて、大変ありがたい
- 夏のスポーツ・レジャーも冬のスポーツ・レジャーも、どちらも行きやすく、地理的な位置がよい
- 適度に栄えていて、自然や、趣のある建物や文化のある市だと思います。まち並みも綺麗で住み心地がよいです
- 静かで落ち着く
- 海産物が豊富
- 新たなことに挑戦している市だと思う
- 地域の方が園の教育にとっても協力的
- 自分を助けてくれる人が多いところ
- 人とのつながりを大切にしているまちづくり

1 2 保育士・保育教諭（保育所・保育園・認定こども園）

(1) 子どもの育ち・家庭環境などについて感じること

①子どもの育ち・家庭環境全般

- 大人中心の生活になっていることが多い（3件）
- 複雑な家庭環境の子どもが多い（2件）
- 愛情を求める子が増えているように思う（2件）
- 子ども一人ひとり丁寧にかかわることが難しい（2件）
- 不適切保育やバスでの事故等の事件からか神経質な親御さんが増えたように感じる。多様な価値観があることは承知しており対応していくことも仕事の一環ではあると思うように保育ができない場面も多い。不適切保育を気にしてどのように教育していくべきなのかわからなくなってしまっている
- 不適切保育が問題視されている中で、どこまでが不適切にあたるのか判断しづらくなった
- 家庭との連携が難しい時がある。幼稚園ではやっているが、家ではやっていないなど
- 子どもたちが置かれている環境はだんだん厳しくなっていると感じる
- 子どもの様子が昔と違い変化してきていること
- 子ども一人ひとり発達の違いに差がある
- 家庭によって言葉の発達の速度が違っていると感じた
- 数年前と比べて、発達が緩やかな感じがする
- 注意が散漫しているように思う
- 長時間在園の子が増えている
- 物事に対して慎重で、失敗を恐れて挑戦しようとししない
- 早く帰りたい子どもが多くいるように思う。特に延長の子ども
- 帰りが遅い子が多い
- 様々な情報が得られるのはよいが、それを選択して取り入れるのが難しいように思う。
また、保育士の感じる困り感を保護者が感じていなかったり、逆に気にしすぎていたり
すると思うことがある
- 核家族が増えているため、周りに子育てに協力してくれる方、共有できる方が減ってきている分、情報はたくさんあるのと感じる
- 言葉にとっても気を使う
- 家庭環境が子どもの性格や成長に与える影響は何よりも大きいと思う

○子育ての孤立化

- 自分の感情を表に出さず、溜めてしまう、また、感じない子が多い
- 子ども一人ひとりにそれぞれの個性があり、かかわり方や言葉がけを考えて行うことが必要である。家庭環境も様々で、子ども自身の力はあるが、家庭に要求することが難しいこともあり、もどかしさを感じることもある
- 自分でできるが、親にやってもらおうとする子が多い
- 忘れ物が多かったり、家では子どもだけで食事をしたり放任だと感じる家庭が多くなってきたように感じる。毎日の保育園の用意などを子ども自身でする家庭もあるが、忘れ物が多かったり配布物が入ったままなども多い。保護者の方も忙しいのだと思うが、困ってしまうのは子どもなので複雑に感じる
- 縛られ過ぎておらず、のびのびと過ごしているように感じる
- 子どもと一緒に育てていこうという気持ちが薄く、丸投げになっていると感じる
- その子の思いを大切にされているが、自主性とはまた別に感じる
- 弱視や眼鏡の子が増えている気がする
- 毎日の生活で精一杯で、余裕がなく、大変な家庭が多くなったように思う
- 以前に比べて、フルタイムで仕事をしていて核家族で助けてもらえる環境ではないことに大変さを感じる
- 時間がない中で、子育てを頑張っていると感じる
- 仕事で忙しくされている家庭が多く、子どもも落ち着かない子が多い
- 保育士の人手不足
- 家庭環境としては、経済的に豊かな家庭とそうでない家庭の差を感じる。経済状況の悪さから子どもの人権の保障を脅かしている家庭もあると思う

②親子のかかわり

- 親のかかわりが少ない（8件）
- 共働きが増えたことや家庭でもSNSやYouTube、ゲームで過ごすことが多い子どもたちが多い。そのため、親子のかかわりが少なく感じられる（3件）
- 親子のかかわりが少なくなり、子どもたちが愛情を求めているように感じる（2件）
- 一生懸命やっているが、一緒に遊ぶ、過ごすなど子どもとかかわる時間が少ない。共働きで夫婦とも仕事に忙しい人が多い

- 子どもと家庭での時間が十分に取れておらず、保育園で他児にあたったり、落ち着きのない子どもが多いように感じる
- 子どものことに無関心な保護者が多くなっているように思う。親子のかかわりが少なくなり、子どもとの時間より自分の時間を優先させているように思う。だから、子どもも落ち着きがなかったり思いを感じ取りにくい
- YouTubeやゲームなどのため、人とかかわりが薄くなっている
- 子育てが苦手で、子どもとかかわりを楽しめない保護者が多いと感じる
- 子どもとかかわりが少なかったり、言い聞かせられなかったりする家庭が多い
- 保護者との関係の希薄さや子育ての仕方が分からない保護者が多く子どもの自己肯定感の低さを感じる
- 核家族が増え、祖父母とかかわりが薄くなった
- 共働きや様々な事情を持つ家庭もあり、子どもと過ごす時間も限られ、子どもの満たされきれない気持ちもあるのかと、子どもの姿から感じる場面もある
- 子どもとの関係が希薄な家庭もある。働きたい、働かなくてはいけない状況もわかるが子どもを産んだからには子ども優先で育児、仕事をしてほしいと思う。小さい時期に家庭での愛情を沢山かけてあげてほしい
- 保護者が子どもと過ごす時間が短い。経済的理由や「仕事がしたい」という大人の勝手な理由で子どもとの時間を疎かにしているように感じる。共働きで子どもとの時間がつくれない家庭も多いと思うが、休みの日は一緒に過ごしたり、早く仕事が終わった日は早く迎えに来たりしてあげてほしい。どんなに忙しくてもご飯と一緒に食べてあげてほしいと思う（一緒にご飯を食べていない、下の子ばかりで精一杯の家庭では、スプーンの持ち方や食事態度が身に付いていない）
- 家庭での保護者とかかわりが薄かったり、テレビやスマホを与えている、寝る時間が遅いなど家庭環境の変化も感じる
- 核家庭が多く、子どもとの時間があまり取れないようで、自由奔放な家庭が増えている。また家では静かで、園で発散する子が増えている
- 大人にかまってほしい、という様子の子が多い。保護者の忙しさなどから、子どもたちとじっくりかかわる時間が少ないと感じる。身の回りのことを丁寧に見てもらえていない。保護者にその余裕がない

- 親御さんとしっかりかかわっている子とかかわってない子の差があり、かかわっている子は約束を守ることができ、お友だちとも仲良く遊べるが、かかわりが少ない子は、約束が守れず、自分勝手に遊ぶ子が多く、お友だちとなかなか仲良く遊ぶことができない
- 全てにおいて余裕のある人もいればそうでない人もいる。乳児のうちに子どもとのかかわりが多い人は子どもも落ち着いているが、かかわりすぎる人やかかわらなさすぎる人は子どもの情緒も不安な子が多いのかと思う
- 親の育児の自信のなさや知識不足からか、親子関係が希薄になったり逆に過保護過干渉になってしまっていると感じる
- 自分で好きな遊びを見つけられなかったり、保護者も子どもとのかかわり方がわからないような方が多い
- 共働きの家庭が増えて、長時間保育園に預けられている子どもが多いと感じる。家庭での保護者と子どものかかわりが少ないことで発語の遅れなど影響があると考え
- 11時間以上園にいる子どもがいたり、日常的な親とのかかわりが全体的に少なく愛情不足、睡眠不足を感じる子どもや癇癢や勝手をする子どもがいたりなど、少しずつ育てにくさを感じている
- 子どもと保護者の休日の過ごし方について。共働き夫婦で朝も夕方も長時間保育を利用している家庭がほとんどの中、自宅で子どもとの時間を楽しむ家庭が少なく、毎週ショッピングセンターに出かけたり、旅行に行ったり、外出が多いように感じます
- あまり触れあってもらえていないのかと思う家庭、とにかく預けたがっているなど分かる家庭もある
- 子どもとあまり休日にかかわっている様子がなかったり母親も仕事時間が長かったりと環境が変わってきているように感じている

③生活習慣

- 生活習慣が整っていない（2件）
- 睡眠時間が短い（2件）
- 園任せなところがある気がする（2件）
- 生活リズムが乱れており、保護者が睡眠の大切さへの理解が薄く、寝かしつけの仕方が分からない家庭が多いと感じている
- デジタルが身近で、夜間使用などにより、睡眠に影響がでている子が多い

- きょうだいとの年齢差があると生活リズムが上の子に合わせることが多く、夜更かしになりお昼まで元気がないことが気になる
- 自分の身の回りのことへの意欲のなさ
- 食事の姿勢や持ち方、教育など家庭の協力が少ない気がする
- 家庭環境が複雑だったり、しつけはあまりされていないと感じる
- 家庭でのしつけをしている家庭は昔より減ったように思う。たとえ目の前でやってはいけないことをやっても、親が子どもに言い聞かせている姿はあまり見られない。保育者が声をかけると人ごとのような反応をする人もいる。一部は集団生活に非協力的なのかもしれない
- 保育園でやってもらおうと思う親が多い(オムツ外し、苦手な食材の克服)
- 以前の子どもたちに比べ、自分でできることが減ったと感じる。自分で歩く、オムツが外れている、箸を持つなど経験していない子が多く、保育所でトレーニングをする子が増えたように思う
- 食について、虐待の件があってから食べてみようなど子どもの姿があまり見られず、家庭でも嫌いなものは食べなくてよいとしている家庭が多い
- 好き嫌いが多く、いろいろな食材を食べる経験が少ないように思う
- 疾病の保護者も多く、生活習慣が確立されない家庭がある
- 共働きが増え常に時間に追われ家庭教育がままならない状況にあると感じます

④ゲーム・テレビ・スマートフォン・タブレットの利用

- YouTubeやテレビなどを見る、ゲームをする子が多い（6件）
- YouTube、テレビ、ゲームなどの影響（2件）
- 動画を見ている時間があるのか、流行りの音楽であったりYouTuberごっこなどが流行しているので動画を見たりゲームをする時間が多く取られているのかなという印象
- 家でテレビやゲームをしている子が多く、保育園で遊べなかったり、遊びが続かなかつたりする
- 遊びがデジタル化していることもあり、見ることは長けているが、人の話を聞くことが難しい。親子ともにデジタル以外の遊び方を知らない人が多い
- 家でYouTubeを見ている子が多く、動画を流すと集中して見るのに、おままごとやブロックなどでは集中力が続かず、落ち着いて遊び込むのが苦手な子が多いように感じる
- スマートフォンの使用が発達に影響していること

○核家族が多いが、近くに祖父母が住んでおり子育てを助けてもらっている家庭も多い。

日常的に携帯やタブレットなどを見ているようである

○ゲームやYouTubeなどをしている時間が多く、知識としてはいろいろと知っていることも
もあるが、実体験の乏しさを感じる

○自分の子育ての時とは離乳食、テレビの見方、ゲームの与え方などが全く違うと感じる

○子どもの育児をネットやスマートフォンに頼りきりになる

⑤子どもの言動

○YouTubeやゲームの影響なのか、言葉使いや行動が乱暴に思うことがある（6件）

○保護者やきょうだいなどの家庭やYouTubeなどからの影響で、言葉遣いが少し荒っぽい
子どもが多いように感じることはある。保護者が注意したり厳しく接したりすることが
難しく、自由奔放さが目立つ子どももちらほらいる

○親が子どもの言いなりになってしまい、子ども同士のかかわりでも自分の意見を押し通
そうとする

⑥体力・運動

○テレビやゲーム、タブレットなど、外で体を動かして遊ぶことが少なく体力がないため、
風邪などで体調を崩すことも多いのではないかと思う。コロナ禍で、体力づくりができ
なかったことや両親が働いていることもあり、なかなか外で遊ぶ機会もないのでは

○身体を使うことに慣れていない子や、姿勢を保持することが難しい子が多い

○転びやすい子が増えている

⑦子どもの経験

○家庭での実体験(生活習慣含む)の差を感じる（4件）

○昔と比べ現在はいろいろな面において経験不足かと思う。遊具で遊んでいる場面ではす
ぐに危ないからと助けすぎてしまって自分で体験して気づけることが減ってしまってい
る。怪我につながる危険以外は見守ることが大事だと思いました。また昔と比べ今はゲ
ームばかりになってしまう世の中で戸外遊びも減ってしまっていると思います

⑧精神面の発達

○指示待ちの子が多い（2件）

○主体性の難しさ

○自分の感情のコントロールができない子どもが多いのと理不尽な家庭が多い

- 独占欲が強かったり落ち着かない子が多い。また保護者の中で決断できない方も増えてきた
- 元気だと感じる
- 自分の思いを、素直に出せる子が多い
- 自己調整力がない子が多い
- 考え方が柔軟で、優しい気持ちの子が多い
- 子ども同士の関わりが下手で、自分の思いを強く出してしまう子や、経験不足なのか、何かにつまずくと自分では立ち直れなかったりする子が多い。心が繊細すぎる子が多い。保護者も子どもの意見に対して聞きすぎてしまうため、自分の思いを全部聞き入れてもらえないと前に進めない子もいる
- 年齢より幼く感じる。待てない、話が聞けない、落ち着きがない
- 全体的に実年齢より幼い感じがする
- 身体の硬さ、心の柔軟性、愛情のすれ違い、大人中心の生活をしている子が増えたと感じる
- 落ち着きがない。すぐに激昂する
- 保育所に預けられる子の時間が長い子のほうが、大人を必要としていて、態度として表していても親がとりあってくれていないことが多く、心の成長につながっている
- 各家庭で子どもたちが保護者とどれだけかかわる時間があるか。保育時間中に些細なことでイライラしていたり、満たされない気持ちが現れていたりする姿が増えているように見える

⑨支援が必要な家庭

- 支援を必要とする子が多い（５件）
- 保護者にも支援が必要なケースが増えている（５件）
- グレーゾーンの子が目立つようになってきた（２件）
- 支援が必要な子に対しての理解をする場を設けた方がよいと思う
- 大切に育てられている子が多い。自閉症など問題のある子が多いように思う
- アレルギーや発達の違いを持った園児が増えた。シンプルに教員の人数が足りず事故や怪我を防ぐことに限界がある
- 子どもの育ちや発達の面で大変さを抱える子が多いことや、本当に保育を必要としている人が保育所に入れずにいること。また、運転免許がないにもかかわらず遠い保育所に

しか入れないような現状がある家庭があり、そういう家庭こそ支援が必要な家庭である
場合が多く、家庭への負担が大きいこと

○外国籍の子どもが増加している

⑩保育園の利用時間

○共働きのため、子どもの保育時間が長くなっている（３件）

○共働き世帯が増え、病気でも、なかなかゆっくり家庭で療養できない子も多い

○保護者の就労時間が長く、０歳児から長時間保育を利用している

○早朝、延長保育を利用する家庭がとても増えたと思う

○核家族の家庭や働く保護者が多く、子どもとの時間の持ち方が変わってきていると感じる

○祖父母が近くに住んでいて、送迎など協力してもらえることで家庭で過ごす時間が長い
子どももいれば、両親共働きの核家族で、保育所で過ごす時間が長い子もいて、様々な
家庭背景がある

⑪保護者

○子どもに注意をする保護者が少ない。園では話をする伝わるが、家だということを聞かない、わがママを言うことがある

○子どもに対して優しい保護者が多いので、子どもに怒れなくて、そういう子どもは園でもトラブルがあるように感じる

○保護者の方の仕事が忙しそう。また、習いごとの送迎などもあり余裕がないように感じる

○忙しい親が多い

○共働き世帯や核家族が増え、近くに頼れる人がいないなど、日々疲れている保護者が増えていると感じる

○保護者が仕事などで忙しく余裕がない中での子育てで、心身ともに疲れている場合が多く、その保護者のしんどさが、子どもたちの姿に如実に出ている

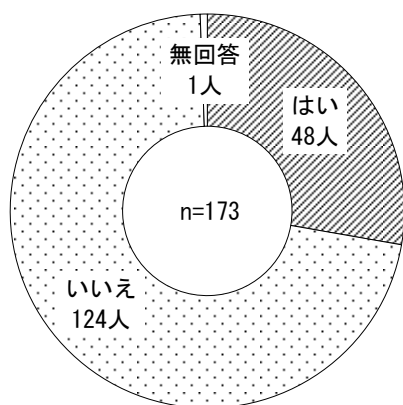
○子どもを大人に合わせようとする保護者がいると感じることが増えた

○子どもを叱れない保護者、子どもに判断を委ねる保護者がおり親になりきれしていない保護者が多いように感じる

(2) 保育現場での実務経験が5年以上あるか

対象の保育士173人のうち保育現場での実務経験が5年以上あるのは48人（27.7%）です。

図表57 保育現場での実務経験が5年以上あるか



(3) 5年以上保育現場での実務経験がある職員が感じる子どもの変化

①ゲーム・スマートフォン・タブレットの利用

- 子どもたちの会話の話題がYouTubeやゲームになっている（2件）
- ネットを通じて子ども同士でつながっている子も多く、話題もYouTubeが多い。流行りも変化が早い
- 動画などを見ている子どもの低年齢化
- 家庭で携帯、YouTubeなどの使用が高まっている。
- スマホやゲームなどが身近にあり、発する言葉や遊びに変化があり、以前の子はよりのびのびしていたように感じる

②体力・運動

- 運動能力が落ちている（4件）
- 体力的に弱い子が増えた（4件）
- 身体の体幹の弱さ（2件）
- 姿勢が悪い子が多い
- 外で身体を動かす機会が減り、身のこなしがぎこちない子が増えたように思う
- 体が上手くつかえなかったり、自分で考えて動くことができなかったりする
- 外遊びをあまり好まない子が増えたように思う
- 体の動かし方がぎこちなかったり、怪我をしやすい子が増えたように思う

③生活習慣

- 箸、トイレトレーニングなどの遅れ（3件）
- 基本的な生活習慣が身についていない
- 経験の少なさ
- 言葉の発達がゆっくり。生活面での自立や発達がゆっくりである。例えば、オムツからパンツへの移行
- 生活リズムが整っていない子が多い
- 寝る時間が遅くなっている
- 大人の生活リズムに子どもが付き合わされているため、常に疲れている
- 就寝時間が遅く、物事への意欲、自己肯定感が低い子が増えているように感じる

④精神面の発達

- 落ち着きがない子が増えた（7件）
- 話を聞けない子が増えている（5件）
- 感情のコントロールが苦手な子が多い（4件）
- 感情のままに手を出す子が多い（2件）
- 集中力に欠ける子が多い
- じっとすることができず、注意散漫、理解力が落ちていると感じる
- 集団行動、集団の中で話を聞く、絵本を見る、遊びに集中することなどが苦手な子が増えたように思う
- 家庭で過ごす時間が少なくなり、精神的に不安定な子どもが増えてきているように思う
- 切り替えができない子が多い。泣いたり大きな声をだせば自分の思いが通ると思っている子が多い。すぐにすねたり怒ったりする子が多い
- 幼く、課題のある子が多い
- 自分の思いを出し、気持ちの整理をつけるのに時間を要する子が増えてきている
- 自分で頑張ろうという気持ちが弱い。新しいことに不安を抱える子が多いように感じ、できないとやりたくないにつながる子や、自分で気持ちをコントロールする力がない
- 一人ひとりの自我が強くトラブルになる事が多い
- 年長児さんでも友だちとのかかわり以上に保育者とかかわりを求めることも多く、年々幼さが感じられ、落ち着きがない子が増えている気がする。また、親が忙しいこともあり、常識的なことがわかっていない子も増えてきているように感じられる

- 子ども同士の遊びよりも、大人を求める子が多いように思う
- 友だち同士のかかわりの中で消極的な子が多い
- 親が子どもに干渉し過ぎている。やってもらうのが当たり前。自分でできるようになり
たいという意欲がない
- 頑張る力や我慢する力がない
- 知能的に幼くなってきているように感じる

⑤遊び

- 遊び込めない子が多い
- 自分で考えて遊べない。遊びが見つけれられない
- 怪我をしやすい。工夫して遊ぶことが少なくなったように感じる
- 情報は多く知っていることもあるが、「こうしてみよう」「ああしてみよう」など意欲
的に遊んでみようということが以前よりは少ないように感じる

⑥支援が必要な子ども

- 支援の必要な子どもが多くなったと感じる（6件）
- 発達に遅れがある子が多い（3件）
- 発達の遅れがある園児が多く、保育士の人数が今のままでは足りない（2件）
- 不器用さ（2件）
- 支援の必要な子が増えていると思う。一つひとつの生活の力を身につけるために、保育
所が担う役割が増えている
- 発達障害の子が多くなったように感じる。それは検査機関や知識が増えたというのも理
由としてはあると思う
- 親への支援な家庭、育児能力がない親が増えている
- 障害がある子どもが増えてきたと感じる
- 全体的に低年齢化している
- 発達年齢の個人差が大きい
- 園で過ごす時間が長い子どもが増えた。育つ力は持っているのに家庭環境のためか育っ
ていない。支援が必要な子どもが増えた

⑦その他

- 長い時間、保育園で過ごす子が増えている（2件）

- 指示待ち
- 自己肯定感の低い子や、大人(保育者)に過度に甘えたり、スキンシップを求めたり、また自分で決めたり考えたりする力が弱く、大人の指示待ちや依存する子が増えたように感じる
- 人の話を聞いて、自分で考えて行動する事が難しく感じる
- 集団での活動が難しい子が圧倒的に増えたように感じる
- 行動が遅かったりマイペースな子が多い
- 友だちが頑張っている姿を見て自分も頑張ろうという気持ちやきちんしようという姿勢
- 自信が持てない子が増えたように思う
- 好きなことを好きなだけやる、自由な子が増えた
- 家でも保育所でも育てにくい子が増えているように感じる
- 活発な子が増えてきているように思う
- とても元気がいい
- 思いの強さ、活動的
- コミュニケーションに気になるお子さんが増えた
- 親、先生、大人に対する言葉遣いや態度に変化を感じます
- 言葉遣いが悪い子が多く感じる
- 自分たちの好きなことやりたいことを発信できる子が多くなり、差別なくかかわり取り組める姿が年々みられるようになってきた
- 多様性を受け入れている子が多く感じる
- 主体性を重んじる保育によって、多様性のある子どもたちが育ちやすくなりつつあるように感じる
- 個性豊かな子が増えていると感じる
- 校区に限らず保護者の都合で園を選ばれたり、短期間だけでも在園する子が増えている
- 時代についての変化はあまり感じないが、園の色、地域によっての違いは感じる
- 家でゆっくり過ごす事が少なく、休みの日もお出かけしている家庭が増えた
- 新型コロナウイルスの流行の影響もあり、マスク生活が長いいためか口の動きを見ないで大きくなったので、滑舌の悪い子や咀嚼が弱い子が多いかと感じる
- 保育所での様子を丁寧に伝えていく必要があると感じている
- 保護者と子どもの思いにズレがあることが増えてきた

- 子育て支援が変わってきている
- 不適切保育のニュースが増えたことから、心配される親御さんが増えた。子どもへの接し方が、正しいものなのか考える機会が増えた
- いい意味でも悪い意味でも自由な子が多いように感じる。(不適切に敏感になり)保育者が強く言えないことをわかっていて、思いを強く出す様子もある
- して良いことと悪いことの区別がつかない子が増えた
- 風邪をひいていても感染症等でなければ登園してくることが多くなった
- 個々に丁寧にかかわりが必要な子どもが増えたように感じる
- 人数が減った
- 親子関係が友だち化していて親に対しても暴言が多い
- 熱心に子どものことに向き合う家庭が減った。よく言えば、子どもの意思を尊重しているので、言い聞かせや叱ることはできなくなっている
- 時代の違い

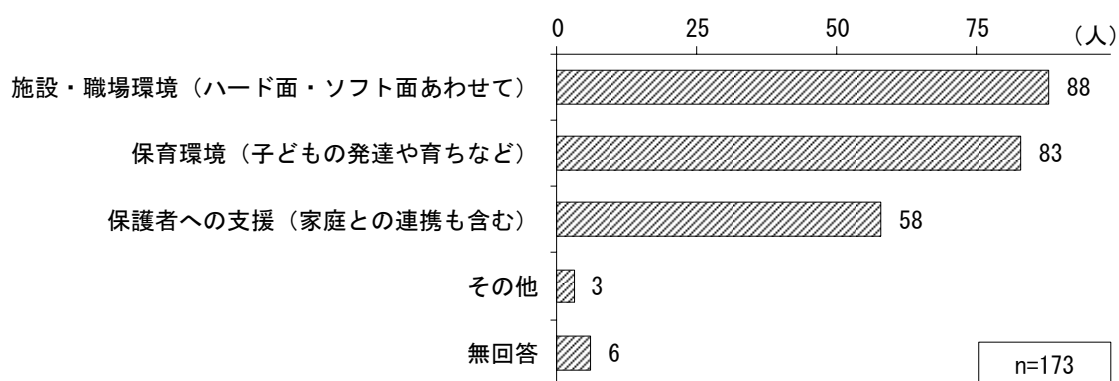
(4) 現場での保育における課題や困っていること

現場での保育における課題や困っていることをたずねたところ、「施設・職場環境（ハード面・ソフト面あわせて）」が88人（50.9%）、「保育環境（子どもの発達や育ちなど）」が83人（48.0%）、「保護者への支援（家庭との連携も含む）」が58人（33.5%）となっています。

その他として図表59の内容が記載されていました。

また、図表60、図表61、図表62は具体的な課題や困りごとの内容です。

図表58 現場での保育における課題や困っていること（複数回答）



図表59 現場での保育における課題や困っていること（その他、複数回答）

- ・人数はいるが若年層が多く、現場を任せられないと感ずることがある。中間層かベテランの正規職員が不足している。育てようとしても、感覚が違うのでうまく伝わらない。すぐに諦めたり、すぐに不満が出てしまう
- ・配置基準人数でできる場合と、他害の恐れや発達の個人差があつてつかないといけない状況がある場合では、全然ちがう
- ・給料が安い、体力、精神力がいるため、若い先生が辞めていく

図表60 施設・職場環境に感ずる課題や困りごと

- ・保育士が不足している（21件）
- ・業務量が多い。持ち帰ったり、サービス残業をしたり休憩時間を使って行なっている（9件）
- ・施設の老朽化（9件）
- ・保育士不足で、一人ひとりにかかわることができない（6件）
- ・保育だけでなく書類等の業務も含めると保育にあたる人数が足りていないと思う（5件）
- ・仕事量や仕事内容が給料に合わない（4件）
- ・労働時間（3件）
- ・加配児だけでなくそのほかにも同じように気になる子が多くいるため人手が足りないことがあり困る場面がある（2件）
- ・休みがとりにくい（2件）
- ・看護師の配置（2件）
- ・子どもの対人数が多い（2件）
- ・遊戯室がない、耐震面の不安などハード面の環境が悪い（2件）
- ・人員が足りず、1人の負担が多いのと、十分な保育体制が取れない（2件）
- ・保育者同士の人間関係（2件）
- ・保育準備をしていると、書類の時間が少なくなるなど、時間の確保が難しい（2件）
- ・時間外労働が給料に反映されない（2件）
- ・当番日は書類時間、保育環境の準備時間がない（2件）
- ・慢性的な保育士不足。多様な働き方が保障されているのはよいが、そのしわ寄せを受けている職員も多いのではないか
- ・草抜き等が手作業であるため、時間がかかり、夏場は暑さにやられるので負担になっている
- ・保育士の人数を増やしてほしい。決まりの人数に補助にまわれる保育士をクラスに配置してほしい
- ・保育士資格がない人でもできることをしてくれる人がいてくれるとよい
- ・保育士の人数が足りない。様々なニーズに対応したり、丁寧な保育を行うことが難しい
- ・近年コロナやインフルエンザで先生の欠員が出て、日中の保育もクラス合同などで思うような保育活動ができない
- ・職員に限られるため、長期に休む方が出ると、保育内容を変更するなど、子どもを安全に預かることを優先せざるを得ない
- ・産休育休での職員が減ることは必須なのにその補充はされておらず、されていても会計年度か期限付き任用職員となり、その人たちができない仕事は正規職員が負担するため結局負担が大きい
- ・対人数が多いと感ずる。心にゆとりを持って接するためには余裕のある人員が不可欠

- ・ グレーの子が増えている中で今の配置基準では子どもを見切れない
- ・ 現場の保育士が育たない
- ・ 施設自体が小さいので、のびのびと子どもが遊んでいるかが心配
- ・ なんでも危険だからと、遊びや遊具を禁止してしまう
- ・ 保育室を上手く使えず、環境設定が思うようにできない
- ・ パソコンが古く、立ち上げる、保存に時間がかかる
- ・ 行事が多くてなかなか仕事ができない
- ・ 正規と非正規の給料格差
- ・ 複数担任なので、協力して保育していくことがときに難しいことがある
- ・ 書類等が多く持ち帰ることがほとんどである
- ・ 公立保育園の老朽化。修繕を求めても先延ばし、またはされない
- ・ 時間に余裕がないため、話し合いや準備の時間等が思うようにとれない
- ・ 長時間保育の当番に入ることが多いため、定時までには明日の保育準備、事務処理作成は不可能。事務処理は毎日行わないといけないものもあるため、溜めてしまうと後が大変なことになる。事務処理のために時間外申請はしづらく、遠慮してしない人もいる
- ・ 残していく書類も多いため、削減をしていく必要がある
- ・ 事務仕事の重複、無駄が多い。パソコンやタブレットなど、ＩＣＴが上手く活用できていない
- ・ 家庭がある人は、子育て、家事、仕事と仕事以外の負担もあるのに、それでもできているのはただただ、責任感と子どものためにという自己犠牲で成り立っている
- ・ 過酷な現状で働いているにもかかわらず、昔よりよくなったと言われ、現状を理解されないところから燃え尽き、退職へとつながっている
- ・ 玩具が少ない
- ・ 保育観
- ・ ガラス張りすぎて災害時に困る
- ・ 遊んでよい玩具、場所が限られている。教材を部屋に置いておけないため取りに行かないといけない。ほしいときにすぐに出してあげられない
- ・ 働く中でのブラックさがあっても改善しようとしない
- ・ 園庭が５歳児も一緒なので別に仕切れるとよいと思う
- ・ 保育室の数が足りていない
- ・ 施設によって、環境が違う。現在のニーズに合っていない
- ・ 保育環境を整える、準備の時間のなさ
- ・ 職員の労働環境の悪さ（個人ロッカーや個人デスク、休憩室がない）
- ・ 保育システムの導入が進まないこと

図表61 現場の保育環境に感じる課題や困りごと

- ・保育士が足りない（8件）
- ・発達に課題がある子のかかわり方について（7件）
- ・支援・配慮の必要な子どもの増加（5件）
- ・子どもの発達を支えるだけの人員がいない（5件）
- ・支援が必要な子が年々増えている。一人ひとりに合った支援をしていくことが難しい（4件）
- ・発達の遅れからなのか援助が必要な子が多いと感じる（3件）
- ・発達の差が結構ある。個別対応の子が増えており、集団保育が大変（3件）
- ・成長に個人差があるため一人ひとりに合った保育ができない時がある（3件）
- ・対人数が多く、大変（3件）
- ・主体性を大切にしながら保育の難しさを感じる（2件）
- ・発達で心配な子も多いが、それをどのように保護者に伝えたらよいのか（2件）
- ・一人ひとりに合った保育を行いたいのに、それをするための人員が足りず、結局全体の活動が多くなっている
- ・保育士の育成
- ・加配が必要な子に対して、余裕をもって保育することができない
- ・障害児保育について
- ・発達支援を充実してほしい
- ・子どもの発達について学ぶ場が少ない
- ・子どもの対人数により職員配置が決まるが、対人数での対応が難しいクラスもある
- ・保育感が統一されなかったりして子どもに対する対応がよくない
- ・少し街中にあるため、もう少し自然と触れ合える場所があると子どもたちも自然や食について興味が広がると思う
- ・子どもに対するかかわり方がわかっているのだろうか、と感じる保育士もいる
- ・遊びがデジタル化しており、それ以外での遊びに満足感を得ることが難しく、保育園で遊べない子どもが増えている
- ・おもちゃでの遊びに面白みを感じないため、保育士と1対1で遊びたがる
- ・子どもの性格は家庭環境による影響が大きく、保育士の指導の限界を感じる
- ・マイペースすぎて、集団についていけないペースで動く子がいる。丁寧さがあり、綺麗好きなところがよいところであるため伸ばしたいが、集団の時間に追われてついていない
- ・書類は、ある程度できるが、現場経験の少なさ。子どもの観察力が低い
- ・改善策を伝えても家庭環境が変わらない場合、こちらも意欲が削がれる
- ・保育を進めていく中で互いのトラブルが多い
- ・運動面の発達を促す保育内容や環境づくり
- ・よく転んだりして手が出ないことが多い
- ・子ども自身が考えて動けるような環境の配慮
- ・子どもたちが安心して過ごせる環境をつくっていくようにする
- ・どのように子どもの姿を捉えて、どのように支援していくのかという保育士の力量
- ・活動に対し意欲が低い

図表62 保護者への支援に感じる課題や困りごと

- ・働く時間が長い多忙な保護者が増え、かかわる時間が持てない（4件）
- ・信頼関係を築くことが難しい（3件）
- ・保護者の思いにも寄り添いながらこちらの思いを伝えることに難しさを感じる（3件）
- ・支援が必要な保護者や家庭へのかかわり方（3件）
- ・保育園への理解が少ない。親の主張ばかり（2件）
- ・子育てに対する保護者の認識に差が大きい。考えすぎの人もいるし、子どものことを何も考えていない人もいる（2件）
- ・課題をもつ子どもの保護者とのかかわり方（2件）
- ・外国籍の子どもが増え、保護者支援の難しさを感じている（2件）
- ・保護者対応
- ・保護者の思いと私たち側の保育の方法では不適切と言われかねないため、連携が難しくなった
- ・こちらの思いと意見が違うとき
- ・上手く連携できない難しい親が多い
- ・保育士の気持ちを受け入れてもらえない
- ・子育て環境が変化してきて、口頭だけでは伝わらないことが多くなってきている
- ・保護者に子どもの姿を伝えるのが難しい。伝えてもあまり伝わっていない
- ・保護者が子育てに対してどうしたらよいのかわからない人が多いように思う。些細なことでも園から伝えていきたい
- ・延長などで帰りが遅い子はなかなか保護者と話せなかったり、バタバタしていてじっくり話せず保護者の困りごとや不安をうまく引き出せないこともある
- ・保護者支援が難しくなっている
- ・子どもの生活力を園でのみ育もうとする姿が多くみられる。もちろん、現場は一生懸命取り組むが、家庭との連携が必要不可欠。子育てへの価値観や考え方が変化した。園を頼りにし過ぎているため、保育士への負担も増えると感じる
- ・園まかせにすることもあり、家庭でも食事、排泄などを進めてほしいが上手く伝えられないこと
- ・忙しさや子育ての難しさから、保育所に任せっきりな人や、忘れ物や園からの伝達などを、保護者に合わせて様々な方法で伝えたりするなど、それぞれに合わせたかかわりに難しさがある
- ・大変そうだと感じてなかなか手を差し伸べることが難しい
- ・園から伝える子どもの困っている面、発達具合を伝えても、気にされなかったり認めようとしない
- ・子どものためを思って伝えたことが素直に受け入れてもらえないことがある
- ・産前産後や延長保育、悩み相談
- ・保育時間などの決まりに対し、守っていただけないときなどの対応に難しい
- ・求めることが多い
- ・子どもの個性を受け入れてくれない
- ・子ども誰でも登園は保護者支援になるのかもしれないが、子どものためには全くならないと思う。そして、その負担は既存園の保育士になることをわかってもらいたい。もしするのであれば、誰でも登園施設を別でつくってもらいたい。子どもと離れることが保護者支援となりがちだが、子どもと一緒に遊ぶことにも目を向けてほしい。乳幼児も外で安心して遊べる遊具、公園の設置や年齢に応じたお

もちやの紹介、遊び方講座などとしてはどうか。今の保護者は子どもと一緒にどう遊んでよいのかわからない人が多い

- ・手紙(文字)を読む習慣がなくなり目を通さない。記名の習慣がない
- ・ネットで検索し、よけいに不安になる。臨機応変が難しい
- ・スマホなど電子機器との共存。生活リズムの大切さ
- ・同じ内容を伝えても受け取り方が違ったり、準備物を持ってきてくれなかったりと、園で子どもが困ることがある
- ・子育ての時間に余裕をもてるような保護者の働き方の提案や、保護者間での役割の分担についての提案。園の効果的な利用の仕方や睡眠や食事支援、保健師との連携
- ・保護者は子どもの園での姿に関心があまりなく、担任との会話も表面上で終わらせて帰る保護者が増えている
- ・支援も行政と連携が必要で、保育所だけではフォローができない部分については支援の場所、人材が足りていないように思う。保護者を支援するにしても、対応する職場環境、配置人数を整えてほしい
- ・保護者の相談や悩みに対する言葉がけに困ることが多く、曖昧な返事に保護者は安心することはできないだろうなと感じつつ、知識や経験が浅い分自信をもってかかわることができない
- ・入り過ぎても入らなさ過ぎても、支援につながっていかないため、様々なところと連携して、取り組んでいく必要がある
- ・ヘルプを出せる家庭はよいが、出せない家庭への支援方法を考えていかなくてはいけない
- ・子どもと向き合うのが苦手。土曜日保育を利用していても、平日仕事休みの日は自分のための休み
- ・子どもと過ごす時間を楽しい、貴重と感じられない人が多い。子育ての見通しが持てるように支援している
- ・乳児期のかかわり。食生活、子どもへのかかわり方
- ・保護者自身が仕事など自分のことで精一杯の様子で、子どもの成長した面と一緒に喜ぶことができるが、課題など一緒に考えていきたいことをなかなか受け入れてもらえない

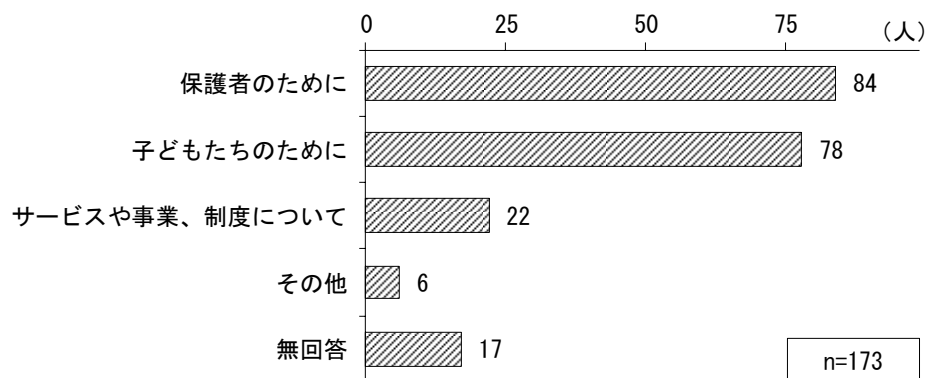
(5) 子どもや子育て中の親に対して必要な支援

子どもや子育て中の親に対して必要な支援をたずねたところ、「保護者のために」が84人（48.6%）、「子どもたちのために」が78人（45.1%）、「サービスや事業・制度について」が22人（12.7%）となっています。

その他として図表64の内容が記載されていました。

また、図表65、図表66、図表67は具体的に必要な支援の内容です。

図表63 子どもや子育て中の親に対して必要な支援（複数回答）



図表64 子どもや子育て中の親に対して必要な支援（その他、複数回答）

- ・ 保育士の給与をあげてほしい
- ・ まずは保育士確保、保育環境を整えてこそ、よりよい支援が成り立つ
- ・ 家庭での親子での会話を増やしてほしい
- ・ 特別支援児に対しての支援方法、受けられる支援サービス等の知識

図表65 保護者に対して必要な支援の内容

- ・ 相談する場や機会の充実（17件）
- ・ 保護者同士のつながりの機会（7件）
- ・ 保護者が子どもと過ごせる時間の確保（5件）
- ・ 病児保育の充実（3件）
- ・ 育児の仕方、子どもとのかかわり方を教えてくれる環境（3件）
- ・ 人と繋がる場（3件）
- ・ 保護者のリフレッシュ（3件）
- ・ 保護者が悩みを打ち明けやすい場所（2件）
- ・ 子育て支援に関する情報提供（2件）
- ・ 子どもとの向き合い方を伝える機会など（2件）
- ・ 保護者と保育士がコミュニケーションをとれる時間や場（2件）
- ・ 保護者自身が話す機会を増やし、保護者の気持ちを受け入れる機会（2件）
- ・ すぐに相談できる場所。発達指数がでるものなど予約などが必要で時間がかかり対応しづらい

- ・地域のイベントなど親子で参加できる機会をもっとつくれば、知り合いも増え、子育ての悩みなどを話し合う機会になるかもしれない
- ・子どもの体調が悪い時に、仕事が休めるようになったらと思う。もっと子どものために休みやすい環境になったら、子どものためにもなるし、保育の現場で病気が蔓延するの防げると思う
- ・子育ての大切さ、大変さを理解してくれる職場環境
- ・卒園児の学童の充実
- ・休日も預かりができる施設がもっと増えともう少し保護者も楽になるのではないかな
- ・保護者が助けを出せる場所をつくったり、交流できる場所をつくってお知らせを投函してあげると行きやすいのかと思う
- ・いつでも、子どもを預けられる場所があればよいと思う
- ・一時保育の充実
- ・保護者のために、いつでも働きやすい環境をつくってほしい。未就園児も預けられる、一時預かりをどんどん受け入れてほしい
- ・子どもの発達について知らせていく必要がある
- ・ファミリー・サポートセンターを自由に、即座に使えること
- ・普段の保育の姿を見て楽しめるように、給食の展示や遊んでいる玩具を見せたりするとよいと思う
- ・乳児の保育料の減額やその他保育料の減額を検討していくともっと利用しやすくなると考える
- ・金銭面での支援
- ・様々な施設を安く利用したり、必要な物を安く買うことができればよいと思う
- ・医療費助成の対象拡大
- ・外国籍の家族が増えているので、手紙など言語を翻訳して渡してもらいたい。有料の翻訳アプリを導入する。無料のものは間違っただけの変換になることが多い
- ・イベント等の案内
- ・頼る場所が必要
- ・気軽に預けられる場所
- ・言うことを聞かない子どもへの対応
- ・時短勤務で働ける制度の充実
- ・希望の保育施設へ預けられること
- ・SNSの普及で、子どもの発達などについて調べる方が多く、子どもと比較して発達を気にされる方もいて、一人ひとりにあった支援の仕方や丁寧なかかわりを伝える場所があるとよい
- ・疾病で登所できない保護者や子育て支援センターに出向けない保護者の支援
- ・子どもの自主性の大切さについて
- ・子どもとかかわって、子どもの面倒をみるだけでなく、成長を促すための時間が必要
- ・具体的な子どもへのかかわり方、親と子ども両方の自己肯定感の高め方を学べる機会があるとよい

図表66 子どもに対して必要な支援の内容

- ・もっと親とかかわる時間を増やしていく（7件）
- ・発達に応じた対応と個別支援（5件）
- ・余裕のある人員を確保することで、子どもにしっかりと向き合う時間が取れる（4件）
- ・就園児でも利用しやすい遊び場の充実（3件）

- ・対人数の見直し（２件）
- ・適切な玩具や遊具の提供（２件）
- ・病児保育施設が拡充されて利用しやすくなるとよいと思う（２件）
- ・子どもの人数に対しての保育者の数を増やし、保育士と子どもの接点を増やす（２件）
- ・個々に合った適切なかわり方、手立てを気軽に専門職の方に見てもらう機会（２件）
- ・施設(遊具や保育室)を充実させてほしい（２件）
- ・各保育所に看護師を配置する
- ・保護者(親)がもっと気軽に時短勤務ができたり、休みを取ってリフレッシュができると、子どもを見る余裕が生まれて最終的に子どものためにつながると思う
- ・保育園などの様子を様々な形で伝えていける場があるとよいと思う
- ・子どもの体調がよくない時に無理して保育園に来なくてもいいように保護者が休みやすい社会
- ・仕事や家事が大変で子どもと遊ぶ時間がないように感じるため、子どもとの時間を取れるような支援
- ・親子の触れ合いの具体的な方法などを伝える機会をもつ
- ・愛着の大切さを伝える
- ・先を見通した子育てアドバイス
- ・検診のように、自分の子について気になることを気軽に聞けるような機会など増えたらよいと思う
- ・困り感がある子に対して、専門の方たちからの保育指導がもう少し手軽に受けられたら、子どもたちも過ごしやすくなるかもしれない
- ・身体の発達を促していく遊びや運動の確保
- ・児童遊園のような低価格で存分に遊べる場の確保
- ・保育園以外の集団遊びの機会を増やしてほしい
- ・他の子と交流できる場所
- ・子どもたちが安心して安全に遊ぶ場所の環境が整っていること
- ・子どもたちが天気に左右されず身体をたくさん動かせる場所がほしい
- ・子どもが育つことを大前提に考えるべき。大人の都合が軸になってしまっていることから、子どもの育ちが二の次になってしまっていることが悲しい。子どもを大切に育てたい
- ・公立保育所の場所が偏っている
- ・学童保育の充実
- ・玩具や絵本を増やす
- ・テレビやゲームではなく外で遊ぶことの楽しさ、友だちや大人とかかわって過ごす大切さを伝えたい
- ・さまざまな居場所、いろいろな人に見守ってもらえる環境、動画漬けにならない環境
- ・豊かな自然環境の中で、五感を刺激するような実体験を積み重ねることのできる環境
- ・子どもたちがイメージを広げて十分に遊べるように、素材を多く置きたい
- ・物的環境や人的環境も含め、保育環境の充実
- ・エプロン、タオル持参がないと楽ではないか
- ・園や集団での子どもの姿を見るきっかけがあるとよいと思う
- ・親子が一緒にいることを楽しんだり、子育てが楽しいと感じられるようなイベント
- ・安全に生活できる環境づくりをお願いしたい。未就園児が集える場所の提供、孤独な子育てをなくすよう考えてほしい

図表67 必要なサービス・事業の内容

- ・働きやすい環境（2件）
- ・玩具のサブスク。同じ玩具ではなくいろいろな玩具で遊べるように
- ・絵本などの移動図書館など
- ・土曜日に仕事以外の緊急の予定やリフレッシュのために子どもを預ける場所
- ・対人数を増やすかフリーのように何でもできる人の配置を考えてほしい
- ・入りたい保育園に入れるようにする。遠くの保育園や、きょうだいが別の園、方針が違う園に預けざるを得ない時、仕事か子どもどちらを優先したらと悩む人を見てきた。保育士の給料を上げて、保育士を増やし、受け入れ人数を増やすこと
- ・病児保育を充実させること
- ・保育所のおたより帳のICT化（記入時間の短縮）
- ・病児保育の枠や施設が少なくて、どうしても休めない保護者は子どもを病気のまま保育園に連れてきてしまい、病気が蔓延してしまう
- ・子どもが病気の際の預け先や、子育てなどの困りごとを相談できる場所が増え、機関同士が連携して子育てをしていけるとよい
- ・新年度支度金が節目毎にあれば家計が助かると思う
- ・最低でも就学前までは時短が適応すると、子どもとゆっくりかかわれるかと思う。できれば小学校の低学年までであるとありがたい
- ・保育所での短時間保育認定はもう少し短くてもよいと思う。例えば幼保一元化するとか。現時点では、保護者の申請でのお迎え時間だが、仕事の時間とお迎えに来る時間との差がありすぎるため
- ・家事代行
- ・様々な保護者がいる中で、できるだけ多くの人に理解してもらいやすい、わかりやすい伝え方、発信方法
- ・どの保護者でも気軽に使える制度

(6) 桑名市の子育て支援について感じる事・よいと思うこと

①子育て支援全般

- よりよくしていこうという姿（2件）
- 子どもや保護者、保育士のことをいろいろ考えてくれていることは伝わる
- 子育てについての支援等も真摯になってくれたりしているところ
- 子育て家庭に優しいまちづくりを目指している
- 子どもたち、親に対して手厚い
- 子育て支援はまだまだだと思う
- 対応が遅い

②保育園

- 育休退園がなくなった（３件）
- 保育を必要とする家庭がきょうだい一緒の園に入ることの難しさ（２件）
- 育休退園がなくなったことはいいことだと思うが、預かり時間が長いのではと感じる
- 育休に入っても保育園を辞めなくてよいのはどうかと思う。とくに乳児だとまだまだ母親と一緒にいたい時期なのに保育園に預けられ泣いている姿を見るとかわいそう。早く迎えにくるわけでもなく、酷いときには父親が休みで、２人プラス生まれたばかりの下の子もつれて保育園に送りにくる。なので、育休でも保育園を辞めなくていい制度に私は賛成できない。中には育児ノイローゼになる人もいるのでそういう人には上手に利用してもらいたい
- もっと保育園と連携してほしい
- 公立保育園の保育士が出前保育など、外に向かって活動しているところはよいと思う
- 園生活のなかで、伸び伸びと過ごせていると思う
- 保育士と保護者が常に顔を合わせて普段から子どもの成長を喜びあったり、相談に乗ったりできるところ
- 公立保育所の保育の質は高いと自負している
- 公立保育所のバランスのとれた温かい食事
- 入りたい園になかなか入れないと周りの親から聞く

③子育て支援センター

- 子育て支援センターが充実していること（８件）
- 子育て支援センターが土日にも開いていること（２件）
- 子育て支援センターで子育ての相談や友だちづくりをすることができる
- 子育て支援センターが充実していること。実際に利用している保護者の言葉を聞くと、やはり育児の相談をできる相手がいることや、誰かが一緒に子どもを見てくれるという安心感は大きいから
- 子育て支援センターなど保護者がほっとできる場がある
- 子育て支援センターで木のおもちゃで遊べたり子育て相談にのってもらえるところ
- 「キラキラ」など、子どもが遊べる場が多い

④土曜・日曜の保育

- 土曜日に仕事がある方は保育園で預かることができること

○本当に必要な人のための日曜日保育があるところ

○延長保育、土曜保育

○休日保育の充実

⑤子育て環境・居場所

○環境が整っている

○環境を整えるために話し合いを沢山していること

○子育てサークルに活気がある

○入園前の子どもと親が参加できる子育て広場があること

○子どもの遊べる場所、親子で訪れることのできる場所を求めていると思う。子育てがしやすいと思ってくれば、若い世帯が集まってくれると思う

○園庭開放・子育て支援センターなど園に通っていない子でも利用できる場所がある。またそこに保育士がいることで子どもの相談ができる場所がある

○図書館などが多くあり、ママ友のような、同じ悩みを抱える人と話ができる場所がある

○児童館を増やしてほしい

⑥病児保育

○病児保育施設の拡充ができればよいと思う（２件）

⑦一時保育

○一時預かり保育の充実（３件）

○一時保育があることで、保護者の息抜きにもなる（２件）

○一時預かりは職員配置が原因で他の施設全部断られました、と電話で聞くことがよくある。一時預かりの職員体制を常勤の数人で組んでほしい。受け皿がない

⑧支援が必要な子ども

○保育園以外に子どもと保護者で参加できる活動が行われていること。日本人だけでなく、外国籍の親をもつ子どもにもその機会が与えられていること

○医療的ケア児の受け入れのために保育園の看護師を増やしてほしい

○目や耳が不自由な家族に対しての支援施設が少ないので、増やしてほしい。手話を皆が学ぶ機会をつくってほしい

⑨医療費の助成

- 医療費助成が高校生までに延びたこと（５件）
- 医療費の助成があること（４件）

⑩子育て支援を担う人材不足

- 配置基準よりも手厚い保育士を配置した場合に補助金を交付することはよいと思う
- 子育て支援をする職員の人員不足の解消、職員の環境を整えてほしい
- 保育士の対人数を増やすなど、子育てに手厚いまちとしてのアピールをすれば、子育て世代の流入や出生率の向上につながると思います
- 子育て支援を充実させるためには、支援する側を充実させなければ、質の低下に繋がると思う
- 公立、私立ともに人員確保できる予算組をしてほしい
- 子育て支援の現場環境(配置人数、人間関係など)を見直さず、サービス提供をうたっていても、行き届かないように感じる
- 事業をはじめるときは、人員確保など、事前の準備をしっかりとしてからはじめてほしい

⑪相談・情報発信

- 園と機関がすぐにつながり対応でき、保護者もすぐに相談ができる場所があるのはとてもよいと思う
- 様々な子育て支援に関して、知ってもらえるようにホームページなどに載せていること。保護者の目が止まりやすいようにしていること
- もっと分かりやすいアピールをした方がよいと思います。現場に負担を強いるだけの支援施策ではなく、今やっていることをもっと様々な人に届けられるように、SNSやお得感のあるイベントなどでアピールするとよいと思います
- 発達相談の予約がなかなか取れない

⑫その他

- 巡回訪問を依頼するとすぐ電話があったり動いてくれるようになった
- 医療が充実していること
- 不適切保育があったが、該当園だけでなく桑名市全体として今後このようなことがないように対策をされていてよいと感じた

- 子育て支援金がある
- 特別支援、放課後支援が多く親御さんが働きやすい
- 話を共有してくれる
- 令和5年5月3日マスコミ報道の不適切保育の件について、4月28日に桑名市は同園に立ち入り調査をしており、安心、信頼できる市だと思う
- 連携ができています
- 保幼小の連携が取れており、連続した支援を受けられることがよいと思う
- 各家庭の状況を把握して専門機関と連携を取った見守りをしている
- 保護者の意見を傾聴して、子どものために支援しているところ
- 丁寧な聞き取りを事前に行っていくこと
- 仕事をしていない保護者が子どもを預けられる制度はリフレッシュできてよいと思う
- 園庭開放に参加できること
- 寄り添うように多様化してきていることはよいと感じる
- パパママ家事支援事業が月1回あること。保育士や調理員の負担はあるかもしれないが、子育て支援においてはよいと思う
- 子どもの人権を大切にしているところ
- のびのびと遊べる場所
- 子育てをしている方が自由に使える制度がある
- 公立だけでなく私立にも手厚い支援をお願いしたいです
- もう少し施設にお金をかけてほしい
- 新しい支援が始まっても、現場が回らないようなことが多い
- 地域によって支援の差がある
- 様々な新しい支援にチャレンジしていただけるのは嬉しいが、受け皿をしっかりと整えてから支援を整えてほしい。親にとって嬉しい支援の方が多い気がする
- 近隣の市町と比べてサービスや補助金、助成など劣っていると感じる
- イベントがあると楽しそう。私も妊娠、出産をしたらそのようなところに積極的に参加したい

(7) 桑名市の好きなところ

- | | |
|---------------------|-------------------|
| ○程よく田舎でも都会でもない(21件) | ○自然がある(15件) |
| ○名古屋から近い(12件) | ○アクセス・交通の便がいい(9件) |

- 住みやすい（８件）
- お祭りや花火大会等の行事（７件）
- 伝統文化・歴史がある（７件）
- 飲食店が多い（６件）
- 公園などが多い（５件）
- 子どもが遊べる遊園地やプールがある（４件）
- ハマグリが美味しい（３件）
- 立地条件がいい（３件）
- 買い物できる場所が豊富にあり、買い物に困らない（３件）
- 人との繋がりがあある（３件）
- 治安がよい（２件）
- 病院が豊富で安心して過ごせる（２件）
- 観光地がある（２件）
- 駅が綺麗になった（２件）
- のどかなところ（２件）
- 新しいことに取り組んでいこうとする姿勢（２件）
- 美味しい食べ物がたくさんある
- 多度山の景色。長島温泉。なばなの里
- 家族で出かけに行けるスポットがある
- 遊ぶ場所がたくさんある
- 桑名市は店が多く駅も大きいので住みやすそう
- 桑名ですべてが完結するところ（買い物、レジャー、行事など）
- 台風などの影響もあまり受けない地形
- フィルム・コミッションを積極的に行っている
- 落ち着くところ
- のんびりと過ごせるところ
- 地域の皆さんが優しいこと
- 大山田地区が綺麗
- 赤須賀漁港など、地域の方とかかわりが持てる保育所があるところ
- まだまだ知らないお店や知らない地域がたくさんあり、探索が楽しめる
- 物価が大都市に比べて安い
- 小売店（魚屋、肉屋、八百屋など）があり、美味しい食材が手に入る
- 人権を大切にしているところ
- 一人ひとりのことを考えて、あたたかく人と接しているところ
- 子育てで忙しく大変な保護者にとって、不安や悩みを和らげるようなイベントや支援がたくさんあること。保護者にとってとても支えになっていると思う
- 市民のニーズに応えようと、頑張ってくれている
- 様々なサービスがあるところ
- 子どものために変わってきたこと
- 地域全体で子どもをみていくところ
- 保育園、幼稚園、認定こども園が多い

- 私立の中身までは知りませんが、公立では質の高い保育を提供できていると感じる
- 職員同士での協力が強いところ
- 今の職場の先生方が、いい保育士さんばかりで、子どもたちの成長を支えているところ
- 親身に保護者に寄り添うところ

1 3 学童保育所支援員等

(1) 子どもの育ち・家庭環境などについて感じること

①親子のかかわり

- 親子でかかわる時間が少ない（5件）
- 子どもに無関心。過干渉
- 共働きで収入を得ることで豊かな生活になっているが、心は豊かでないと思う。家庭や他の友だちとのつながりも少なくなり、個食、タブレットで遊ぶなど、人とのつながりで育つものがなくなってきている。子育ても家族単位でするのでなく、皆でかかわることが必要だと思います
- 保護者の方が忙しいからか、他の子どもと遊ぶ姿やいろいろなやりとりの場面、よその大人への態度などを見たことがないのではないかと思います。子どもの姿を知らないことが多いのではないかと思います
- 大切に育てられている。人権意識が高い。保護者さんの育て方が、しっかりとされていると思います
- 平日は家族との団らんなどの時間は少ないようにも感じられる。学童で支援員に甘えてくる子も多く、低学年は膝に抱っこをせがまれたりするお子さんもいます。大きくなると逆に支援員にいたずらをしたり悪い言葉をかけたりしてスキンシップを試みたり様々ですが甘える相手がほしいように感じられます
- 子どもたちなりに一生懸命、学校、家庭、学童で生活していると思います。中には、愛情不足かと思う子もいます
- 子どもたちは、どの子も寂しさを抱えていて、小学2、3年生でも抱きついて来たり膝に乗りたがります。保護者は仕事に忙しくあまりかまってもらえていないのかと感じます
- 親子関係の愛情不足かと思われることが多い。共働きの家庭が増えてきていて、子どもと保護者がかかわる時間が減ってきているように感じる。また、ひとり親家庭も増えてきていると思う
- スキンシップ不足。家族の愛情を受けて育っている児童もいるが、もう少し子どもに関心を持ってほしいと思う。子どもとのかかわり方が難しいご家庭があるように思う
- さみしい子どもたちが多い気がします。両親が忙しく、子どもとかわる時間が、なかなか持てないのか
- 子どもに好かれようとして、何でも許す親が気になります。本当にその子の将来を考えてほしい

②コミュニケーション・他者とのかかわり

- 他の友だちを思いやる気持ちが足りないかもしれません（３件）
- 人見知りする児童が少なく活発（２件）
- 「自分が嫌なことは人にもしない」ができなかったり、人が嫌がることを面白がる傾向がある
- 言葉遣いが悪い
- 家庭での不満、悩みを言う児童は今のところいないため家庭環境における問題は基本的にはないと思っている

③生活習慣

- 準備や片付けなどができない。物を大事にしない子が多い（４件）
- あいさつができない子が多い（２件）
- 保護者の方が忙しいのか、基本的な生活習慣や言葉遣いができない子が多い
- 公共の場（学校や学童など）にマナーやルール、生活習慣のしつけを期待しているのか、集団生活に支障のある子どもが目立ちます。利己的・思いやりに欠ける・人とのやりとりが攻撃的・自分勝手に周囲に迷惑をかける、等。我が子に注意できない、叱れない親御さん
- 勉強はよくできて賢い子どもが多いと思いますが、愛着に問題があったり、昔ながらの基本的な生活習慣のしつけが足りていない子どもが多く見受けられます。また、学校や家庭でのストレスを上手に発散できていない子どもが多いと思います
- 机を跨いだり足を乗せたり勉強している姿勢もゆっくり腰を据えている姿勢には程遠く、しゃがみながら勉強している子が何人もいます。忘れ物も、たくさん子どもたちが学校や自宅に教科書、ノート、筆箱などを置いてきて学童の物を毎日使っています。声かけをしても毎日忘れ物をしてくる子どもがたくさんいます
- 朝食をしっかり摂っていない、という子どもの声をたまに聞きます
- 食事のバランスが整っていない児童が見受けられる
- 早く寝なければいけないから、あまりお風呂に入れないという子がいて驚きました。お風呂に入らないと疲れが取れないとも言っていました
- 寝不足のお子さんも見られます。眠たくて眠っている子もいます。長時間学童で過ごすので性格などお互い分かり合って、学年関係なく気が合う友だちとても仲良く遊ぶ姿が

見られます。学童を利用していることで友だちとかかわり、外遊びで身体を動かしたり伝承的な遊びやごっこ遊びなど、遊ぶ時間はたくさん持てているように思います

④ゲーム・スマートフォン・タブレットの利用

- デジタル世代（2件）
- 低学年から、インターネットやゲームに触れる環境にある（2件）
- 家では、ゲームやYouTubeに時間を費やす子が多い（2件）
- 学童は1～6年生の異年齢で過ごすことのできる数少ない場所で、子どもたちの育ちにとってもよい影響を与えていると感じられますし、親御さんも悩みを相談できる場所となっています。一方、最近の子どもたちの興味はゲームやYouTubeやスマートフォンであって、家に帰るとそこに時間を費やしている現状に驚くことがしばしばあります。特にコロナ以降はその影響を強く感じ、そこから得る情報を鵜呑みにしていたり、性に関する情報も以前と比べ格段に低年齢化している現状に危機感さえ覚えます。保護者もどの程度把握しているのかわかっていないように見受けられます。宿題に関しても同様に、タブレット学習の理解度に疑問を感じることも多々あります
- 学童にいる時間はYouTubeもゲームもできませんが、サッカーや野球、カードゲームやボードゲームと子どもたちが考えながら遊んでいるのでお家ではできない遊び方ができてよいのでは、と思っている。画面ではなくお友だちの顔を見て遊んだり、声をかけ合ったり、体を動かしたりと大切な時間を過ごしてほしい
- 1人1台タブレットを持つようになって、大人が知らない子どもだけの世界がどんどん広がっていった感じがします
- テレビよりネットに親しんでいる子どもが多いと感じる
- 子どもの育ちについては、ネット環境の普及により、いろいろな面で知識が豊富になった反面、子どもの成長に不適切な情報を得ることも多く、その点が課題であると思う。家庭環境においては、共働きは勿論のこと、離婚や別居といったご家庭が増え、子どもたちが安心して過ごせる場所の更なる確保が必要だと思います

⑤子どもの言動

- 学童内では活発なのに保護者の前では良い子になる（3件）
- 言葉遣いがとても悪い様子が見えます（3件）
- お友だちと遊んでいて思い通りにならないとたたいてしまう

- 保護者が厳しい口調の方だと、そのお子さんもきつい口調になりがちで、しばしば友だち同士でいさかいが起きている
- 大人の言うことがちゃんと聞けない子どもが多い。勉強中も立ち歩いたりを学校でも平気でしているらしく、学童でも同じである。その度注意する。子どもにとっていろいろな情報を簡単に取り入れることができるようになったから、良くも悪くも影響を受けやすい環境になっていると思う
- 姿勢を保てない児童が多い
- わざと悪いことをして支援員にかまってほしい子が多くなっていると思います

⑥支援が必要な子ども

- グレーゾーンの子どもの数が増えてきた気がする
- 障害があると思われる子どもがいるが、通常の学童生活では怒られることが多く、正直かわいそう。放課後等デイサービスで手厚い保育や、社会に適応した生活が送れるスキルを学べる方が、心穏やかに過ごせるのではないかなと思う。保護者の方で、お子さんの現状を受け入れられない方もいらっしゃる。その保護者の方でもグレーゾーンらしき方もいらっしゃる
- 特別支援学級の子や疑われる子どもが増えているように感じます。個人差があると思いますが、落ち着きがない子、暴言を吐く子、注意を素直に聞かない子どもが多いように感じます
- ひとり親家庭や核家族も増えてきており、家族構成の多様さを感じます。そうした中で、子どもたち、保護者の方一人ひとりへの適切な支援の重要性を強く感じます。また、配慮が必要な児童も増えてきていると思います。ですので、各児童にしっかりと対応していくための職員のスキルアップも大切だと考えています。

⑦精神面の発達

- 親子ともに、世間が狭いというか自分中心の考え方をする親子が多いと思う
- 親子共々幼いと思います
- 保育園に入る0歳児の子どもが増えてきているせいか、情緒面で問題が生じてきているのではと危惧している。学童保育所や小学校でトラブルが起きる原因の一つかもしれない

⑧習いごと・学習

- 学童や習いごとなどで過ごす時間の多い子どもたちは忙しそうだと感じます（3件）

- 親御さんも、子どもたちもとても忙しくなっているように思う。習いごとをやっている子どもも多く、そのお月謝を捻出するのは大変だろうと感じる。当の子どもからは習いごとが面倒くさいとよく聞く。その割に、時間があれば遊びの広がりがなく暇だと言っている。子育て全体的に、親が手を掛けることを他のツールに任せているのかも
- 経済的にも困ることなく、愛情も十分に注がれている子どもが多い。ただ、習いごとやレジャーなど日々忙しそうである。情報が多いので、よくも悪くもずる賢い感じ
- 習いごとで様々なことを経験するようになった一方で、基本的なしつけ、宿題などは学校、学童などに頼りがちであるように感じます
- 学習面で、できる子できない子の差が大きく開いてます
- 昔に比べて、年々学力が落ちているように感じられる
- 私は長期休みの時しか出勤できませんが、その時感じるのは夏に足し算でつまずいていた子が冬にはもう3桁の足し算がスラスラ解けていて感動する反面、冬になってもカタカナが書けない子や全然宿題が進まず私語をして終わる子もいて、その都度注意はしますが改善しないので将来が心配になります
- 本を読む子どもが少ない

⑨共働き家庭

- 共働きやフルで働いている保護者さんが年々増えている印象で、子どもは学童で過ごす時間が長くなっている（3件）
- ご夫婦共働きでお忙しい中での子育てのように思います（2件）
- 大山田地区は、新興住宅地で若い世代の両親が共働きで親同士も仲良くしている。子どもたちは、衣食住に困らず、習いごとや沢山行い、遊び、旅行等裕福な生活をしていると感じる
- 児童数が減っている割には、学童利用者は変わらないので、共働き世代が増えているのではないかと感じています。また、利用者の中でも忙しいご家庭から余裕のあるご家庭の幅が広がっているとも感じています
- 学童に通われている子どもたちのほとんどが父母ともにフルタイムでの勤務をされている家庭の子が多いと思われます。そのため、比較的経済的に恵まれている子どもも多く、生活環境は整っている子どもたちが多いなと感じておりました
- 共働きの家庭が多く、宿題や持ち物等を家で見てもらえていない子がいると感じることがあります

- お忙しい保護者が多く、お子さんが高学年になっても利用するご家庭が多くなっていることに驚いています
- 共働き世帯でも愛情たっぷりの家庭もあれば、忙しそうで大丈夫かと思う家庭もある
- 共働きの家庭が多く、学童が子どもたちの居場所となっている家庭もたくさんあると思う
- 両親共働きが主流なのでワンオペで子育てしている世帯が少ない(父親も積極的に育児に参加している)

⑩ひとり親家庭

- ひとり親家庭でも祖父母の協力を得られている家庭が多いと思います
- 核家族やひとり親家庭が増える傾向にあります。祖父母がいないことによって、家族からの愛情を十分に受けることができない子どもが多いように感じます
- 就業時間が長い家庭や、ひとり親家庭が多く、とても忙しい状況なので、子どもについてゆっくり話をすることが難しい
- ひとり親であったり、短期間のうちに離婚、再婚、出産をされるご家庭のお子さまは、寂しさを抱えているように思います。学童での保育中に、指導員の膝にのってきたり、身体の一部を指導員にくっつけてきたり、気を引こうと嘘、作り話をする子もいます
- 物事の良し悪しを含め、親の価値観が昔のように同じではなく多様化していることを痛感します。言葉づかいが乱暴であったり、日々のルーティンである決まりを敢えて守らないといったように、支援員の気を引きつける子はひとり親の子どもが多い気がします

⑪経済的課題

- それほどひどくはないのですが着ているものが毎日一緒だと気になります。また、貧富の差が出ないように持ちものに関してもなるべく学童にあるものを使ってもらおうようにしています(色鉛筆、折り紙、のり、はさみなど)
- 以前お預かりしていた子どもさんですが、身だしなみ、歯の状態などからネグレクトを疑ってしまう子がいました。あと、決まって保育料を滞納される方がいるので経済的にきついかなと思われる家庭もあります
- 子どもたちの身だしなみを見ると、各家庭の所得の背景がなんとなく伝わり、所得格差の実態について感じる

- 子どもたちは、今も昔も変わらないと思いますが、遊びや環境が変わり、大変だろうなと思うことがあります。保護者も習いごとや教育費にもお金がかかりますから、他の子どもさんと、同じような環境を与えなくてはと思っているから大変

⑫その他

- 家庭環境や保護者の考え方で子どもの形成にかなり影響が出ていると思う（2件）
- 親が厳しすぎると親に隠れて問題行動を起こす。親に伝わるのを極端に嫌がる
- 家庭では忙しい親の負担、迷惑をかけないよう、子どもながらに気を遣っているのではないかと思います
- 保護者の方に余裕がない感じで、親の顔色を伺っている子どもがいる
- ひとりっ子が少ない
- 縦のつながり、横の繋がりがないように感じます
- とても良好な家庭環境の中で育っていると思われる
- 学童に通っている多くの子は、遊びや勉強に積極的であると感じる。一つのことに集中することや、得意なことを活かして遊びや勉強ができている。また、同じ学年での仲がとてもよく、遊びや宿題の時に意見を出し合っている。学年が上の子が、下の子の面倒を見ることもあり、学年が上がるにつれて優しさを得ていくのだと感じる。外国人児童の子もあり、その子の価値観や言動を理解しようとする姿勢が見られるが、中には理解できずいじめに発展しそうな場合もある。この場合は中学年で見られるため、低学年の時は文化の違いを感じにくく、学年が上がるにつれて理解度が高くなるものだと感じた
- 子どもたちの中にも陰湿な雰囲気を感じる時がある
- 地域的に学習、スポーツ、娯楽など多方面に力を入れていて、家族仲の良さがうかがえる。反面、夫婦間で子育ての意見が合わない、情報共有がされていない家庭もある
- 父親が単身赴任している家庭も多く、母親の負担が大きい
- 2校から来ていて、学校毎に分かれるのが気になる
- 学童で預かっている子どもたちは、家でも楽しく元気に過ごしていると思います。まれに服装や持ち物から親が放置しているのかと思われるケースもあります
- 保護者も忙しいせいか細かいところまで子どもに注意がいていない気がします
- 一人ひとり異なる家庭環境で生活しているため、支援員同士での情報共有や個別の状況を把握し対応しなければならない。難しいですがやりがいのある仕事だと思います
- 今年度の1年生は手のかかる児童が多く、コロナの影響なのか、新しい保育の影響なのか、考えることがよくあります

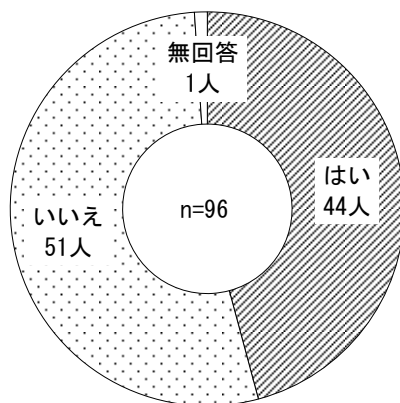
○被害者意識が強く、物事をマイナスに取る子どもがいることによる口論が散見される。

そういう子どもには、あなたにも素晴らしいところがあるんだよと、自己肯定感を育んであげたいと思う。私たち支援員がそういう大人でありたい

(2) 学童の勤務歴は5年以上か

対象の学童指導員96人のうち、学童の勤務歴が5年以上の人は44人（45.8%）です。

図表68 学童の勤務歴は5年以上か



(3) 5年以上学童に勤務している職員が感じる子どもの変化

①ゲーム・スマートフォン・タブレットの利用

○ネット、SNS、ゲームをよくする（2件）

○コロナ禍で学校から支給されているタブレット。宿題や音読などに使用して、その後ゲームや写真を撮ったりして遊びに利用している（2件）

○SNSの普及による子どもへの心身の影響は以前とは比べられないくらい。今後の成長への影響に不安を感じる

○タブレット端末の普及により個人で楽しむことが多くなった

○タブレットの使い方が雑になっている

○友だち付き合いでゲームをする児童が増えており、家に帰った後でも友だちと遊んでいるそう。それができる友だち、できない友だちで人間関係がありややこしい。また、対象年齢が中学生以上のゲームを低学年がグループで行うなど、昔よりもゲームの影響が出ている

○タブレットについて、他県ではゲームアプリを取ることはできないと聞いたが、桑名市はできるのか

○ゲーム依存、YouTube依存

②コミュニケーション・他者とのかかわり

- 自己中心的な子どもや協調性や相手を思いやる気持ちが少ない子どもが増えてきている感じがする（４件）
- 自己主張が強い
- 以前に比べて子どもたちが指導員との関係性を気にしすぎる傾向がある
- コミュニケーションが上手く取れず手が出る
- 新型コロナウイルス感染症の流行前と比べて、人とのかかわりがうまくいかない子どもが多く、コミュニケーション能力が低い
- 我慢できず、すぐに激昂する子どもが多い
- 他人の些細な言動を気にして子ども同士でトラブルになることが増えている

③子どもの言動

- 低年齢化を感じる（４件）
- 言葉遣いが悪い（４件）
- 友だちや先生の話が聞けない（３件）
- 落ち着きがない（２件）
- 目上の人に対して、敬語を使わないで、友だち言葉を使うようになっていていると思う
- 職員を見下す子が増えた気がする
- 決まりを守れない子が非常に多い
- 片付けやルールが守れない子どもが増えている
- 年々マナーの悪い子や話を聞かない子が増えているように感じる
- 宿題になかなか取り組むことができない

④体力・運動

- ブランコに上手に乗れない子が増えた
- 以前は外遊びに大勢の子が参加していましたが、コロナの関係から、外遊びへの興味が減少し、外で遊ばなくなりました。外で活発に遊ぶ子どもが増えるような働きかけをするように心がけたい
- 遊びを見ていて運動神経が鈍い子が多くなってきたように感じる

⑤支援が必要な子ども

- 発達に問題があるなど困りごとのある子どもが増えた（２件）

- 支援が必要な子どもが増えている
- 特別支援級児童が増えました。支援級に通っていなくてもグレーゾーンのような勉強嫌いが増えたように思う

⑥その他

- 学年を超えて遊ぶ姿を見ることが少なくなった（2件）
- 低学年は友だちとのかかわり方が苦手な子が増え、高学年は面倒見のいい子が減っているように感じる
- おやつを食べない子が多い
- 食べ物の好き嫌いが多い
- 物質的には、豊かになった
- コロナ前はよく膝に乗って来る子が多かったが、今はこちらあまり接触しないようにしていることもあり、膝に来る子が少なくなった気がする
- 支援員に甘えたりスキンシップを求める子どもが増えている
- 親の考え方、言動に多大な影響を受けている
- 学校の教員に対しては「評価」されるのでおとなしく、親は働いていて忙しいので「良い子」で困らせない。学童では一番わがママが言えるのでストレス発散
- 教育熱心な家庭とそうでない家庭の二極化が進んでいると感じる
- 桑名市と学校との連携が必要
- たくさんの習いごとをしている子が増えた
- 男女の仲がよい
- 素直な子どもが多くなってきたように思う
- 高学年の子どもも増えている。以前は4年生くらいまでの利用が多かったが6年間学童に通う子も増えた。1年生から6年生までがひとつの部屋で過ごしたり行事などの団体での行動は大変な部分がある
- 習いごとが多く、お迎えが早い子どもが多いので友だち同士で遊べない
- 愛情に飢えている子どもが多い

(4) 子どもや子育て中の親に対して必要な支援は何か

①学童保育

- 学童保育の充実（2件）

- 長期休み期間の早朝保育（２件）
- 日曜日の学童保育の受け入れ態勢と、平日の終了時間の延長
- 働く保護者は食事を作ることままたならず、子どもとかかわる時間が足りないと思う。
できるだけ長く学童で保育してあげたい
- 学童における延長保育
- 子どもの問題行動の原因を考えて、保護者の方と仲良くして、家庭環境がみえてくるとわかる気がする。親と子が互いにストレスを発散できて、笑顔で帰宅できるとよいと思う。年頃になると家では話せないことが増えてきて心配かもしれないが、学童で発散して、私たちが受け止めるから、笑顔で帰宅してほしいと保護者に伝えている。子どもたちから話してくれるのを待ち、対応することしかできないが
- 指導員がゆとりを持って、子ども一人ひとりに寄り添えるように、指導員の数が増えればよいと思います
- 子ども、保護者とのコミュニケーション
- お迎えのとき子どものよいところを伝えるとよい
- 大山田南学童保育所のように、学童保育所が公立小学校の敷地内にあると、授業後の移動が安心。そのような学童保育所が増えるとよいと思う
- 災害時に備えてヘルメットなどを支援してほしい
- 長期休みなど、外遊びができるときはよいが、真夏や雨の日などは室内にいることになる。そんなときでもたくさんの本があると児童は喜ぶので本の支援があればと思う。また、知育玩具など長く使えるような高価なおもちゃも支援されるとうれしい
- 親への道德心。食育指導。ゆっくりと過ごす時間の提供だと思う。育児で忙しい保護者の方がゆっくりするためにも学童を利用してもらいたい
- 今、学童に通えている子は充実していると思う

②交流・居場所

- 保護者同士のコミュニティの場を拡大する（２件）
- 親同士のつながりが少ない。同じ学童に通っていても、同じ学年で友だちじゃない場合が多いためもっと話す時間があるとよい
- 親も交えての交流
- 地域とつながれる場・機会

③親子のかかわり

- 子どもとゆっくりかかわれる時間が必要ではないか（４件）
- いつも、良い時も悪い時も子どものことを見ていてほしい
- しっかり子どもの話を聞いてほしい
- 育休や短時間勤務など、フレキシブルに働ける環境が必要と感じる

④情報発信・相談

- 悩みを話せる場所や機会（８件）
- 専門職による相談窓口（３件）
- 現場職員側からの相談を受け付けてもらえる窓口もあればと思う（２件）
- 保護者には、賃金の上昇、育児補助金、時間的な余裕、午後５時以降に気軽に相談できる窓口、学童以外で預けられる施設
- 月齢が小さい頃の、定期的な検診などで専門家からアドバイスをもらう。私自身、小さな心配事を気楽に相談できる場があればよいと思っていた
- 子どもの年齢が上がるにつれて、内面的な悩みが増えるため、例えば、LINEで質問できる場など
- カウンセリング
- 子育て支援情報の提供を拡大する

⑤保護者の学習機会

- 子育て勉強会や講習会などがあればよい（３件）
- ゆとりのある気持ちの持ち方を教えてあげる
- 親が独りよがりの子育てに陥らないように、自分の子どもの本来の姿を、親自身が見つめられる場や、機会が必要である。我が子のよさや課題に気づける場や機会が必要

⑥遊び場・居場所

- 休日などに親子で遊べる施設(児童館など)が今以上に充実されるとよい
- 子どもは思いっきり体を使って遊ぶことができ、親が側で安心して見守れる場所があればよいと思う
- 子どもたちにとって地域に第３の居場所があるとよいと思う。学童もその役割を担っている面があるが、学校へ行きにくい子どもも、親が働いていない家庭の子どもも遊びに来られるような児童館が各小学校区にあるとよい

- 子どもには、小学校校庭や公園、学童以外で遊んだり学べる施設。例えば雨天時でも利用できる児童館や移動図書館、住んでいる地域での放課後子どもクラブ、まちづくり拠点での平日の子ども向け講座など
- 仕事、学校が休みの時に、親子、友だち同士で利用しやすい全天候型施設が各校区にあり、見守り職員常駐で、安心して遊べる場所があればよい
- 子どもの居場所づくり
- 子どもに対して、もっと遊ぶ環境を整えてもらいたい

⑦教育・学校

- 長期の休みの終わり頃や、土曜日保育の自習時間に学習教材を持たせてもらえない家庭の子どもに、指導員がプリントを用意したり、作成しているが、時間を持て余して時間が過ぎるのをひたすら待つ子がいるので、学習教材の斡旋ができるとよい
- 学校内での学習支援
- 日頃の宿題は課題があるので大丈夫だが、長期休みになると宿題が大量にあるのに子ども自身が気分で終わり、集中力がなく1日1ページしかやらない子もいる。そのため、親が今日どこまでやるか子どもと決めて付箋を貼ってもらうと、子どもも目標ができて誰もが集中して宿題が捗ると思う
- 習いごとの支援
- 行儀作法が学べる場があればよい
- 学校の特別活動の時間で外部講師によるマナー講座など
- 歩行者、自転車、車等の交通ルールを本等でなく対面でしっかり説明される機会があるとよいと思う

⑧子育て環境

- 保育園、学童などの施設任せでなく、皆で子育てをする、つながる環境が必要かと思う
- 子育てサロンがもっと身近にあるとよい。子育て相談やパパ、ママサロンなどもっと気軽に利用できる場所があるとよい
- 家庭的な雰囲気です静かにゆっくり過ごしたいお子さんもいるため、休憩できる静かなスペースがあるとよい

⑨病気や怪我、緊急時の支援

- 病気の時でも預かってもらえる場所（2件）

- 小学生でも必要な時に気軽に利用できる一時保育的な場所
- 子どもまたは保護者が病気になったときの支援の充実
- 保育中に児童が体調不良になった時、早めのお迎えをお願いすることがあり、保護者の大変さと思う。その支援があれば、もっと働きやすいのではと思われる
- 新型コロナウイルスやインフルエンザなどが流行り、各家庭で順番に感染したりして、大変な思いをされていた。そうしたときに助けを求めやすい窓口があるとよい
- 桑名市にも病児保育を受け入れている病院はあるのか
- ファミリー・サポートのようなシステムをもっと気軽に使えるようになれば、急なお迎えも対応できると思う
- 医療を受ける前の手当て

⑩経済的支援

- 学童を利用したくてもできない家庭などに対する支援（3件）
- 様々な家庭の在りかたがあるので、その実状に添った支援
- 保育料の減額
- 学童保育所は市で一括管理し、全小学校内に設置、もしくは隣接+私立も補助
- 一部のご家庭には金銭的な支援
- 経済的、精神的支援
- 高校の無償化

⑪その他の子育て支援事業

- 親子への支援としては、親子で参加できるイベントなどがあるとよい
- 子どもの誕生月に1回、家族でちょっと贅沢な食事（その子を祝う）ができるサービスや家事代行サービスがあると、ひと息つけるのではないかと
- 子育てのことを気にせずに、リフレッシュできるような時間を確保してもらう支援

⑫その他

- 中学校にも給食があるとよいと思う。長期休暇中、学童でお弁当の注文ができるが、注文せずにコンビニおにぎり1つのみなど、心配な子もいる。お弁当はどうしても給食より割高
- ランドセルの無償化。学校から帰ってきた子どもが、よく荷物が重たいと言っている。最近は1年生からタブレット端末をもらっており、日常的に持ち運んでいると考えると、

重量の負担が増えていると感じる。それに加えて、ランドセルの形状は、自分が小学生だった頃とあまり変化していないと感じる。そこで、桑名市でランドセルまたはリュックサックなどを、身体的負担の軽減や収納性、安全面などの観点から改良した後、無償化できたら子どもやその保護者の負担の軽減になると思う

- 多子世帯への子育て支援。私自身、子どもが多かったので、通院時は全ての子どもを連れ、長時間の待ち時間がとても大変だった。乳幼児と出かけるには荷物も多く、想像以上に負担がある。病院待合での預けられる託児スペースがあると、きょうだい児をみてもらえて助かる。学童利用者の中にも、子どものお迎え時に離れた駐車場の車に下の子を残す姿も見られる。学童保育の立地も保護者が安心して利用できる場所であってほしい
- 人材育成。ファミリー・サポートセンターなどがあるが、保育資格保持者、保育経験者ではないと預けにくい。よい人材が集まるように資格、適正、研修などを充実させてほしい。資格保持者への処遇改善をし、安心、信頼のある預け先の確保が必要
- 地域との繋がりを密にする。子育て家庭の困りごとの情報を吸い上げる仕組み、組織の充実を図ってほしい。そこで得た情報を解決するため、市の担当課等へ伝えて支援につなげることが大切だと思う。孤立しがちなひとり親家庭からの聞き取りも見逃さないようにしてほしい
- 1年生の壁という言葉聞いたことがあります。保育所のとくと違って小学生になると長期の休みがあり働く保護者にとっては直面する問題だと。桑名市も夏休みの学童を開設されていますが安心して長期休みも働けるように預けられる場所の確保をと思います
- 親に対して、子どもの勉強や持ち物に対してのチェックを家庭や学校、支援員と共有していただきたい
- 学校や学童以外にも親が子を安心して預けることができる場所
- 障害児への対処方法を教えるといい
- 施設の充実
- 子どもの体力向上のためのサポートがあるとよい
- ゆとり
- 学校現場との連携

(5) 桑名市の子育て支援のよいところ

①学童保育

- 学校内に学童がある施設（３件）
- 夏期休業中の臨時的開設はとてもよいと思う（２件）
- 学童の数は増えてきているが内容は大丈夫か（２件）
- 小学校区ごとに学童保育所があること
- 開所した時に比べて補助金が増えてきていること
- 学童が増えてきて、働く保護者にとってはよいことだと思う。若い人が、子育てしやすくなったと思う。保育料がもう少し下がるとよい
- 学童が多く、支援がしっかりしている
- 学童保育へのかかわり、支援員教育など
- 人数が多い長期休みの学童に人員が増えるように働きかけてほしい。または職員の応援があってもよいのでは
- 学校や学童の環境整備が必要
- いろいろな体験や見学が学童保育所単位でさせていただければよいと思う
- 市と学童保育所が一緒に体験できることを増やしていただければよいと思う
- 子育て支援センターが充実している反面、学童が利用できる児童館が深谷地区しかない。地域ごとにあるとよいと思う

②子育て支援全般

- とても幅広くさまざまな支援があってよいと思った。時期ごとに必要な支援が変わることを見越して、支援を設けているのはすごくよいと感じる
- 恩恵を受けていると感じるため、もっと目に見える支援がほしい
- 手厚くてよい
- 柔軟に新しいことも取り入れていること
- 子育て支援への、実施、対応はスピード感があり早いと感じている
- 市長をはじめ、自治体として子育てに関心を持ち、Wi-Fiの整備など現場の環境整備にも支援いただけているので、とても助かる
- 私自身の子育て中にはあまりよいことを感じる機会はなかった。他の市町村の支援は手厚いという情報などを耳にして羨ましく思ったこともあった

③情報発信

- すすすくだよりの情報。毎月、さまざまなイベントと情報で見ただけでも楽しい。保護者の方々も有益なソースと考えると思う
- 子どもの困りごと等に対して、迅速に対応できるとよいが、相談窓口が一般の人に周知されていないと思う

④子育て支援センター

- 子育て支援センターや、青空保育、園庭開放など子育て支援が充実している（3件）
- 「ぽかぽか」など、子育て支援の取組は核家族の親にとっては、よいことだと思う

⑤保育事業等

- 青空保育や保育ルームが充実している。保育資格のある人材も多く、安心して子どもとかわってもらえる
- 自動車である事が前提の場所に保育所が多い

⑥遊び場・居場所

- 長期休暇時の居場所事業
- こども食堂
- 児童館があるとよいと思う

⑦教育・学校

- 子どもたちによりよい教育環境を考えて、小中学校再編計画に取り組んでいること
- 学業に力を入れていること
- 小学校と連絡がしっかり取れていて、子どもを守るシステムができている
- こころを育てる教育が必要、たくましく生きる力を身につけることが必要だと思う
- 子どもが楽しく学べる学校になるように、校舎や遊具など、もう少しメンテナンスに予算を出してあげたらよいと思う

⑧地域とのかかわり

- 朝の子どもの通学路に保護者ではない方が見守りで立ってくれているのを見かける。それがあことで、不審者、交通事故等さまざまな安全が守られていると感じる
- アンケートに答えるにあたり、これまでの事業計画書に目を通しいろいろな支援事業があることを改めて確認したが、本当に必要な支援を本気でしてほしいと思う。また、自

分もできることがあれば、かかわらせてもらいたい。仕事に就いていない母親が思っていたより多く、子育てが終わった女性なども含め、支援にかかわりたいと考える人はたくさんいる気がする

- 若いお母さん方がとても頑張っていると思う。それは新しく立ち上げられる土壌があるからではないか。こども食堂やシングル家庭への支援、子育て支援ネットワーク、さまざまなNPO団体などに頼っているようにも見える
- 子育てサークルがたくさんあるところ

⑨医療費等の助成

- 医療費の無償化（12件）
- 医療費無料の年齢が拡大されたこと（3件）
- 幼稚園、保育園の保育料の無料化
- 助成制度が充実している
- 市独自の子ども応援手当の給付、第2子以降保育料軽減、子育てリフレッシュ事業など、近年の子育て世帯への支援、取組は素晴らしいと思う

⑩ひとり親世帯への支援

- 低所得のひとり親世帯への給付金や児童手当はとてもありがたい
- 母子家庭に支援が手厚い

⑪ファミリー・サポートセンター

- ファミリー・サポートセンター
- ファミリー・サポートセンターはとてもよいシステムだとは思いますが、なかなか予約が取れないと聞く。保護者の中には保育園と同じ時間帯に学童がやっていて便利だと思っている方もいるが、朝早くから開けるなど、今の学童では支援員確保が難しい。可能であれば早朝はファミリー・サポートセンターをお願いしたいため、前日予約でも利用できるようなシステムがあればと思う

⑫支援が必要な子ども

- 放課後等デイサービスの不足。一般の学童に障害児童が多く入り過ぎ。他の市町村のよいところを取り入れ、桑名市が生活しやすいまちとなる取組をしていただきたい
- 発達障害やグレーゾーンの子どもたちの親が市の支援を具体的に知らないなので、それを知らせる手段を考えてほしい

⑬行政への要望

- 学童を必要としている世帯が多く、その対応が遅いと思う。学童に丸投げではなく、委託をしているのだからもっと親身に動いてほしい
- 対応をもう少し早くしてほしい。しっかり私たちの意見を聞いてほしい
- 学童での普段の様子を見に来てほしいです
- 学童保育指導員が不足しているため、賃金を上げてほしい

⑭その他

- 小さい子への対応や補助は多いと思う。娘が中学生のときに不登校になり、学校からの紹介で心療内科やふれあい教室に繋がっていただき、とても助かった
- タブレットを活用した勉強法
- タブレット活用をしてタブレットに慣れ親しむことはよいが、予定表や宿題をタブレット中心にすることはどうかと思う。自分で予定を書き写し、明日何をするか、持ち物は何かを考えることは必要ではないかと思う
- 一度相談に行くとこちらに寄り添い、いろいろ考えていただけるところ
- 施設や手当て

(6) 桑名市のよいところ

- 交通の便がよい。名古屋とのアクセスがよい（28件）
- 自然が多い（15件）
- 歴史や伝統のあるところ（14件）
- 住みやすいまち（10件）
- 都会すぎず田舎すぎないところ（9件）
- 観光名所がある（7件）
- 住んでいる人が温かい（4件）
- 図書館がよい（3件）
- 食べ物が美味しい（2件）
- 新しいものを取り入れている（2件）
- ゆったりしている（2件）
- 温泉が多い（2件）
- 遊園地がある（2件）
- 歴史も深く、長島、多度など特徴ある魅力的な地域
- 歴史や特産品、レジャー施設等バランスのよさ
- ハマグリ料理
- 美味しいイチゴを研究していて、いちご狩りができるところ
- 田舎ですが、程よく店もあり、買い物や病院などは困らない
- 買い物が便利

- 災害が少なく暮らすのに適した土地であること
- 昔ながらの景色を体験できたり、自然豊かな神社など、さまざまなものを体験できる
- 名古屋のベッドタウンということでちょっと都会っぽいところもあれば、三重県らしいローカルな面も併せ持っているところ
- 野菜が安い
- ゆめはまちゃんが可愛い
- 老舗の和菓子屋が多い
- 大きな祭りがある
- 西の山の稜線と東から上る月が好き
- 住宅地が多く、学校、公園、病院、商店も充実しており、子育てがしやすい環境にある
- スポーツジムや運動施設が多くあり、文化的趣味を楽しむことができる施設もあり、老後を楽しく過ごせそうな気がしている
- 地域での祭りやイベントなど変わらず行われることで地域の活気が保たれているところ
- 小中一貫教育の整備事業も進められており、将来の子どもたちにとって魅力的な教育環境が整っていく可能性があるところ
- 古い町並みが残っていること
- 河川の整備が素晴らしい
- 各種手続きがネットでできるようになってきた
- 現在私の娘、孫たちが市役所の方々や社協さんにお世話になっていてとても心強い
- 放課後等デイサービスでも、家族ごとお世話になっていて助かっている
- 医療費が拡充になったこと
- 育児においても良好な環境が整っている市だと思っている
- 市長が積極的なところ
- 名刀「村正」
- 魅力的な特産品が多い
- お祭りなど子どもが喜ぶ行事がある
- 小学校の給食が必ず出ており、食べて帰ることができること
- バーベキュー場や大きな公園があること
- スポーツができる少年団が多いこと
- 大きな道路が多く出かけやすいこと
- 雪の対応が早いこと

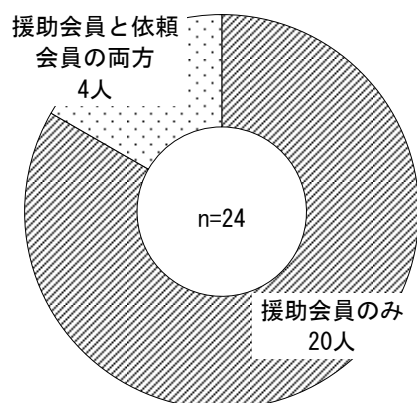
- ごみが落ちているのが少ないこと
- 新型コロナウイルスの流行中、電話対応やワクチンの手配をしっかりといただいたこと
- 地域の特性を活かして、アピールしているところ
- 多度大社は何度もお参りしている
- 駅がきれいになり子どもたちもお出かけするのが楽しいと聞いた
- 九華公園に咲く桜が綺麗なところ

1 4 ファミリー・サポートセンター援助会員

(1) 援助会員または援助会員・依頼会員の両方どちらか

対象のファミリー・サポートセンター援助会員24人に援助会員または援助会員と依頼会員の両方どちらかたずねたところ、「援助会員のみ」が20人を占めています。

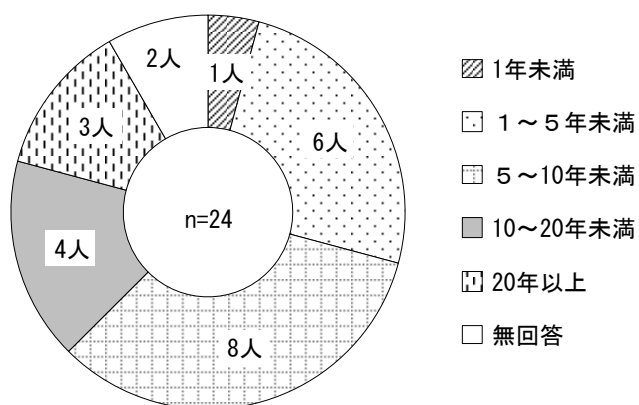
図表69 援助会員または援助会員・依頼会員の両方どちらか



(2) 援助会員としての年数

援助会員としての年数は「5～10年未満」が8人、「1～5年未満」が6人、「10～20年未満」が4人となっており、〈10年未満〉が15人（62.5%）です。

図表70 援助会員としての年数



(3) 援助会員をして感じることは何か

- 少しでも役に立てればうれしい（4件）
- 子どもと接することが楽しい（3件）
- 桑名で悲しい事故がおきないように、きょうだいは同じ保育園に入れてあげてほしい（2件）
- 成長を感じることができる
- 責任を感じます。楽しくもある
- 子どもたちの元気な姿からこちらも元気になる
- 預かったお子さんには責任が伴うが、自分自身が反対に元気をいただき感謝している
- 信頼関係が大切だと思う
- 安全に運転しなくてはいけないと思う
- ケガや事故を起こさないよう注意することで、神経をつかう
- 援助会員になるための研修が何日もあり大変だった。もう少しハードルを下げたら援助会員も増えるのでは
- 援助するお子さんの乗車時のマナーの悪さなどは感じる
- きょうだいで違う保育園に通っている方は大変そう
- 我が子への接し方の気づきや振り返るきっかけとなっているように感じる
- 依頼会員にとっては、支払う金額が高く、負担になっているのではと思う
- いざという時に頼れるところとなる
- サポートセンターのスタッフの皆さんの丁寧な対応が、本当にありがたい。仕事と育児に奮闘しているお父さんお母さんを少しでもお助けしたい

(4) 援助会員をしていて困ったことはあるか

- 車の中を蹴られたりすると困る。どこまで怒ってよいのか悩む
- 援助会員さんのお子さんに、注意しても無視されたり、普段の乗車時ではやりたい放題でどうしてよいのか困っている（シートベルトをしない子やヘッドに足を乗せたり）
- 車で送迎すること。事故が心配
- 車の運転が苦手なので、道幅が狭いと困る
- 毎月5日までに報告書を提出しないといけませんが、都合でなかなかセンターに行けないときもあるので、もう少し日にちに余裕があるとよい
- 本当に援助を必要としている家庭をサポートできているのか自信が持てない

- 安価なサービスと捉えられかねないところ
- 依頼会員さんが丸投げの姿勢で援助を依頼していると感じるとき
- 発達が少し未熟かと思ったとき、親に伝えた方がよいか伝えない方がよいか悩んだ
- 仕事をしているので、時間が空いているときにすぐに援助できるとよい

(5) 子育て全般について、桑名市のよいところは何か

- 子育て支援センターが充実している（４件）
- 公園や遊ぶ場所が多いところ（２件）
- 公園にいろいろな遊具がある
- 「ぼかぼか」や「にこにこ」など、若いお母さんたちが、子どもを連れて遊んだり、親同士の交流があったり、学習の場がもてるのはよいことだと思う
- 子育てをしていたのは10年以上前だが、子ども会活動や石取祭があり、活気があった
- 子育てサークルや地域の子育てひろば、こども食堂等、市民活動が盛んに行われている
- 図書館が3つあるところ
- 医療費助成で、病院窓口で医療費を支払わなくてもよくなったところ
- 育休退園がなくなったり、リフレッシュ事業などいろいろと制度が整ってきていると思う。また、10年ほど子どもが公立保育園にお世話になっているが、どの先生も子どものためにいろいろしてくださり安心感がある
- 一時預かり、ファミリー・サポートセンターが周知されている
- 地域のシルバーさんの協力などで、子どもの見守りなど、助けられていると思う
- ほどよく田舎で海や山が近い

(6) 子育てをしていて困ったこと、必要な支援は何か

- 児童館がほしい（２件）
- 市外から来る人も利用できる全天候の、無料か安価な遊び場（２件）
- 病児保育をしてくれるところが少ない（２件）
- ワンストップで、必要なサポートを案内してくれる場所、システム
- 親でなくても、室内で自由に遊べるところがほしい。放課後等デイサービスの子も遊びに行けるようなところがほしい
- 子育て環境（ワンオペ育児）が不安な方が多い気がする
- 学習室を増やしてほしい

- 依頼会員の利用料が高いため、半分は公的負担があるとたくさんの方が利用できる
- 学費の工面に苦勞する。特に多子世帯では、多額の奨学金負担を子どもにしてしまう。
愛知県のように高校も援助してほしい
- 気軽に子どもを預けるところが少ない。ベビーシッターや産後ドゥーラも桑名は少ないのでは
- 子連れで気軽にランチができるところがない。親子カフェみたいなのがあったらいい
- 公立幼稚園に3歳児がない
- 産後うつを防ぐため、地域ごとに赤ちゃんが集まれるところがあるといいと思う
- 日祝の子どもの預け場所がない(ファミリー・サポートセンターのみ)
- 小さな子どもを置いてごみ捨てに行くのが大変なので、家の前までごみの回収に来ていただけると嬉しい
- 子どもを連れてのリサイクル当番が辛いので、資源ごみや不燃ごみも回収してほしい
- 市役所の子育ての窓口対応で寄り添う気持ちが少ない人がある
- 転勤での転入や単身赴任でワンオペの方もいるため、その方への支援は十分なのかと気になっている。子育て以外でも情報交換や親が自分自身の話や好きなことができる場、話せる雰囲気など
- 地区によって支援にバラツキがあるように感じる
- 自分の子育て時代には公園が少ないと感じていた。障害児が障害者になってからの余暇の過ごし場所
- 健常の子でもなく、手帳を持つ障害児でもなく、グレーゾーンの子たちの支援の必要性
- 母子家庭より両親共働きをフォローしてあげてほしい。頑張っている子育てをしながらはいけないことが強く、人に頼ることを控えている気がする
- 学校の先生などの協力で、学童の先生と引き渡しができる場所などがあれば、ファミリー・サポートセンターを活動との並行でやれるかと思う
- 長期休みの学童の預かり開始時間を早くしてほしい
- 子育てママが、いつでも相談できる場所、ここに遊びに来てもいいんだよ、ということを多く発信してください

(7) 桑名市の好きなところ

- 立地がよい、名古屋市に近い（8件）
- 住みやすい（4件）
- 自然に恵まれている（4件）
- 歴史がある（2件）

- のどかな雰囲気と景色
- 都会すぎず、穏やか
- 公園が多い
- 子育て支援センターが充実している
- 各地域の祭りがよい
- 長島がある
- 石取祭があること。桑名を盛り上げたいという愛がある人が多いところ。交通の利便性
- 心優しく志を持って仕事、ボランティア、子育てをされている方にたくさん出会える
- 高速に乗れば、比較的あちこちの観光地にも行きやすい
- 六華苑や七里の渡しなど観光客が増えて活気が出てきたところ
- 城下町
- 図書館が充実している
- ファミリー・サポートセンターがある
- 人柄がよい
- 特産品がある
- 治安がよい

15 こども食堂（運営スタッフ）

(1) どのような理由で子どもはこども食堂に来ると考えるか

- 友達と食事ができる、会えるから（5件）
- おいしいご飯が食べられるから（3件）
- 安価でご飯が食べられる（2件）
- 皆で遊びたい（2件）
- 親子で一緒に来る（2件）
- 学校でも家でもなく過ごせる場所だから
- 楽しく食事をしたい
- 誰に相談してよいかわからず悩んでいることを話せる場所だから
- 学童には行けない、行かない留守家庭児童である
- 下校後、習いごと以外の日には家で過ごしている
- きょうだいが多く、満足のいくかわりをしてもらえない
- 学校に行くのは苦痛のため、不登校または保護者付添いである
- お腹を満たしたいから
- 人とかかわりを持ちたい。寂しさを満たしたい
- 子どもだけで来られる
- 親の意思による。親が子どもにとってよい刺激になる場だと判断されている
- 心地のよい居場所となったあと、子どもの希望で連れてこられるようになる
- 学習支援。中高生は学習能力が向上する結果を実感して、継続して利用するモチベーションにつながっていると思う
- 家に帰りたくないから
- 家にいても退屈だから
- ボランティアと遊べるから
- 楽しいから。話を聞いてくる人がいるから
- 自由に過ごせるから

(2) 子どもがこども食堂に来るようになったきっかけは何だと思うか

- 友だちに誘われて（４件）
- 保護者がこども食堂のことを知ったから（４件）
- 口コミ（３件）
- 学校でチラシを見て（２件）
- 友だちが来ている
- ご飯が無料で食べられる友だちと歩いて来られる場所
- ママ友のつながり
- 通っている学校の保健室の先生から紹介されて
- 小学校、中学校、高校の先生がつないでくれて
- 学校を通しての子どもの支援活動に参加した子どもたちの家庭にその後の活動を伝えたところ、参加申込みがあった
- 拠点施設に案内状を置いたり、地区の祭りに参加しチラシを配ったりした
- 留守家庭児童と思われる子がひとりで、公園で遊んでいたので声をかけた。または２、３人で遊ぶ子たちにも
- 保護者とともに活動に参加した。その後、付き添いなしでも過ごしている
- 人から勧められた
- 市の見守り事業と連携しており、市から紹介されて来ている子もいます
- 普段から子どもたちとかかわっているスタッフが多いため、安心して来るようになった
- 社会福祉協議会の案内
- ボランティアのつながり
- 見守り訪問で子どもとつながって
- 校内カフェなど他の居場所に参加したとき、こども食堂のことを知って

(3) こども食堂に来る子どもやその保護者を見て感じること

- 食事や食材をもらうことが当たり前になっている。もう少しボランティアに参加してほしいと思うことがあります
- 食堂に来られるご家庭は普通のご家庭です。パントリーにはシングルの方も来てくださっています
- 様々な遊び（昔ながらの遊び、現代の遊び）を子ども同士かかわる中で、いきいきとした表情を見せる様になった
- 少数の子ども同士、継続して参加する中で、つながりができるようになった

- こども食堂に関心を持つ親子も参加して、子どもたちと遊んだり、見守ったりして関係をつくってくれている。子どもの保護者は変則勤務や自営業などで参加することはないが、喜んでもらっている
- ちゃんと愛されて育っているのだと思う
- 子ども会や公民館が無くなり、近所の付き合い、親子同士の付き合いが希薄になっている中、こども食堂で一緒に食事をする中で、お互いを知るきっかけになっている
- 良い人間関係ができ、お互い優しい気持ちが生まれる
- 仲良くなった同士が、こども食堂以外で助け合ったりしている
- 親子ともに遠慮してしまう。頼ることを声に出せない方が多くいる。働いている親が多く、子どもにお金を持たせるが、放置されている
- 親の中に、誰かに話を聞いてほしい方々がおり、子どものみでなく、親も居場所と安心して話のできる場を求めていると思う。親は、明らかな理由がない限り、そういうサービスの利用をためらうのだと思うが、子どものために来ている
- 毎月1回のこども食堂の日を他の予定より優先していたり、食べ終わってからすぐ帰らずに終了時間まで過ごしていたりする子どもたちを見ていると、「食」の提供のみならず、むしろ安心できる、楽しく過ごせる「場」の提供として有意義なものであると感じる。交流が前提の場所には行きにくい子どもや保護者がいる
- 子育てを一緒に担ってくれる家族や親戚が少なく孤立を感じる
- 親と離れると、とても活発な様子を見せる子どももいる。子どもたちの様子は解放された感じ。自由に遊び回れてお菓子を食べられる普段あまりない経験なのかと感じる
- 皆でにぎやかにご飯を一緒に食べることは、お腹だけでなく、心も満たされることだと感じる

(4) 子どもやその保護者に必要な支援

- 食事や食材の支援
- 継続的なお米や生活用品等の支援
- いつでも取りに来られるシステム（フードバンク）があるとよいと思う
- 子育て支援
- 食べる場所、遊ぶ場所、学べる場所が一緒になった場所があるとよいと思います
- 今、私たちのグループが行っている食事つき学習支援の形で親子のニーズにいくらか答えることができていると思っている
- 本当に支援してあげたい世帯に支援できていない

- 個人としては、皆で食事（できれば昼食）をする中で楽しく交流して、友だちづくりをしてほしい
- 地域の大人とかかわる中で昔ながらの遊びを知って、楽しんでもほしい
- 保護者には、一日でも留守中の子どもが楽しく過ごす機会があることで安心してほしい
- 子どもたちや保護者が安心して、ゆっくりすごせる場所の提供
- 歩いて行ける距離に、いくつかこども食堂があること。できるなら毎日居られる場所であること
- お互いが助け合える場所やシステムづくり。24時間365日で、動ける人が動ける場所
- 共働き家庭が多く、学童を利用するにもお金がかかるため、子どもだけで留守番している家庭もある。そんな子どもたちのお金がかからない居場所が必要だと思う
- 職と住居の確保が大事だと思っていて、困難を抱える人たちに情報を与えられるようにしてあげたらということと、桑名市の市営住宅に転居したくても、現住所が別の場所にあるため転居できないなど、行政が柔軟にかかわれるようになるとよい
- 地域と学校が連携して居場所づくりに取り組むのが望ましいと思う
- こども食堂などの居場所では相談しやすい面があるのだと思う
- ニーズに合った多様な居場所づくりが必要。困りごとなどを気楽に話せるハードルの低い相談相手。つらいときにすぐにつながることができる連絡先
- 自分ひとりじゃないと思えるような、境遇が似通っていて気持ちの共有ができる機会
- 離婚に伴う手続きや親権や養育費の取り決め、養育費が貰えなくなってしまった時はどうしたらよいのかなど、制度や法律のことを一緒に整理しながら解決に向かえるような援助（弁護士や行政書士など）
- 大人がいつでも子どもの話を聴ける体制があること
- あたたかい空間と安心できる人とのつながり

(5) 行きたくてもこども食堂に行けない理由があるとすれば何だと思うか

- 家から遠いため、一人ではいけない（4件）
- 親の考え方（4件）
- 親に送迎を頼めないから（3件）
- 時間がない（塾や習いごと）（2件）
- 親のスケジュール管理
- お金
- 子どもも参加費などの負担がある（例え100円でも親にもらえない子もいる）

- 自分に適した距離と開催日時
- 開催日時がわからない
- 予約制で予約ができなかったり、子どもだけでは来ることができない
- 低学年は親が働いていると来られない。特にひとり親世帯は難しい
- 情報が限られていると思う。やはり地域の活動として自治会やまち協、行政に認めてもらうとともに、自治会と連携した取組として、自治会だよりに掲載してもらえると効果が大きと思う。困難な家庭、子どもには地域の中で歩いて行くことができる場所にあることが大切である
- 家を空けられない
- 夜は親の手伝いやきょうだいの世話をしないといけないから
- 他の人の目があったり、両親の目があったりする
- 食物アレルギーがあるから
- 雨だから
- アルバイトに行かないといけないから
- 子どもなど来る人の中に会いたくない相手がいるから
- 一人では行きづらい
- 一人で過ごしたいけど人多そう

(6) 子どもがこども食堂を知っていても行かない理由があるとすれば何だと思うか

- 親から止められている（2件）
- 習いごとと重なっている（2件）
- 家でゲームをしている方が楽しい（2件）
- 行ったことのない誰がいるのかわからない場所に行くのはハードルが高い（2件）
- 他に優先したい、しなければならない予定があるから
- 恥ずかしい、面倒
- 人見知り
- 集団が好きではない子
- 知り合いがいない
- 一緒に行く友だち
- 学校の友だちがいる場所だからこそ行きたくない（イジメなどある場合）
- 地域性の問題
- 周囲の大人が、こども食堂を紹介したり、連れてきてあげたりすることができない

- 子どもだけで行くには遠くて行けない
- お金がかかるかも、という心配
- こども食堂運営者としても状況が見えていない
- 必要ないから

(7) こども食堂を始めた当時の運営上の心配ごとや悩みごと

- 食材や備品の確保（3件）
- 資金の確保（3件）
- スタッフの確保（2件）
- 人が集まるかどうか（2件）
- 開催場所（2件）
- お金のこと。スタッフの間でも食事代を上げてよいものを提供したい人と安価な食事を優先する人がおり、意見調整が難しかった
- スタッフ（学習班）の参加と子どもの参加者の人数の調整と方法が難しい（子どもに対してスタッフが少ない時とか）
- ボランティア希望者の目的（子どもたちや特にひとり親の母親たちへの接触が目的ではないか、など）
- 怪我や事故等への対応
- アレルギーや事故など
- 開催中に災害があったらどうするか
- 衛生問題
- 前代表は、一からのスタートでしたので、いろいろ大変だったと伺っています。資金面、地区に認めてもらう、人が来てくれるのか、周知も大変だったようです
- 後継者づくり
- 参加者への告知、準備した食数と来場人数の差
- 備品、食品の保管場所
- 子どもたちの個人情報保護の面（写真やSNS等）

(8) こども食堂を開設するうえで、現在の心配ごとや悩みごと

- ボランティアの人材確保（3件）
- 本当に必要な人に支援できていない（2件）
- ボランティアに快く参加してもらうためにも無償に近いボランティア費用は限界

- ボランティアの中でも、活動への関心やかかわり方が様々で、一部の人の負担が大きい
- 毎月来てくださるボランティアさんと2人で運営しているが、2人とも高齢のため少しでも長く続けたい思いがあります
- 継続してきて子どもたちが成長してきたことによって、子どもたちにとって足りてない支援、必要なことが見えてきたが、資金面、マンパワー面で実施するのが難しい
- 活動していくための光熱費
- 安定した資金が必要
- 今年の後半期は県の助成金の支給のおかげで子どもは無料（食事）としている。ボランティアは200円、子ども（利用者）の親一人200円、それ以外は300円にしている。助成金が無くなると子どもから再び200円徴収しないと活動できないが、できれば無料にし、ボランティアさんも無料にできればと思う。現在はボランティアさんの食事代と助成金で食材を賄っている
- 利用する方から相談ごとがあった時、どこに相談すればいいかわかりません
- 応募される方が増えて、従来利用されている方が利用できなくなったこと
- 中高生は来ない
- 開催場所、来場人数、駐車場、人材、資金、食材の確保、保管場所、だんだん増えていく人数への対応、継続性
- ただ食事を作って食べさせるだけではなく、告知や支援者への活動報告、助成金の申請手続等事務的作業も多く、時間とスキルが必要。これができないと運営できない
- こども食堂に求められることも増えてきており、子どもたちにおいしいご飯を食べさせたいという思いだけでは運営が難しい。後方支援団体が必要
- 終了時間まで過ごしてからもすぐに帰らない子どもたちを見ていて、この後どうやって過ごすのかな、何事もなく帰宅できるかと心配することがある

(9) こども食堂を開設してよかったと思うこと

- たくさんの方とつながれたこと。ご縁ができたこと
- 同じように活動をされている人たちと交流ができて、共通の悩みの話をするところから元気の源になります
- 自分たちが元気になる。可愛い子どもたちと接するので若返った気分になる
- お年寄りの方々も楽しみに足を運んでいただいている。独居老人の方も来てくださるようになった

- 学校に行けない困難な子どもたちが、積極的に参加してきている。5、6年間通っている子どもたちが、心を明るくしている姿が見られるようになった。楽しめている姿に他の子も安心して、明るい表情で過ごしている。かかわる大人たちの対応のよさも大きいと思う。第三者同士が、この場で楽しく交流できる環境にできたのはよかった
- 留守児童が予想される長期学校休みの平日に、誰でも参加してもよい子ども支援（ふじさん公園であそぼう）の取組ができていることも周囲のご理解、ご協力のおかげです
- 利用されている人から相談を受け、少しでもお役に立てかと実感するときに喜びを感じます
- 子どもたちや参加者の笑顔
- ボランティアさんのやりがい、つながり
- ボランティアさんとのかかわりの中から、少しでも子どもの将来の選択肢を増やせたこと
- 地域の多世代交流の場所
- 子どもたちから必要とされていること
- こども食堂のご飯はおいしいと言ってもらえること
- 親子で安心して過ごしてもらえていること
- 子どもの成績が上がったり、勉強嫌いだった子がやる気を出していたり、子どもの成長とそれにとまなう自信を持った表情や真剣に取り組む表情に励まされる
- 微力でも子どもの成長と将来の可能性を広げる助けができるとうれしい
- 月に1度来店してくださる方が楽しみにしてくださっていることです
- 子どもたちが成長して高校生になり、そこで出会った友だちにも自分と同じこども食堂が必要な子がたくさんいることに気づき、自分の高校でこども食堂をやろうとした子が出てきた時、本当に嬉しかった
- 子ども自身がピンチの時にすぐに連絡してくれる、愚痴を言える、嬉しいことを報告してくれる、進学の相談をしてくれる、そういう関係性ができていることが、やってきてよかったと思う
- にぎやかな子どもたちの歓声と笑顔に会えることは何にも代えがたい喜びです

桑名市
「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」
「子ども・若者の生活実態・意識調査」
結果報告書
(自由意見・ヒアリング編)

令和6（2024）年7月

発行：桑名市

編集：子ども未来部 子ども未来課

〒511-8601

桑名市中央町二丁目37番地

T E L 0594-24-1172

F A X 0594-24-1393

E-mail ksienm@city.kuwana.lg.jp